

令和 5 年度  
障害者のスポーツに関する意識調査  
報告書

 東京都生活文化スポーツ局

## ま え が き

東京都は、平成30（2018）年3月に「東京都スポーツ推進総合計画」を策定し、スポーツ振興に取り組んできました。また、令和3（2021）年3月には「未来の東京」戦略を策定し、週1回以上スポーツをする障害のある都民の割合を50%に向上する目標を掲げるなど、誰もがスポーツを楽しみ、健康増進や人とのつながりなど、スポーツの力を享受できる「スポーツフィールド・東京」の実現を目指しています。

本調査は、障害者のスポーツに関する意識や活動の実態を把握することにより、東京都におけるパラスポーツ振興の今後の施策の参考とするために実施したものです。

この調査結果が、行政関係者のみならず、広く都民の方々や、障害者のスポーツ活動に関心のあるの方々のお役に立てば幸いです。

最後に、この調査にご協力いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

令和6（2024）年3月

東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部

## 目 次

1	調査概要.....	1
1.1	調査目的.....	1
1.2	調査方法及び回答結果.....	1
(1)	調査方法.....	1
(2)	調査内容.....	1
(3)	調査期間.....	2
(4)	調査対象及び回答結果.....	2
(5)	利用上の注意.....	3
2	調査結果.....	4
2.1	障害者の属性.....	4
(1)	年齢.....	4
(2)	性別.....	4
(3)	障害の種類.....	5
(4)	車いすの必要性の有無.....	7
(5)	障害者手帳の保有状況.....	8
(6)	障害が発生した年齢.....	12
(7)	過去1年間の就業状況（18歳以上）.....	14
(8)	過去1年間の平日・日中の居場所（18歳以上）.....	18
(9)	学校の種別（7～25歳の在学中の方）.....	21
(10)	放課後の居場所（在学中、高校生まで）.....	24
(11)	障害福祉サービスの利用状況.....	27
2.2	スポーツ・運動の実施状況.....	32
(1)	過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無.....	32
(2)	過去1年間にスポーツ・運動を行った日数.....	38
(3)	過去1年間に行ったスポーツ・運動.....	45
(4)	スポーツ・運動を実施する場所（スポーツ実施者対象）.....	53
(5)	スポーツ・運動を一緒に実施する人（スポーツ実施者対象）.....	58
(6)	スポーツ・運動を実施する理由（スポーツ実施者対象）.....	62
(7)	スポーツ・運動を実施したきっかけ（スポーツ実施者対象）.....	66
(8)	スポーツ・運動を実施しない理由（スポーツ非実施者対象）.....	70
(9)	活動したいと思わない理由.....	74
(10)	現在のスポーツ・運動への取組.....	77
(11)	学校体育の参加状況（在学中、高校生まで）.....	83

(12) 学校体育に参加しない理由（在学中、高校生まで） .....	86
(13) スポーツ・運動の参加方法 .....	87
(14) 参加したいスポーツ活動 .....	91
(15) スポーツ・運動の継続実施に必要と考える支援（スポーツ実施者対象） .....	95
(16) 新たに別のスポーツ・運動を始めるために必要な支援（スポーツ実施者対象） .....	99
(17) スポーツ・運動を始めるきっかけとして必要な支援（スポーツ非実施者対象） .....	103
(18) 家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の経験及び興味関心 .....	107
(19) 東京 2025 デフリンピックの認知度 .....	119
(20) 東京 2025 デフリンピックに期待すること .....	121
2.3 情報の入手先等 .....	123
(1) 日常的な情報の入手先 .....	123
(2) スポーツ・運動以外の関心 .....	127
3 まとめ（調査結果の概要） .....	131

○参考文献・付録

注)「しょうがい」の用語は、「障がい」「障碍」などがあるが、本報告書では、法令等における表記である「障害」を使用した。



## 1 調査概要

### 1.1 調査目的

今後の東京都におけるパラスポーツ振興に向け、障害者のスポーツに関する意識を調査し、「『未来の東京』戦略」（令和3年3月策定）における政策目標の達成度や事業の効果等を把握する。

### 1.2 調査方法及び回答結果

#### (1) 調査方法

無記名式のインターネット調査

#### (2) 調査内容

- ・回答者本人および同居する家族における障害の有無
- ・障害者手帳の保有状況
- ・障害が発生した年齢
- ・過去1年間の収入を伴う仕事の従事状況
- ・過去1年間の平日・日中の居場所
- ・学校の種別（7～25歳対象）
- ・放課後の居場所（在学中、高校生まで）
- ・障害福祉サービスの利用状況
- ・過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無
- ・過去1年間に行ったスポーツ・運動の実施種目
- ・過去1年間に行ったスポーツ・運動の実施頻度
- ・スポーツ・運動を実施した場所（スポーツ実施者対象）
- ・スポーツ・運動を一緒に実施する人（スポーツ実施者対象）
- ・スポーツ・運動を実施する理由（スポーツ実施者対象）
- ・スポーツ・運動を実施したきっかけ（スポーツ実施者対象）
- ・スポーツ・運動の取組の満足度
- ・スポーツ・運動を実施しない理由（スポーツ非実施者対象）
- ・実施しない理由で「活動したいと思わない」と回答した理由
- ・学校体育の参加状況（在学中、高校生まで）
- ・学校体育の授業に参加しない理由（在学中、高校生まで）
- ・スポーツ・運動の参加方法
- ・参加したいスポーツ活動
- ・スポーツ・運動の継続実施に必要と考える支援（スポーツ実施者対象）
- ・新たに別のスポーツ・運動を始めるために必要な支援（スポーツ実施者対象）
- ・スポーツ・運動を始めるきっかけとして必要な支援（スポーツ非実施者対象）

- ・スポーツや運動以外に関心のあること
- ・日常的な情報の入手先
- ・家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の経験
- ・家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の興味関心
- ・東京 2025 デフリンピックの認知度
- ・東京 2025 デフリンピックに期待すること

### (3) 調査期間

2023年9月4日（月曜日）から2023年9月21日（木曜日）まで

### (4) 調査対象及び回答結果

インターネット市場でモニター登録をしている方のうち、都内に居住する障害者本人あるいは同居する家族に障害者（7歳以上）がいる方を調査対象とした。

なお、同居する家族として障害者が複数いる場合は、そのうちの1名についてのみ回答してもらった結果、対象となる7歳以上の障害者の総数は3,226人となった。

【図表1】回答者の居住地

居住地	回収数	比率(%)
23区	2,141	66.4
多摩	1,073	33.3
島しょ	12	0.4
合計	3,226	

【図表2】回答者の年齢

年代	回収数	比率(%)
7～17歳	29	0.9
18～19歳	17	0.5
20～29歳	195	6.0
30～39歳	417	12.9
40～49歳	776	24.1
50～59歳	980	30.4
60～69歳	588	18.2
70歳以上	224	6.9
合計	3,226	

【図表3】回答者の性別

性別	回収数	比率(%)
男性	2,014	62.4
女性	1,184	36.7
無回答・その他	28	0.9
合計	3,226	

【図表4】回答者からみた障害者の続柄

回答者との続柄	回収数	比率(%)
本人	1,218	37.8
配偶者	582	18.0
父親	197	6.1
母親	367	11.4
兄弟	96	3.0
姉妹	59	1.8
子ども	707	21.9
合計	3,226	

(5) 利用上の注意

(ア) 比率の単位は「%」、実数の単位は「人」である。

(イ) 百分率は小数点以下第2位を四捨五入したため、内訳の合計が100%にならない場合がある。

(ウ) 障害程度分類〔重度／軽度〕については、以下のとおり分類した。

- ・ 軽度：身体障害者手帳3～6級、療育手帳3～4度、精神障害者保健福祉手帳2～3級の保持者
- ・ 重度：上記以外の障害者手帳保持者

(エ) 2021年度までの調査対象者は18歳以上としていたが、2022年度から新たに7～17歳を対象に加えたため、経年比較の際は注意が必要である。

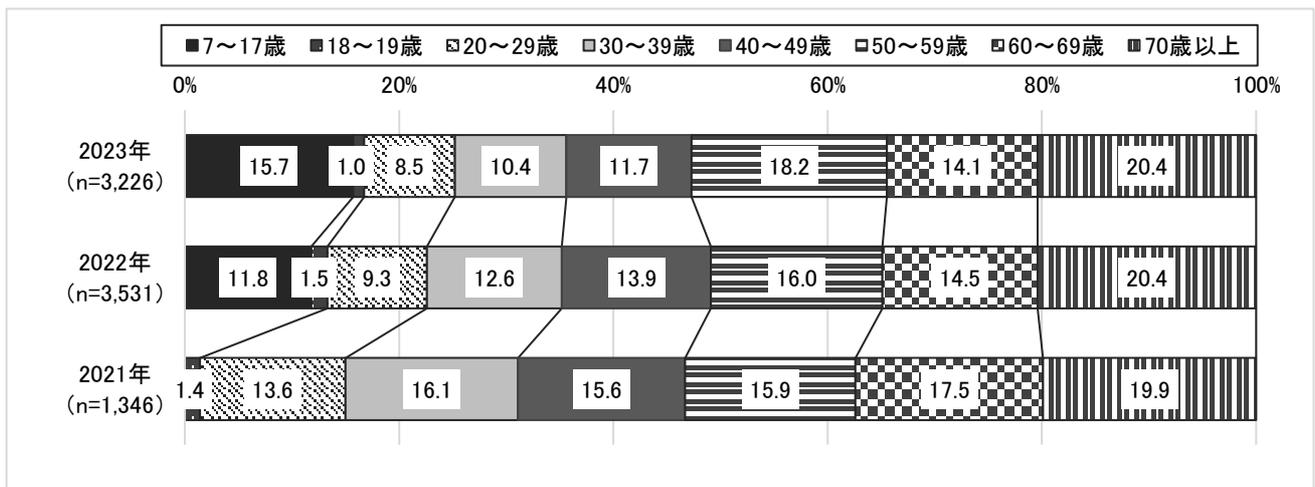
## 2 調査結果

### 2.1 障害者の属性

#### (1) 年齢

総務省の令和2年国勢調査では、東京都の7歳以上の人口のうち、7～17歳が8.8%、18～19歳が1.9%、20歳代が13.3%、30歳代が16.1%、40歳代が17.0%、50歳代が14.8%、60歳代が10.6%、70歳代以上が18.9%であり、本調査では都民全体と比べて年齢構成に大きな差はなかった。【図表5】

【図表5】年齢

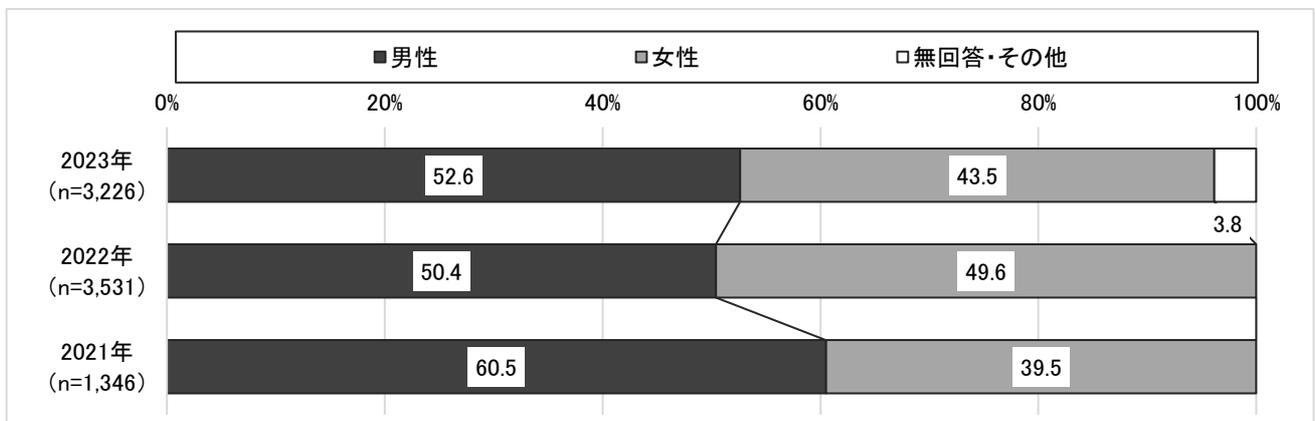


注：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。

#### (2) 性別

総務省の令和2年国勢調査では、東京都の人口のうち、男性が49.1%、女性が50.9%であり、都民全体と比べて大きな差はなかった。【図表6】

【図表6】性別



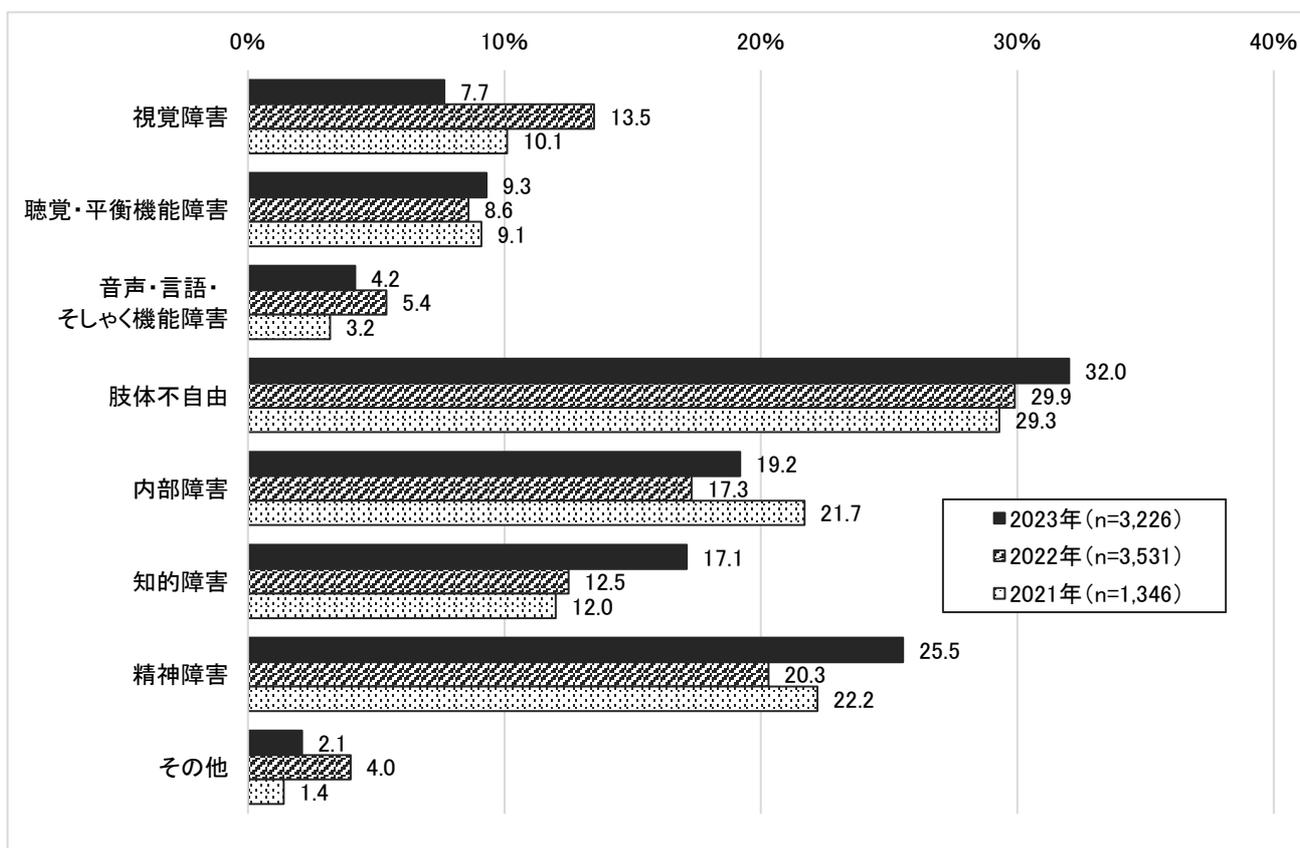
注1：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。

注2：「無回答・その他」は、2023年度調査から選択肢を追加

### (3) 障害の種類

障害の種類は、「肢体不自由」が 32.0%と最も多く、次いで「精神障害」（25.5%）、「内部障害」（19.2%）、「知的障害」（17.1%）の順であった。【図表 7】

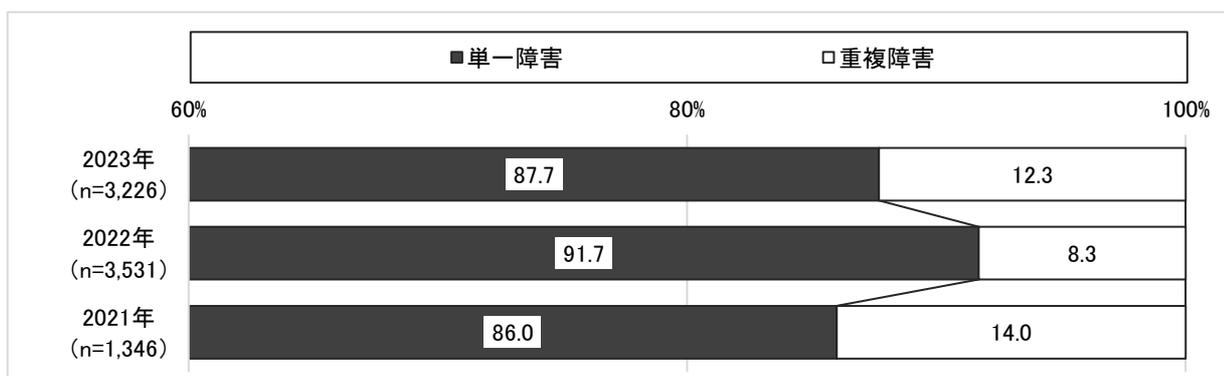
【図表 7】 障害の種類[複数回答]



注： 2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。

単一障害・重複障害の比率をみると、重複障害の比率は12.3%であった。【図表 8】

【図表 8】 単一障害・重複障害の比率

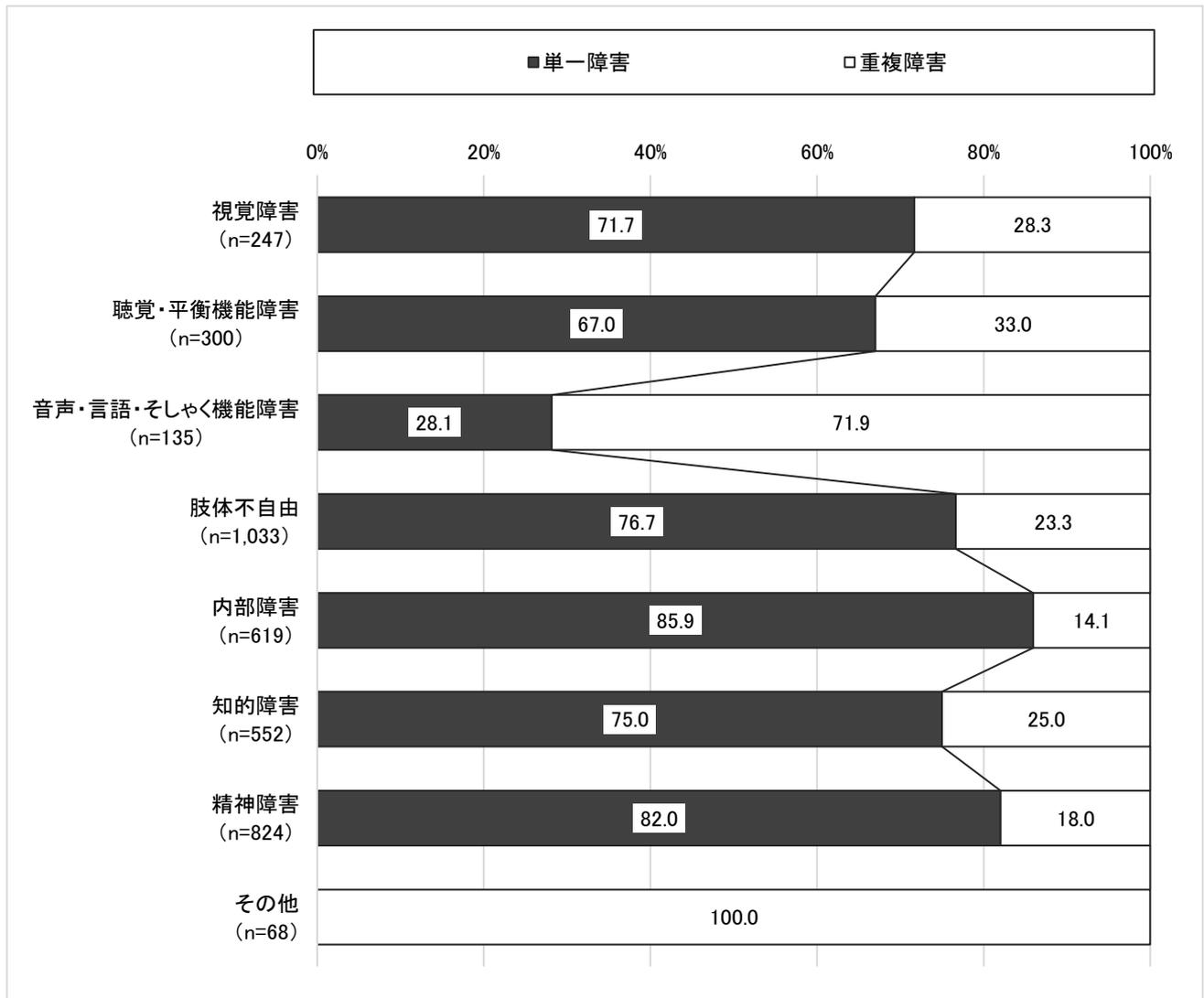


注： 2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。

障害種別にみると、重複障害を回答した割合が最も高いのは「音声・言語・そしゃく機能障害」で71.9%、次いで「聴覚・平衡機能障害」（33.0%）、「視覚障害」（28.3%）の順であった。

【図表9】

【図表9】 単一障害・重複障害の比率(障害種別)



障害種別と年齢の関係では、低年齢層で「知的障害」が高い割合を占めたのに対し、年齢層が上がるほど「肢体不自由」が大きな割合を占め、40歳代までの3割以下に対して、50歳代では33.8%、60歳代では44.5%、70歳代以上では57.1%と60歳代以上はいずれも4割を超えた。【図表10】

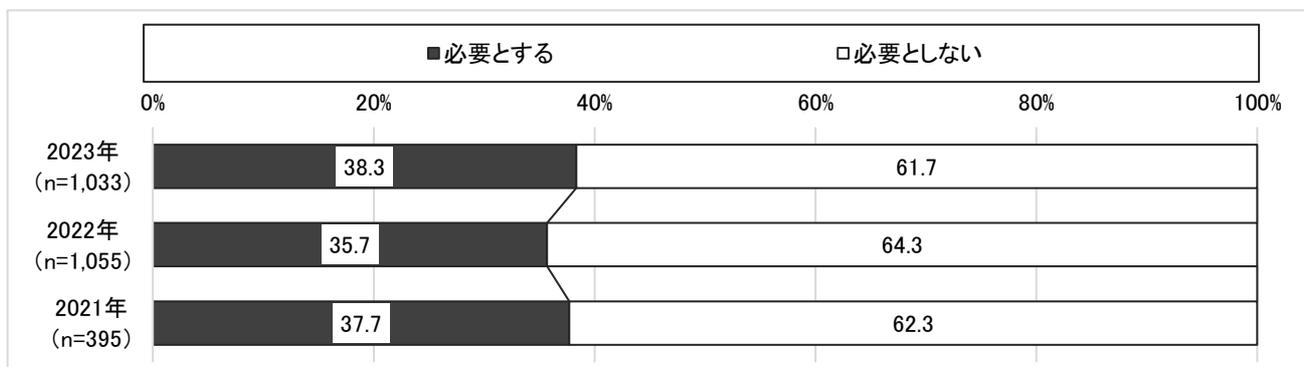
【図表10】 障害種別と年齢層

	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	その他
7～17歳 (n=507)	7.5	8.7	3.7	11.8	5.3	50.9	22.7	2.4
18～19歳 (n=33)	3.0	9.1	0.0	12.1	9.1	33.3	39.4	9.1
20歳代 (n=273)	8.4	7.7	5.1	15.4	11.0	37.0	35.5	1.8
30歳代 (n=336)	6.8	9.2	3.3	18.2	10.4	20.8	44.3	1.2
40歳代 (n=377)	7.4	6.9	3.2	23.6	19.6	10.3	42.2	2.1
50歳代 (n=588)	8.2	8.0	3.2	33.8	23.5	5.3	32.1	0.9
60歳代 (n=454)	7.9	8.4	2.9	44.5	32.2	2.9	14.8	2.0
70歳代以上 (n=658)	7.6	13.7	7.1	57.1	25.2	4.4	5.3	3.3
18歳以上 (n=2,719)	7.7	9.4	4.3	35.8	21.8	10.8	26.1	2.1

(4) 車いすの必要性の有無

車いすの必要性については、肢体不自由と回答のあった1,033人のうち、「日常生活で車いすを必要とする」が38.3%を占めた。【図表11】

【図表11】 日常生活での車いすの必要性の有無

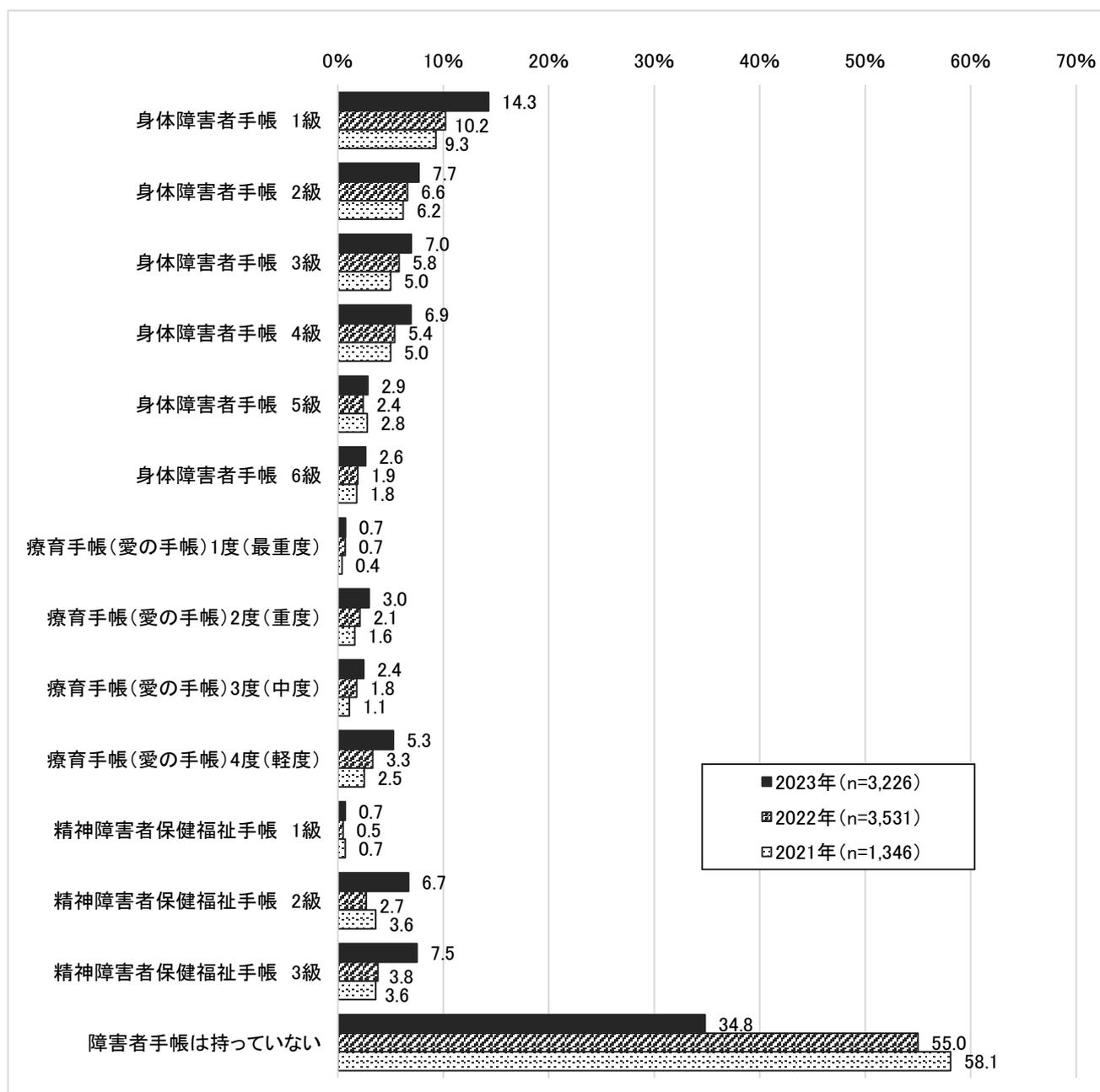


注：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。

### (5) 障害者手帳の保有状況

障害者手帳の保有状況については、「障害者手帳は持っていない」が 34.8%であった。障害者手帳を持っている人の中では「身体障害者手帳 1 級」が 14.3%と最も割合が高く、次いで「身体障害者手帳 2 級」が 7.7%、「精神障害者保健福祉手帳 3 級」が 7.5%の順であった。【図表 12】

【図表 12】 障害者手帳の保有状況《手帳の種類》[複数回答]

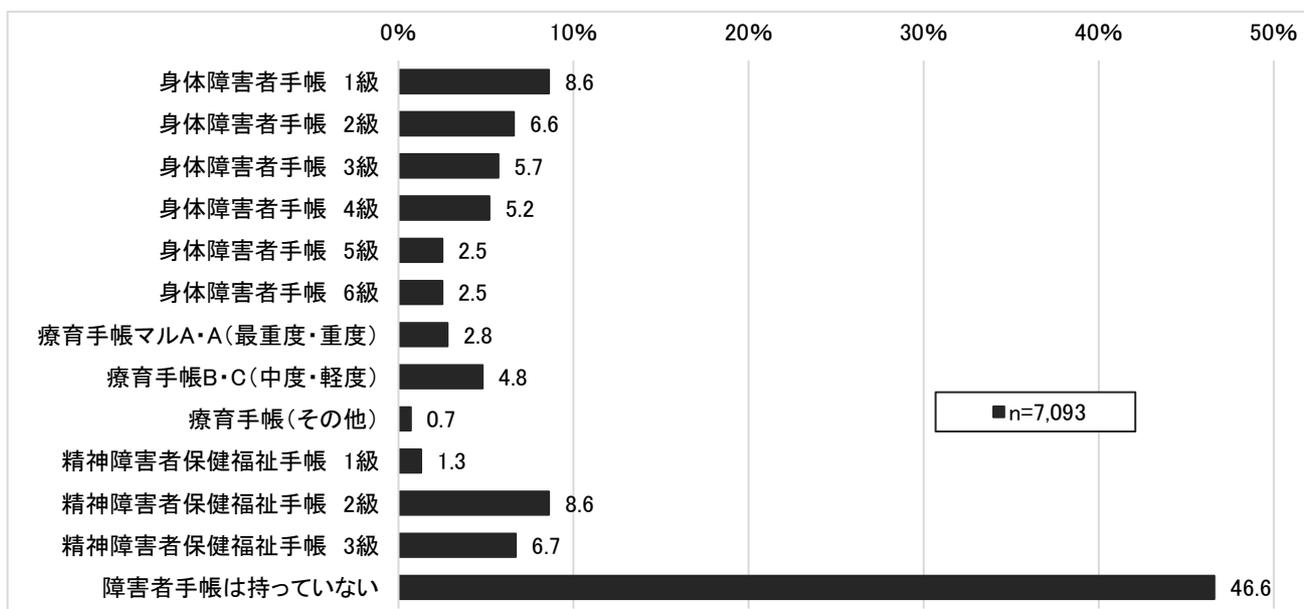


注：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。

スポーツ庁が全国の障害児・者を対象に実施している『障害者スポーツ推進プロジェクト（障害児・者のスポーツライフに関する調査研究）』（スポーツ庁：令和5年3月）と比較し、本調査では「障害者手帳は持っていない」非保持者の割合が11.8ポイント低かった。【図表13】

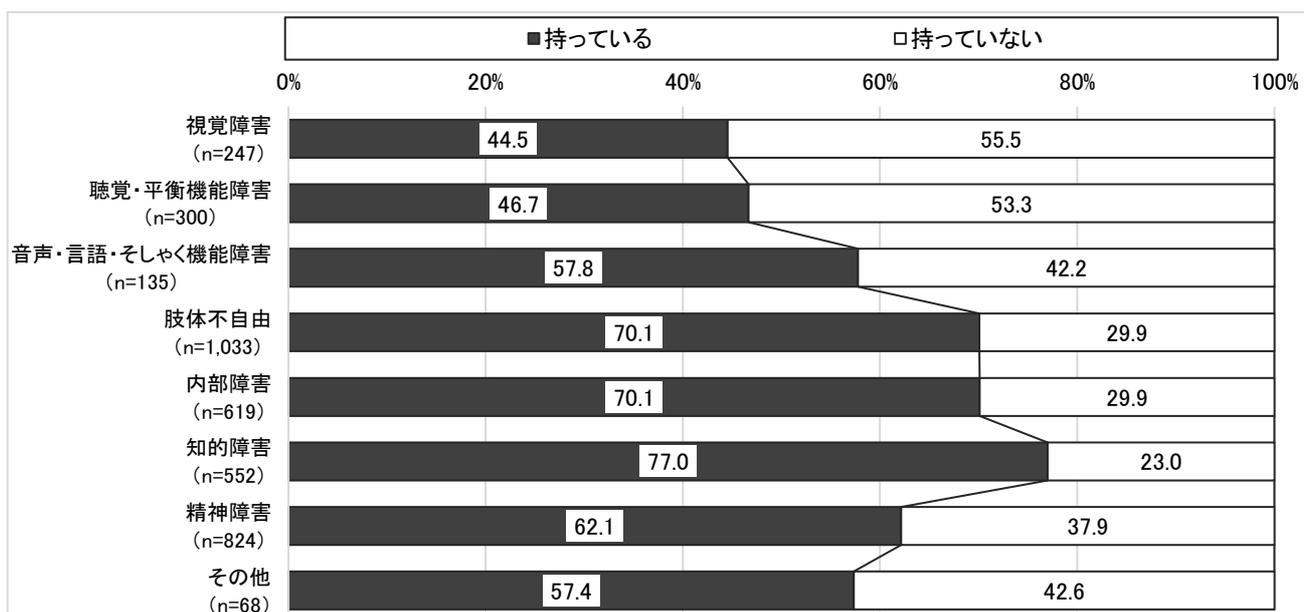
【図表13】 障害者手帳の保有状況《手帳の種類》[複数回答]

『障害者スポーツ推進プロジェクト(障害児・者のスポーツライフに関する調査研究)』(スポーツ庁: 令和5年3月)



障害種別にみると、障害者手帳の保有率は、「知的障害」（77.0%）の割合が最も高く、次いで「肢体不自由」（70.1%）と「内部障害」（70.1%）、「精神障害」（62.1%）の順であった。【図表14】

【図表14】 障害者手帳の保有状況《保有の有無》(障害種別)



障害者手帳の保有状況を障害種別にみると、「知的障害」では 77.0%が障害者手帳を持っており、特に「療育手帳（愛の手帳）4 度（軽度）」（25.5%）の割合が最も高かった。【図表 15】

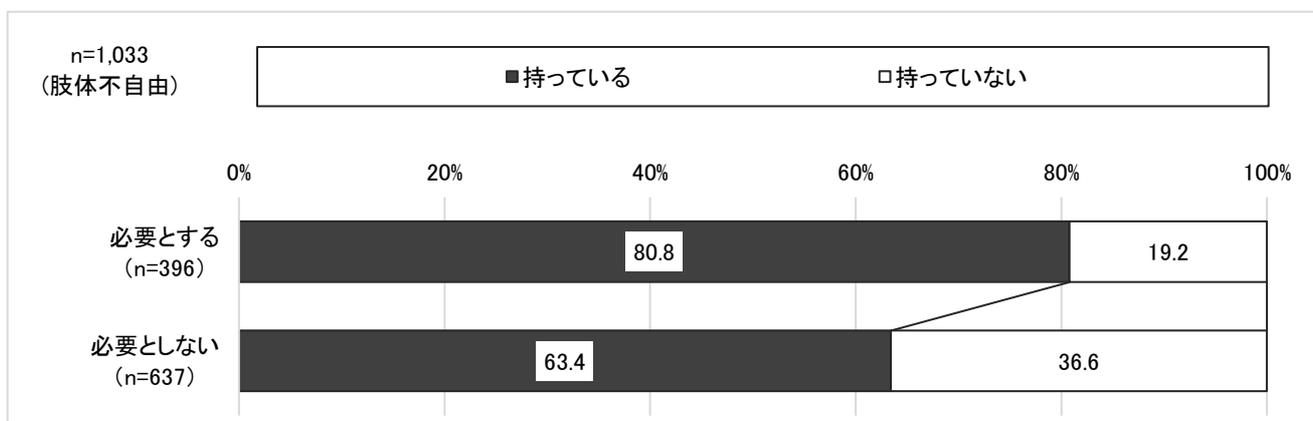
【図表 15】 障害者手帳の保有状況《手帳の種類》(障害種別) [複数回答]

(単位:%)

	身体障害者手帳 1 級	身体障害者手帳 2 級	身体障害者手帳 3 級	身体障害者手帳 4 級	身体障害者手帳 5 級	身体障害者手帳 6 級	療育手帳（愛の手帳） 1 度（最重度）	療育手帳（愛の手帳） 2 度（重度）	療育手帳（愛の手帳） 3 度（中度）	療育手帳（愛の手帳） 4 度（軽度）	精神障害者保健福祉手帳 1 級	精神障害者保健福祉手帳 2 級	精神障害者保健福祉手帳 3 級	障害者手帳は持っていない
視覚障害(n=247)	16.2	7.3	5.7	3.2	5.7	3.2	0.4	0.0	0.4	1.2	0.8	0.8	1.2	55.5
聴覚・平衡機能障害(n=300)	10.7	9.3	10.0	5.7	2.7	6.3	0.3	0.7	0.3	1.7	1.0	0.7	0.3	53.3
音声・言語・そしゃく機能障害(n=135)	23.7	11.1	5.9	5.9	2.2	2.2	2.2	1.5	1.5	2.2	2.2	0.7	3.7	42.2
肢体不自由(n=1,033)	18.0	15.3	11.4	11.3	6.1	5.0	1.1	1.3	1.0	1.3	0.7	1.4	1.1	29.9
内部障害(n=619)	39.9	5.3	7.9	11.1	1.6	1.0	0.2	0.3	0.2	1.0	0.0	1.8	1.5	29.9
知的障害(n=552)	6.5	2.5	3.4	3.1	0.9	1.3	3.4	16.5	13.0	25.5	1.4	3.8	3.6	23.0
精神障害(n=824)	2.3	1.6	2.7	1.5	0.5	0.2	0.1	0.7	0.6	3.3	2.1	24.0	26.6	37.9
その他(n=68)	13.2	5.9	8.8	2.9	1.5	0.0	1.5	1.5	2.9	5.9	1.5	4.4	10.3	42.6

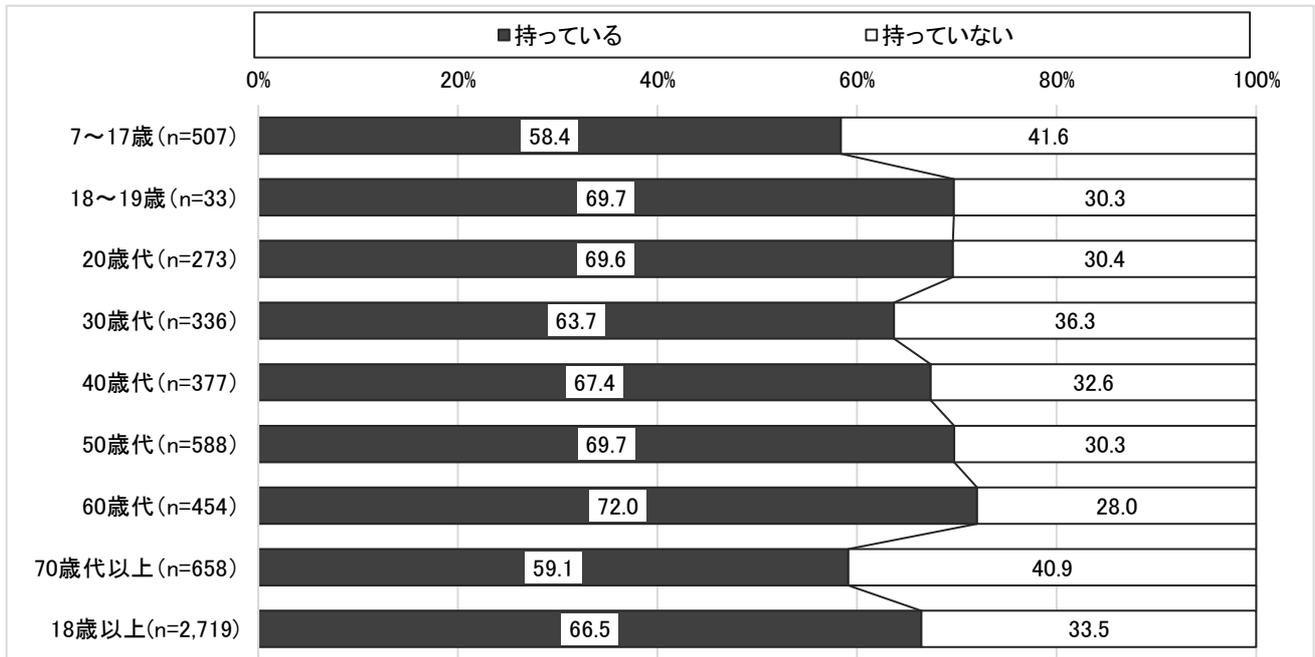
日常生活で車いす必要／不要別にみると、障害者手帳の保有率は「車いすを必要とする」で 80.8%、「車いすを必要としない」では 63.4%となった。【図表 16】

【図表 16】 障害者手帳の保有状況《保有の有無》(日常生活で車いす必要／不要)



年齢別でみると、60歳代で72.0%と最も高く、いずれの年齢層でも半数を超えた。【図表 17】

【図表 17】 障害者手帳の保有状況《保有の有無》(年齢別)



年齢別の障害者手帳の保有率は、身体障害者手帳では年齢が上がるにつれて高くなる傾向となった。精神障害者保健福祉手帳では、2級と3級において40歳代が最も保有率が高かった。【図表 18】

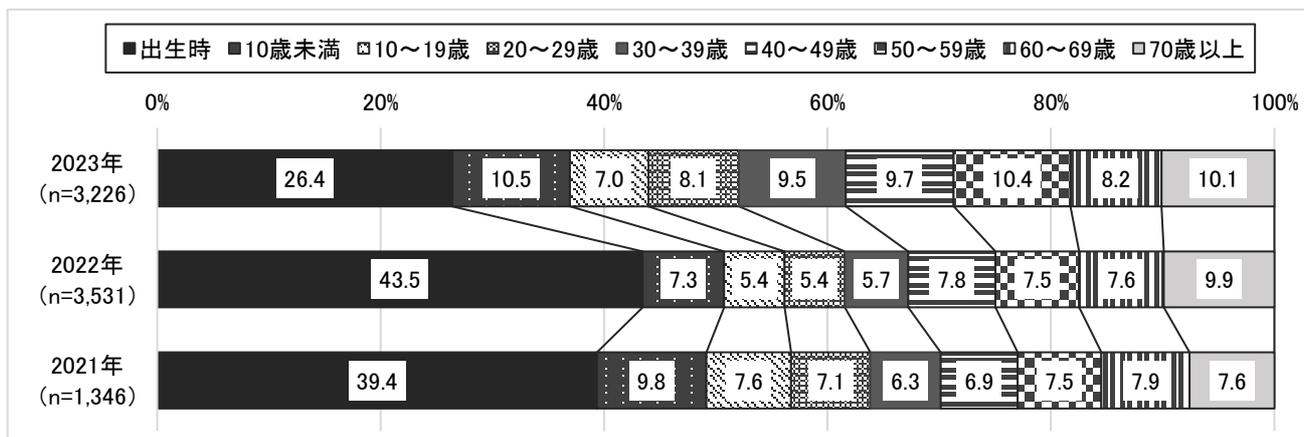
【図表 18】 障害者手帳の保有状況《手帳の種類》(年齢別) [複数回答]

	(単位: %)													
	身体障害者手帳 1級	身体障害者手帳 2級	身体障害者手帳 3級	身体障害者手帳 4級	身体障害者手帳 5級	身体障害者手帳 6級	療育手帳 (愛の手帳) 1度 (最重度)	療育手帳 (愛の手帳) 2度 (重度)	療育手帳 (愛の手帳) 3度 (中度)	療育手帳 (愛の手帳) 4度 (軽度)	精神障害者保健福祉手帳 1級	精神障害者保健福祉手帳 2級	精神障害者保健福祉手帳 3級	障害者手帳は持っていない
7～17歳 (n=507)	5.9	5.9	2.6	2.2	1.0	2.4	1.6	9.3	8.1	17.0	0.2	2.0	3.7	41.6
18～19歳 (n=33)	6.1	3.0	6.1	3.0	0.0	6.1	0.0	9.1	6.1	15.2	0.0	6.1	12.1	30.3
20歳代 (n=273)	11.0	7.0	6.2	3.7	1.5	2.6	1.8	4.8	5.5	12.8	1.8	8.1	9.2	30.4
30歳代 (n=336)	8.9	4.2	5.1	4.2	2.1	1.2	1.5	5.4	3.3	5.4	1.5	12.2	12.5	36.3
40歳代 (n=377)	10.1	7.4	8.0	4.0	2.1	1.9	1.1	2.4	1.1	1.9	0.8	14.1	15.4	32.6
50歳代 (n=588)	16.0	8.0	8.2	8.0	3.2	3.4	0.3	0.9	0.3	1.7	0.3	9.9	11.7	30.3
60歳代 (n=454)	23.1	11.9	6.6	10.8	5.9	3.5	0.0	0.0	0.7	0.7	0.4	5.7	4.4	28.0
70歳代以上 (n=658)	20.1	8.4	10.3	11.7	3.3	2.6	0.0	0.2	0.2	0.9	0.8	0.6	0.8	40.9
18歳以上 (n=2,719)	15.9	8.0	7.8	7.8	3.2	2.7	0.6	1.8	1.4	3.1	0.8	7.6	8.2	33.5

(6) 障害が発生した年齢

障害が発生した年齢については、「出生時」が26.4%と最も高かった。また、「出生時」以外（中途障害）において、障害が発生した年齢は多様であった。【図表19】

【図表19】 障害が発生した年齢



注：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。

障害が発生した年齢をさらに年齢別に詳しくみると、7～17歳では「出生時」が52.1%と高い割合を占めた。一方、高齢者層においては、50歳以降の発生割合が60歳代では合計5割を超え、70歳代以上では8割を超えた。【図表20】

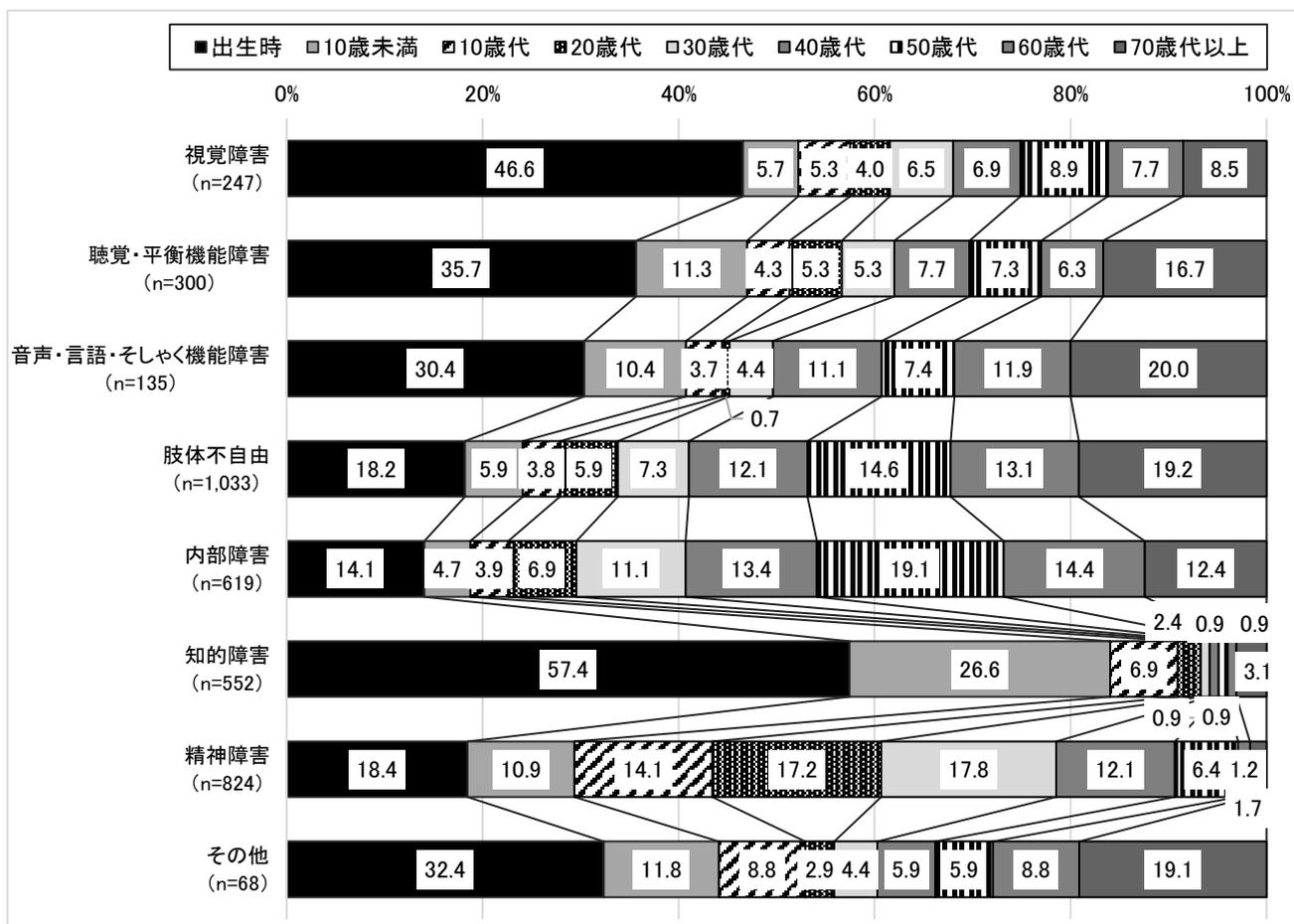
【図表20】 障害が発生した年齢(年齢別)

(単位:%)

		出生時	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
障害をお持ちの方の年齢	7～17歳(n=507)	52.1	39.3	8.7						
	18～19歳(n=33)	63.6	9.1	27.3						
	20歳代(n=273)	56.8	14.3	16.5	12.5					
	30歳代(n=336)	42.0	8.3	11.0	19.6	19.0				
	40歳代(n=377)	25.2	6.6	10.1	17.5	23.1	17.5			
	50歳代(n=588)	15.0	3.2	5.8	10.0	17.9	24.8	23.3		
	60歳代(n=454)	11.2	2.9	2.6	5.5	8.1	13.4	28.6	27.5	
	70歳代以上(n=658)	5.6	2.1	1.1	1.8	2.3	5.9	10.6	21.0	49.5

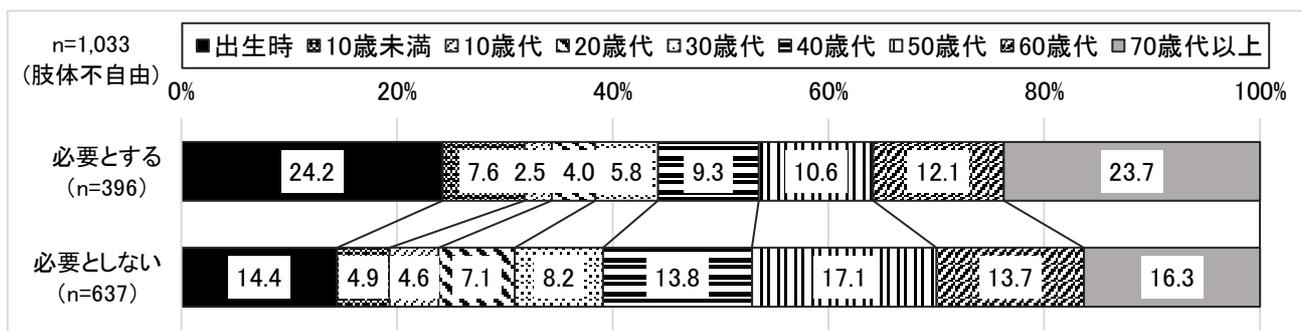
障害種別にみると、他の障害と比べて「知的障害」(57.4%)と「視覚障害」(46.6%)は「出生時」の割合が高かった。また、「知的障害」は低年齢時の発生割合が他の障害に比べて高く、「肢体不自由」及び「内部障害」は「40歳代」以上の発生割合が他の障害に比べて高かった。【図表 21】

【図表 21】 障害が発生した年齢(障害種別)



日常生活で車いす必要／不要別にみると、「車いすを必要とする」と回答した人においては、「出生時」(24.2%)が最も高く、次いで「70歳代以上」(23.7%)が多かった。【図表 22】

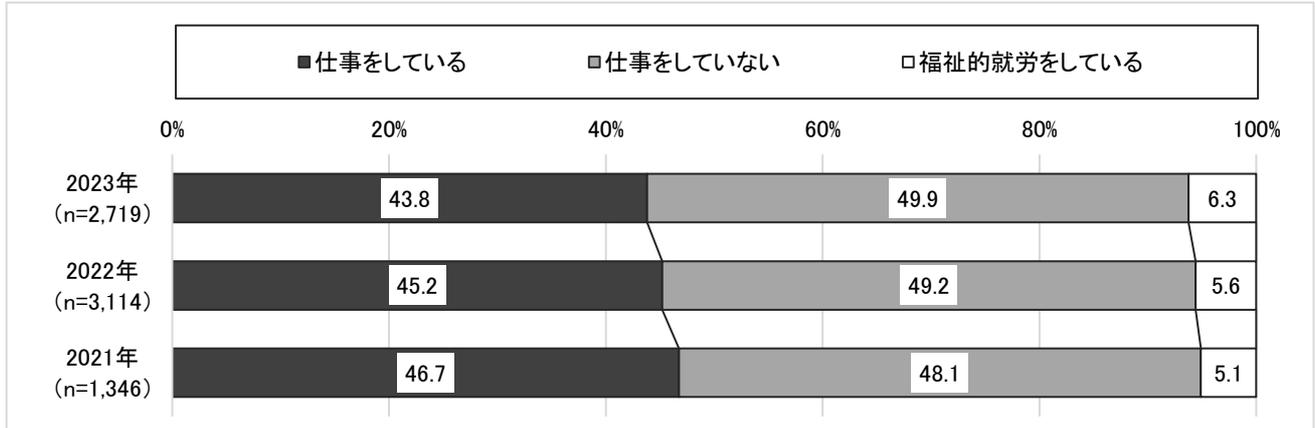
【図表 22】 障害が発生した年齢(日常生活で車いす必要／不要)



(7) 過去1年間の就業状況（18歳以上）

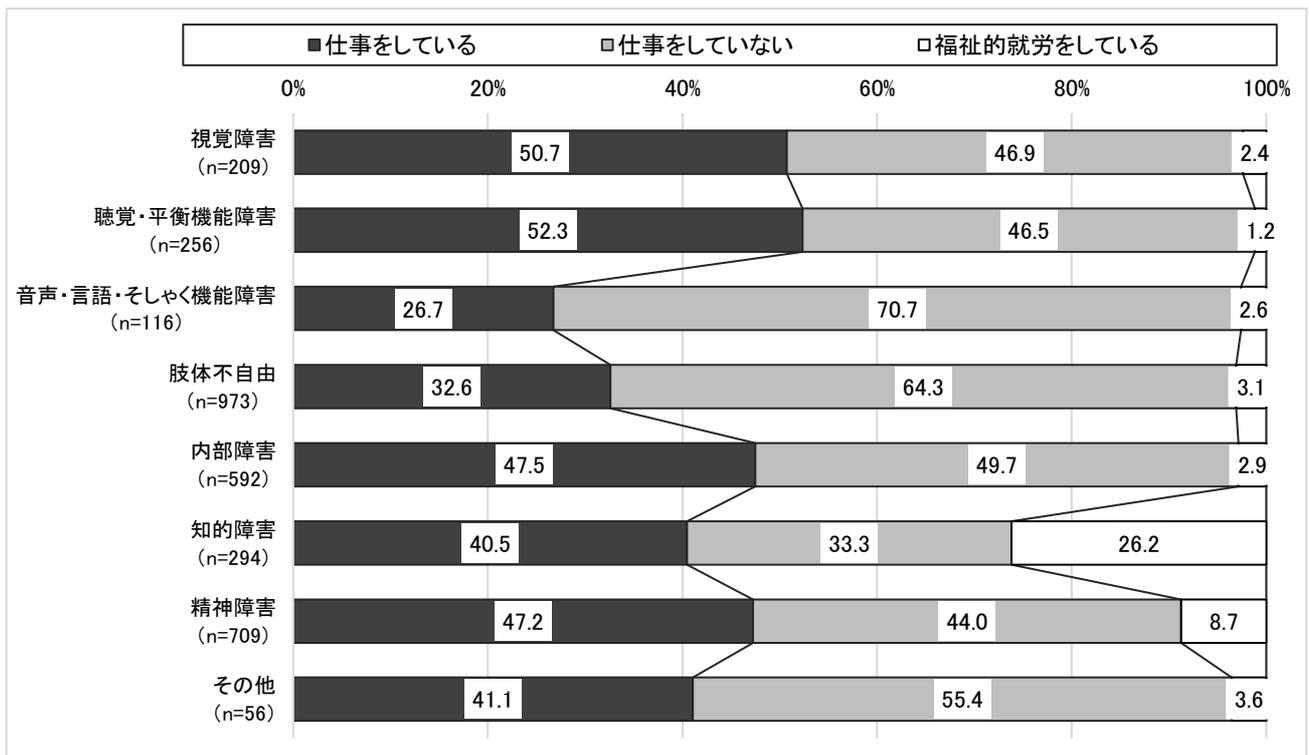
過去1年間の就業状況は、「仕事をしている」（43.8%）と「福祉的就労をしている」（6.3%）の合計が50.1%となり、約半数が何らかの就労をしていた。【図表 23】

【図表 23】 過去1年間の就業状況



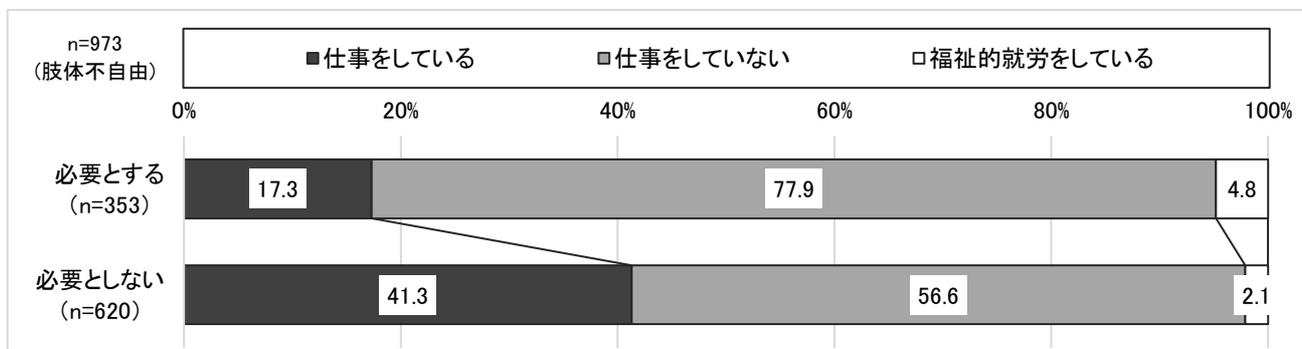
障害種別にみると、「仕事をしている」割合は「聴覚・平衡機能障害」（52.3%）が最も高く、次いで「視覚障害」（50.7%）、「内部障害」（47.5%）、「精神障害」（47.2%）の順であった。「福祉的就労をしている」割合は「知的障害」（26.2%）が最も高かった。【図表 24】

【図表 24】 過去1年間の就業状況別（障害種別）



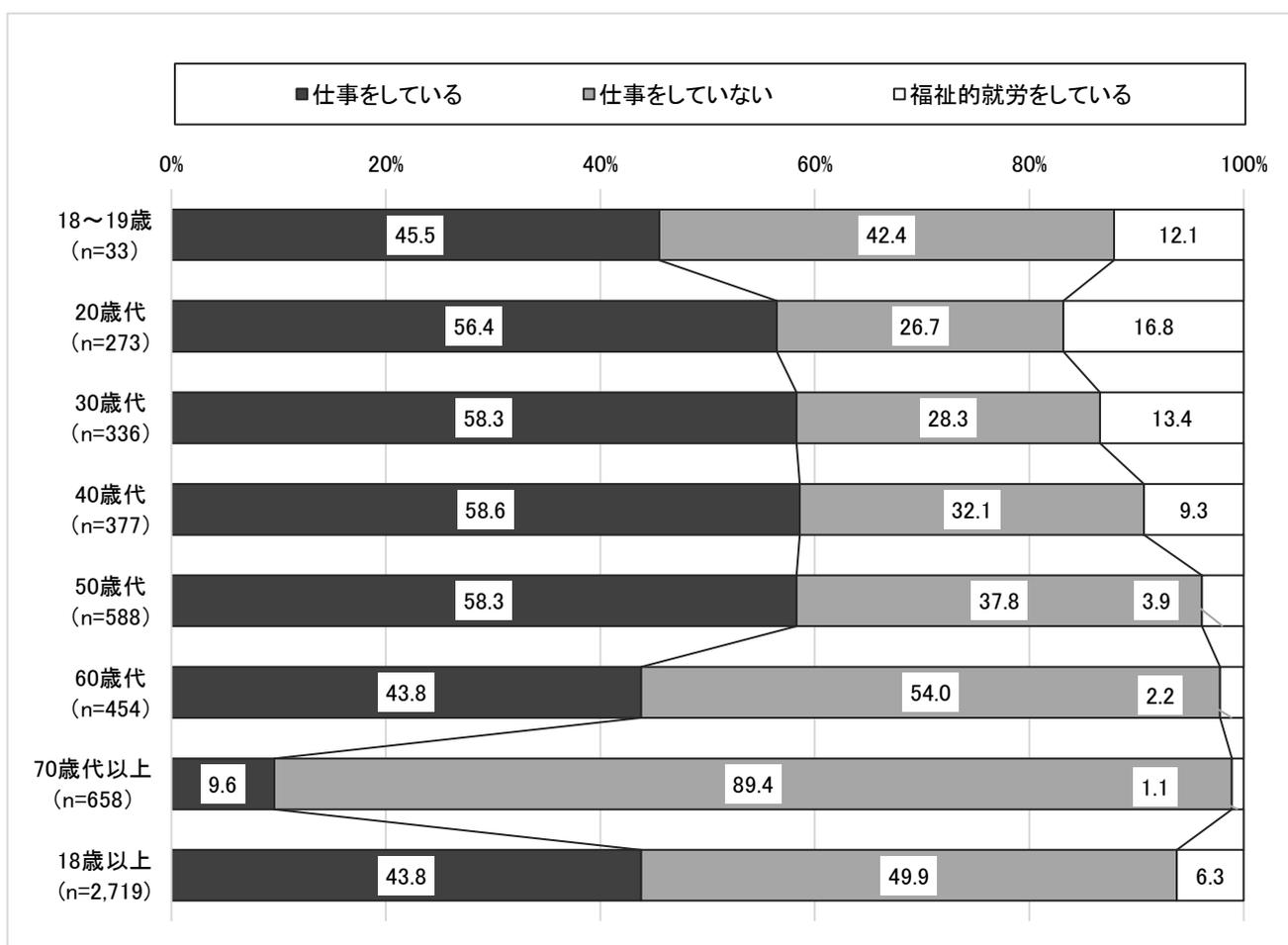
日常生活で車いす必要／不要別にみると、「必要とする」とした人のうち約2割、「必要としない」では約4割が「仕事をしている」と回答した。【図表 25】

【図表 25】 過去1年間の就業状況(日常生活で車いす必要／不要)



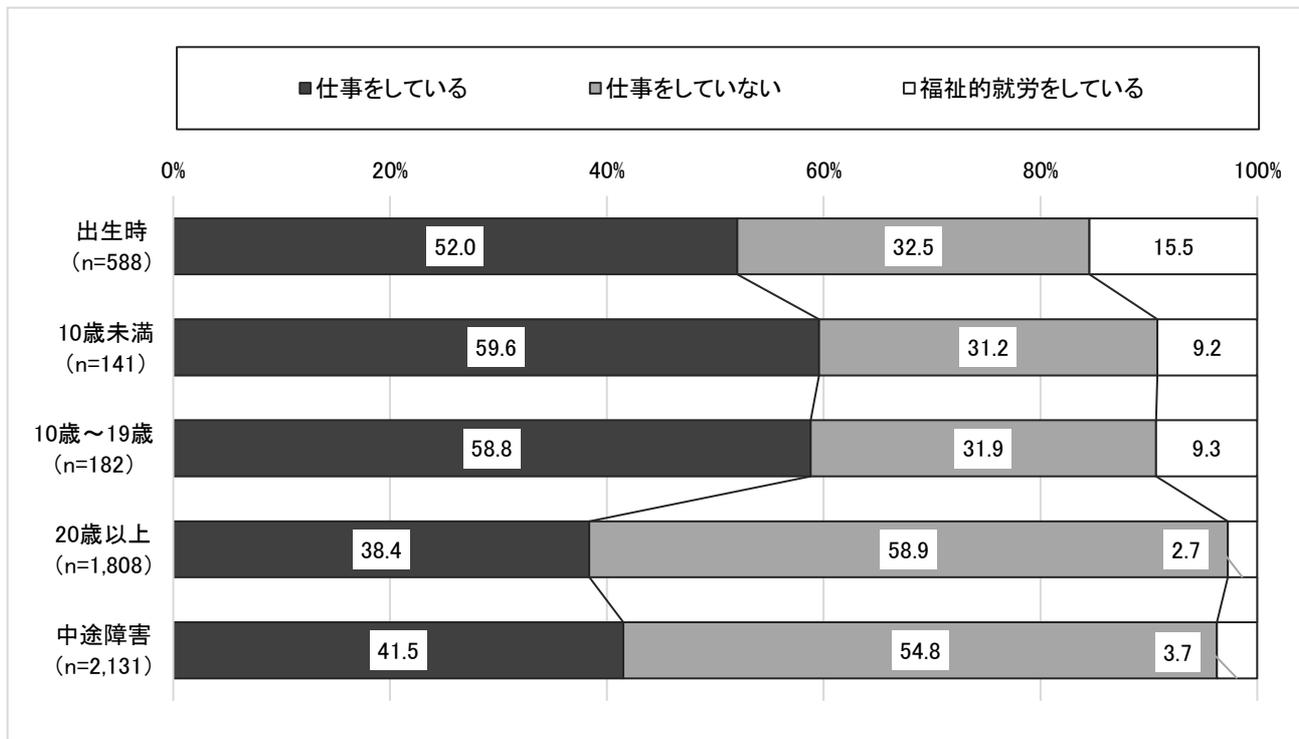
年齢別でみると、「仕事をしている」割合は20歳代～50歳代で5割を超えた。【図表 26】

【図表 26】 過去1年間の就業状況(年齢別)



障害が発生した年齢別でみると、「仕事をしている」割合は「中途障害」の41.5%に対し、「出生時」は52.0%と5割を超えた。【図表 27】

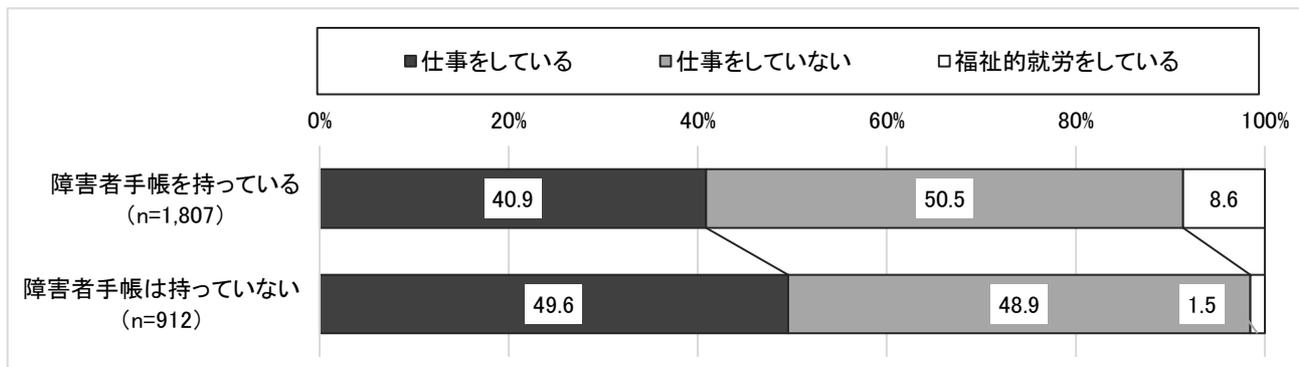
【図表 27】 過去1年間の就業状況(障害が発生した年齢別)



注：「中途障害」は「10歳未満」、「10歳～19歳」、「20歳以上」の総和を示す。

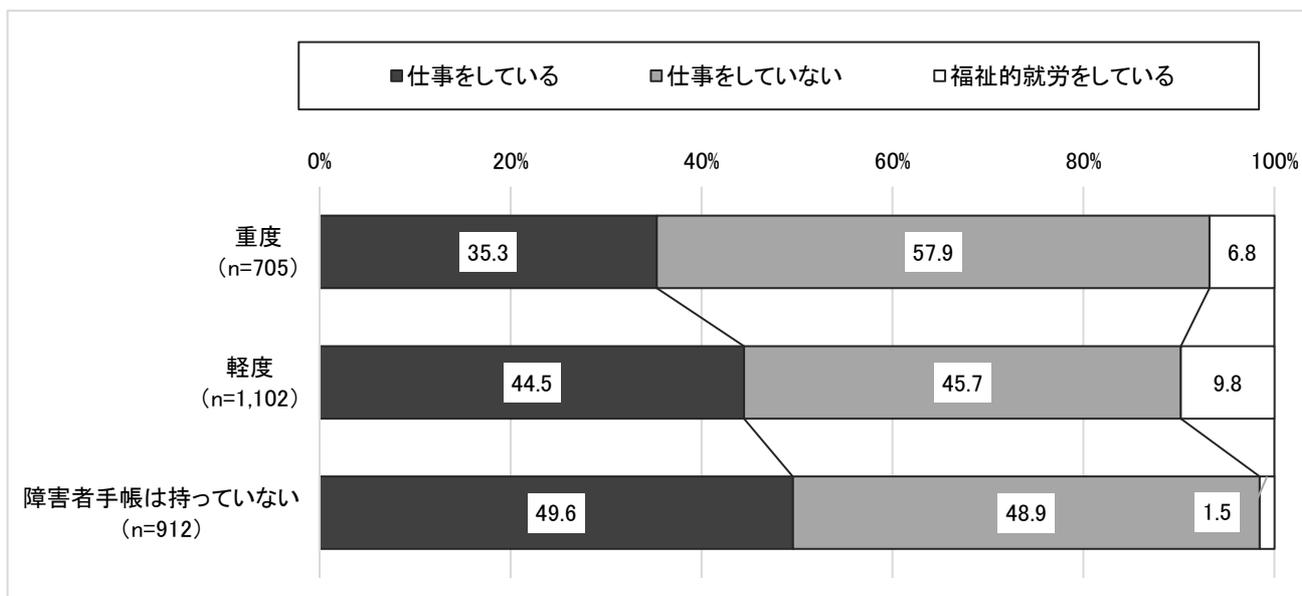
障害者手帳の保有状況別でみると、「仕事をしている」割合は「障害者手帳は持っていない」(49.6%)の方が「障害者手帳を持っている」(40.9%)よりも高かったが、「福祉的就労をしている」をあわせた何らかの就労を行っている割合は、ほぼ同程度となった。【図表 28】

【図表 28】 過去1年間の就業状況(障害者手帳の保有状況別)



障害の程度別でみると、「仕事をしている」と回答した割合は「重度」で 35.3%であったのに対し、「軽度」(44.5%)、「障害者手帳は持っていない」(49.6%)ではやや高くなった。「福祉的就労をしている」と回答をした人は「軽度」(9.8%)と「重度」(6.8%)と比較して、「障害者手帳は持っていない」では 1.5%と低い割合となった。【図表 29】

【図表 29】 過去1年間の就業状況(障害の程度別)

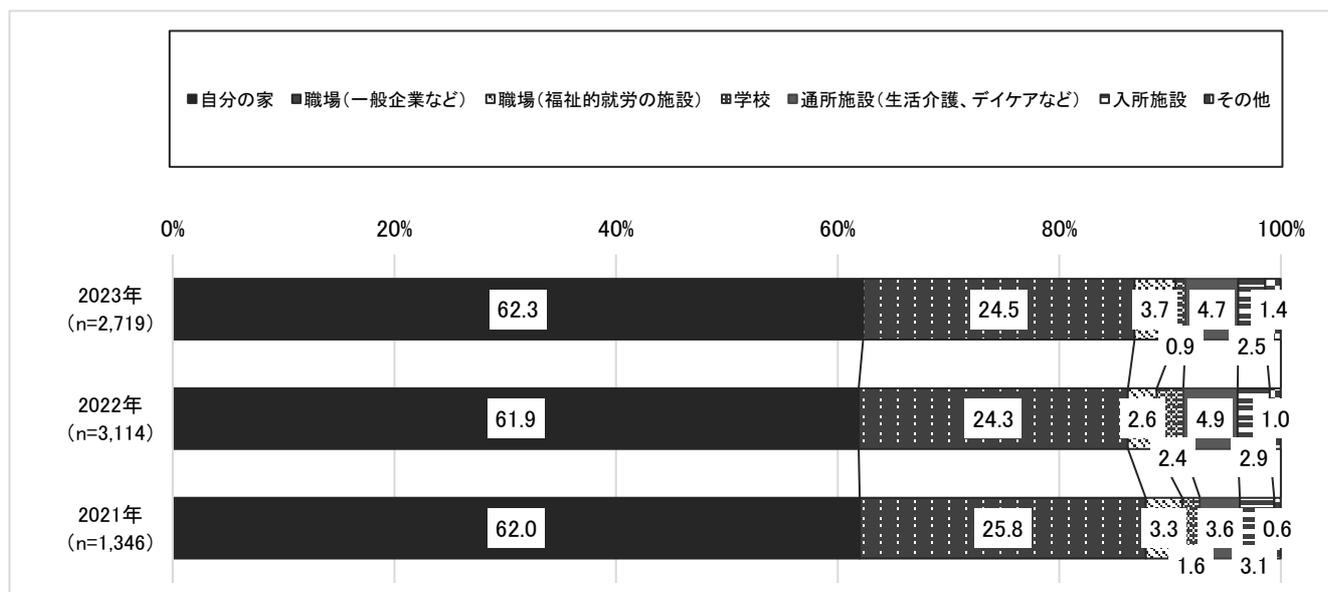


(8) 過去1年間の平日・日中の居場所（18歳以上）

過去1年間の平日・日中の居場所については、「自分の家」が62.3%を占め、次いで「職場（一般企業など）」（24.5%）、「通所施設（生活介護、デイケアなど）」（4.7%）の順であった。「職場（一般企業など）」と「職場（福祉的就労の施設）」を合わせた「職場」の割合は、28.2%であった。

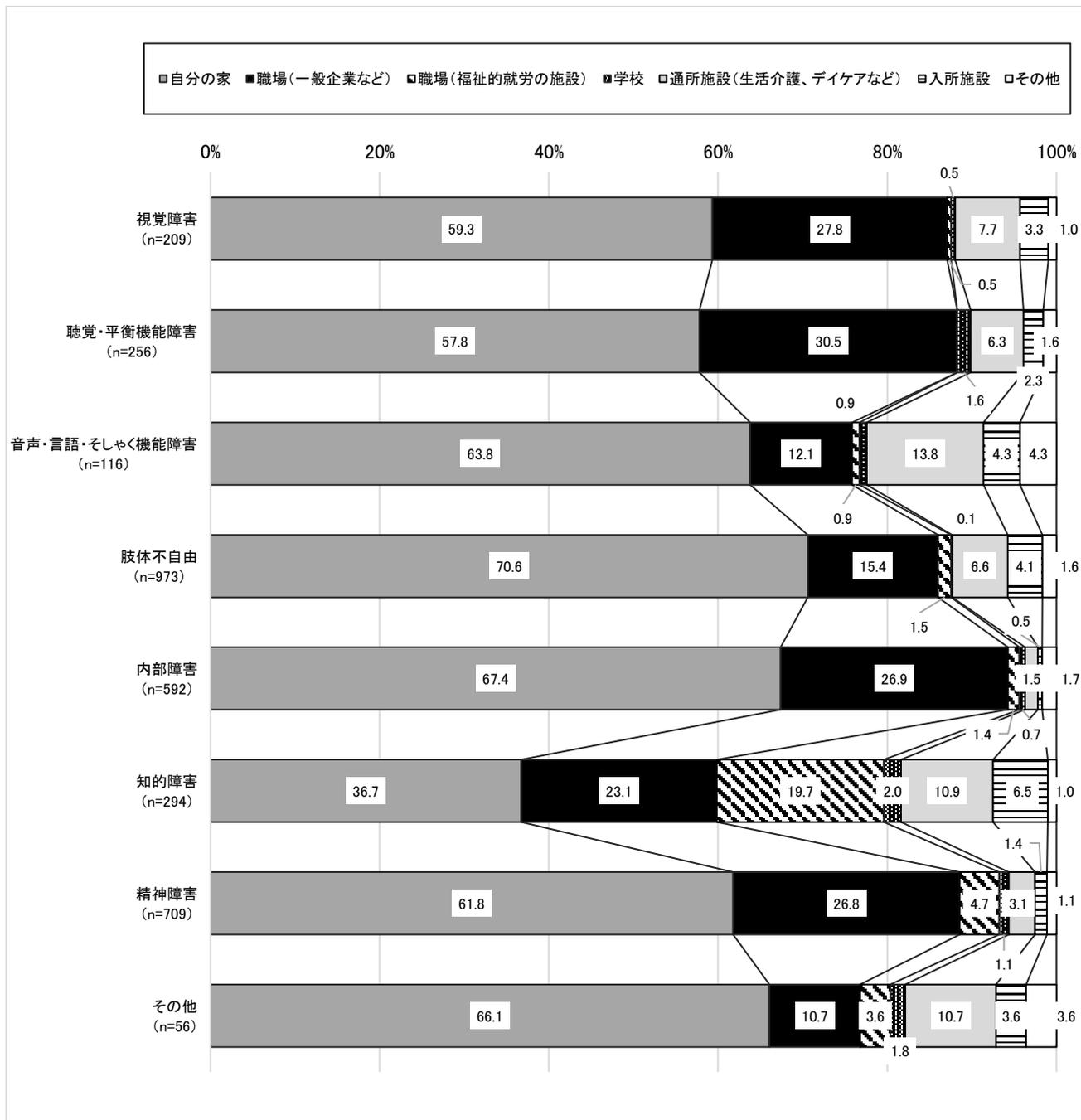
【図表 30】

【図表 30】 過去1年間の平日・日中の居場所



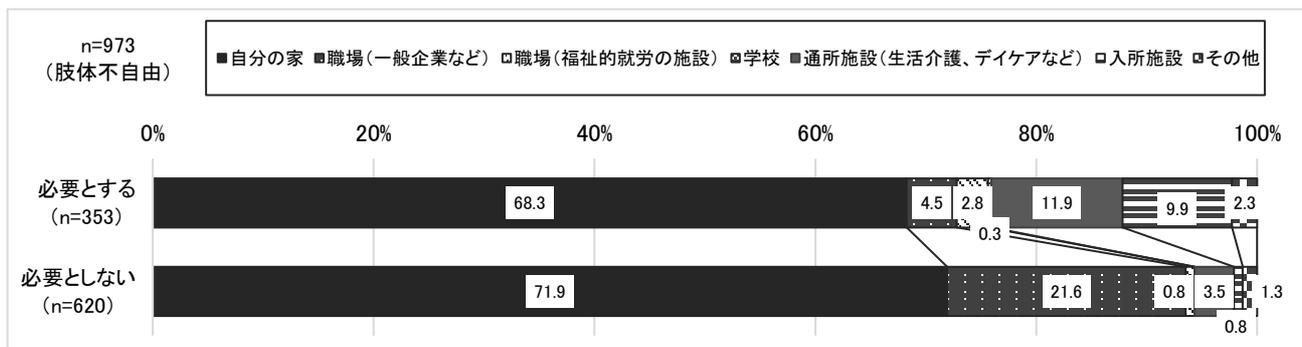
障害種別にみると、「自分の家」がいずれの障害でも高い割合を占め、中でも「肢体不自由」では約7割であった。「知的障害」では、他の障害種別と比べて「自分の家」(36.7%)の割合が低く、「職場(福祉的就労の施設)」(19.7%)の割合が高かった。【図表 31】

【図表 31】 過去1年間の平日・日中の居場所(障害種別)



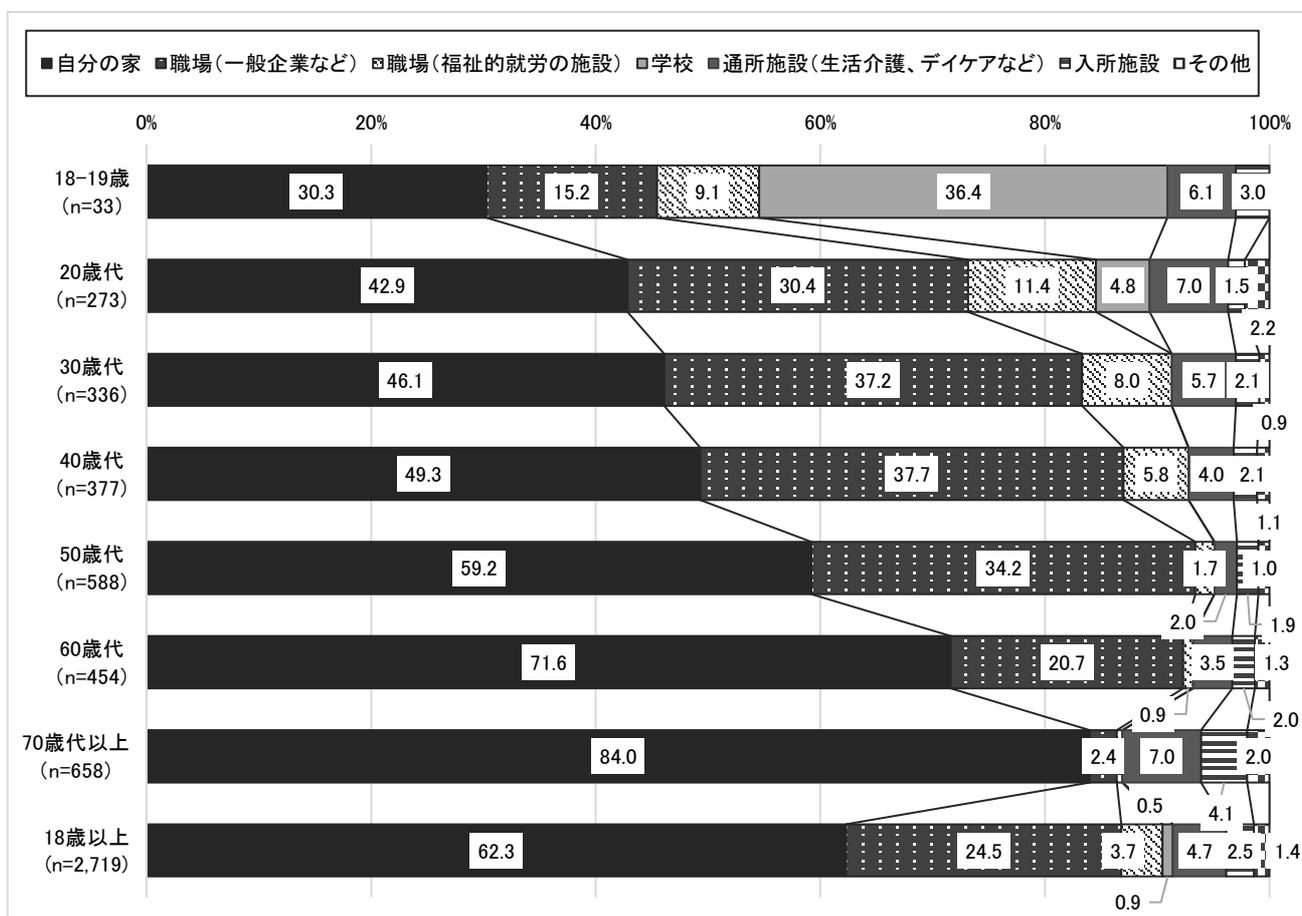
日常生活の車いす必要／不要別にみると、「自分の家」がいずれも高い割合を占め、「必要とする」(68.3%)よりも「必要としない」(71.9%)で高い割合となった。「職場(一般企業など)」の割合は、「必要とする」(4.5%)が「必要としない」(21.6%)を大きく下回った。【図表 32】

【図表 32】 過去1年間の平日・日中の居場所(日常生活で車いす必要／不要)



年齢別でみると、年齢が上がるにつれて、平日の日中に「自分の家」にいる割合が高くなる傾向であった。また、20歳～50歳代で「職場(一般企業など)」にいる割合が3割を超えた。【図表 33】

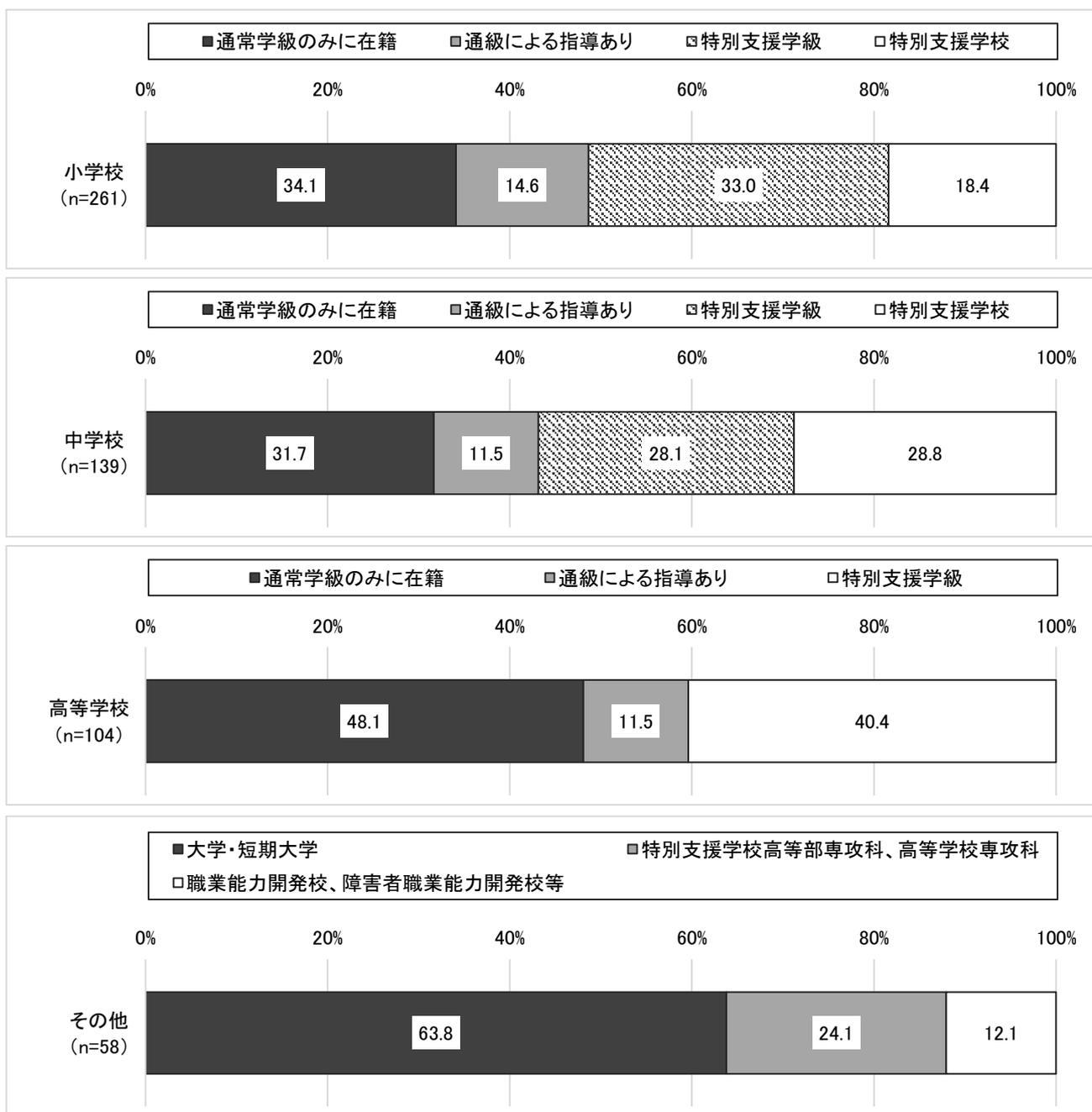
【図表 33】 過去1年間の平日・日中の居場所(年齢別)



(9) 学校の種別（7～25歳の在学中の方）

在籍している学校の種別では、小学校・中学校・高等学校のどの段階においても「通常学級のみ」に在籍」が3割を超えた。【図表 34】

【図表 34】 学校の種別



障害の種別でみると、小学校・中学校・高等学校ではいずれも「知的障害」の割合が最も高かった。また、通常学級のみで在籍している割合は「精神障害」が3割を超え最も高く、特別支援学級及び特別支援学校に在籍している割合は「知的障害」が7割を超えた。【図表 35】

【図表 35】 学校の種別(障害種別)[複数回答]

(単位:%)

	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語機能障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	その他
<b>&lt;学校種別&gt;</b>								
小学校(n=261)	8.0	9.2	5.0	13.8	6.1	47.5	20.7	3.4
中学校(n=139)	5.0	8.6	5.0	13.7	5.0	57.6	20.1	2.2
高等学校(n=104)	4.8	9.6	0.0	5.8	6.7	49.0	35.6	1.0
その他(n=58)	6.9	8.6	3.4	15.5	12.1	39.7	34.5	3.4

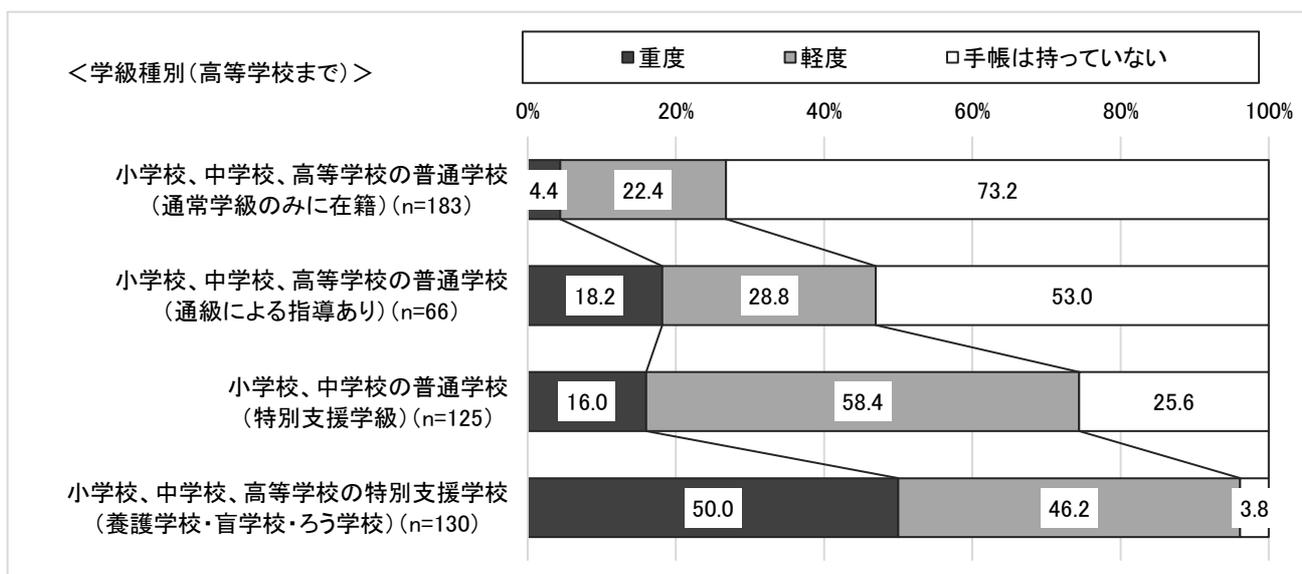
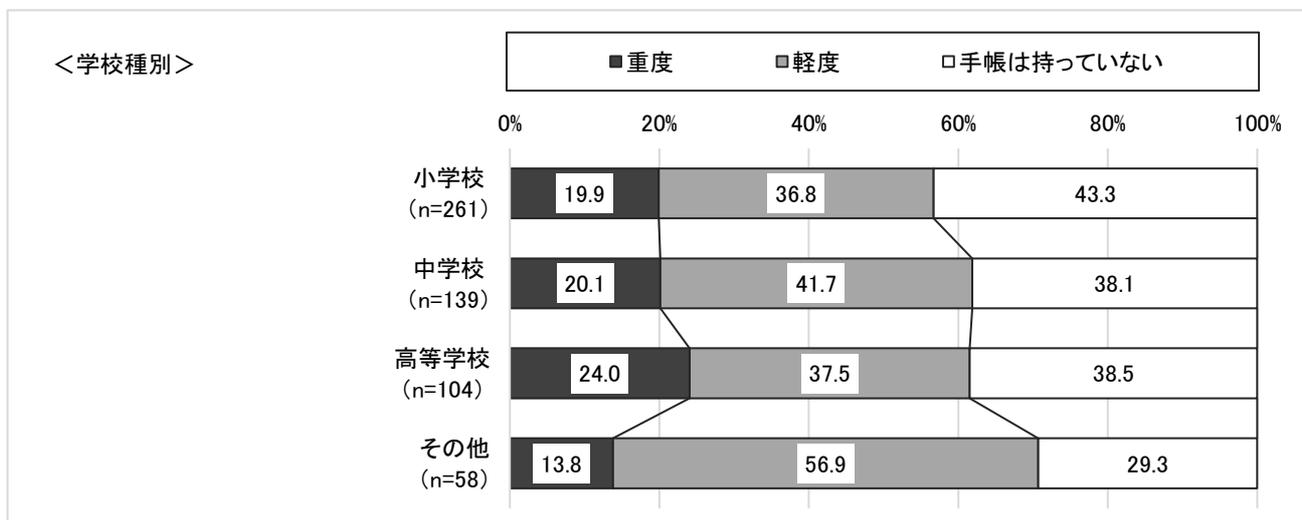
**<学級種別(高等学校まで)>**

小学校、中学校、高等学校の普通学校 (通常学級のみで在籍)(n=183)	9.3	13.7	3.8	4.4	11.5	27.3	36.1	1.1
小学校、中学校、高等学校の普通学校 (通級による指導あり)(n=66)	12.1	9.1	9.1	22.7	3.0	12.1	39.4	6.1
小学校、中学校の普通学校 (特別支援学級)(n=125)	4.0	3.2	3.2	10.4	3.2	72.8	14.4	3.2
小学校、中学校、高等学校の特別支援学校 (養護学校・盲学校・ろう学校)(n=130)	2.3	8.5	2.3	19.2	2.3	81.5	6.9	2.3

障害の程度別でみると、特別支援学校では「重度」（50.0％）の割合が最も高く、特別支援学級では「軽度」（58.4％）の割合が最も高かった。通常学級においては「重度」（4.4％）の割合が最も低かった。

【図表 36】

【図表 36】 学校の種別（障害の程度別）

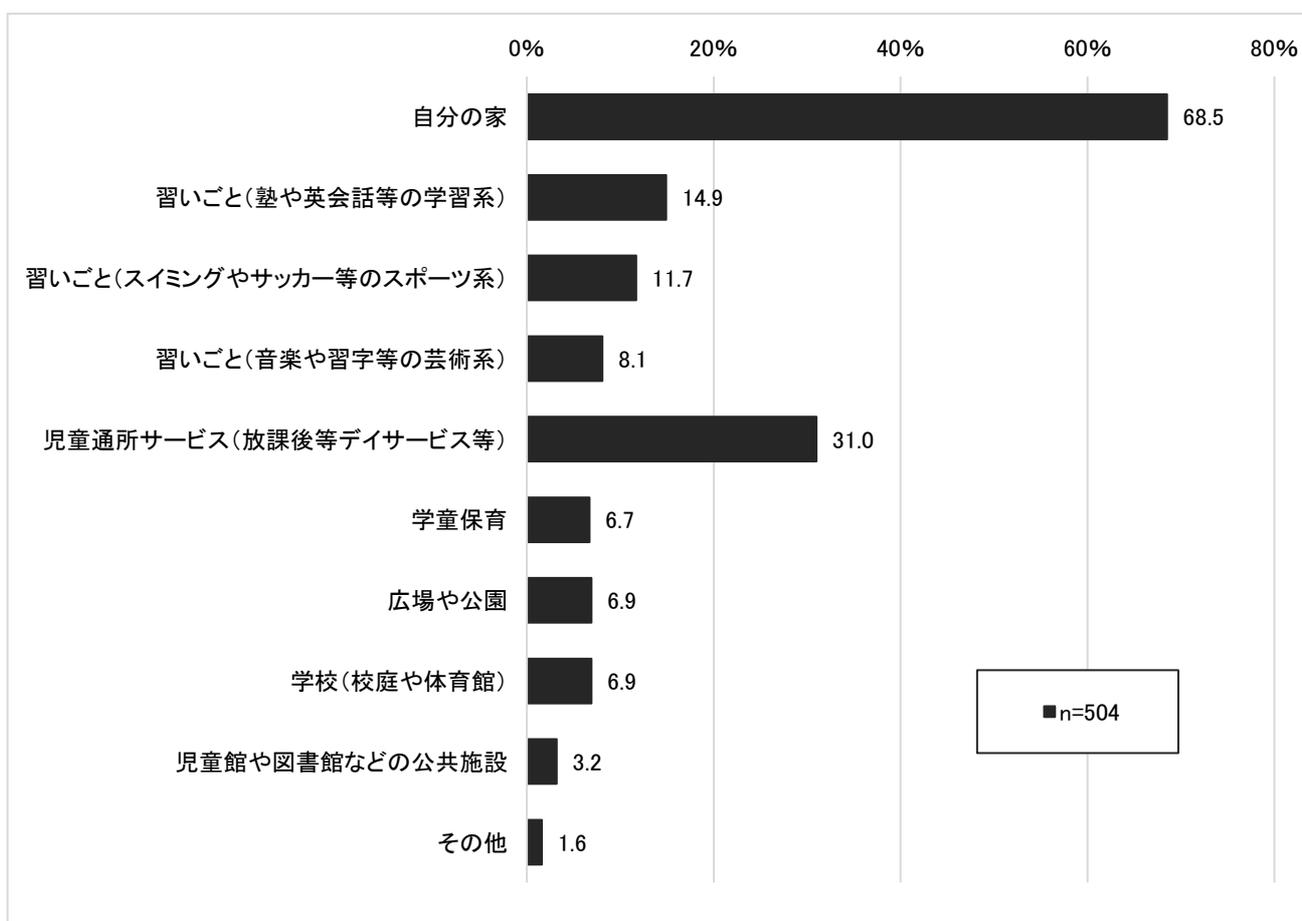


(10) 放課後の居場所（在学中、高校生まで）

放課後の居場所について、「自分の家」が 68.5%で最も高く、次いで「児童通所サービス（放課後等デイサービス等）」（31.0%）、「習いごと（塾や英会話等の学習系）」（14.9%）の順であった。

【図表 37】

【図表 37】 放課後の居場所[複数回答]



障害種別にみると、いずれの障害も「自分の家」が最も大きな割合を占めた。「肢体不自由」と「知的障害」については、「児童通所サービス（放課後等デイサービス等）」で4割を超え、他の障害種別より高い値であった。【図表 38】

【図表 38】 放課後の居場所(障害種別)[複数回答]

(単位:%)

	自分の家	学習いごと（塾や英会話等の学習系）	習いごと（スイミングやサッカー等のスポーツ系）	芸術系いごと（音楽や習字等の芸術系）	児童通所サービス等（放課後等デイサービス等）	学童保育	広場や公園	学校（校庭や体育館）	児童館や図書館などの公共施設	その他
視覚障害(n=33)	75.8	15.2	9.1	12.1	3.0	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0
聴覚・平衡機能障害(n=46)	65.2	30.4	28.3	19.6	8.7	8.7	10.9	8.7	4.3	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害(n=20)	70.0	5.0	25.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	5.0
肢体不自由(n=61)	55.7	19.7	9.8	27.9	44.3	18.0	19.7	3.3	3.3	0.0
内部障害(n=30)	70.0	33.3	13.3	10.0	16.7	3.3	6.7	6.7	3.3	3.3
知的障害(n=255)	64.7	7.5	7.5	2.0	48.2	6.3	4.7	6.3	3.1	0.4
精神障害(n=119)	79.8	14.3	9.2	5.9	16.0	4.2	3.4	9.2	4.2	5.0
その他(n=13)	38.5	7.7	23.1	7.7	30.8	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0

車いすの要／不要別にみると、いずれも「自分の家」が5割以上であった。「必要とする」では、「自分の家」に次いで「児童通所サービス（放課後等デイサービス等）」（53.5%）が5割を超えており、「必要としない」と比較して高かった。【図表 39】

【図表 39】 放課後の居場所(日常生活で車いす必要／不要)[複数回答]

(単位:%)

	自分の家	学習いごと（塾や英会話等の学習系）	習いごと（スイミングやサッカー等のスポーツ系）	芸術系いごと（音楽や習字等の芸術系）	児童通所サービス等（放課後等デイサービス等）	学童保育	広場や公園	学校（校庭や体育館）	児童館や図書館などの公共施設	その他
n=61(肢体不自由)										
必要とする(n=43)	55.8	23.3	9.3	25.6	53.5	16.3	23.3	4.7	4.7	0.0
必要としない(n=18)	55.6	11.1	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0

障害の程度別では、「軽度」と「障害者手帳は持っていない」でいずれも「自分の家」の割合が最も高かった。「重度」では、「児童通所サービス（放課後等デイサービス等）」の割合が最も高く6割となった。【図表 40】

【図表 40】 放課後の居場所(障害の程度別)[複数回答]

	自分の家	学習いごと (塾や英会話等の 学習系)	習いごと (スイミングや サッカー等の スポーツ系)	習いごと (音楽や習字等の 芸術系)	児童通所サービス (放課後 等デイサービス等)	学童保育	広場や公園	学校 (校庭や体育館)	児童館や図書館などの公共 施設	その他
重度(n=105)	54.3	11.4	5.7	11.4	60.0	8.6	10.5	2.9	0.0	1.0
軽度(n=193)	68.9	9.3	10.4	6.7	34.7	6.7	5.7	6.2	2.6	2.1
障害者手帳は持っていない (n=206)	75.2	21.8	16.0	7.8	12.6	5.8	6.3	9.7	5.3	1.5

学校種別では、いずれも「自分の家」の割合が最も高かった。学級種別でみると、特別支援学校で「児童通所サービス（放課後等デイサービス等）」（62.3%）の割合が高く、「自分の家」（53.8%）を超えた。【図表 41】

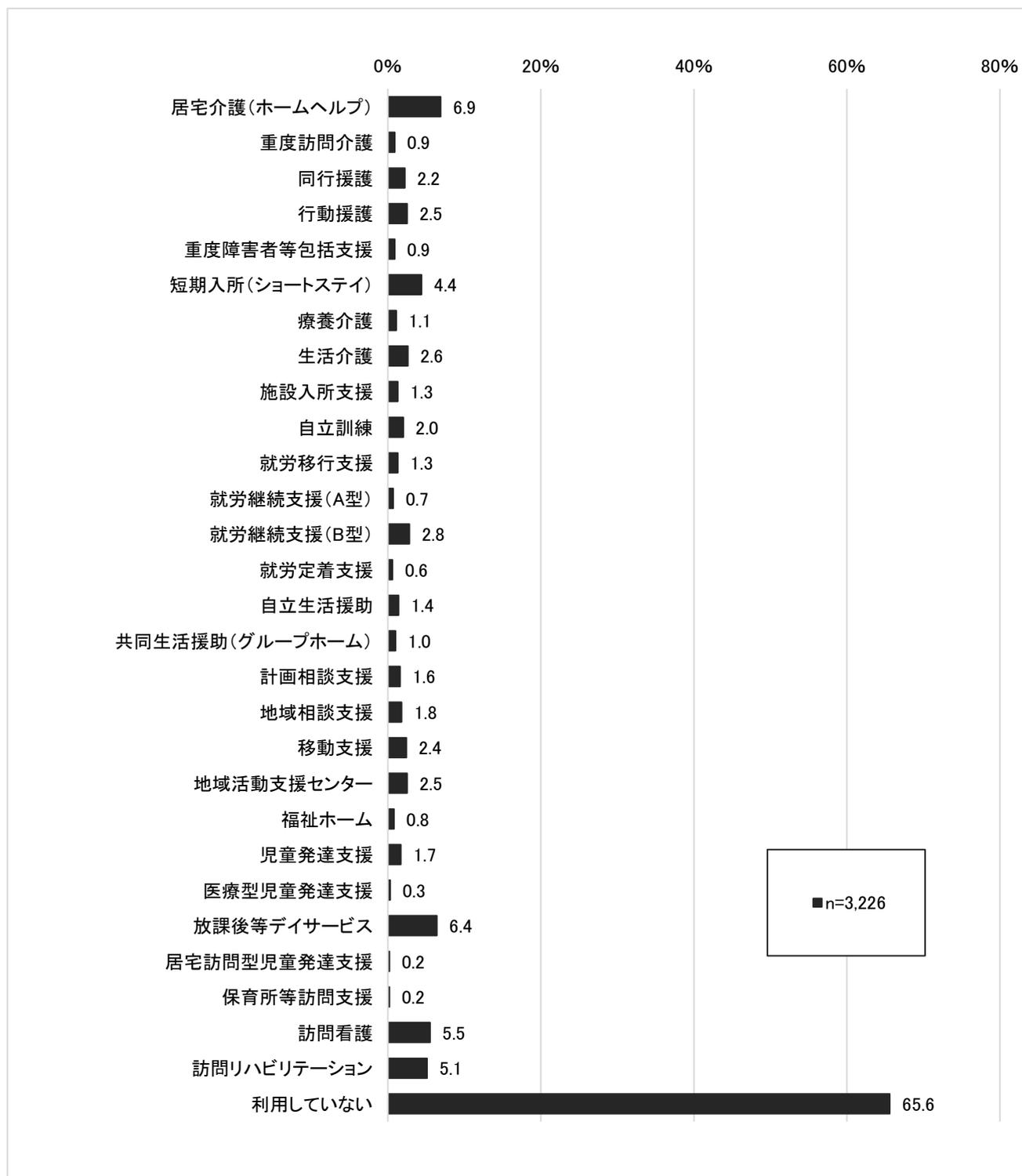
【図表 41】 放課後の居場所(学校種別)[複数回答]

	自分の家	学習いごと (塾や英会話等の 学習系)	習いごと (スイミングや サッカー等の スポーツ系)	習いごと (音楽や習字等の 芸術系)	児童通所サービス (放課後 等デイサービス等)	学童保育	広場や公園	学校 (校庭や体育館)	児童館や図書館などの公共 施設	その他
<学校種別>										
小学校(n=261)	66.3	16.9	15.7	10.0	34.9	11.5	10.7	3.8	3.4	0.8
中学校(n=139)	67.6	12.2	11.5	7.2	29.5	2.2	1.4	10.1	1.4	0.7
高等学校(n=104)	75.0	13.5	1.9	4.8	23.1	1.0	4.8	10.6	4.8	4.8
<学級種別(高等学校まで)>										
小学校、中学校、高等学校の普通学校 (通常学級のみ)に在籍(n=183)	81.4	23.5	14.8	9.3	4.9	4.4	7.7	9.3	4.4	2.7
小学校、中学校、高等学校の普通学校 (通級による指導あり)(n=66)	57.6	28.8	15.2	16.7	25.8	16.7	13.6	7.6	3.0	1.5
小学校、中学校の普通学校 (特別支援学級)(n=125)	70.4	6.4	12.0	6.4	39.2	8.8	6.4	7.2	3.2	0.8
小学校、中学校、高等学校の特別支援学校 (養護学校・盲学校・ろう学校)(n=130)	53.8	3.8	5.4	3.8	62.3	3.1	3.1	3.1	1.5	0.8

(11) 障害福祉サービスの利用状況

障害福祉サービスの利用状況については、「利用していない」が 65.6%と最も高く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」（6.9%）、「放課後等デイサービス」（6.4%）の順であった。【図表 42】

【図表 42】 障害福祉サービスの利用状況[複数回答]



年齢別にみると、7歳～17歳では「放課後等デイサービス」が28.2%と、「利用していない」(53.6%)に次いで2番目に高かった。また、70歳代以上では、「居宅介護(ホームヘルプ)」(14.0%)「訪問看護」(12.3%)「訪問リハビリテーション」(11.2%)がそれぞれ1割を超え、他の年齢層と比べ高い数値となった。【図表43】

【図表43】障害福祉サービスの利用状況(年齢別)[複数回答]

	居宅介護(ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	短期入所(ショートステイ)	療養介護	生活介護	施設入所支援	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	就労定着支援	自立生活援助
7～17歳(n=507)	4.1	0.8	3.4	3.4	1.0	5.9	1.2	1.0	0.6	0.8	0.6	1.0	0.2	0.0	1.0
18～19歳(n=33)	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
20歳代(n=273)	5.5	0.4	1.5	4.4	0.7	5.1	0.4	3.3	1.5	2.2	5.5	1.5	8.4	2.2	3.3
30歳代(n=336)	6.5	2.7	1.2	3.3	1.2	3.3	0.3	2.1	0.3	3.3	2.1	2.4	7.1	1.8	2.4
40歳代(n=377)	4.0	1.3	2.4	1.6	1.9	0.8	1.3	1.9	1.6	1.1	2.4	1.1	4.8	1.3	0.5
50歳代(n=588)	5.1	0.3	1.5	1.5	0.5	1.5	0.7	2.2	1.0	1.7	1.0	0.0	2.0	0.3	1.0
60歳代(n=454)	5.9	0.7	1.1	0.9	0.4	2.4	0.7	2.4	1.1	1.3	0.0	0.2	1.8	0.0	2.0
70歳代以上(n=658)	14.0	0.8	3.3	3.2	0.8	9.4	2.0	4.9	2.7	3.6	0.3	0.2	0.0	0.0	0.9
18歳以上(n=2,719)	7.4	0.9	1.9	2.4	0.9	4.1	1.0	2.9	1.5	2.2	1.4	0.7	3.2	0.7	1.5

	共同生活援助(グループホーム)	計画相談支援	地域相談支援	移動支援	地域活動支援センター	福祉ホーム	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	訪問看護	訪問リハビリテーション	利用していない
7～17歳(n=507)	0.4	2.8	2.4	3.2	2.4	1.0	9.3	1.6	28.2	1.4	1.0	2.2	2.2	53.6
18～19歳(n=33)	0.0	9.1	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	57.6
20歳代(n=273)	1.5	2.6	2.6	4.0	2.9	0.4	1.5	0.0	1.8	0.0	0.0	2.6	1.5	62.6
30歳代(n=336)	3.0	2.7	2.4	3.9	3.6	1.2	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	3.9	2.7	66.1
40歳代(n=377)	0.8	1.6	0.8	1.9	3.2	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	4.8	69.0
50歳代(n=588)	0.7	1.0	1.2	1.7	1.5	0.3	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	4.3	4.4	79.4
60歳代(n=454)	0.4	0.4	0.9	1.8	1.5	0.9	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	4.4	5.1	77.5
70歳代以上(n=658)	1.2	0.6	2.3	1.7	3.2	0.8	0.2	0.0	6.7	0.2	0.0	12.3	11.2	53.8
18歳以上(n=2,719)	1.1	1.4	1.7	2.2	2.5	0.7	0.3	0.1	2.4	0.0	0.0	6.2	5.7	67.9

障害種別では、いずれの障害も「利用していない」が最も高い割合であった。「知的障害」では「放課後等デイサービス」(22.8%)の割合が高い傾向にあった。【図表 44】

【図表 44】障害福祉サービスの利用状況(障害種別)[複数回答]

(単位:%)

	居宅介護(ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	短期入所(ショートステイ)	療養介護	生活介護	施設入所支援	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	就労定着支援	自立生活援助
視覚障害(n=247)	8.5	0.8	4.0	3.2	1.2	3.2	2.0	2.0	1.6	0.8	1.2	0.4	0.4	0.4	2.4
聴覚・平衡機能障害(n=300)	8.0	1.0	1.7	3.7	1.0	6.7	1.3	2.3	1.3	2.3	1.0	0.7	0.3	0.3	1.7
音声・言語・そしやく機能障害(n=135)	14.8	2.2	5.2	3.7	3.0	14.1	1.5	5.2	7.4	3.0	0.0	0.7	0.7	0.7	3.0
肢体不自由(n=1,033)	13.8	1.9	2.7	3.6	1.5	8.3	2.3	6.0	2.7	3.6	0.6	0.3	1.3	0.1	1.3
内部障害(n=619)	4.4	0.3	0.8	1.6	0.5	1.5	0.6	1.3	0.3	1.1	0.5	0.3	1.6	0.0	1.1
知的障害(n=552)	5.4	1.3	3.3	4.9	0.9	9.2	0.2	3.6	1.6	2.2	1.4	1.4	7.4	1.1	1.6
精神障害(n=824)	4.9	0.2	1.1	1.1	0.1	2.4	0.7	1.1	0.7	1.2	3.2	1.2	4.2	1.5	2.5
その他(n=68)	13.2	0.0	4.4	5.9	0.0	5.9	1.5	2.9	0.0	4.4	1.5	0.0	1.5	0.0	1.5

	共同生活援助(グループホーム)	計画相談支援	地域相談支援	移動支援	地域活動支援センター	福祉ホーム	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	訪問看護	訪問リハビリテーション	利用していない
視覚障害(n=247)	0.0	0.8	3.2	2.0	2.8	2.0	1.6	0.0	3.2	0.0	0.0	3.2	3.6	69.2
聴覚・平衡機能障害(n=300)	0.3	0.7	3.0	1.0	1.7	1.3	0.3	0.0	3.3	0.0	0.0	3.0	4.3	73.3
音声・言語・そしやく機能障害(n=135)	2.2	0.7	5.2	4.4	2.2	0.7	1.5	0.0	5.2	0.0	0.0	12.6	17.8	45.9
肢体不自由(n=1,033)	1.1	1.4	2.4	3.3	2.9	1.6	1.1	0.4	6.8	0.5	0.2	10.6	13.3	46.0
内部障害(n=619)	0.6	0.6	1.1	2.3	1.5	0.3	0.3	0.0	1.6	0.2	0.0	3.6	2.6	82.1
知的障害(n=552)	3.1	4.0	2.5	5.6	2.7	0.5	6.7	0.9	22.8	0.5	0.4	3.6	1.8	43.3
精神障害(n=824)	1.0	1.9	1.1	1.1	3.5	0.1	1.1	0.2	3.5	0.0	0.1	6.3	1.6	71.5
その他(n=68)	1.5	4.4	4.4	5.9	5.9	0.0	1.5	1.5	7.4	0.0	0.0	10.3	4.4	47.1

障害の程度別にみると、いずれの程度でも「利用していない」の割合が最も高く、「障害者手帳は持っていない」(78.4%)、次いで「軽度」(61.5%)、「重度」(54.6%)の順であった。【図表 45】

【図表 45】障害福祉サービスの利用状況(障害の程度別)[複数回答]

(単位:%)

	居宅介護(ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	短期入所(ショートステイ)	療養介護	生活介護	施設入所支援	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援(A型)	就労継続支援(B型)	就労定着支援	自立生活援助
重度(n=810)	10.6	2.5	3.0	4.1	1.5	7.7	0.7	5.1	3.1	2.6	0.9	0.1	3.0	0.1	1.2
軽度(n=1,293)	6.9	0.5	2.8	2.6	0.9	3.9	1.6	2.2	0.8	2.2	2.6	1.3	4.9	1.2	1.9
障害者手帳は持っていない(n=1,123)	4.2	0.2	0.9	1.3	0.5	2.5	0.6	1.4	0.7	1.4	0.2	0.4	0.1	0.2	0.9

	共同生活援助(グループホーム)	計画相談支援	地域相談支援	移動支援	地域活動支援センター	福祉ホーム	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	訪問看護	訪問リハビリテーション	利用していない
重度(n=810)	1.4	1.9	1.5	5.3	2.7	1.2	1.5	0.1	10.5	0.5	0.2	8.1	8.8	54.6
軽度(n=1,293)	1.5	2.3	1.9	1.7	2.9	1.0	2.1	0.5	6.0	0.2	0.2	5.6	3.0	61.5
障害者手帳は持っていない(n=1,123)	0.3	0.5	1.9	1.0	1.9	0.2	1.4	0.3	4.1	0.2	0.1	3.6	4.9	78.4

平日・日中の居場所別にみると、「利用していない」との回答は「職場（一般企業など）」（85.9%）、「自分の家」（69.4%）などで高くなった。「職場（福祉的就労の施設）」では「就労継続支援（B型）」が52.0%で、約半数となった。【図表 46】

【図表 46】障害福祉サービスの利用状況(平日・日中の居場所別)(18歳以上)[複数回答]

	居宅介護（ホームヘルプ）	重度訪問介護	同行支援	行動支援	重度障害者等包括支援	短期入所（ショートステイ）	療養介護	生活介護	施設入所支援	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）	就労定着支援	自立生活援助
自分の家(n=1,694)	8.6	1.0	1.8	1.8	0.6	3.6	0.9	2.5	0.4	2.3	0.9	0.2	1.7	0.2	1.5
職場（一般企業など）(n=666)	3.5	0.6	1.2	0.6	0.6	0.8	0.5	0.5	0.3	0.8	0.9	0.6	0.5	1.5	0.8
職場（福祉的就労の施設）(n=100)	4.0	1.0	5.0	6.0	1.0	7.0	1.0	5.0	0.0	1.0	8.0	9.0	52.0	4.0	1.0
学校(n=25)	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
通所施設（生活介護、デイケアなど）(n=129)	19.4	2.3	3.9	13.2	5.4	24.8	1.6	14.0	5.4	6.2	4.7	0.0	2.3	0.0	4.7
入所施設(n=67)	3.0	0.0	7.5	7.5	1.5	1.5	7.5	14.9	34.3	7.5	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0
その他(n=38)	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	2.6	2.6	2.6	2.6	0.0

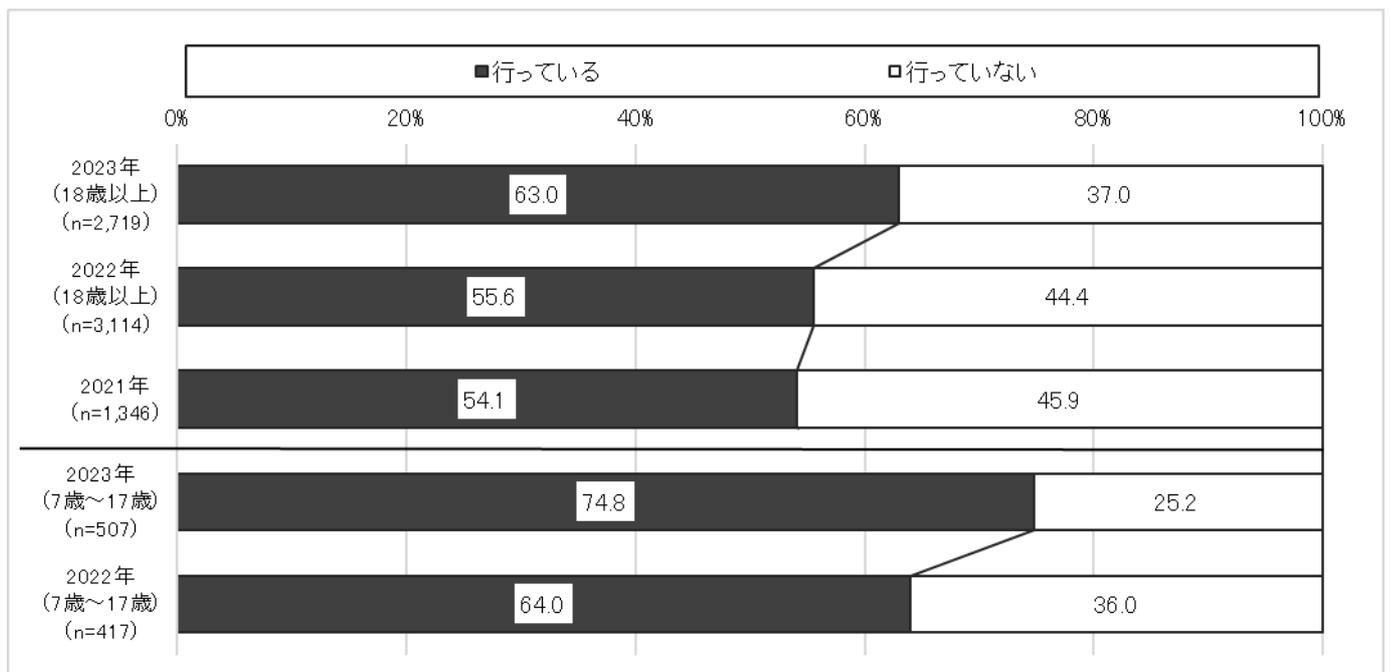
	共同生活援助（グループホーム）	計画相談支援	地域相談支援	移動支援	地域活動支援センター	福祉ホーム	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	居宅訪問型児童発達支援	保育所等訪問支援	訪問看護	訪問リハビリテーション	利用していない
自分の家(n=1,694)	0.5	1.1	1.8	1.9	2.4	0.6	0.1	0.1	2.8	0.1	0.0	8.4	7.0	69.4
職場（一般企業など）(n=666)	0.3	0.8	1.1	1.2	1.7	0.3	0.2	0.2	0.3	0.0	0.0	0.9	1.5	85.9
職場（福祉的就労の施設）(n=100)	6.0	7.0	3.0	10.0	9.0	0.0	2.0	0.0	1.0	0.0	0.0	3.0	0.0	17.0
学校(n=25)	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.0
通所施設（生活介護、デイケアなど）(n=129)	5.4	4.7	3.1	7.0	4.7	1.6	2.3	0.0	7.8	0.0	0.0	10.1	14.7	16.3
入所施設(n=67)	9.0	0.0	0.0	1.5	1.5	9.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	3.0	4.5	28.4
その他(n=38)	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	5.3	7.9	60.5

## 2.2 スポーツ・運動の実施状況

### (1) 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無

18歳以上の過去1年間のスポーツや運動の実施の有無については、「行っている」が63.0%であり、昨年度と比較して7.4ポイント増加した。この3年間においては増加傾向となっている。【図表47】

【図表47】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無

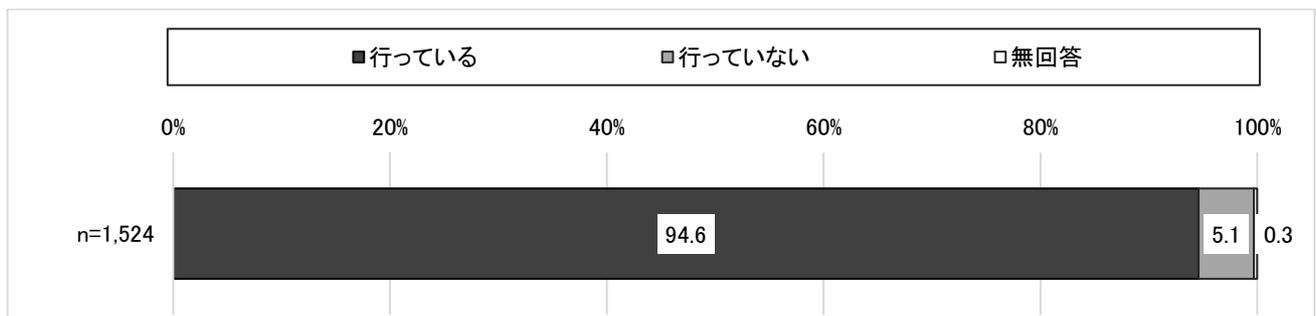


注：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。

なお、18歳以上の都民全般を対象に実施している『都民のスポーツ活動に関する実態調査』（東京都生活文化スポーツ局:令和6年3月）では、年1日以上スポーツ・運動実施者の割合は94.6%であった。【図表48】

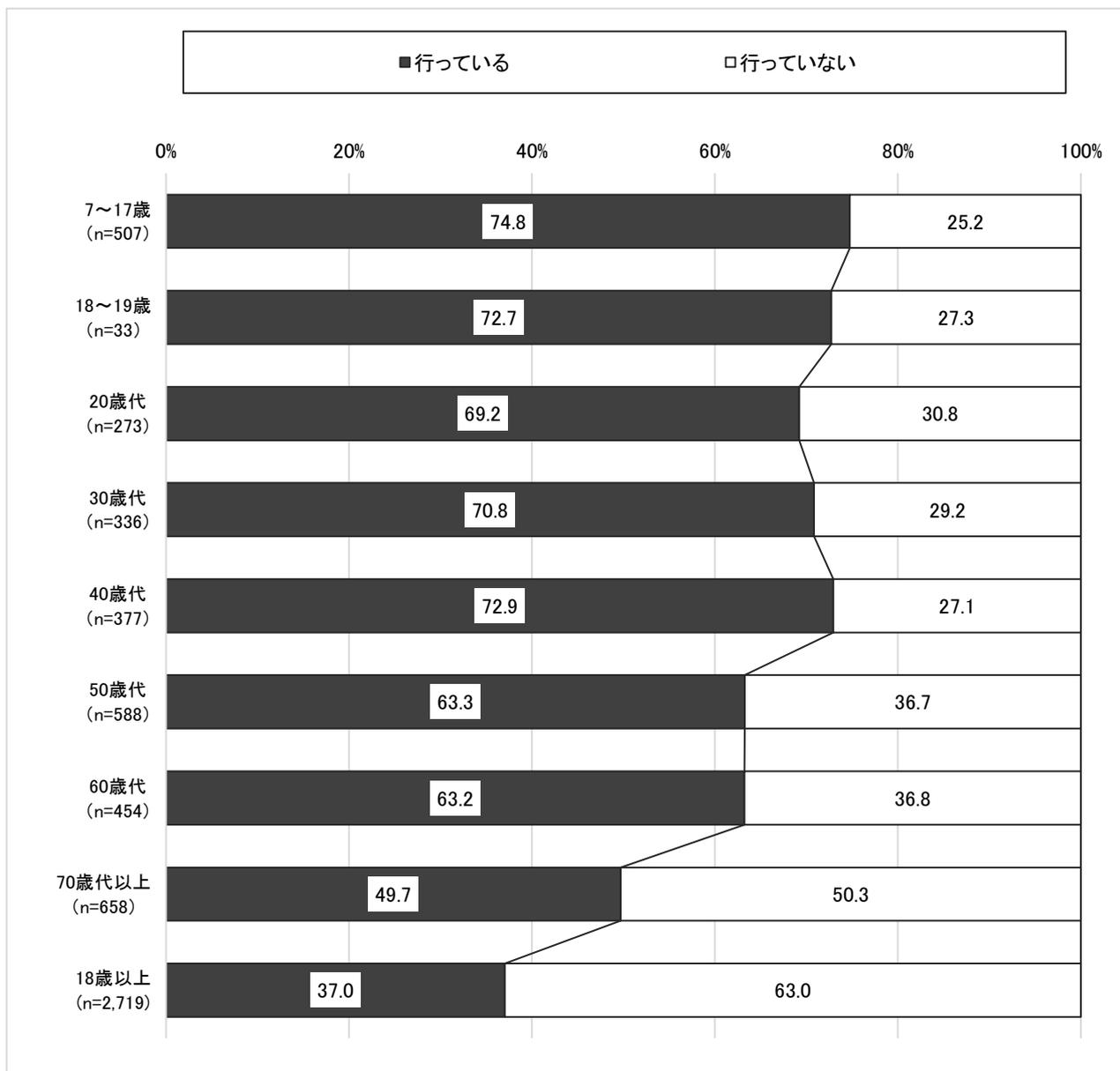
【図表48】過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無

『都民のスポーツ活動に関する実態調査』（東京都生活文化スポーツ局:令和6年3月）



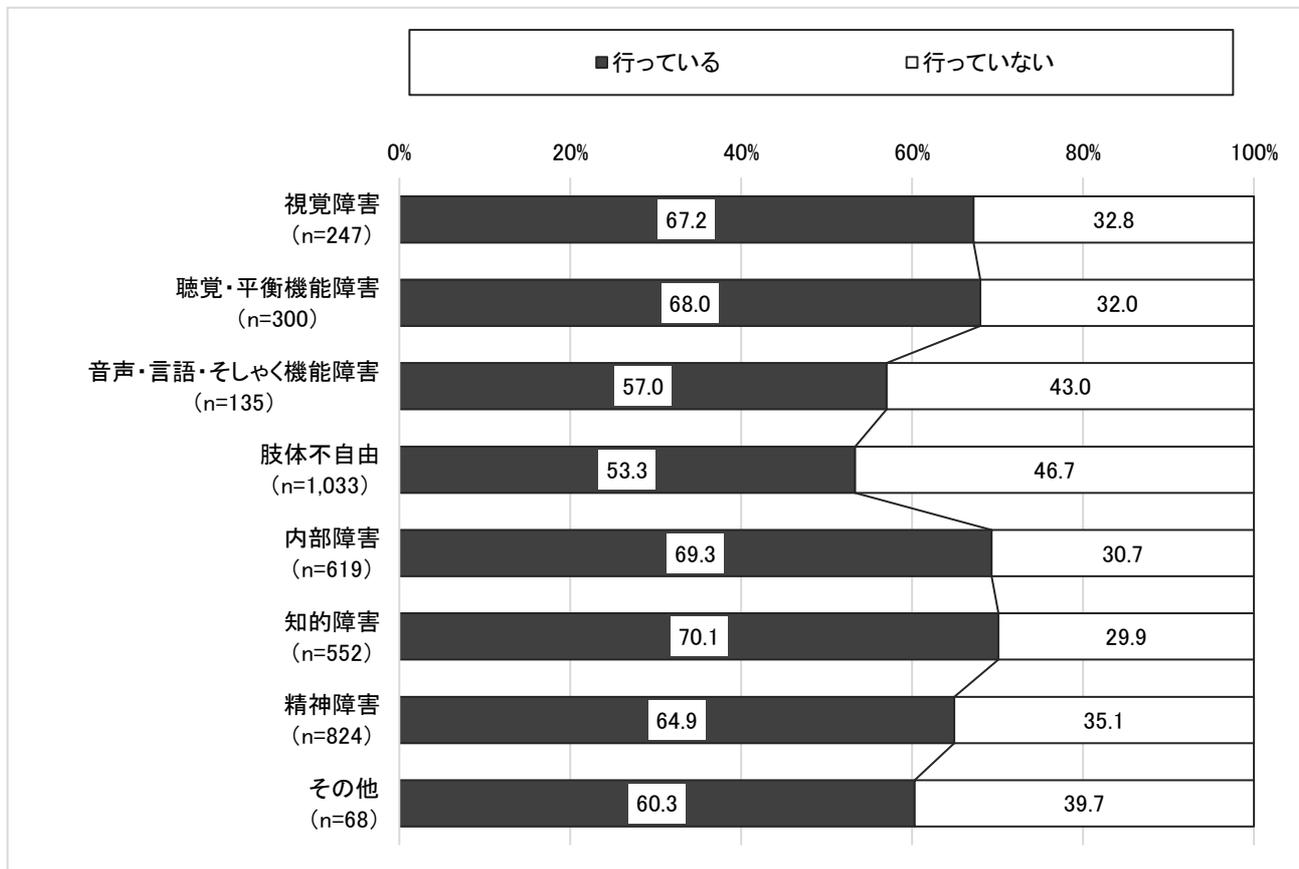
年齢別にみると、「行っている」の割合は「7～17歳」で74.8%と最も高く、次いで「40歳代」(72.9%)、「18～19歳代」(72.7%)の順であった。「70歳代以上」は49.7%と最も低かった。【図表49】

【図表49】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(年齢別)



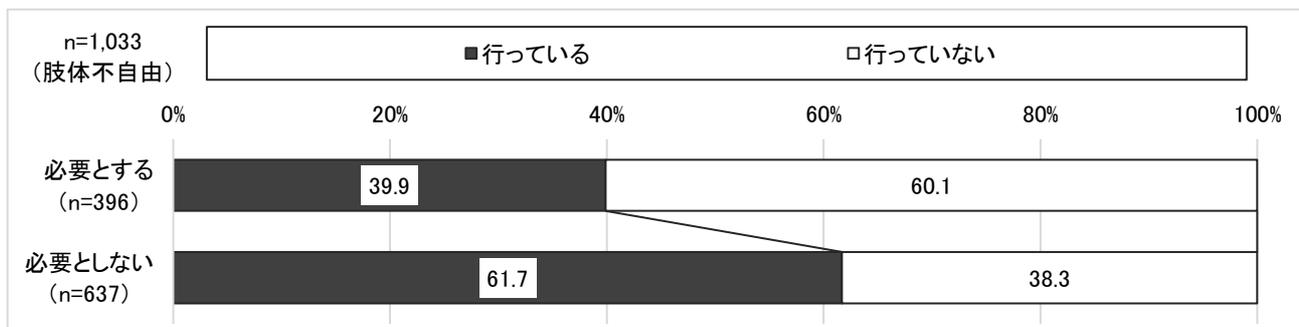
障害種別にみると、「行っている」の割合は「知的障害」で70.1%と最も高く、「肢体不自由」で54.2%と最も低かったが、いずれの障害種別も5割を超えた。【図表 50】

【図表 50】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(障害種別)



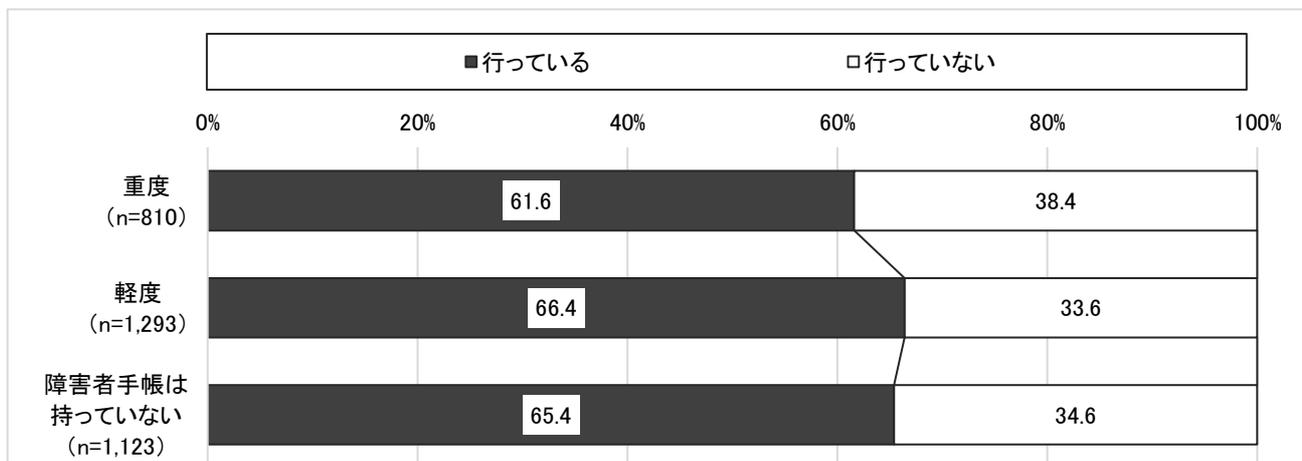
日常生活で車いす必要/不要別にみると、「行っている」は「必要とする」で39.9%、「必要としない」では61.7%となり、21.8ポイントの差があった。【図表 51】

【図表 51】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(日常生活で車いす必要/不要別)



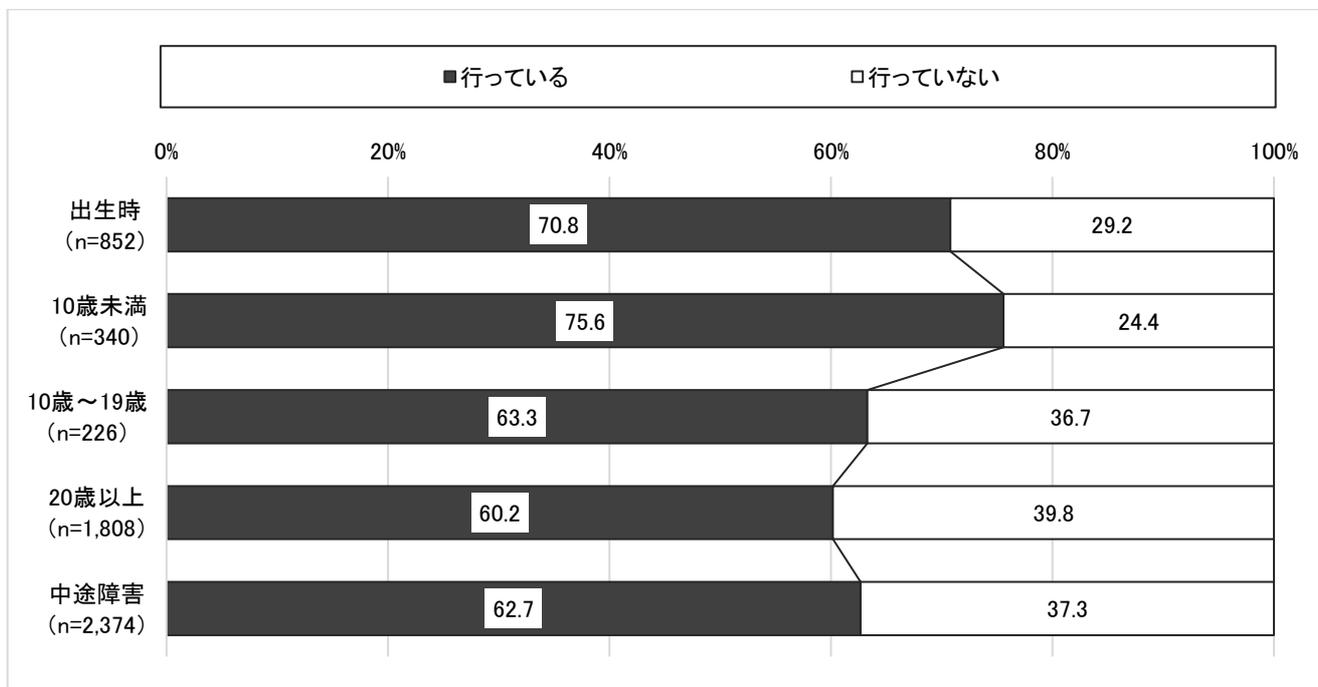
障害の程度別では、「行っている」の割合が「重度」（61.6%）、「軽度」（66.4%）、「障害者手帳は持っていない」（65.4%）といずれも6割を超えた。【図表 52】

【図表 52】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(障害の程度別)



障害の発生年齢別では、「行っている」の割合が「出生時」では70.8%となり、「中途障害」の62.7%よりも高かった。【図表 53】

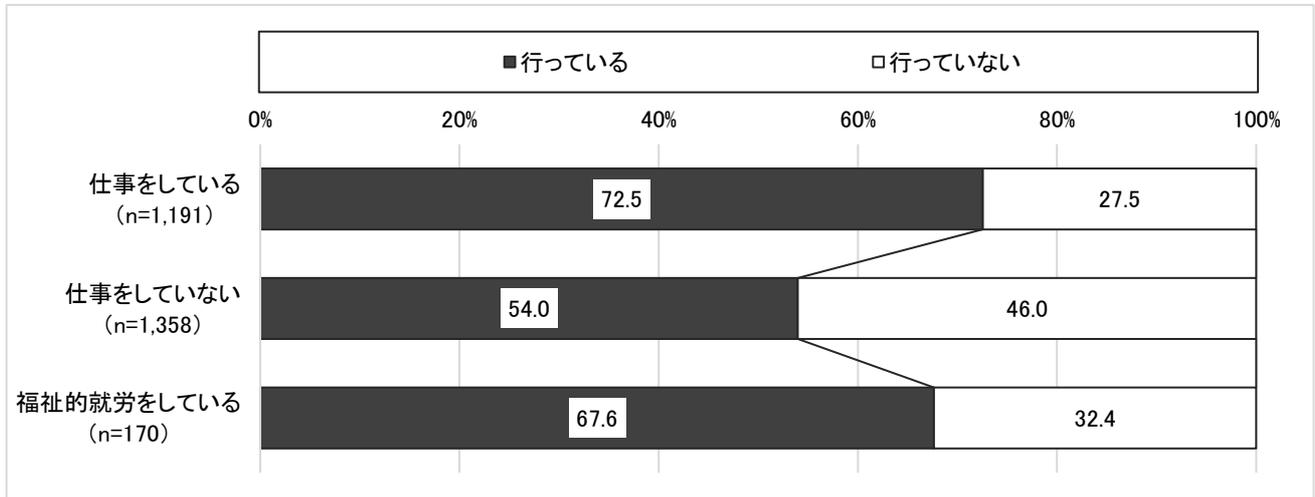
【図表 53】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(障害発生時の年齢別)



注：「中途障害」は「10歳未満」、「10歳～19歳」、「20歳以上」の総和を示す。

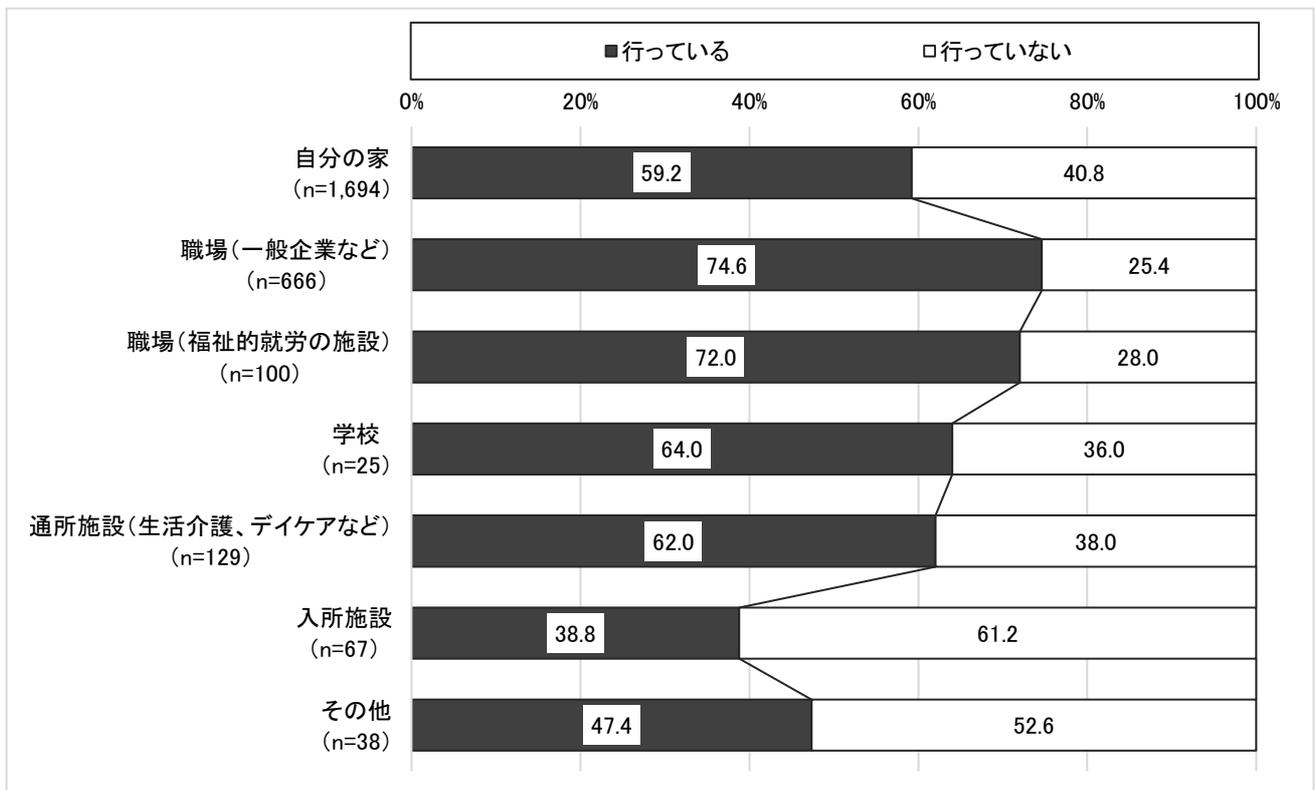
就業状況別にみると、「行っている」の割合は「仕事をしている」（72.5%）が最も高く、次いで「福祉的就労をしている」（67.6%）、「仕事をしていない」（54.0%）の順であった。【図表 54】

【図表 54】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(就業状況別)(18歳以上)



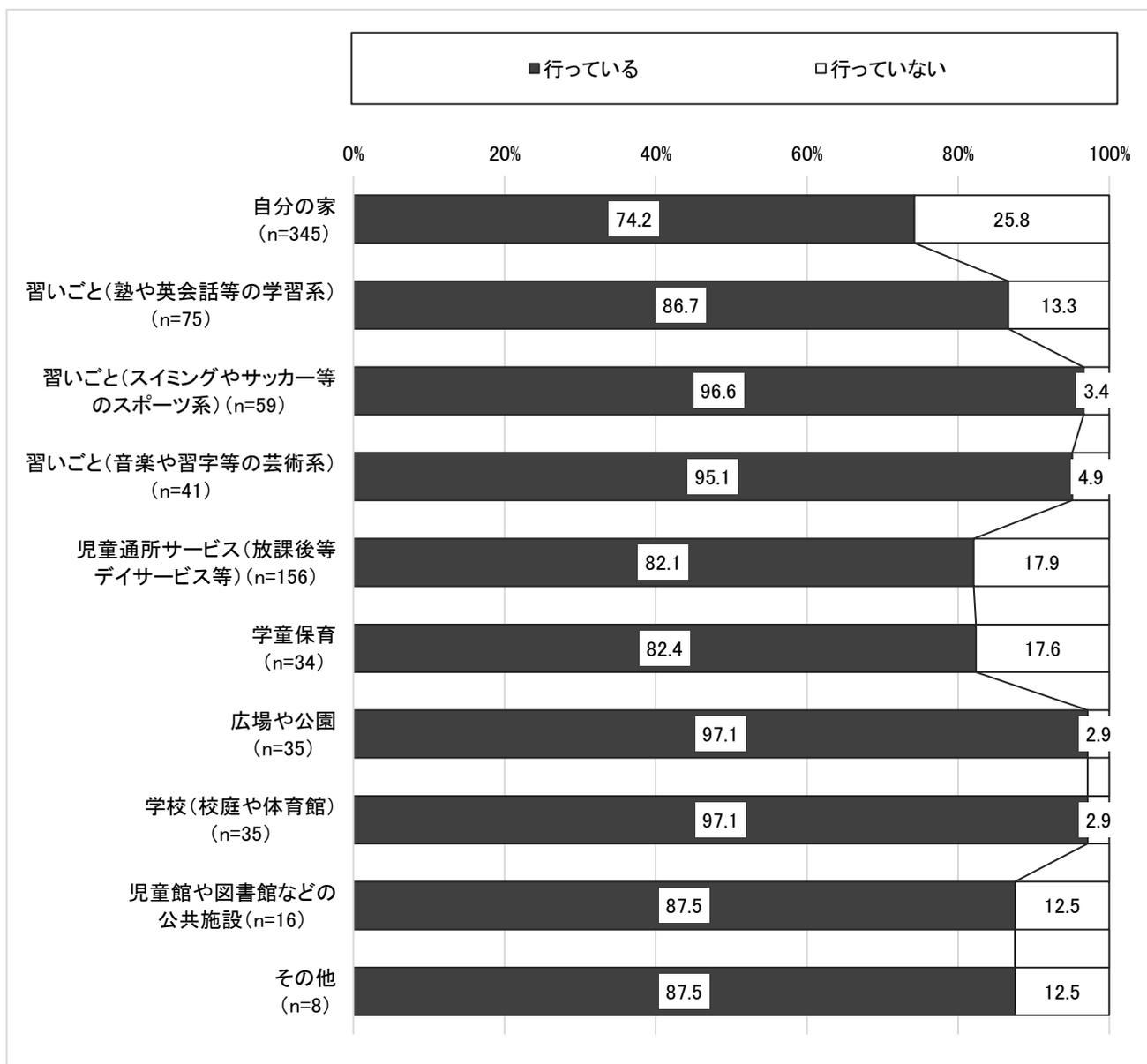
平日・日中の居場所別にみると、「行っている」の割合は「職場（一般企業など）」（74.6%）が最も高く、次いで「職場（福祉的就労の施設）」（72.0%）「学校」（64.0%）、の順であった。【図表 55】

【図表 55】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無(平日・日中の居場所別)(18歳以上)



放課後の居場所別についてみると、「行っている」の割合は「広場や公園」（97.1%）、「学校（校庭や体育館）」（97.1%）、「習いごと（スイミングやサッカー等のスポーツ系）」（96.6%）、「習いごと（音楽や習字等の芸術系）」（95.1%）で9割を超えた。【図表 56】

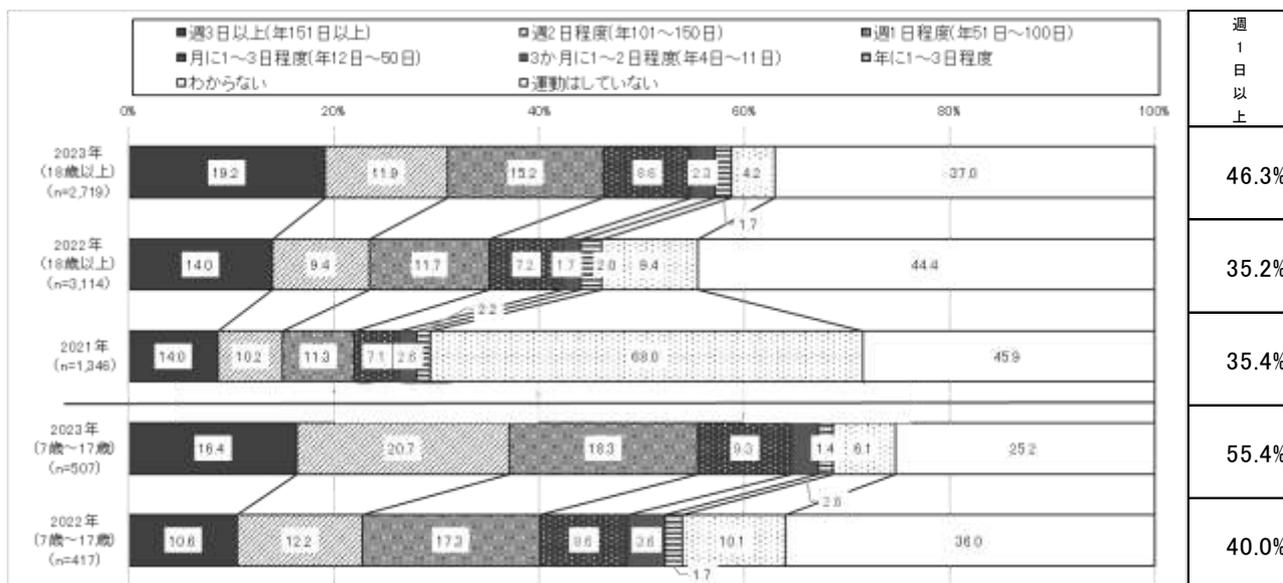
【図表 56】 過去1年間のスポーツ・運動の実施の有無（放課後の居場所別）（7～17歳）



## (2) 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数

過去1年間にスポーツや運動を行った日数について、18歳以上では「週3日以上」が19.2%、「週2日程度」が11.9%、週1日程度が15.2%であった。週1日以上の実施者は46.3%であった。また、7～17歳の週1日以上の実施者は55.4%であった。【図表57】

【図表57】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数



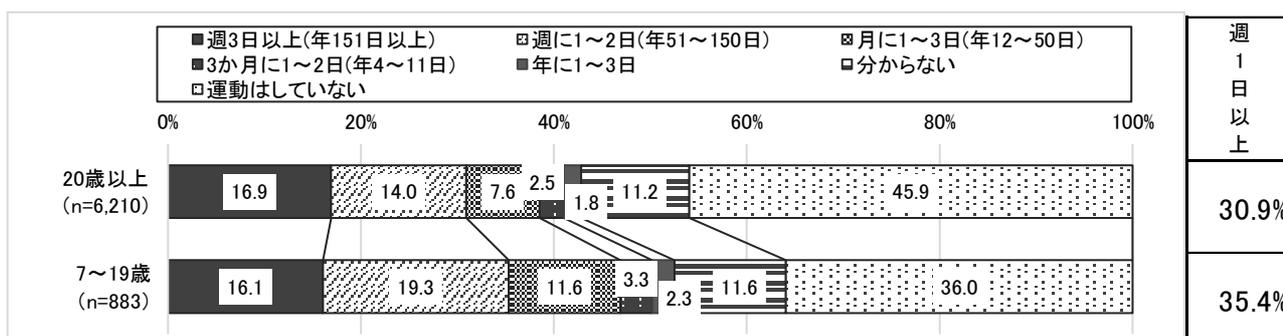
注：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。

※設問8で「この1年間に運動・スポーツは行わなかった」と回答のあった数値を「運動はしていない」と整理している（以下、同様）。

スポーツ庁が全国の障害児・者を対象に実施している『障害者スポーツ推進プロジェクト（障害児・者のスポーツライフに関する調査研究）』（スポーツ庁：令和5年3月）では、7～19歳では週1日以上の実施者は35.4%、20歳以上では30.9%であった。【図表58】

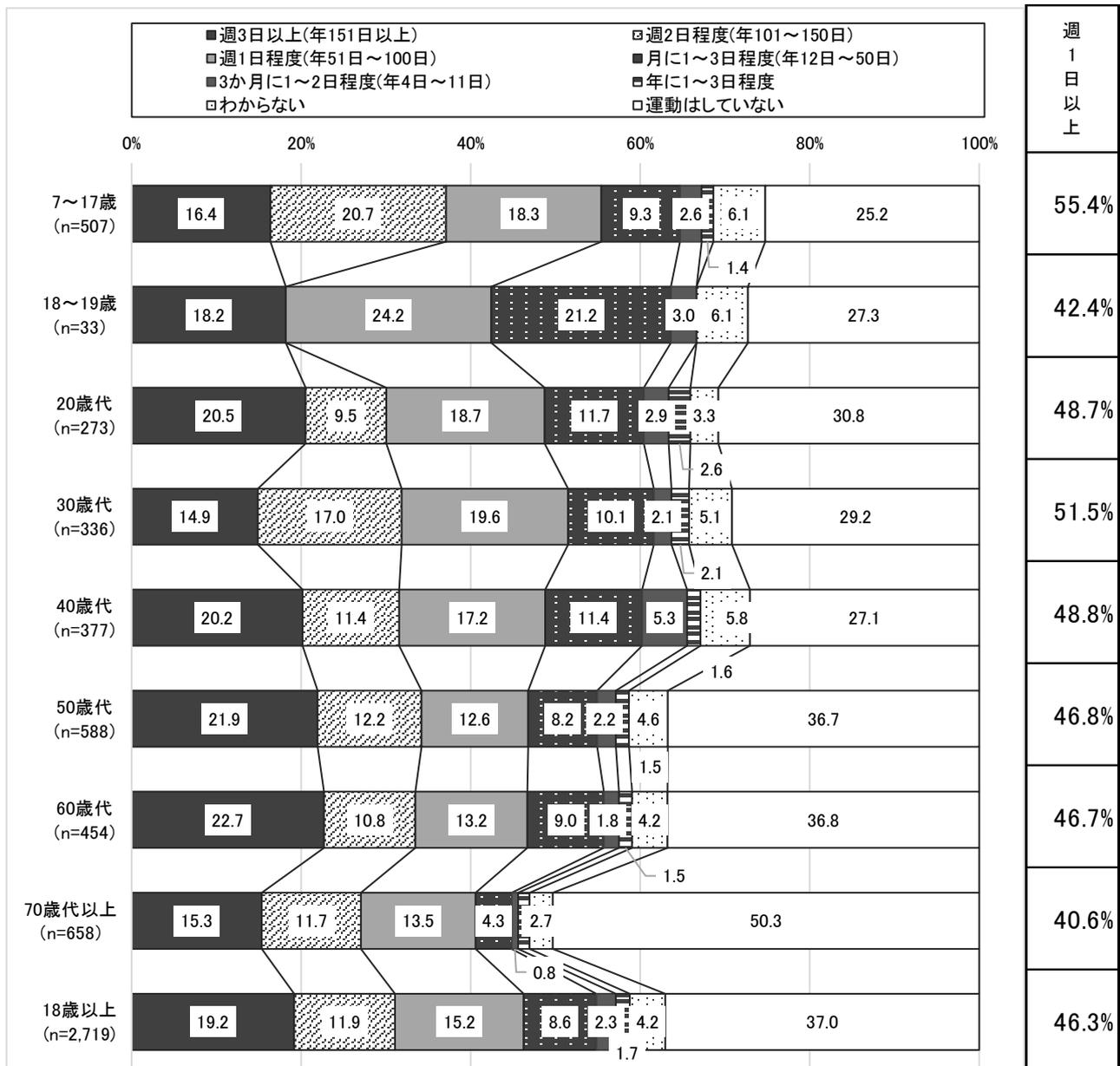
【図表58】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数

『障害者スポーツ推進プロジェクト（障害児・者のスポーツライフに関する調査研究）』（スポーツ庁：令和5年3月）



年齢別にみると、週1日以上実施している割合は「7～17歳」が55.4%と最も高く、次いで「30歳代」（51.5%）、「40歳代」（48.8%）の順であった。【図表 59】

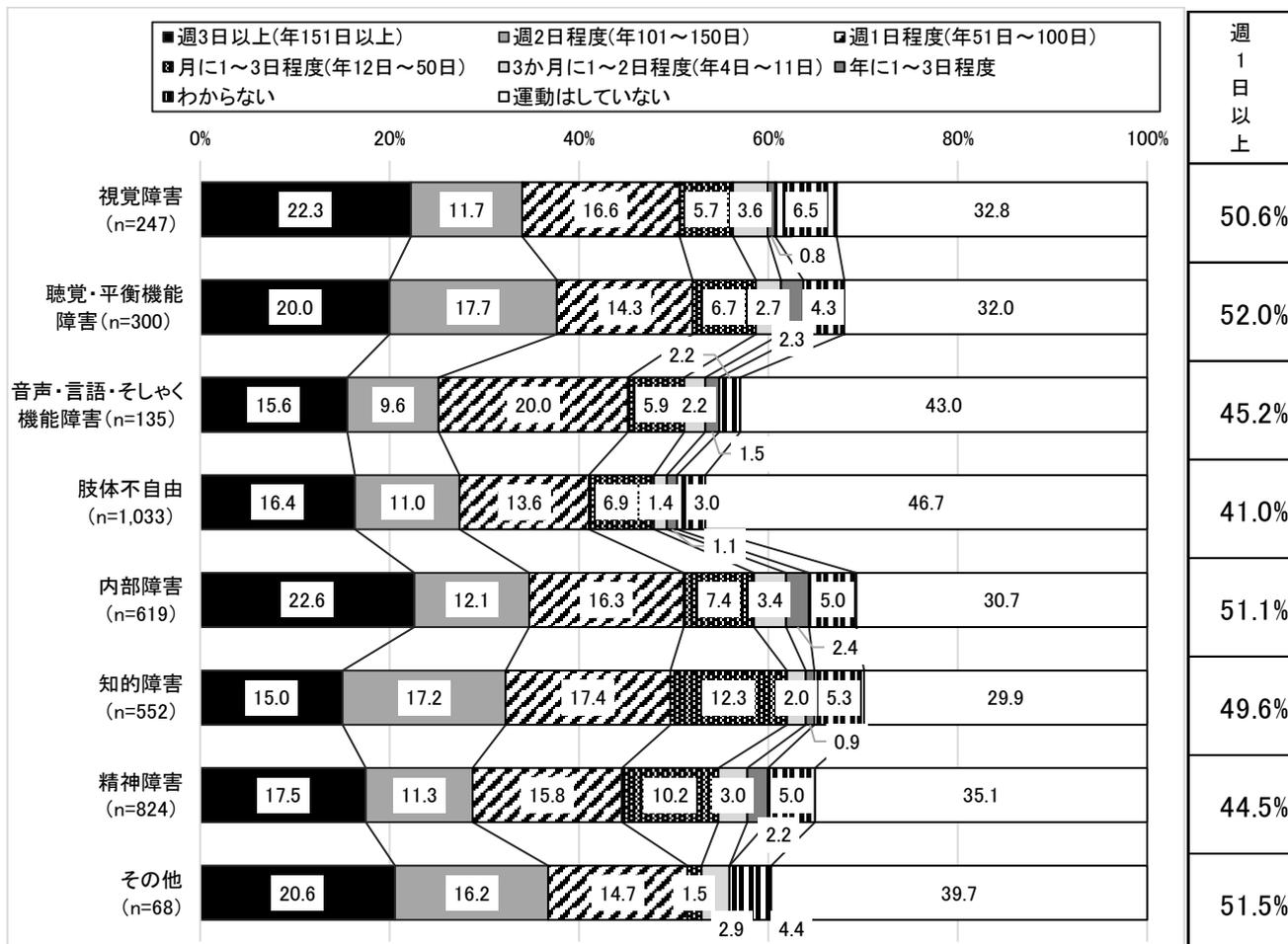
【図表 59】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(年齢別)



障害種別にみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは「聴覚・平衡機能障害」が52.0%と最も高く、次いで「その他」(51.5%)、「内部障害」(51.1%)でいずれの障害も4割を超えた。

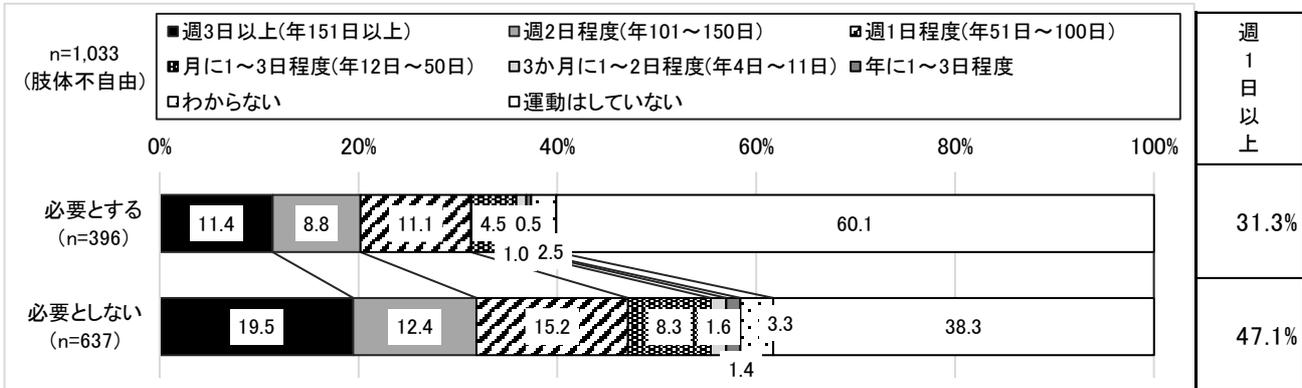
【図表 60】

【図表 60】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(障害種別)



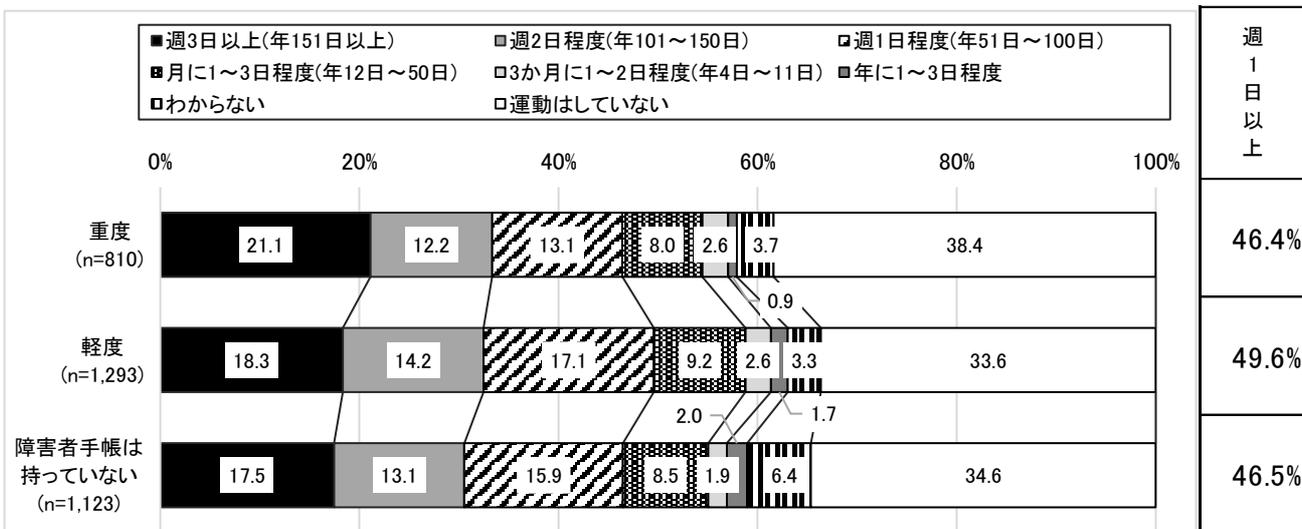
日常生活で車いす必要／不要別にみると、週1日以上スポーツ・運動を実施しているのは「必要とする」で31.3%、「必要としていない」で47.1%となった。【図表 61】

【図表 61】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(日常生活で車いす必要／不要別)



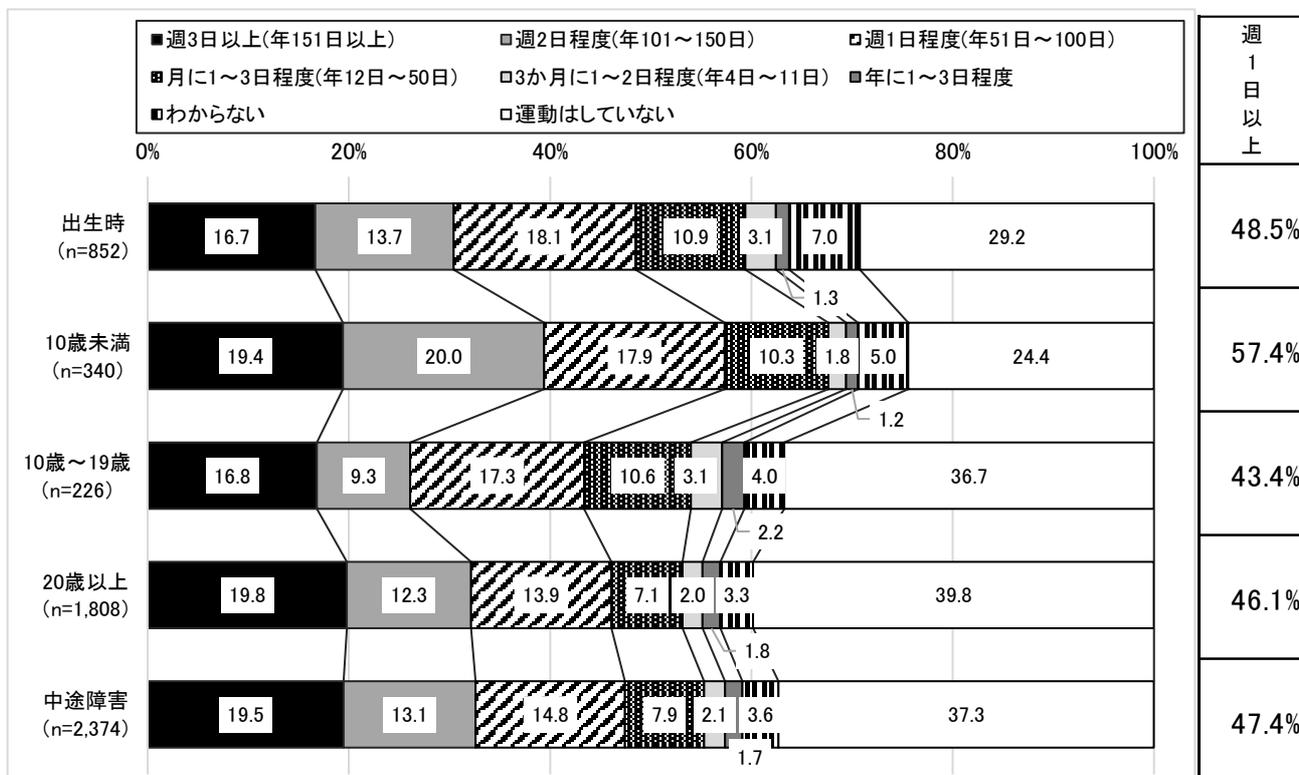
障害の程度別では、週1日以上スポーツ・運動を実施している割合が「重度」で46.4%、「軽度」で49.6%であった。「障害者手帳は持っていない」は46.5%といずれも4割を超えた。【図表 62】

【図表 62】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(障害の程度別)



障害の発生年齢別では、週1日以上スポーツ・運動を実施している割合が「出生時」で48.5%、「中途障害」が47.4%と同程度であった。【図表63】

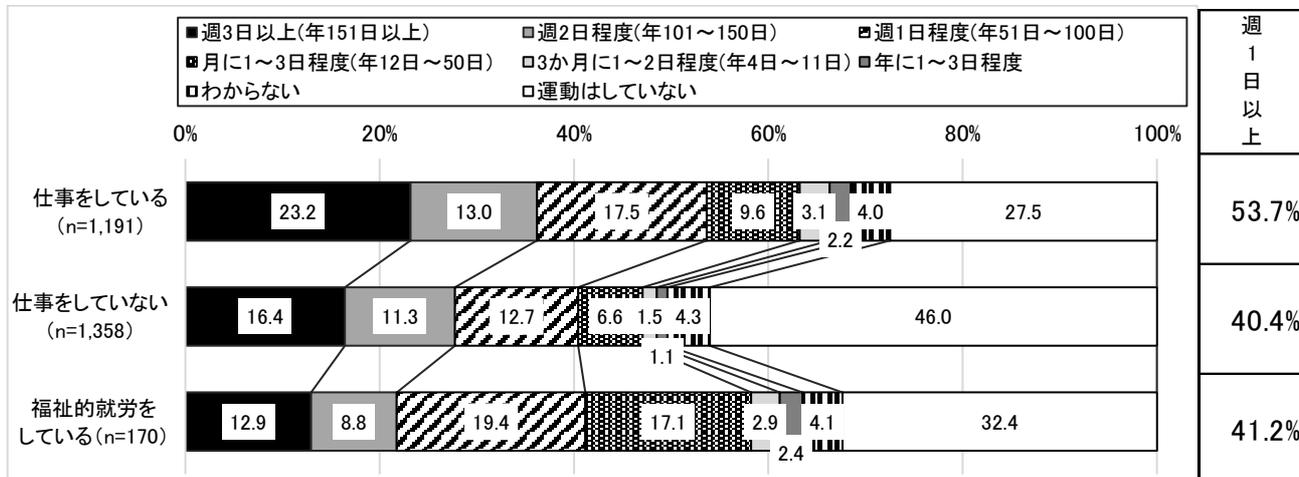
【図表63】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(障害発生時の年齢別)



注：「中途障害」は「10歳未満」、「10歳~19歳」、「20歳以上」の総和を示す。

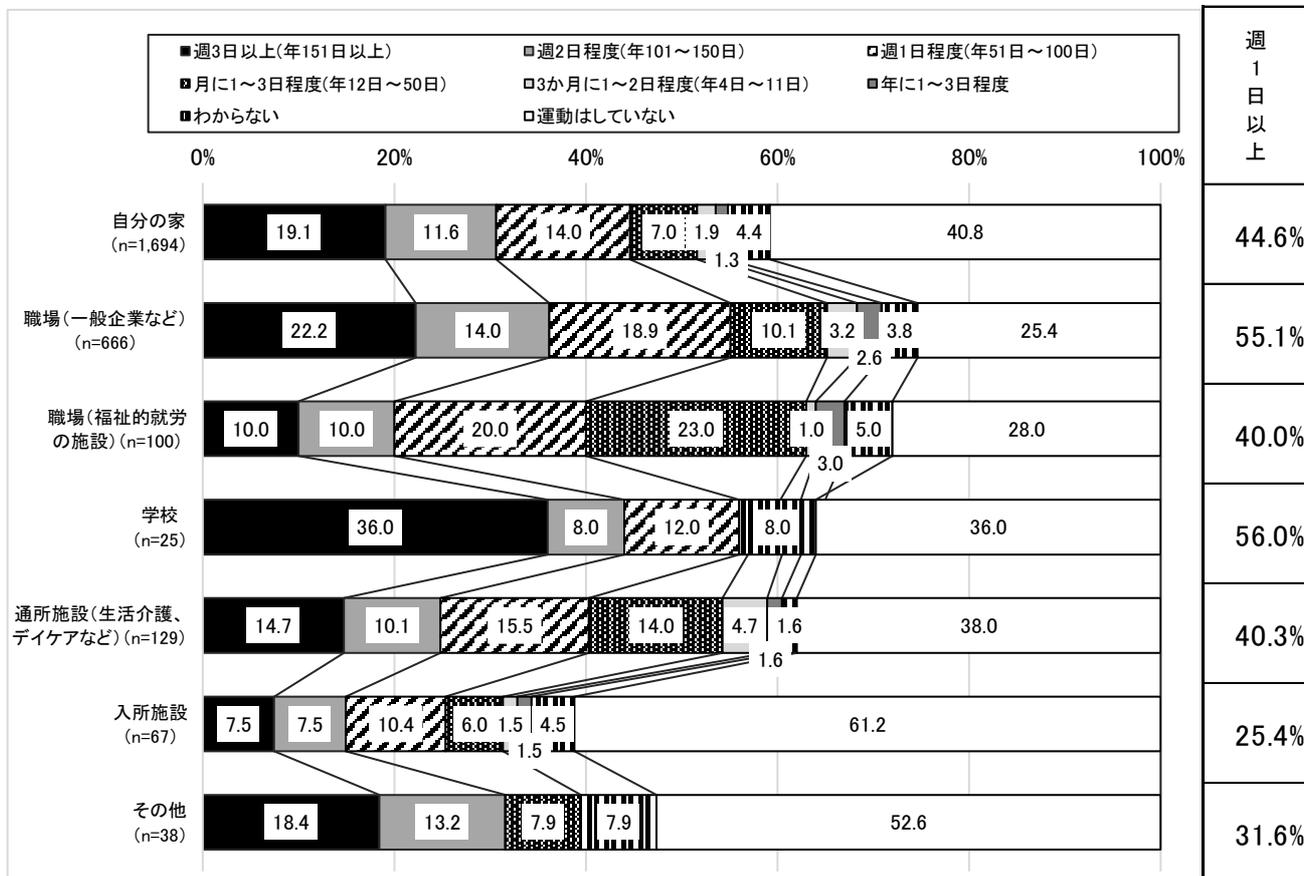
就業状況別では、週1日以上スポーツ・運動を実施している割合は「仕事をしている」で54.3%、「仕事をしていない」44.0%、「福祉的就労をしている」で40.4%であった。【図表64】

【図表64】過去1年間にスポーツ・運動を行った日数(就業状況別)(18歳以上)



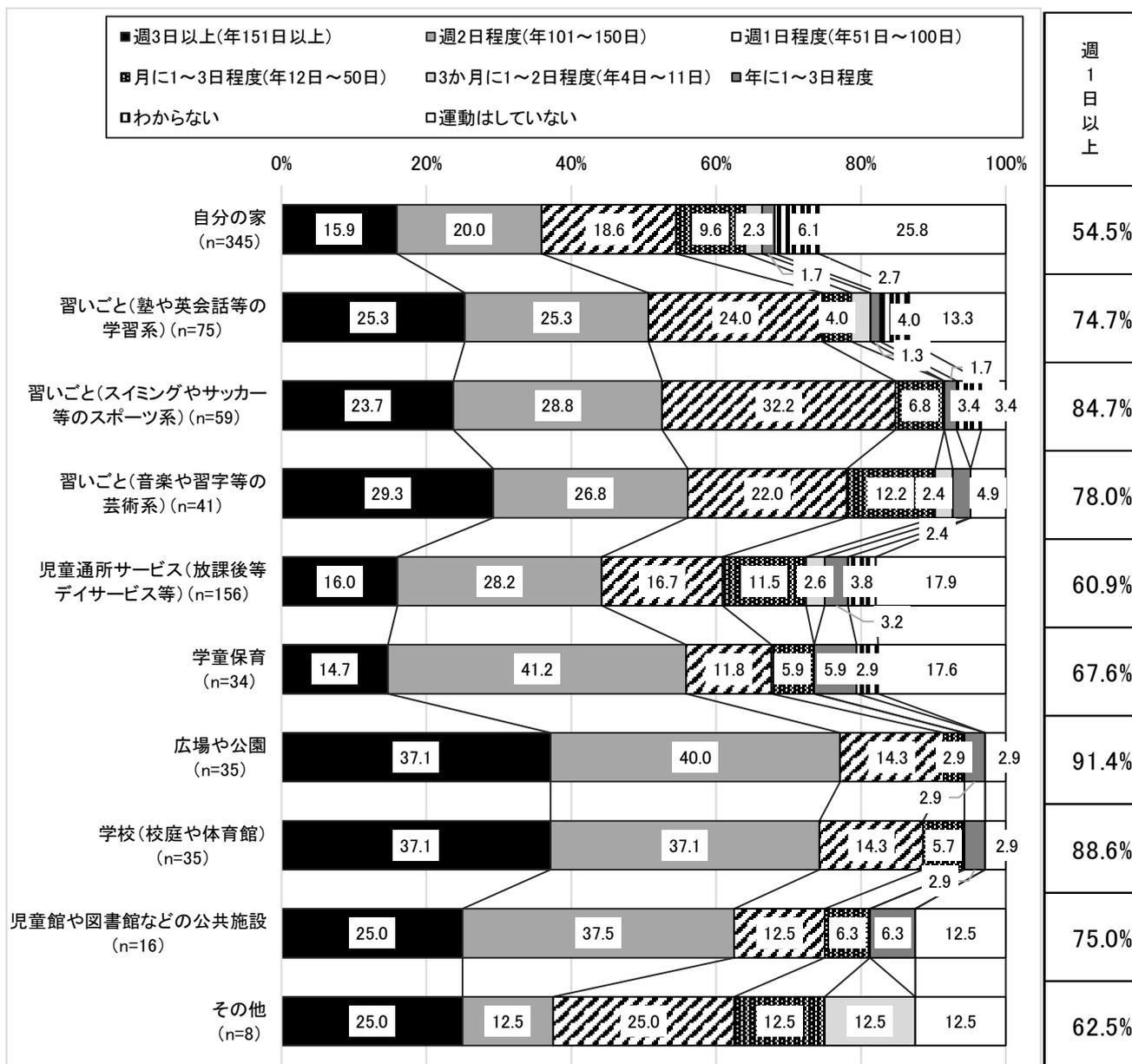
平日・日中の居場所別では、週1日以上スポーツ・運動を実施している割合が「学校」で56.0%と最も高く、次いで「職場（一般企業など）」（55.1%）、「自分の家」（44.6%）の順であった。【図表 65】

【図表 65】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数（平日・日中の居場所別）（18歳以上）



放課後の居場所別では、週1日以上スポーツ・運動を実施している割合が「広場や公園」で91.4%と最も高く、次いで「学校（校庭や体育館）」（88.6%）、「習いごと（スポーツ系）」（84.7%）の順となった。【図表 66】

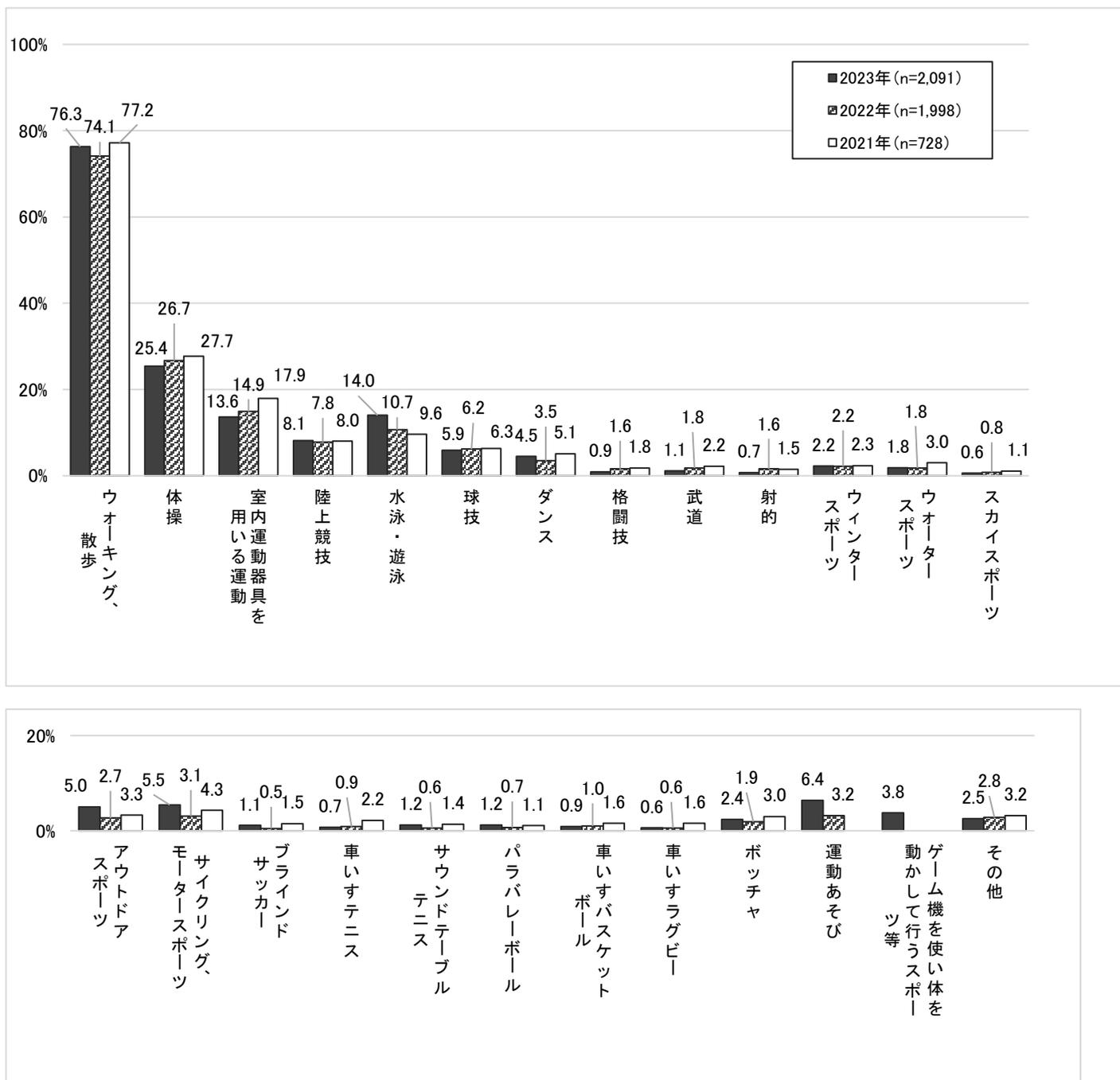
【図表 66】 過去1年間にスポーツ・運動を行った日数（放課後の居場所別）（7～17歳）



### (3) 過去1年間に行ったスポーツ・運動

過去1年間にスポーツや運動を「行った」と回答した人が、どのようなスポーツ・運動を行ったかについてみると、実施率の高かったものから順に「ウォーキング、散歩」（76.3%）、「体操」（25.4%）、「水泳・遊泳」（14.0%）、「室内運動器具を用いる運動」（13.6%）となった。【図表 67】

【図表 67】 過去1年間に行ったスポーツ・運動〔複数回答〕〈スポーツ・運動実施者〉

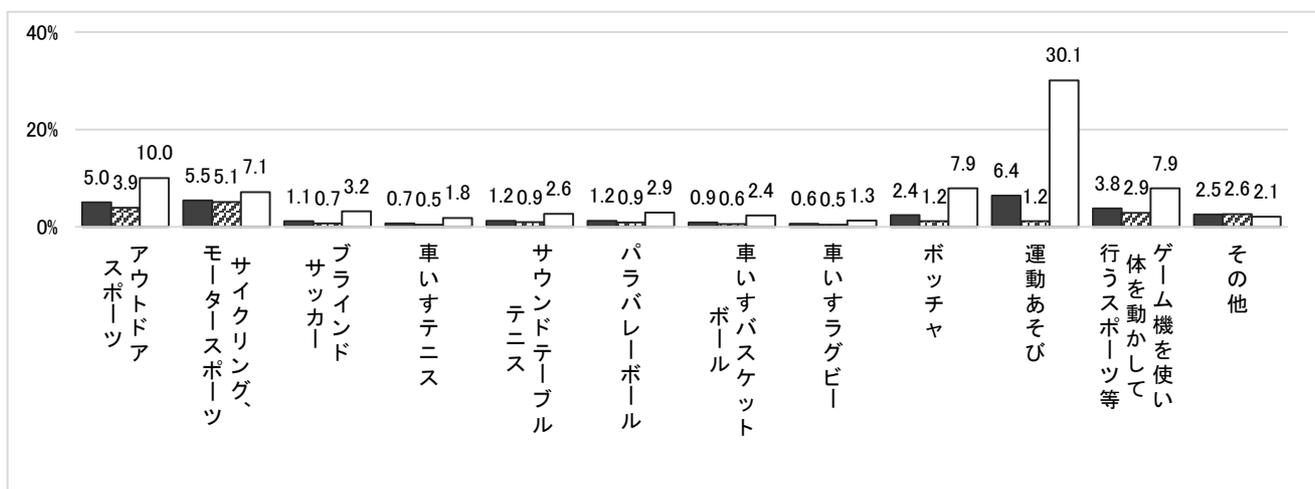
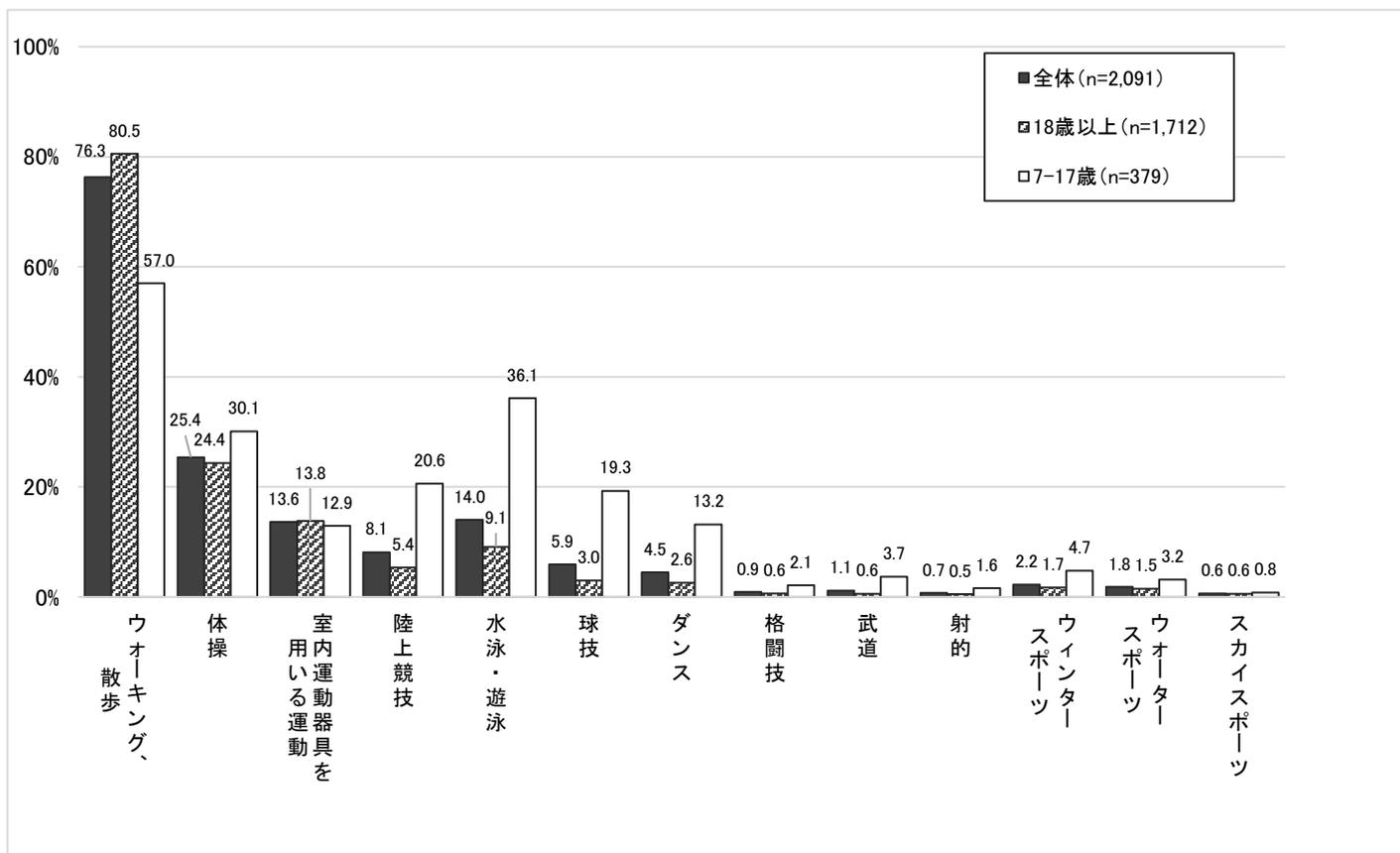


注1： 2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。2023年分の18歳以上の数値は次ページを参照

注2： 「運動あそび」は鬼ごっこやかくれんぼ、鉄棒、ブランコなどを指し、2022年度調査から選択肢を追加

スポーツ・運動の実施者全体に対する18歳以上、7歳～17歳の比較では、「ウォーキング・散歩」で18歳以上(80.5%)が7～17歳(57.0%)よりも高い割合であった。一方で、「水泳・遊泳」、「球技」は7～17歳が18歳以上を10ポイント以上上回った。【図表68】

【図表68】 過去1年間に行ったスポーツ・運動[複数回答]<スポーツ・運動実施者>  
(実施者全体、18歳以上、7歳～17歳の実施者)



障害種別にみると、いずれの障害も「ウォーキング、散歩」の割合が最も高かった。【図表 69】

【図表 69】 過去1年間に行ったスポーツ・運動(障害種別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>

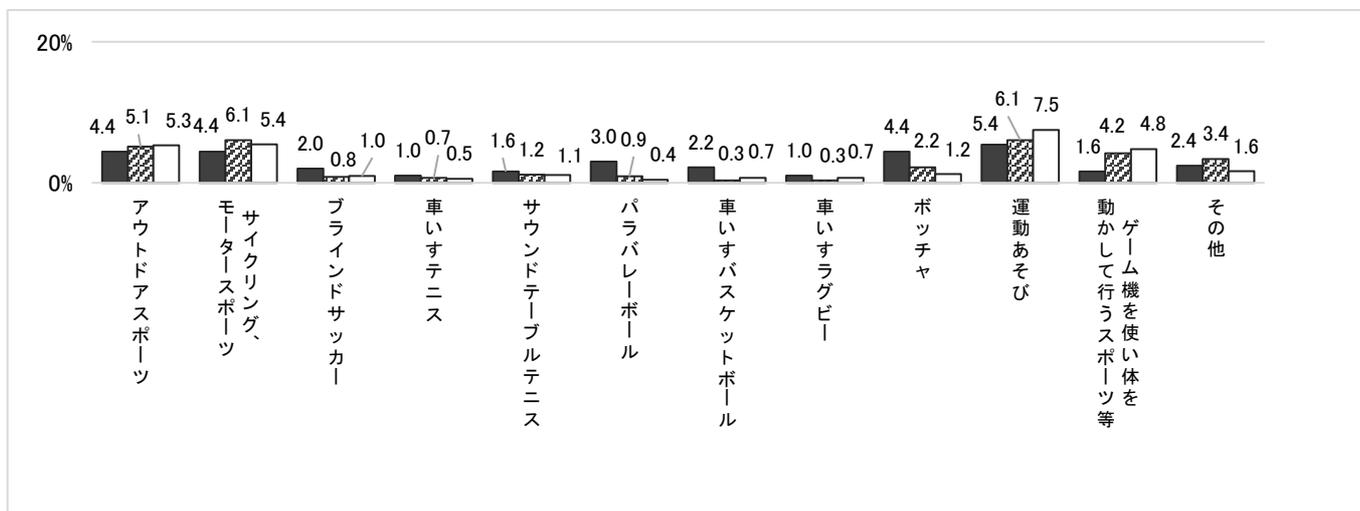
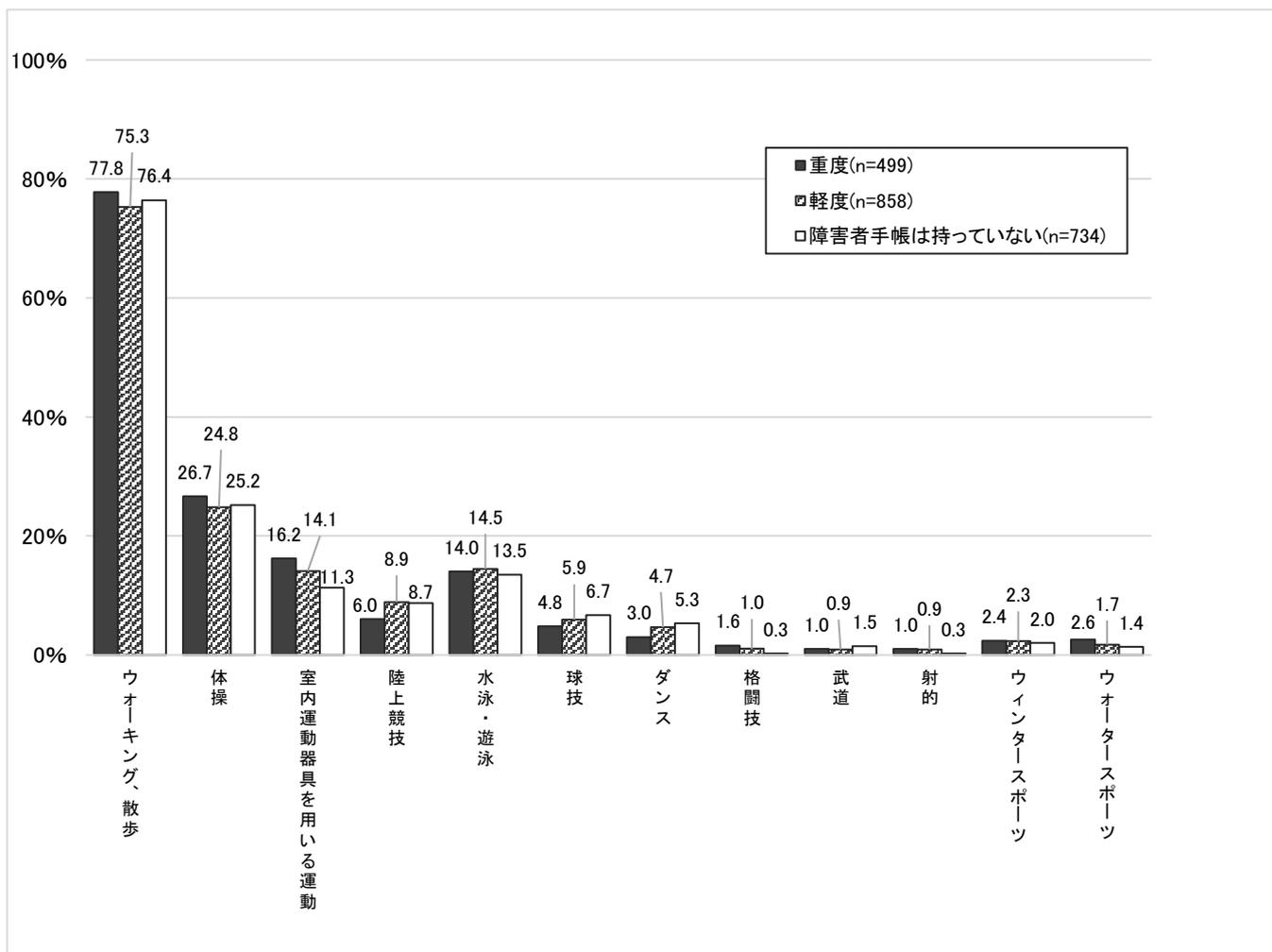
(単位:%)

	ウォーキング、散歩	体操	室内運動器具	陸上競技	水泳・遊泳	球技	ダンス	格闘技	武道	射的	ウィンタースポーツ	ウォータースポーツ	スカイスポーツ
視覚障害(n=166)	78.9	22.3	15.7	7.2	10.8	3.0	1.8	1.2	0.6	0.0	3.0	4.2	1.2
聴覚・平衡機能障害(n=204)	75.5	31.4	13.2	14.2	16.2	8.3	5.4	0.5	2.0	2.0	7.8	3.4	2.0
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	74.0	22.1	20.8	6.5	14.3	5.2	3.9	1.3	3.9	0.0	2.6	3.9	0.0
肢体不自由(n=551)	74.0	28.1	15.2	4.5	12.2	2.7	2.7	1.5	1.1	1.3	1.5	1.6	0.9
内部障害(n=429)	85.3	23.3	14.2	5.4	8.4	4.0	2.6	0.5	0.2	0.2	1.6	0.9	0.2
知的障害(n=387)	68.0	20.9	10.9	14.0	25.6	11.6	9.6	1.0	1.8	0.8	1.8	0.5	0.0
精神障害(n=535)	77.6	26.4	10.8	6.2	10.3	5.2	3.7	0.6	0.7	0.4	1.1	2.4	0.6
その他(n=41)	78.0	36.6	26.8	9.8	19.5	7.3	4.9	2.4	2.4	0.0	4.9	4.9	0.0

	アウトドアスポーツ	サイクリング、モーター	ブラインドサッカー	車いすテニス	サウンドテーブルテニス	パラバレーボール	車いすバスケットボール	車いすラグビー	ポッチャ	運動あそび	ゲーム機を使うスポーツ等	その他
視覚障害(n=166)	4.2	5.4	1.2	1.2	2.4	2.4	1.2	0.6	1.8	3.0	3.0	2.4
聴覚・平衡機能障害(n=204)	7.8	7.8	2.0	1.5	2.9	2.0	2.0	2.0	1.5	8.8	6.4	2.0
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	3.9	6.5	1.3	1.3	1.3	2.6	0.0	1.3	2.6	9.1	1.3	1.3
肢体不自由(n=551)	2.9	4.5	2.4	1.3	2.7	2.7	1.5	1.3	2.9	3.3	1.8	2.9
内部障害(n=429)	4.4	5.4	0.9	0.7	0.0	1.4	0.2	0.2	1.2	2.3	2.6	2.3
知的障害(n=387)	6.2	3.6	0.3	0.3	0.5	0.5	0.3	0.0	7.0	20.4	5.4	3.9
精神障害(n=535)	5.2	6.0	0.6	0.4	0.4	0.6	0.7	0.0	1.7	4.9	4.7	2.8
その他(n=41)	7.3	9.8	4.9	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	4.9	14.6	2.4	2.4

障害の程度別にみると、いずれの区分も実施率の高いものから順に「ウォーキング、散歩」「体操」であった。「重度」では次に「室内運動器具を用いる運動」が高く、「軽度」と「障害者手帳は持っていない」方では、「水泳・遊泳」が高かった。【図表 70】

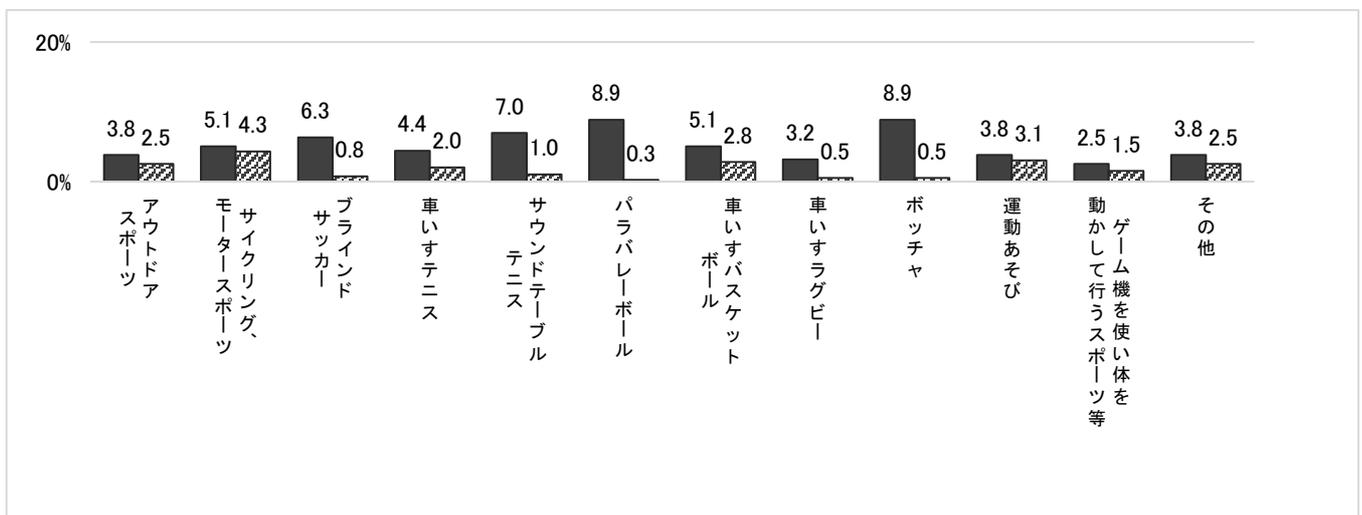
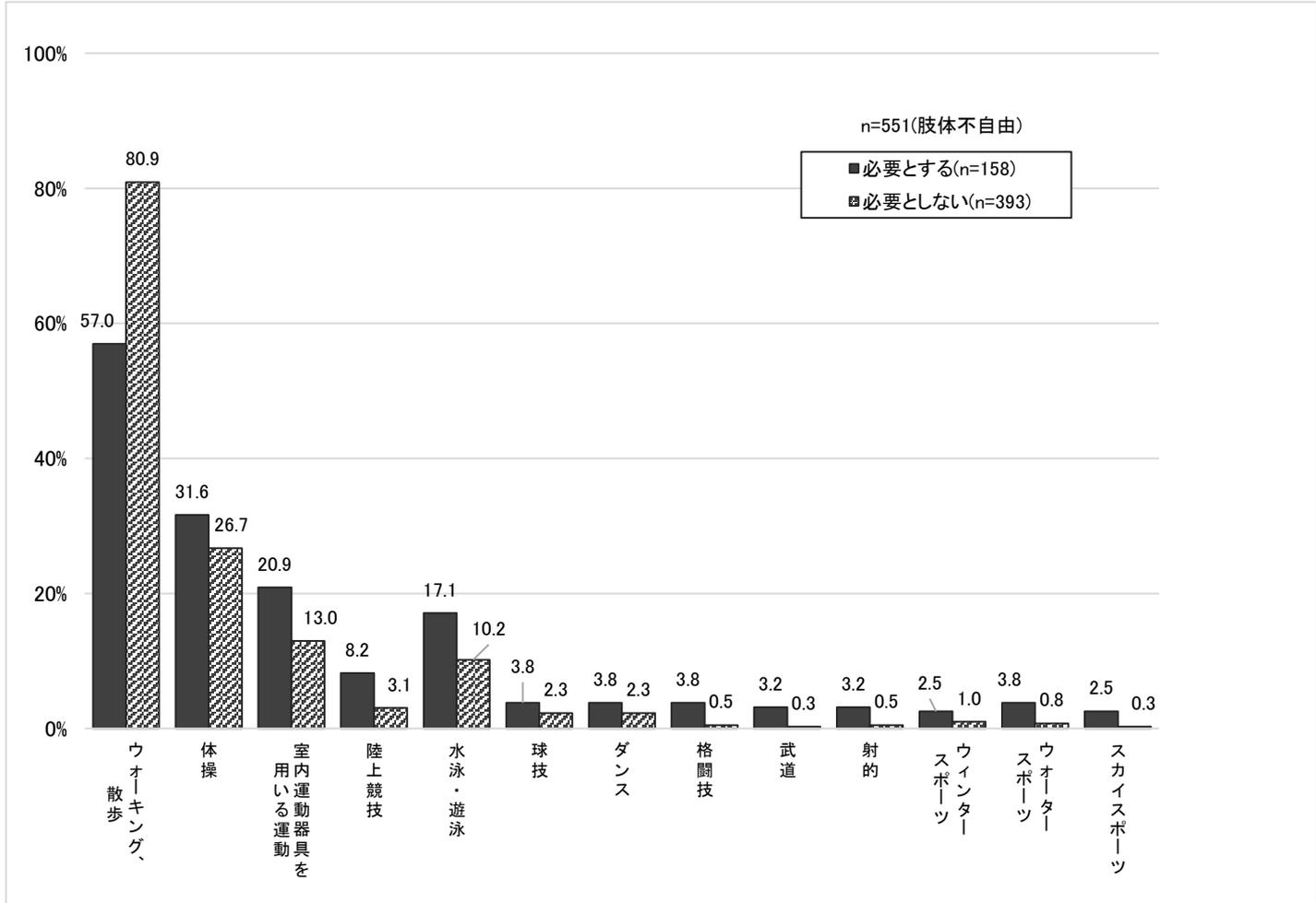
【図表 70】 過去1年間に行ったスポーツ・運動(障害の程度別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>



日常生活で車いす必要／不要別にみると、いずれも「ウォーキング、散歩」が最も高かった。次いで「体操」「室内運動器具を用いる運動」「水泳・遊泳」「陸上競技」の順であった【図表 71】

【図表 71】 過去1年間に行ったスポーツ・運動(日常生活で車いす必要／不要別)[複数回答]

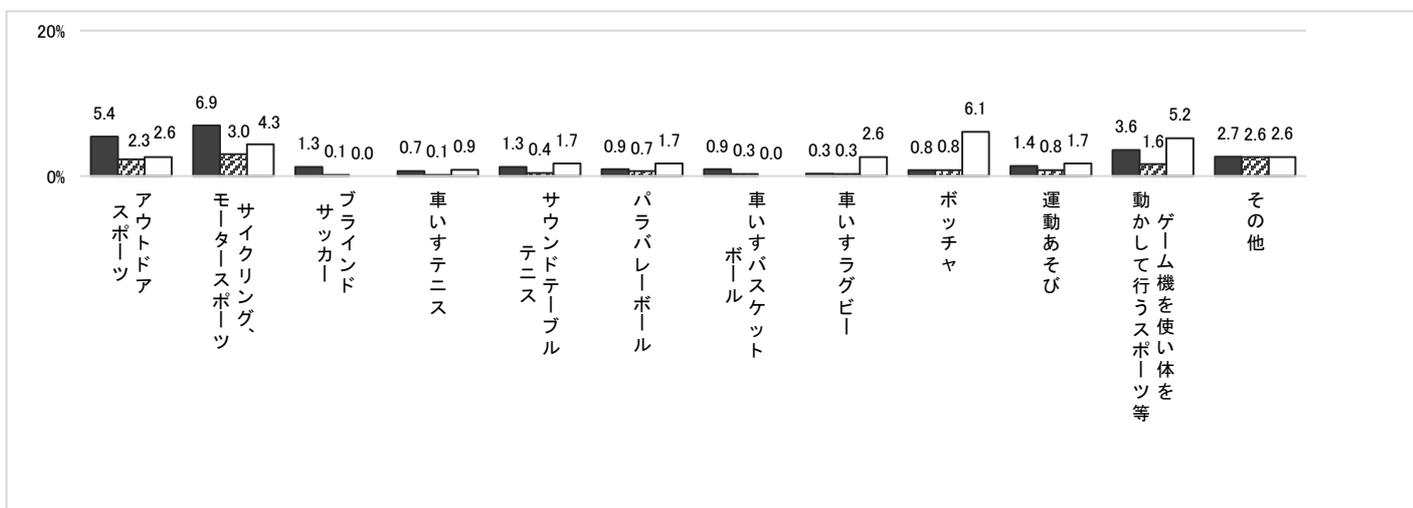
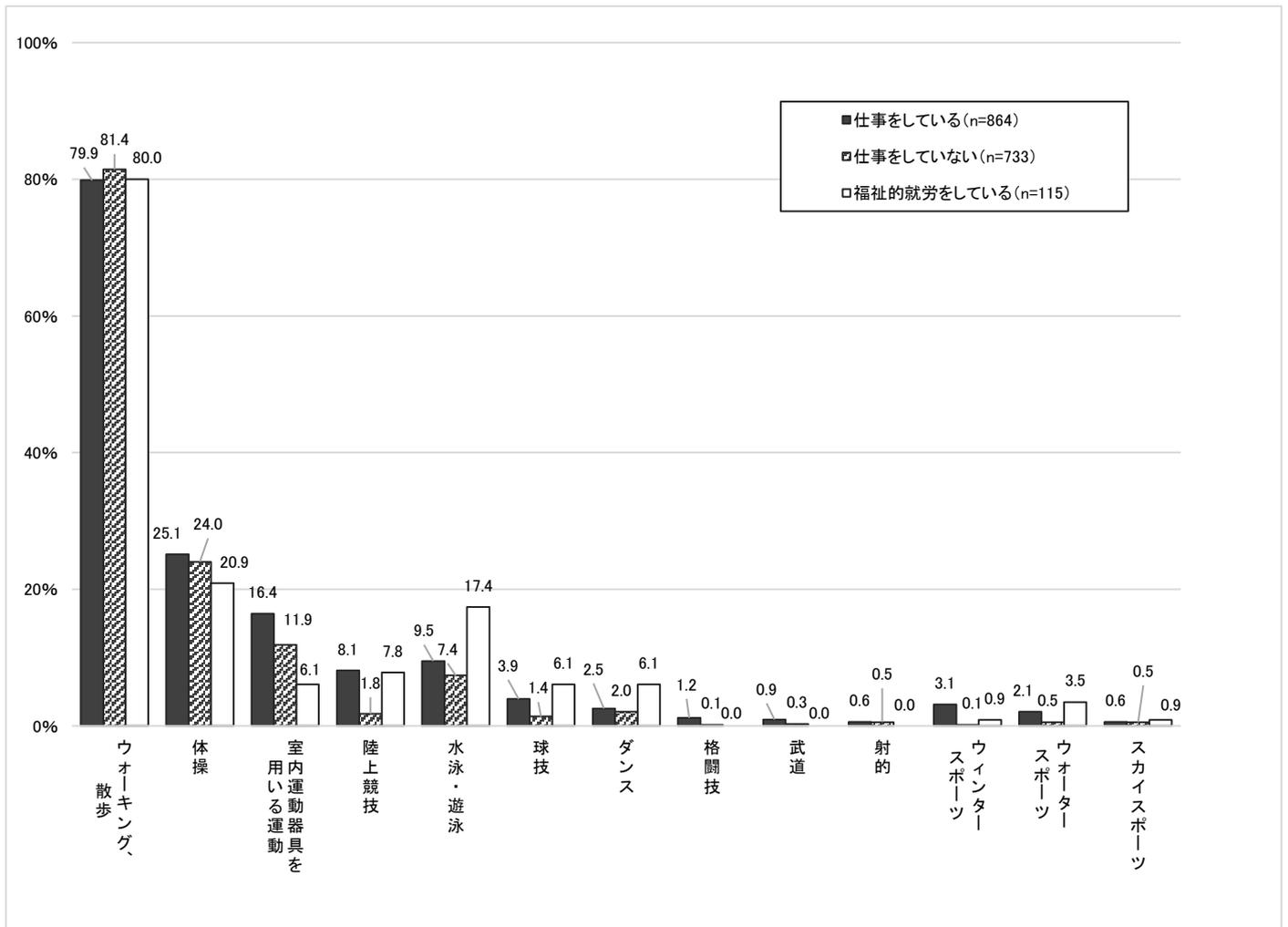
〈スポーツ・運動実施者〉



就業状況別にみると、いずれの区分でも「ウォーキング、散歩」が最も高く、次いで「体操」であった。「福祉的就労をしている」と回答した方では、他の回答と比べ「ボッチャ」(6.1%)の割合が高かった。

【図表 72】

【図表 72】 過去1年間に行ったスポーツ・運動(就業状況別)(18歳以上)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>



平日・日中の居場所別にみると、「ウォーキング、散歩」がいずれの区分でも最も高かった。

【図表 73】

【図表 73】 過去1年間に行ったスポーツ・運動(平日・日中の居場所別)(18歳以上)[複数回答]

〈スポーツ・運動実施者〉

	(単位:%)													
	ウォーキング、散歩	体操	室内運動器具	陸上競技	水泳・遊泳	球技	ダンス	格闘技	武道	射的	ウィンタースポーツ	ウォータースポーツ	スカイスポーツ	
自分の家(n=1,003)	83.7	25.2	12.6	2.9	7.9	1.6	1.9	0.3	0.5	0.4	0.6	1.0	0.5	
職場(一般企業など)(n=497)	77.3	23.3	17.9	9.3	9.1	5.2	2.0	1.4	0.6	0.6	3.6	2.4	0.4	
職場(福祉的就労の施設)(n=72)	80.6	19.4	5.6	11.1	20.8	8.3	6.9	0.0	0.0	0.0	1.4	4.2	1.4	
学校(n=16)	75.0	25.0	6.3	12.5	25.0	0.0	31.3	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	0.0	
通所施設(生活介護、デイケアなど)(n=80)	63.8	20.0	15.0	6.3	8.8	3.8	3.8	0.0	2.5	2.5	0.0	1.3	2.5	
入所施設(n=26)	69.2	30.8	3.8	0.0	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他(n=18)	88.9	33.3	16.7	11.1	11.1	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	

	アウトドアスポーツ	サイクリング、モーター	フラインドサッカー	車いすテニス	サウンドテーブルテニス	パラバレーボール	車いすバスケットボール	車いすラグビー	ポッチャ	運動あそび	ゲーム機を使うスポーツ等	その他
自分の家(n=1,003)	2.9	4.2	0.6	0.5	0.9	0.8	0.4	0.2	0.6	0.7	2.1	2.9
職場(一般企業など)(n=497)	6.6	7.4	1.2	0.4	0.8	0.4	1.0	0.4	0.6	1.8	4.6	1.8
職場(福祉的就労の施設)(n=72)	2.8	4.2	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	1.4	9.7	2.8	4.2	4.2
学校(n=16)	6.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	6.3	12.5
通所施設(生活介護、デイケアなど)(n=80)	1.3	3.8	0.0	0.0	2.5	6.3	1.3	3.8	2.5	2.5	0.0	1.3
入所施設(n=26)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0
その他(n=18)	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6

過去1年間のスポーツ・運動の実施日数別にみると、「ウォーキング、散歩」はいずれの区分においても割合が高く、「週3日以上」では8割を超えた。「体操」は「週2日程度」以上の区分で3割を超えた。

【図表 74】

【図表 74】 過去1年間に行ったスポーツ・運動(スポーツ・運動実施頻度別)[複数回答]

〈スポーツ・運動実施者〉

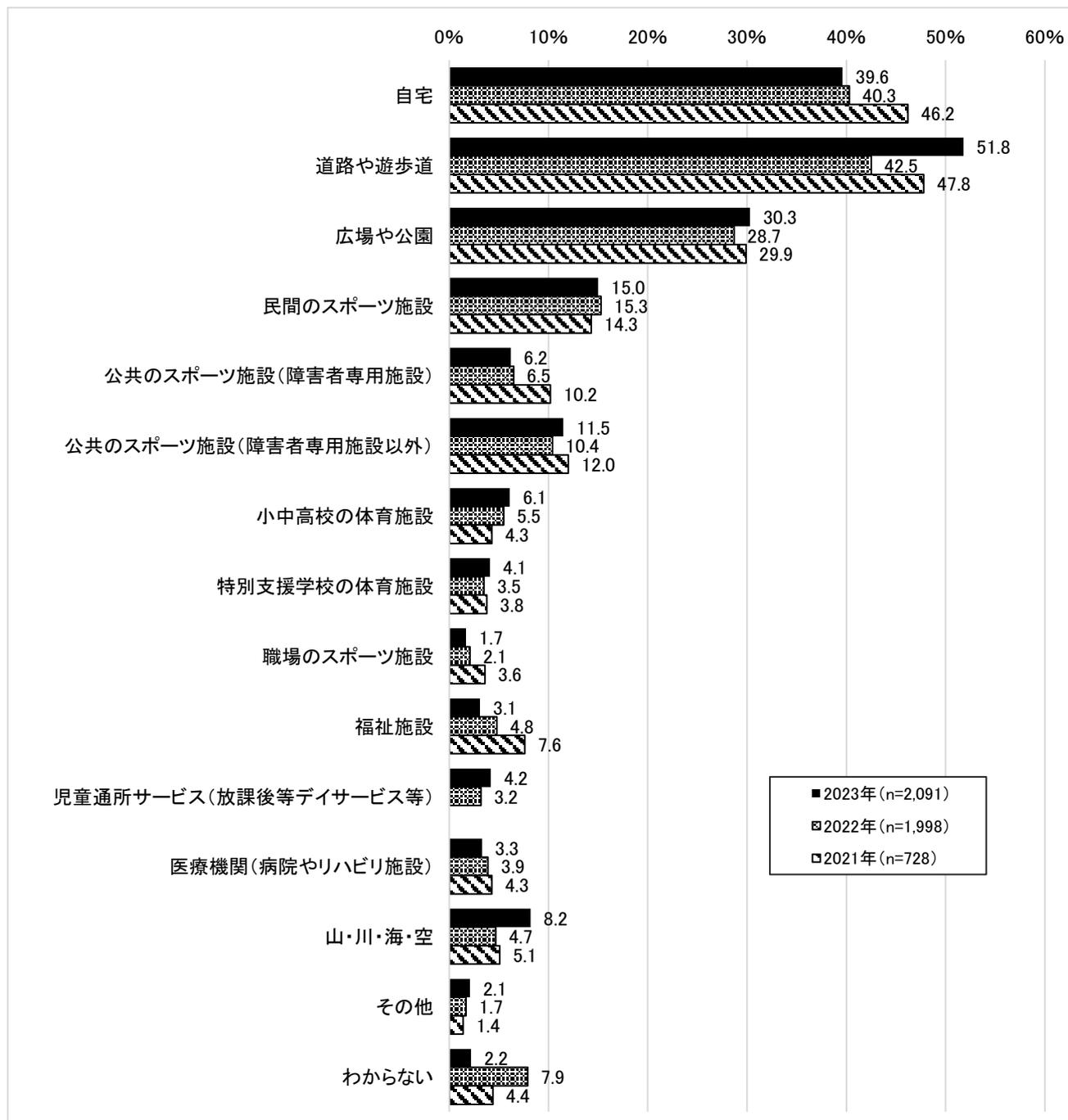
	ウォーキング、散歩	体操	室内運動器具	陸上競技	水泳・遊泳	球技	ダンス	格闘技	武道	射的	ウィンタースポーツ	ウォータースポーツ	スカイスポーツ
週3日以上(年151日以上)(n=604)	82.1	31.8	15.6	10.1	12.3	7.5	4.8	1.3	1.7	1.0	2.5	2.3	0.8
週2日程度(年101日～150日)(n=429)	76.0	33.8	16.8	11.7	17.5	7.0	5.8	1.9	1.6	0.9	3.3	2.3	0.9
週1日程度(年51日～100日)(n=506)	72.1	21.9	15.4	6.5	14.0	3.4	4.2	0.2	0.8	0.2	1.8	1.0	0.6
月に1～3日程度(年12日～50日)(n=280)	73.6	17.9	9.3	5.0	16.1	7.5	4.6	0.4	1.1	0.7	1.8	2.9	0.0
3か月に1～2日程度(年4日～11日)(n=75)	61.3	12.0	8.0	6.7	21.3	5.3	2.7	0.0	0.0	1.3	2.7	0.0	0.0
年に1～3日程度(n=52)	59.6	7.7	7.7	1.9	7.7	1.9	1.9	1.9	0.0	0.0	3.8	1.9	1.9
わからない(n=145)	86.2	13.8	3.4	4.1	5.5	4.1	2.1	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0

	アウトドアスポーツ	サイクリング、モーター	ブラインドサッカー	車いすテニス	サウンドテーブルテニス	パラレーボール	車いすバスケットボール	車いすラゲビー	ポッチャ	運動あそび	ゲーム機を使うスポーツ等を動	その他
週3日以上(年151日以上)(n=604)	5.3	7.6	1.0	0.5	0.7	1.2	1.2	0.3	3.5	5.8	3.6	3.0
週2日程度(年101日～150日)(n=429)	5.4	4.7	1.4	1.4	2.6	1.9	1.2	1.4	2.6	9.1	3.5	1.2
週1日程度(年51日～100日)(n=506)	4.7	4.7	1.6	0.2	1.2	0.8	0.4	0.6	0.8	5.7	4.2	2.0
月に1～3日程度(年12日～50日)(n=280)	6.1	5.7	0.4	0.4	0.4	0.7	0.4	0.7	2.9	6.4	3.6	3.6
3か月に1～2日程度(年4日～11日)(n=75)	6.7	5.3	1.3	0.0	4.0	2.7	4.0	0.0	1.3	6.7	4.0	5.3
年に1～3日程度(n=52)	1.9	3.8	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	1.9	5.8	3.8
わからない(n=145)	2.1	1.4	1.4	2.1	0.7	0.7	0.7	0.0	2.1	4.8	3.4	2.8

#### (4) スポーツ・運動を実施する場所（スポーツ実施者対象）

スポーツや運動を実施する場所は、「道路や遊歩道」が51.8%と最も高く、前回調査と比較して約10ポイントの増加となった。次いで「自宅」（39.6%）、「広場や公園」（30.3%）、「民間のスポーツ施設」（15.0%）、「公共のスポーツ施設（障害者専用施設以外）」（11.5%）の順であり、これら上位実施場所の順位は昨年度と同様であった。【図表 75】

【図表 75】スポーツ・運動を実施する場所〔複数回答〕〈スポーツ・運動実施者〉



注1：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。2023年分の18歳以上の数値は次ページを参照

注2：「児童通所サービス」は、2022年度調査から選択肢を追加

年齢別にみると、7～17歳では「広場や公園」の割合が35.6%と最も高かった。「自宅」は年代が上がるほど割合が増える傾向にあり、70歳代以上では約5割を占めた。【図表76】

【図表76】スポーツ・運動を実施する場所(年齢別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>

	自宅	道路や遊歩道	広場や公園	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設(障害者専用施設)	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	小中高校の体育施設	特別支援学校の体育施設	職場のスポーツ施設	福祉施設	児童通所サービス等(放課後)	医療機関(病院やリハビリ施設)	山・川・海・空	その他	わからない
7～17歳(n=379)	33.2	28.5	35.6	23.2	13.2	18.2	24.8	16.9	2.4	2.6	18.2	1.3	15.3	1.1	1.3
18～19歳(n=24)	20.8	45.8	29.2	16.7	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2	4.2	0.0
20歳代(n=189)	37.6	44.4	27.0	15.3	6.9	13.8	4.2	2.1	2.6	3.7	1.6	1.6	5.3	1.6	2.6
30歳代(n=238)	37.4	50.8	30.7	21.4	6.7	18.1	2.1	2.9	2.5	4.2	2.1	2.1	6.3	0.8	4.2
40歳代(n=275)	39.6	53.8	29.8	13.8	7.3	9.5	1.8	1.8	1.5	2.2	0.7	2.5	10.2	2.2	3.6
50歳代(n=372)	42.7	61.6	27.2	12.6	3.0	7.0	0.8	0.5	1.3	2.4	0.3	2.7	8.9	1.9	1.6
60歳代(n=287)	39.4	58.5	30.7	11.5	3.1	7.7	1.0	0.0	1.7	0.7	0.3	3.1	5.2	3.5	2.1
70歳代以上(n=327)	48.0	65.4	29.4	7.3	3.4	8.3	2.4	0.3	0.3	6.1	1.5	8.6	3.4	3.4	1.5
18歳以上(n=1,712)	41.1	57.0	29.1	13.2	4.7	10.0	2.0	1.2	1.5	3.2	1.1	3.7	6.6	2.3	2.5

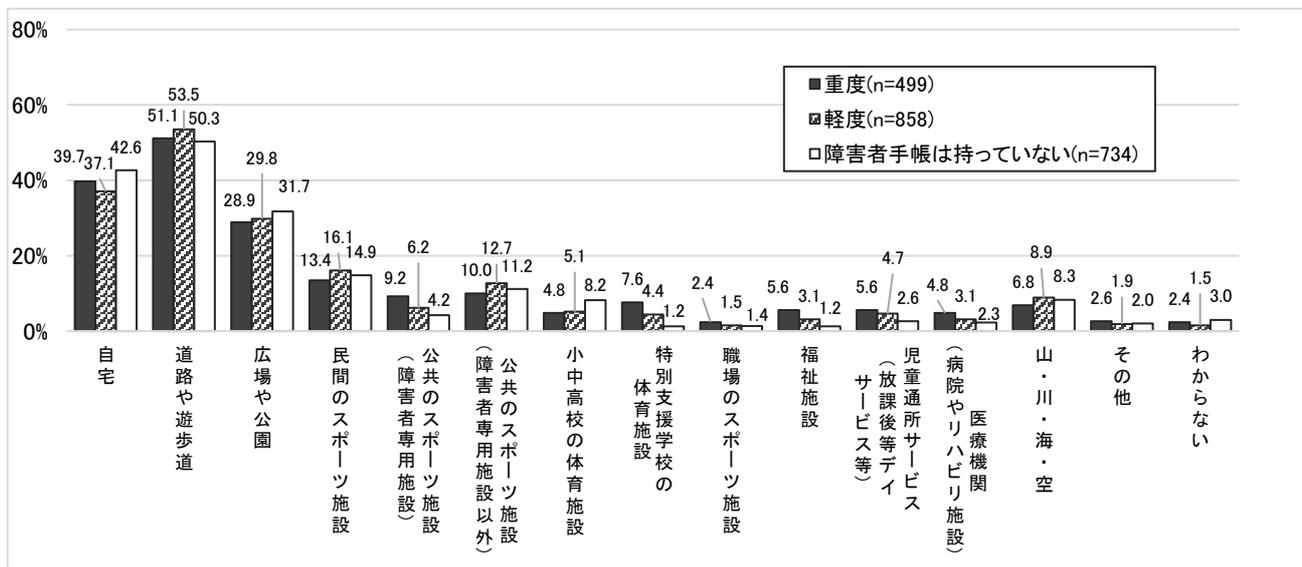
障害種別にみると、「内部障害」においては、他の障害種別と比較して「道路や遊歩道」(65.3%)の割合が高かった。また、「知的障害」では「自宅」の割合が29.2%と低く、「児童通所サービス」(16.3%)や「特別支援学校の体育施設」(12.7%)がほかの障害種別と比較して高かった。【図表77】

【図表77】スポーツ・運動を実施する場所(障害種別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>

	自宅	道路や遊歩道	広場や公園	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設(障害者専用施設)	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	小中高校の体育施設	特別支援学校の体育施設	職場のスポーツ施設	福祉施設	児童通所サービス等(放課後)	医療機関(病院やリハビリ施設)	山・川・海・空	その他	わからない
視覚障害(n=166)	43.4	40.4	31.3	14.5	11.4	7.2	4.2	1.2	0.6	3.0	1.2	1.2	5.4	1.2	4.8
聴覚・平衡機能障害(n=204)	44.6	48.0	33.3	22.5	9.8	10.3	6.9	4.4	2.0	2.0	1.0	1.0	12.3	1.5	1.0
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	41.6	49.4	31.2	15.6	7.8	13.0	10.4	2.6	2.6	9.1	5.2	11.7	7.8	1.3	1.3
肢体不自由(n=551)	44.5	48.8	25.6	14.3	9.6	12.2	3.4	4.9	2.5	7.3	1.8	7.6	4.0	2.5	1.5
内部障害(n=429)	43.8	65.3	30.8	11.2	2.1	9.1	3.0	0.7	0.9	1.4	1.6	4.4	8.6	2.3	1.9
知的障害(n=387)	29.2	40.8	31.8	16.5	8.0	16.0	12.9	12.7	1.6	4.1	16.3	1.6	10.9	1.3	3.4
精神障害(n=535)	40.7	55.3	29.2	11.8	2.6	11.6	5.4	1.1	1.3	1.5	2.6	1.9	7.3	2.2	2.1
その他(n=41)	34.1	43.9	36.6	14.6	14.6	14.6	14.6	2.4	2.4	7.3	7.3	7.3	2.4	7.3	0.0

障害の程度別ではいずれの区分でも「自宅」「道路や遊歩道」「広場や公園」の身近な場所での実施が多かった。【図表 78】

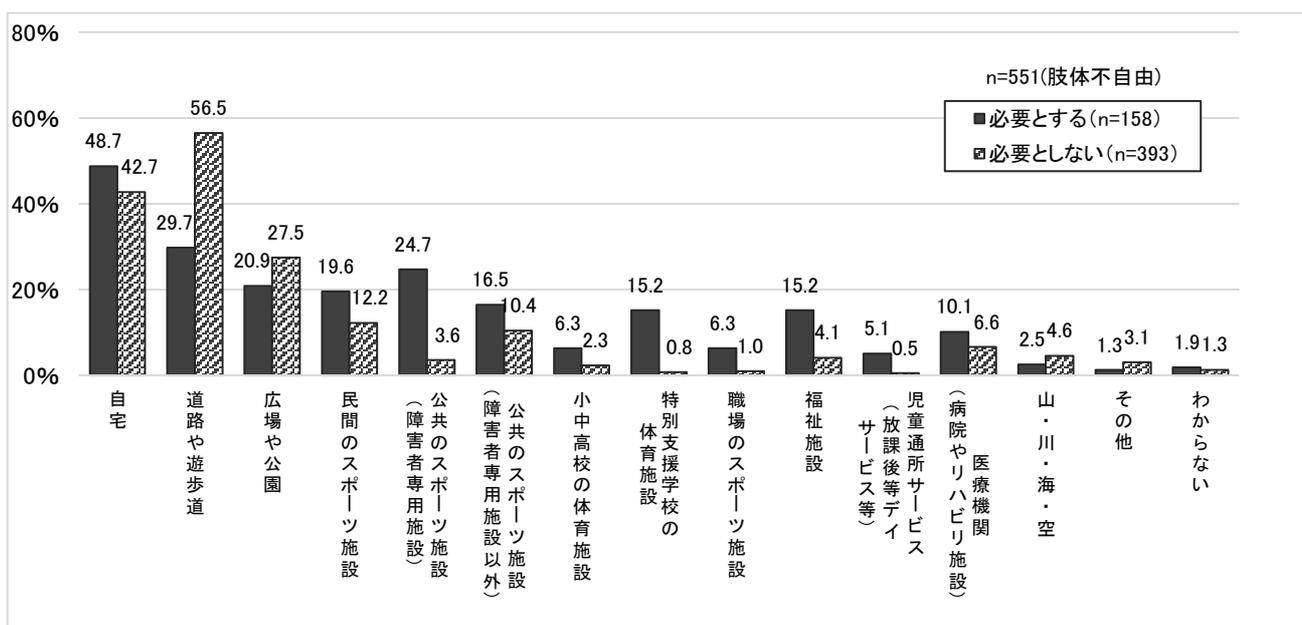
【図表 78】スポーツ・運動を実施する場所(障害の程度別)[複数回答]〈スポーツ・運動実施者〉



日常生活で車いす必要/不要別にみると、「必要とする」では「自宅」、「公共のスポーツ施設」、「学校の体育施設」、「福祉施設」など各種施設での実施が「必要としない」と比較して高い割合であった。【図表 79】

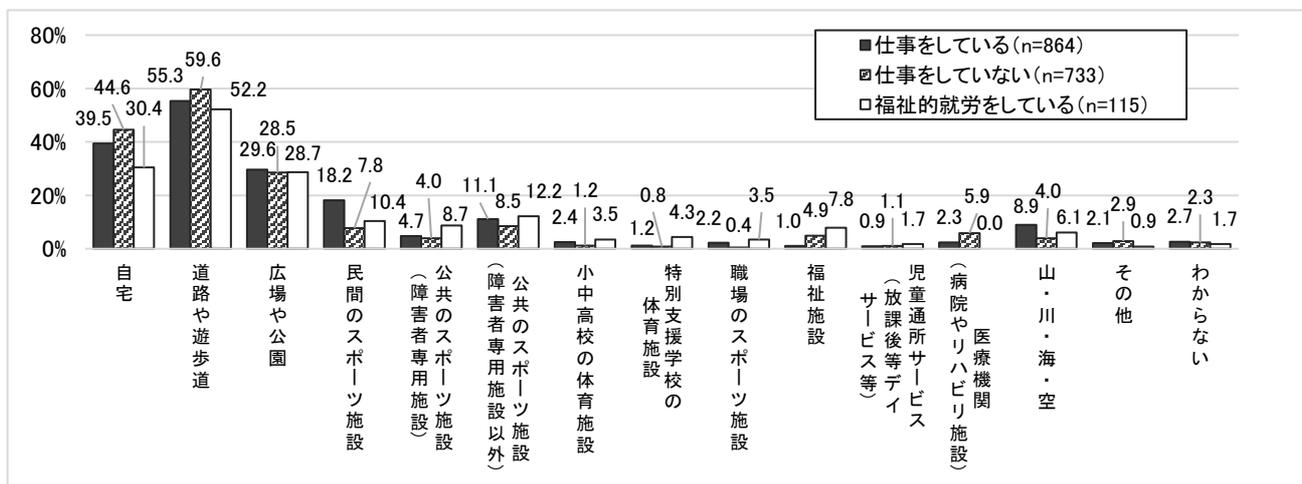
【図表 79】スポーツ・運動を実施する場所(日常生活で車いす必要/不要)[複数回答]

〈スポーツ・運動実施者〉



就業状況別にみると、「福祉的就労をしている」では、「自宅」（30.4%）の割合が他の区分に比べて低く、「公共のスポーツ施設（障害者専用施設）」（8.7%）や「福祉施設」（7.8%）の割合が他の区分に比べ高かった。【図表 80】

【図表 80】スポーツ・運動を実施する場所(就業状況別)(18歳以上)〈スポーツ・運動実施者〉



平日・日中の居場所別にみると、「自分の家」で過ごす人は「自宅」（47.6%）、「道路や遊歩道」（58.9%）での実施が高く、「職場（一般企業など）」と「職場（福祉的就労の施設）」で過ごす人では「道路や遊歩道」での実施がそれぞれ5割を超えた。【図表 81】

【図表 81】スポーツ・運動を実施する場所(平日・日中の居場所別)(18歳以上)〈スポーツ・運動実施者〉

	自宅	道路や遊歩道	広場や公園	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設(障害者専用施設)	公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)	小中高校の体育施設	特別支援学校の体育施設	職場のスポーツ施設	福祉施設	児童通所サービス(放課後等デイサービス等)	医療機関(病院やリハビリ施設)	山・川・海・空	その他	わからない
自分の家(n=1,003)	47.6	58.9	28.6	9.9	4.0	9.4	1.4	0.5	0.8	2.8	0.7	4.4	5.8	2.7	2.5
職場(一般企業など)(n=497)	35.0	57.9	31.8	18.9	4.6	10.7	2.2	1.4	3.0	0.8	0.4	1.6	9.5	1.8	2.2
職場(福祉的就労の施設)(n=72)	19.4	52.8	30.6	9.7	9.7	12.5	5.6	5.6	2.8	9.7	1.4	0.0	6.9	0.0	2.8
学校(n=16)	31.3	50.0	12.5	31.3	0.0	12.5	6.3	6.3	0.0	56.3	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0
通所施設(生活介護、デイケアなど)(n=80)	25.0	38.8	23.8	17.5	11.3	10.0	5.0	5.0	1.3	6.3	7.5	8.8	1.3	0.0	2.5
入所施設(n=26)	30.8	42.3	26.9	19.2	3.8	7.7	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8
その他(n=18)	27.8	44.4	16.7	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	5.6	16.7	5.6

放課後の居場所別にみると、いずれの区分においても、「自宅」「道路や遊歩道」「広場や公園」「小中高校の学校施設」の割合が比較的高かった。「習いごと（学習系）」や「習いごと（スポーツ系）」では「民間のスポーツ施設」がそれぞれ4割を超えた。【図表 82】

【図表 82】スポーツ・運動を実施する場所(放課後の居場所別)(7～17歳)[複数回答]  
 〈スポーツ・運動実施者〉

	自宅	道路や遊歩道	広場や公園	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設 (障害者専用施設)	公共のスポーツ施設 (障害者専用施設以外)	小中高校の体育施設	特別支援学校の体育施設	職場のスポーツ施設	福祉施設	児童通所サービス等 (放課)	医療機関 (病院やリハビリ施設)	山・川・海・空	その他	わからない
自分の家(n=256)	38.3	27.7	39.5	22.7	10.2	14.5	26.6	10.9	1.6	2.3	13.3	1.2	15.6	0.8	2.0
習いごと(塾や英会話等の学習系)(n=65)	33.8	23.1	33.8	43.1	27.7	26.2	35.4	12.3	9.2	6.2	12.3	0.0	21.5	1.5	1.5
習いごと(スイミングやサッカー等のスポーツ系)(n=57)	31.6	28.1	38.6	52.6	21.1	43.9	31.6	12.3	3.5	3.5	21.1	0.0	29.8	3.5	0.0
習いごと(音楽や習字等の芸術系)(n=39)	25.6	23.1	28.2	38.5	33.3	20.5	38.5	17.9	15.4	7.7	10.3	2.6	17.9	0.0	0.0
児童通所サービス(放課後等デイサービス等)(n=128)	28.1	28.9	37.5	20.3	17.2	19.5	22.7	32.0	4.7	3.1	53.9	2.3	20.3	1.6	0.0
学童保育(n=28)	25.0	21.4	35.7	35.7	25.0	42.9	17.9	28.6	17.9	7.1	17.9	0.0	10.7	0.0	0.0
広場や公園(n=34)	44.1	35.3	64.7	47.1	26.5	38.2	52.9	23.5	17.6	8.8	29.4	8.8	44.1	0.0	0.0
学校(校庭や体育館)(n=34)	35.3	29.4	41.2	23.5	20.6	29.4	67.6	5.9	2.9	2.9	17.6	0.0	26.5	0.0	0.0
児童館や図書館などの公共施設(n=14)	42.9	64.3	71.4	50.0	28.6	42.9	64.3	14.3	0.0	14.3	42.9	7.1	64.3	0.0	0.0
その他(n=7)	42.9	14.3	14.3	42.9	0.0	57.1	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0

過去1年間のスポーツ・運動の実施日数別にみると、「自宅」はいずれの区分においても割合が高く、また、実施日数が多いほど「道路や遊歩道」の割合が高かった。「広場や公園」は「週1日程度」以上の区分で3割を超えた。【図表 83】

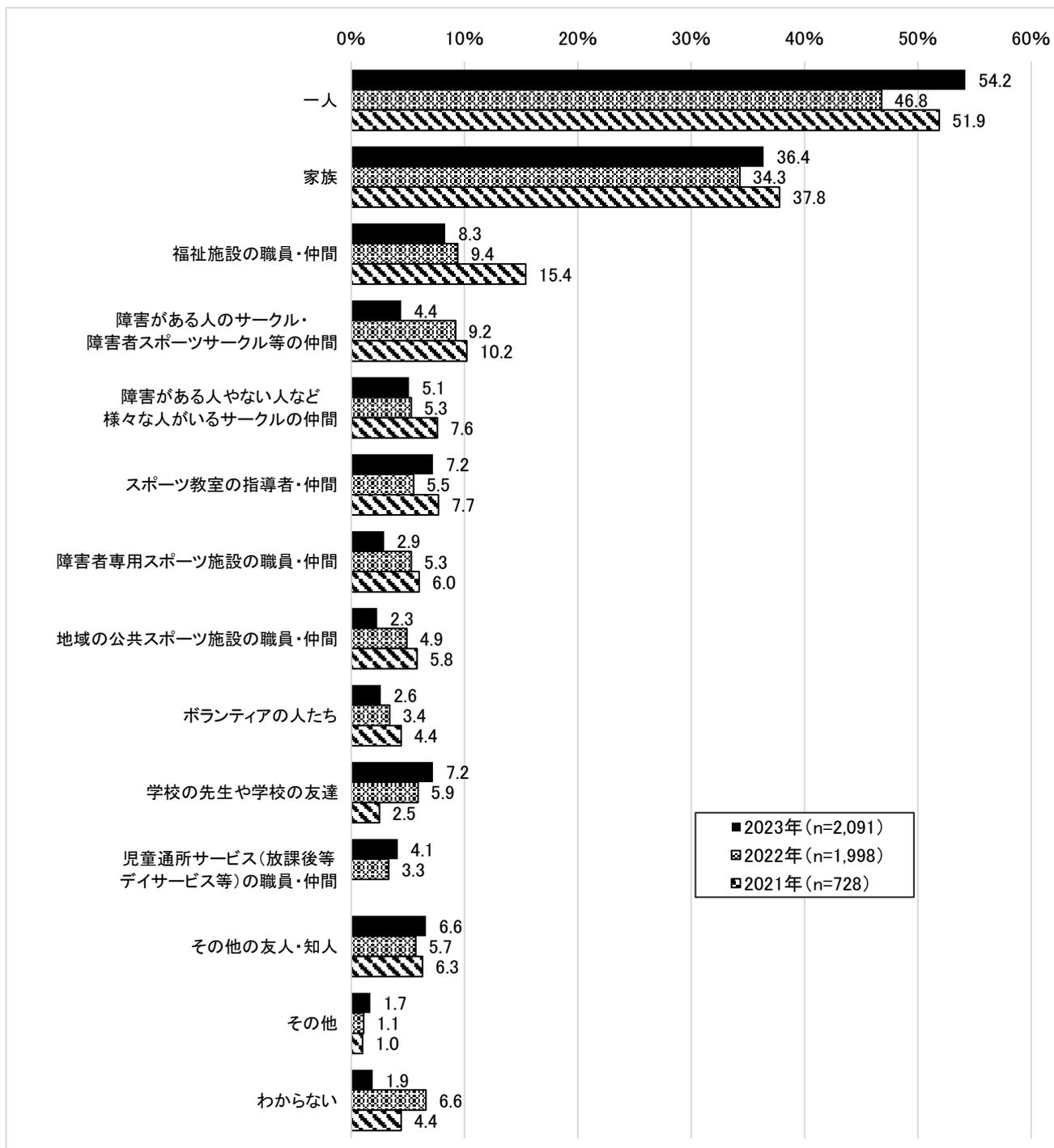
【図表 83】スポーツ・運動を実施する場所(スポーツ実施頻度別)[複数回答]〈スポーツ・運動実施者〉

	自宅	道路や遊歩道	広場や公園	民間のスポーツ施設	公共のスポーツ施設 (障害者専用施設)	公共のスポーツ施設 (障害者専用施設以外)	小中高校の体育施設	特別支援学校の体育施設	職場のスポーツ施設	福祉施設	児童通所サービス等 (放課)	医療機関 (病院やリハビリ施設)	山・川・海・空	その他	わからない
週3日以上(年151日以上) (n=604)	46.5	61.9	31.6	13.9	4.3	7.9	7.8	3.3	1.8	2.3	4.1	4.5	7.8	2.0	0.2
週2日程度(年101日～150日) (n=429)	40.6	56.2	35.9	20.5	9.3	14.2	8.6	7.5	3.0	4.0	6.8	2.8	10.0	2.3	0.2
週1日程度(年51日～100日) (n=506)	37.5	47.8	30.8	18.2	7.7	10.3	4.9	2.8	0.8	4.5	3.2	3.8	6.5	1.6	0.8
月に1～3日程度(年12日～50日) (n=280)	33.6	41.8	32.5	11.8	5.4	19.3	3.2	3.9	1.8	2.5	3.2	2.1	8.2	2.9	0.7
3か月に1～2日程度(年4日～11日) (n=75)	24.0	36.0	21.3	16.0	8.0	20.0	4.0	2.7	1.3	0.0	2.7	1.3	20.0	4.0	4.0
年に1～3日程度 (n=52)	38.5	42.3	11.5	1.9	5.8	7.7	3.8	7.7	0.0	3.8	5.8	0.0	11.5	5.8	1.9
わからない (n=145)	35.9	41.4	13.1	2.8	0.7	4.8	3.4	1.4	0.7	0.7	2.1	2.1	2.8	0.0	24.1

(5) スポーツ・運動を一緒に実施する人（スポーツ実施者対象）

スポーツ・運動を一緒に実施する人は、「一人」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「家族」（36.4%）、  
「福祉施設の職員・仲間」（8.3%）の順であった。【図表 84】

【図表 84】スポーツ・運動を一緒に実施する人〔複数回答〕〈スポーツ・運動実施者〉



注 1 : 2021 年までは 18 歳以上、2022 年からは 7 歳以上を調査対象としている。2023 年分の 18 歳以上の数値は次ページを参照

注 2 : 「児童通所サービスの職員・仲間」は 2022 年度調査から選択肢に追加

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「一人」の割合が高くなり、「50歳代」で69.1%と最も高い。「7～17歳」では「家族」（54.1%）と「学校の先生や学校の友達」（36.9%）が高かった。【図表 85】

【図表 85】スポーツ・運動を一緒に実施する人(年齢別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>

	一人	家族	福祉施設の職員・仲間	障害がある人のサークル・障害者スポーツサークル等の仲間	障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間	障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間	スポーツ教室の指導者・仲間	障害者専用スポーツ施設の職員・仲間	地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	ボランティアの人たち	学校の先生や学校の友達	児童通所サービス等（放課後等デイサービス等）の職員・仲間	その他の友人・知人	その他	わからない
7～17歳(n=379)	17.9	54.1	9.5	7.9	6.9	17.4	5.5	4.2	3.7	36.9	19.0	6.9	0.8	1.8	
18～19歳(n=24)	16.7	45.8	0.0	8.3	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	8.3	8.3	20.8	0.0	0.0	
20歳代(n=189)	56.1	33.9	6.3	8.5	5.3	5.3	4.2	4.2	2.1	2.6	0.5	8.5	1.1	1.6	
30歳代(n=238)	60.5	34.5	10.1	5.0	8.0	8.0	2.5	2.1	5.0	0.8	1.3	8.8	1.3	1.7	
40歳代(n=275)	66.2	31.6	6.9	4.4	7.3	3.3	1.5	1.1	2.2	0.4	0.4	6.5	1.1	1.8	
50歳代(n=372)	69.1	29.0	6.5	1.9	2.7	4.0	2.2	0.8	1.3	0.0	0.0	5.4	1.6	1.6	
60歳代(n=287)	67.9	25.1	3.1	1.0	4.2	4.2	2.1	1.0	1.0	0.0	0.3	5.9	3.5	2.4	
70歳代以上(n=327)	54.1	40.7	15.3	2.8	2.4	5.8	2.1	3.1	3.1	0.0	1.8	4.3	2.4	2.4	
18歳以上(n=1,712)	62.2	32.5	8.1	3.6	4.7	5.0	2.3	1.9	2.3	0.6	0.8	6.5	1.9	1.9	

障害種別にみると、「音声・言語・そしゃく機能障害」、「知的障害」では「家族」が、その他の障害種では「一人」の割合が最も高かった。「知的障害」では「一人」（28.7%）の割合が他の障害に比べて低く、「学校の先生や学校の友達」（22.0%）や「児童通所サービスの職員や仲間」（16.3%）の割合が高かった。【図表 86】

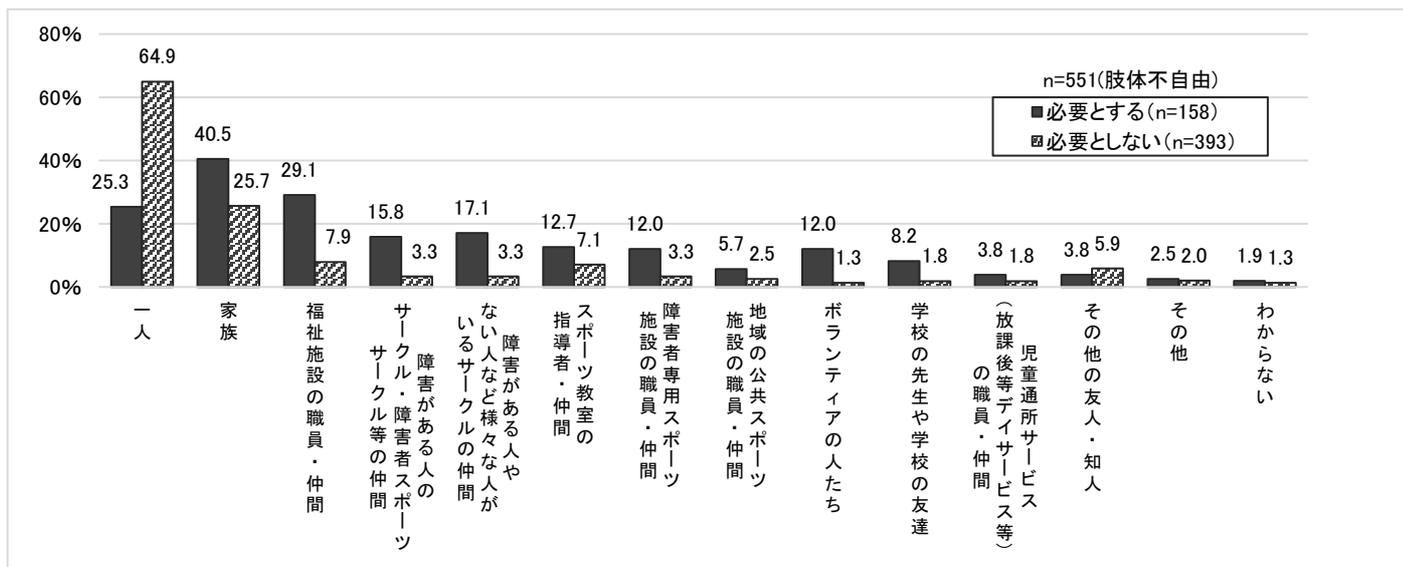
【図表 86】スポーツ・運動を一緒に実施する人(障害種別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>

	一人	家族	福祉施設の職員・仲間	障害がある人のサークル等の仲間	障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間	障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間	スポーツ教室の指導者・仲間	障害者専用スポーツ施設の職員・仲間	地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	ボランティアの人たち	学校の先生や学校の友達	児童通所サービス等（放課後等デイサービス等）の職員・仲間	その他の友人・知人	その他	わからない
視覚障害(n=166)	50.0	33.7	7.8	7.2	8.4	6.0	2.4	3.0	2.4	5.4	0.0	4.2	1.8	4.2	
聴覚・平衡機能障害(n=204)	47.5	41.2	8.3	4.9	8.3	10.3	4.4	2.9	3.4	9.3	2.5	12.3	0.5	1.0	
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	40.3	41.6	19.5	2.6	10.4	13.0	5.2	2.6	6.5	9.1	3.9	7.8	2.6	1.3	
肢体不自由(n=551)	53.5	29.9	14.0	6.9	7.3	8.7	5.8	3.4	4.4	3.6	2.4	5.3	2.2	1.5	
内部障害(n=429)	65.0	38.2	4.4	1.2	2.6	3.7	0.5	1.6	0.5	1.4	1.4	6.5	1.9	1.2	
知的障害(n=387)	28.7	49.9	11.6	7.8	5.7	9.8	4.1	2.1	3.4	22.0	16.3	4.9	0.3	2.3	
精神障害(n=535)	67.3	30.7	5.0	1.3	2.8	3.7	0.9	0.6	1.1	5.6	2.1	7.3	2.2	1.7	
その他(n=41)	41.5	36.6	17.1	9.8	4.9	19.5	7.3	0.0	9.8	12.2	7.3	9.8	4.9	0.0	

日常生活で車いす必要／不要別にみると、「必要とする」では「家族」（40.5%）、「必要としない」では「一人」（64.9%）が最も高かった。「必要とする」では、「福祉施設の職員・仲間」や「障害者専用スポーツ施設の職員・仲間」をはじめ、様々な人と一緒に実施する傾向がみられた。

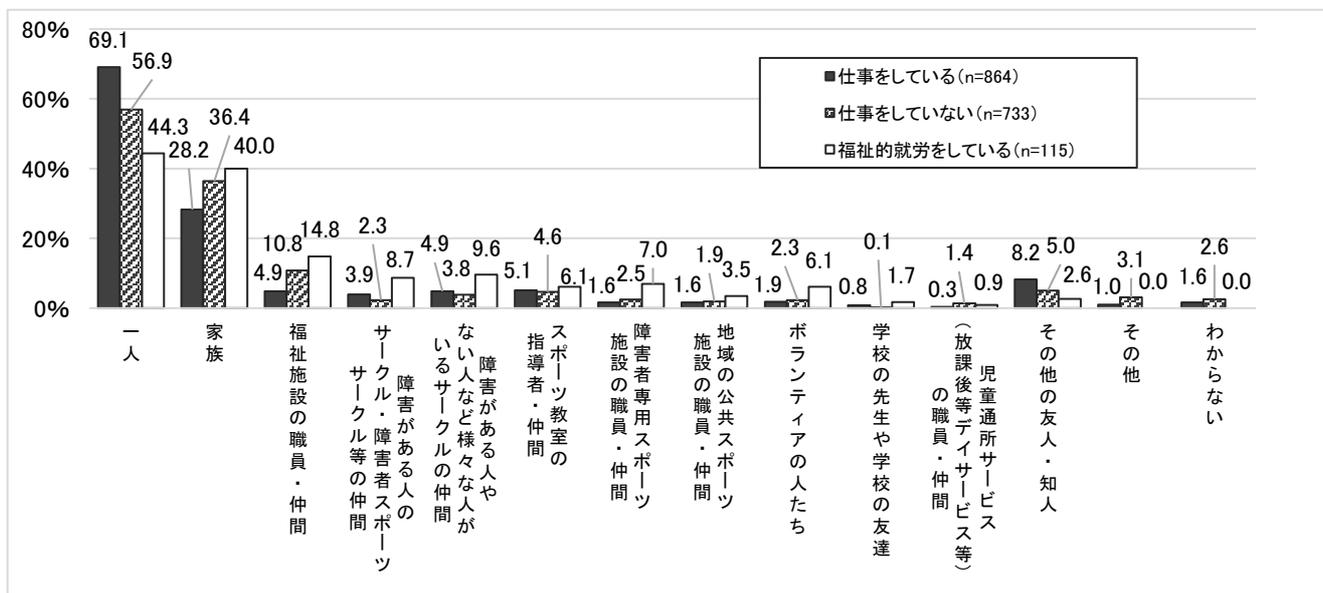
【図表 87】

【図表 87】 スポーツ・運動を一緒に実施する人(日常生活で車いす必要／不要別)[複数回答]  
 〈スポーツ・運動実施者〉



就業状況別にみると、いずれの区分も「一人」「家族」の順に高かった。「福祉的就労をしている」では「福祉施設の職員・仲間」（14.8%）の割合が他の区分と比較して高かった。【図表 88】

【図表 88】 スポーツ・運動を一緒に実施する人(就業状況別)(18歳以上)[複数回答] 〈スポーツ・運動実施者〉



平日・日中の居場所別にみると、「自分の家」と「職場（一般企業など）」で「一人」がそれぞれ6～7割と高い割合となった。「職場（福祉的就労の施設）」では「家族」（44.4%）が高く、次いで「一人」（38.9%）、「福祉施設の職員・仲間」（12.5%）の順であった。【図表 89】

【図表 89】 スポーツ・運動を一緒に実施する人(平日・日中の居場所別)(18歳以上)[複数回答]  
 〈スポーツ・運動実施者〉

	一人	家族	福祉施設の職員・仲間	障害がある人のサークル等の仲間・障害者スポーツサークル	障害がある人やない人など様々なサークルの仲間	スポーツ教室の指導者・仲間	障害者専用スポーツ施設の職員・仲間	地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	ボランティアの人たち	学校の先生や学校の友達	児童通所サービス(放課後等)の職員・仲間	その他の友人・知人	その他	わからない
自分の家(n=1,003)	64.3	32.3	8.1	2.8	3.4	4.6	1.4	1.1	1.9	0.1	0.8	5.8	3.0	2.5
職場(一般企業など)(n=497)	71.8	29.4	3.0	3.0	5.2	4.0	2.2	2.4	2.2	0.6	0.2	8.5	0.4	1.0
職場(福祉的就労の施設)(n=72)	38.9	44.4	12.5	11.1	9.7	8.3	9.7	2.8	8.3	1.4	1.4	4.2	0.0	0.0
学校(n=16)	25.0	43.8	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	6.3	31.3	0.0	0.0
通所施設(生活介護、デイケアなど)(n=80)	20.0	41.3	23.8	7.5	15.0	12.5	10.0	7.5	5.0	2.5	3.8	2.5	0.0	1.3
入所施設(n=26)	26.9	30.8	38.5	7.7	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8
その他(n=18)	44.4	38.9	16.7	5.6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6

放課後の居場所別にみると、「広場や公園」と「学校（校庭や体育館）」ではいずれも「学校の先生や学校の友達」（70.6%）が最も高い割合となった。それ以外の区分はいずれも「家族」の割合が上位となった。【図表 90】

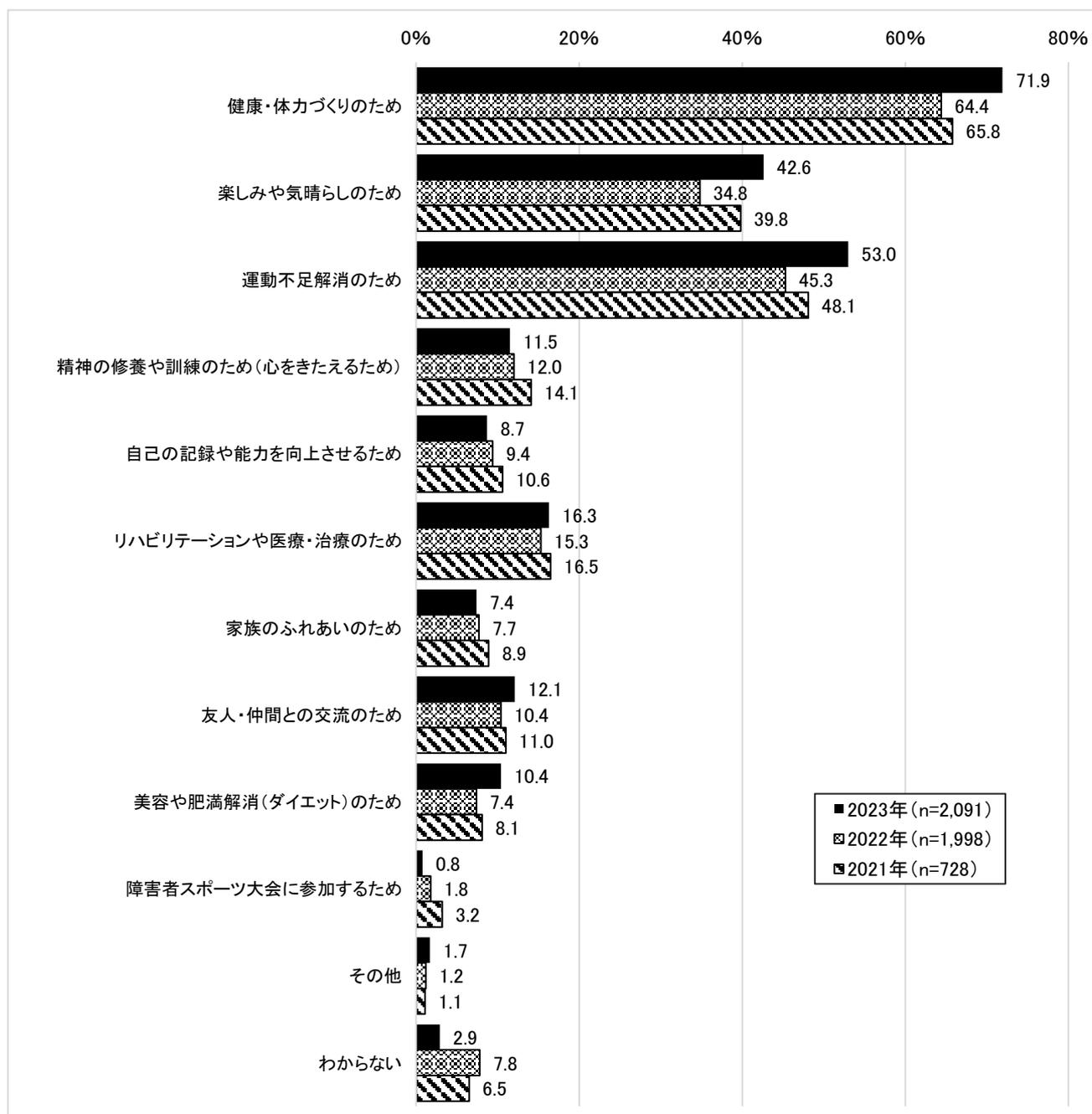
【図表 90】 スポーツ・運動を一緒に実施する人(放課後の居場所別)(7～17歳)[複数回答]  
 〈スポーツ・運動実施者〉

	一人	家族	福祉施設の職員・仲間	障害がある人のサークル等の仲間	障害がある人やない人など様々なサークルの仲間	スポーツ教室の指導者・仲間	障害者専用スポーツ施設の職員・仲間	地域の公共スポーツ施設の職員・仲間	ボランティアの人たち	学校の先生や学校の友達	児童通所サービス(放課後等)の職員・仲間	その他の友人・知人	その他	わからない
自分の家(n=256)	24.2	59.0	9.0	5.5	5.5	16.4	2.3	2.7	2.7	32.4	14.5	9.0	0.8	2.0
習いごと(塾や英会話等の学習系)(n=65)	26.2	44.6	7.7	12.3	15.4	29.2	12.3	12.3	4.6	32.3	10.8	12.3	1.5	1.5
習いごと(スイミングやサッカー等のスポーツ系)(n=57)	22.8	42.1	12.3	14.0	14.0	50.9	15.8	10.5	3.5	36.8	22.8	10.5	3.5	1.8
習いごと(音楽や習字等の芸術系)(n=39)	12.8	35.9	15.4	20.5	30.8	23.1	23.1	25.6	5.1	38.5	12.8	5.1	0.0	0.0
児童通所サービス(n=128)	7.0	56.3	18.8	8.6	7.8	18.8	9.4	8.6	7.0	47.7	54.7	4.7	0.8	0.8
学童保育(n=28)	10.7	35.7	21.4	10.7	35.7	42.9	32.1	14.3	10.7	25.0	28.6	3.6	0.0	0.0
広場や公園(n=34)	23.5	58.8	14.7	11.8	26.5	50.0	20.6	20.6	17.6	70.6	20.6	20.6	2.9	0.0
学校(校庭や体育館)(n=34)	32.4	47.1	14.7	2.9	8.8	23.5	11.8	5.9	5.9	70.6	17.6	14.7	0.0	0.0
児童館や図書館などの公共施設(n=14)	50.0	92.9	21.4	7.1	21.4	35.7	21.4	14.3	14.3	64.3	42.9	28.6	0.0	0.0
その他(n=7)	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0

(6) スポーツ・運動を実施する理由（スポーツ実施者対象）

スポーツや運動を実施する理由は、「健康・体力づくりのため」（71.9%）が最も高く、次いで「運動不足解消のため」（53.0%）、「楽しみや気晴らしのため」（42.6%）、「リハビリテーションや医療・治療のため」（16.3%）、「友人・仲間との交流のため」（12.1%）の順であった。【図表 91】

【図表 91】 スポーツ・運動を実施する理由[複数回答]〈スポーツ・運動実施者〉



注：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。2023年分の18歳以上の数値は次ページを参照

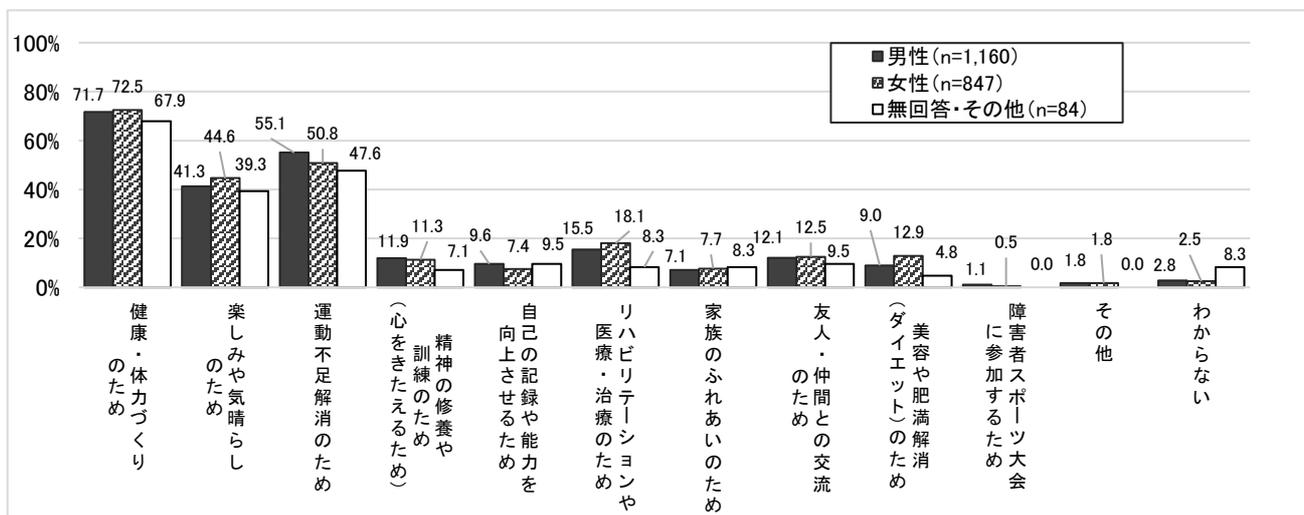
年齢別にみると、すべての年代において「健康・体力づくりのため」の割合が最も高かった。「運動不足解消のため」もすべての区分で4割を超える割合となり、「70歳代以上」では59.9%であった。また、「7～17歳」では「家族とのふれあいのため」や「友人・仲間との交流のため」が他の年代よりも高く、20歳代以降では年齢とともに「リハビリテーションや医療・治療のため」の割合が増加した。【図表 92】

【図表 92】 スポーツ・運動を実施する理由(年齢別)〈スポーツ・運動実施者〉

	健康・体力づくりのため	楽しみや気晴らしのため	運動不足解消のため	精神の修養や訓練のため(心をきたえるため)	自己の記録や能力を向上させるため	リハビリテーションや医療・治療のため	家族のふれあいのため	友人・仲間との交流のため	美容や肥満解消(ダイエット)のため	障害者スポーツ大会に参加するため	その他	わからない
7～17歳(n=379)	67.5	53.8	49.3	15.0	15.0	8.7	18.7	29.0	5.8	2.4	3.4	2.1
18～19歳(n=24)	54.2	41.7	41.7	16.7	4.2	8.3	4.2	20.8	12.5	0.0	0.0	4.2
20歳代(n=189)	61.9	42.9	47.6	9.0	6.9	9.0	5.8	11.1	15.3	0.5	0.5	4.8
30歳代(n=238)	69.7	46.2	52.1	16.8	10.9	12.2	5.9	11.3	15.5	0.4	2.1	2.1
40歳代(n=275)	72.0	44.0	51.6	12.7	9.1	14.2	3.6	6.9	17.1	1.1	1.8	4.0
50歳代(n=372)	75.3	34.1	54.0	10.2	6.5	18.8	5.1	5.6	11.8	0.8	2.2	2.7
60歳代(n=287)	76.3	38.7	55.4	9.8	5.6	20.2	3.5	8.0	8.0	0.0	0.7	3.1
70歳代以上(n=327)	77.7	38.5	59.9	6.4	6.1	28.1	5.5	8.6	3.7	0.0	0.6	2.4
18歳以上(n=1,712)	72.8	40.1	53.9	10.7	7.3	17.9	4.8	8.4	11.4	0.5	1.3	3.1

性別でみると、いずれも「健康・体力づくりのため」(男性71.7%、女性72.5%、無回答・その他67.9%)が最も高く、性別で大きな違いはみられなかった。【図表 93】

【図表 93】 スポーツ・運動を実施する理由(性別)[複数回答]〈スポーツ・運動実施者〉



障害種別にみると、全ての種別で「健康・体力づくりのため」の割合が最も高く、次いで「運動不足解消のため」の順であった。「肢体不自由」では「リハビリテーションや医療・治療のため」(34.8%)の割合が他の区分と比較して高かった。【図表 94】

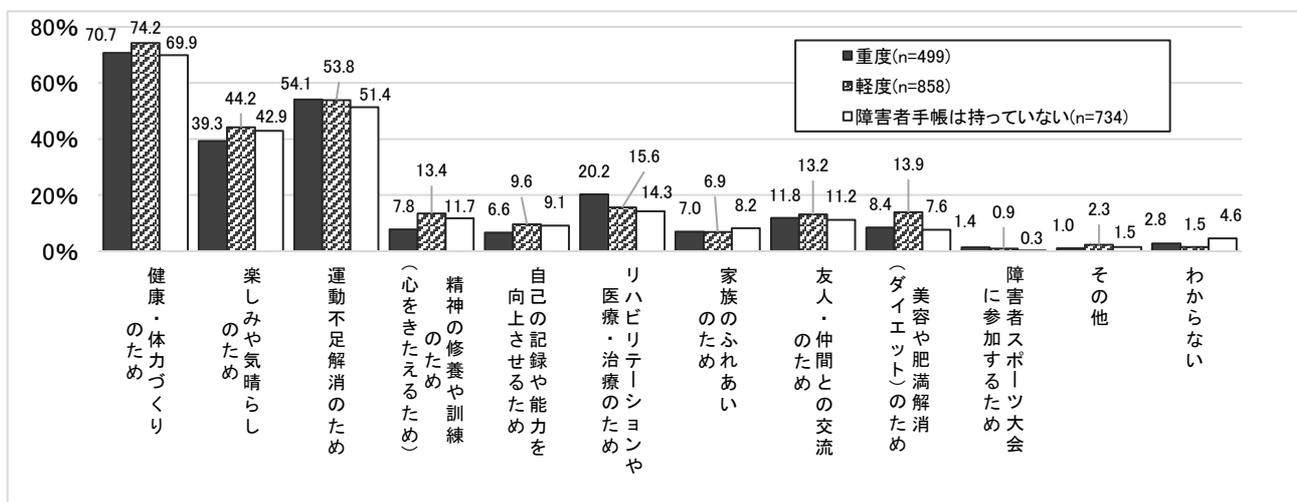
【図表 94】 スポーツ・運動を実施する理由(障害種別)〈スポーツ・運動実施者〉

(単位:%)

	健康・体力づくりのため	楽しみや気晴らしのため	運動不足解消のため	(心をきたえるため、精神の修養や訓練のため)	自己の記録や能力を向上させるため	リハビリテーションや医療・治療のため	家族のふれあいのため	友人・仲間との交流のため	(ダイエット)の解消のため	障害者スポーツ大会に参加するため	その他	わからない
視覚障害(n=166)	60.8	39.2	48.8	7.8	10.8	10.8	4.8	12.0	6.0	0.6	3.0	4.2
聴覚・平衡機能障害(n=204)	71.6	47.1	52.9	9.8	10.3	9.8	8.8	20.1	6.9	2.9	1.5	2.0
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	66.2	40.3	44.2	15.6	13.0	28.6	11.7	15.6	0.0	2.6	2.6	1.3
肢体不自由(n=551)	68.2	35.9	49.0	8.9	10.9	34.8	4.4	9.4	8.3	1.3	1.3	2.7
内部障害(n=429)	77.6	39.4	58.0	7.5	5.6	14.7	6.5	8.2	11.0	0.2	1.6	3.0
知的障害(n=387)	69.3	52.7	54.5	11.1	9.3	7.2	13.2	20.2	8.3	1.6	2.6	2.8
精神障害(n=535)	75.1	44.7	55.5	18.1	8.6	12.0	6.4	8.2	17.9	0.4	1.7	2.6
その他(n=41)	80.5	46.3	53.7	22.0	14.6	24.4	12.2	17.1	14.6	2.4	2.4	0.0

障害の程度別にみると、「重度」「軽度」「障害者手帳は持っていない」いずれも「健康・体力づくりのため」の割合が最も高く、大きな違いはみられなかった。【図表 95】

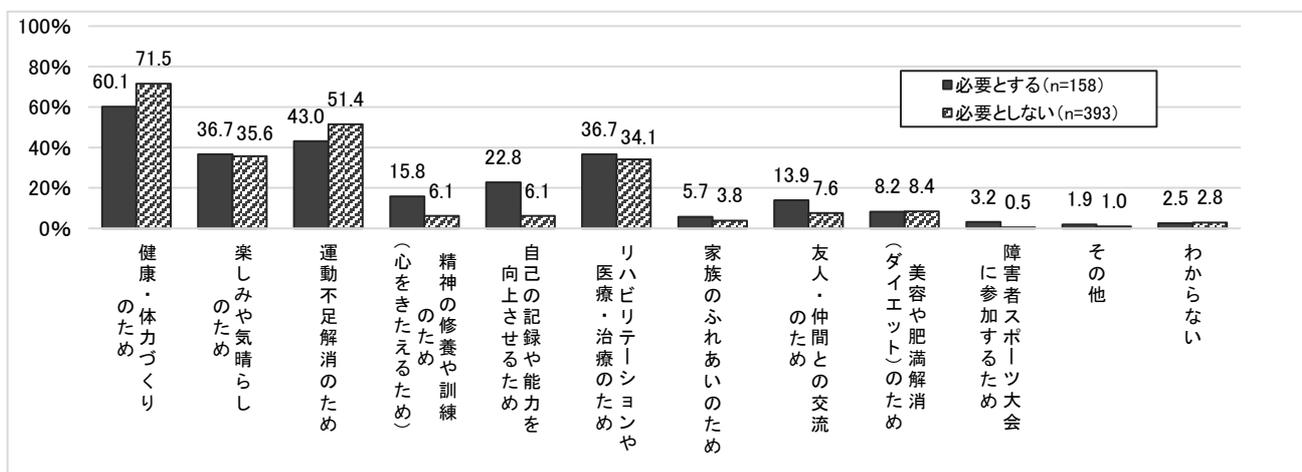
【図表 95】 スポーツ・運動を実施する理由(障害の程度別)[複数回答]〈スポーツ・運動実施者〉



日常生活で車いすの必要／不要別にみると、いずれも「健康・体力づくりのため」の割合が6割を超え最も高く、次いで「運動不足解消のため」、「楽しみや気晴らしのため」となった。【図表 96】

【図表 96】スポーツ・運動を実施する理由(日常生活での車いすの必要／不要別)[複数回答]

〈スポーツ・運動実施者〉



平日・日中の居場所別にみると、いずれの区分も「健康・体力づくりのため」の割合が最も高かった。「職場(一般企業など)」では「リハビリテーションや医療・治療のため」(9.9%)の割合が他と比較して低かった。【図表 97】

【図表 97】スポーツ・運動を実施する理由(平日・日中の居場所別)(18歳以上)[複数回答]

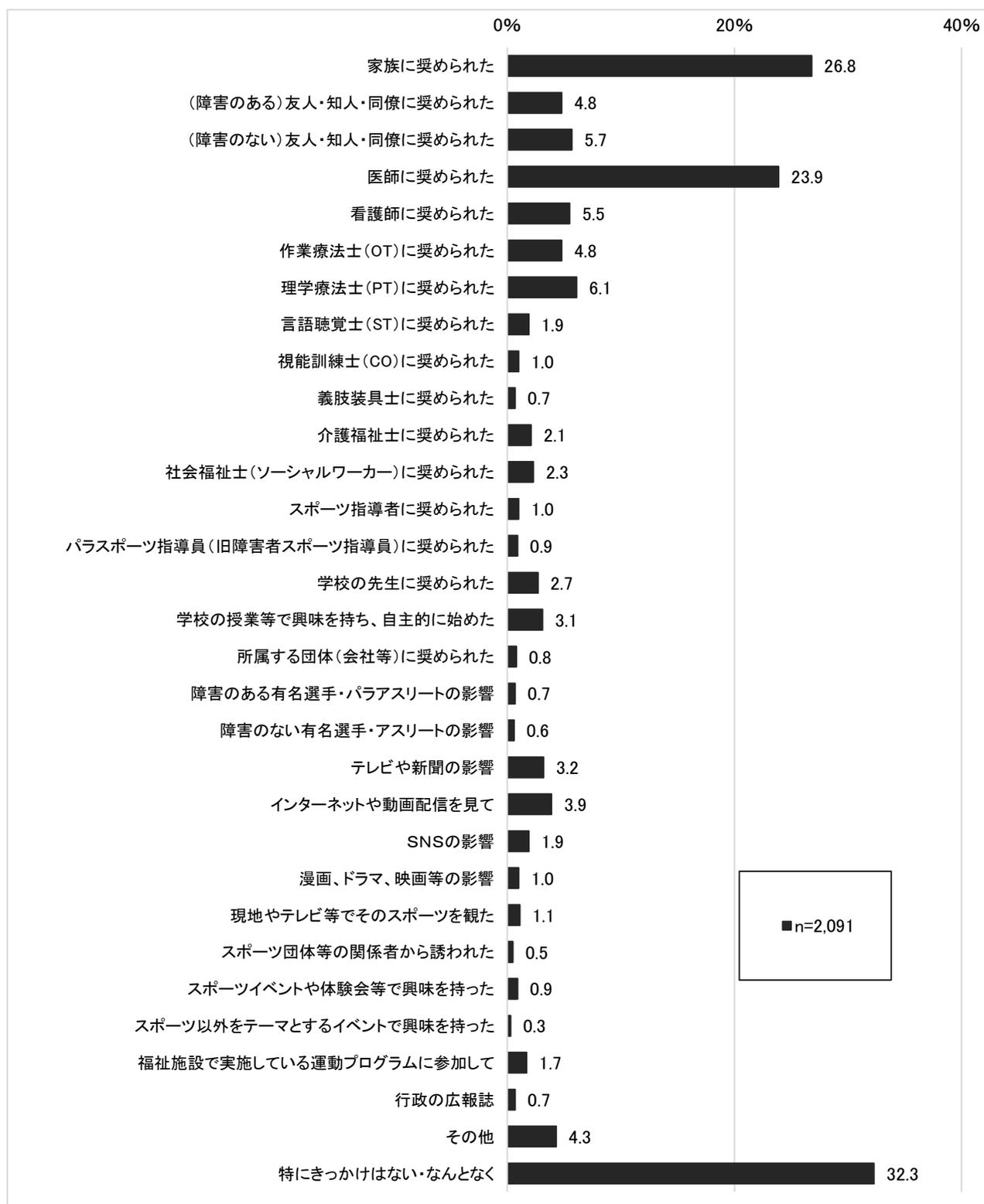
〈スポーツ・運動実施者〉

	健康・体力づくりのため	楽しみや気晴らしのため	運動不足解消のため	(心をきたえるため) 精神の修養や訓練のため	自己の記録や能力を向上させるため	療・治療のため	リハビリテーションや医療	家族のふれあいのため	友人・仲間との交流のため	美容や肥満解消(ダイエット)のため	障害者スポーツ大会に参加するため	その他	わからない
自分の家(n=1,003)	75.0	38.5	55.3	9.4	6.4	21.9	4.9	7.8	9.6	0.2	1.5	3.6	
職場(一般企業など)(n=497)	72.8	40.6	52.9	11.7	7.6	9.9	4.6	7.8	16.3	0.8	1.6	2.2	
職場(福祉的就労の施設)(n=72)	72.2	50.0	54.2	11.1	6.9	11.1	4.2	9.7	12.5	1.4	0.0	0.0	
学校(n=16)	62.5	56.3	56.3	18.8	0.0	6.3	0.0	25.0	6.3	0.0	0.0	12.5	
通所施設(生活介護、デイケアなど)(n=80)	52.5	41.3	38.8	18.8	18.8	22.5	7.5	12.5	7.5	0.0	0.0	1.3	
入所施設(n=26)	57.7	38.5	50.0	7.7	3.8	23.1	3.8	11.5	0.0	0.0	0.0	7.7	
その他(n=18)	77.8	55.6	66.7	16.7	11.1	27.8	5.6	16.7	11.1	5.6	0.0	5.6	

(7) スポーツ・運動を実施したきっかけ（スポーツ実施者対象）

スポーツや運動を実施したきっかけは、「特にきっかけはない・なんとなく」（32.3%）が最も高く、次いで「家族に奨められた」（26.8%）、「医師に奨められた」（23.9%）となった。【図表 98】

【図表 98】スポーツ・運動を実施したきっかけ（スポーツ・運動実施者）



年齢別にみると、すべての年代において「家族に奨められた」が2割を超え、50歳代以降では年齢とともに「医師に奨められた」の割合が増加した。また、「7～17歳」では「学校の先生に奨められた」(12.4%)が他の年代と比べて高い割合を占めた。【図表99】

【図表99】スポーツ・運動を実施したきっかけ(年齢別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>

(単位:%)

	家族に奨められた	同僚に奨められた(障害のある)友人・知人・	同僚に奨められた(障害のない)友人・知人・	医師に奨められた	看護師に奨められた	作業療法士(OT)に奨められた	理学療法士(PT)に奨められた	言語聴覚士(ST)に奨められた	視能訓練士(CO)に奨められた	義肢装具士に奨められた	介護福祉士に奨められた	社会福祉士(ソーシャルワーカー)に奨められた	スポーツ指導者に奨められた	パラスポーツ指導員(旧障害者スポーツ指導員)に奨められた	学校の先生に奨められた
7～17歳(n=379)	28.0	6.9	5.8	11.6	5.0	7.1	5.3	4.2	1.6	1.1	2.9	2.9	1.8	2.4	12.4
18～19歳(n=24)	20.8	4.2	20.8	20.8	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2
20歳代(n=189)	33.3	5.3	6.9	11.6	2.1	1.6	2.6	2.6	1.1	1.1	0.0	2.1	1.1	1.6	2.1
30歳代(n=238)	20.2	6.7	7.1	19.7	5.5	4.2	6.3	2.5	2.9	1.3	1.7	1.7	1.3	2.5	1.3
40歳代(n=275)	20.0	5.1	8.0	18.2	5.5	4.7	5.1	1.1	0.7	0.4	0.4	1.8	0.7	0.4	0.4
50歳代(n=372)	23.7	1.6	3.8	31.7	4.6	4.3	5.4	0.5	0.0	0.5	0.8	1.6	0.5	0.0	0.0
60歳代(n=287)	24.4	3.8	3.1	32.8	4.9	4.2	7.7	0.7	1.0	0.3	1.0	1.4	0.3	0.0	0.3
70歳代以上(n=327)	38.5	5.2	5.2	36.7	9.2	5.8	9.2	1.5	0.3	0.6	6.4	4.6	0.9	0.0	0.0
18歳以上(n=1,712)	26.6	4.4	5.7	26.6	5.5	4.3	6.3	1.3	0.9	0.6	1.9	2.2	0.8	0.6	0.6

	自主的学校の授業等で興味を持ち、	められた所属する団体(会社等)に奨	スリートの影響	障害のある有名選手・パラ	障害のない有名選手・アス	テレビや新聞の影響	インターネットや動画配信を	SNSの影響	漫画、ドラマ、映画等の影響	現地やテレビ等でそのスポー	誘われた	スポーツ団体等の関係者から	で興味を持った	イベント以外をテーマとする	福祉施設で実施している運動	行政の広報誌	その他	特にな
7～17歳(n=379)	13.5	1.8	0.8	0.5	1.8	3.4	1.3	2.1	1.3	0.8	2.4	0.3	4.0	0.5	4.5	29.0		
18～19歳(n=24)	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0		
20歳代(n=189)	2.6	2.1	1.1	2.1	1.1	4.8	5.3	2.6	2.6	2.1	2.6	2.1	0.5	0.0	1.6	30.7		
30歳代(n=238)	1.7	0.8	0.8	1.3	4.2	8.0	4.2	1.3	2.1	1.3	0.4	0.4	1.3	0.0	3.8	39.1		
40歳代(n=275)	1.1	0.4	1.1	0.7	2.5	2.9	1.5	0.7	0.7	0.0	0.4	0.0	1.1	0.7	2.9	45.5		
50歳代(n=372)	0.0	0.3	0.8	0.3	1.9	3.5	0.8	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	1.1	0.3	5.6	34.1		
60歳代(n=287)	0.0	0.0	0.3	0.0	4.9	4.2	1.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	7.3	31.7		
70歳代以上(n=327)	0.0	0.6	0.0	0.3	5.5	2.1	0.3	0.3	0.9	0.3	0.3	0.0	3.1	2.4	3.1	20.2		
18歳以上(n=1,712)	0.8	0.6	0.6	0.6	3.4	4.0	2.0	0.7	1.0	0.5	0.5	0.3	1.2	0.8	4.2	33.1		

障害種別でも、「家族に奨められた」、「医師に奨められた」が全体的に高い傾向にあった。

【図表 100】

【図表 100】スポーツ・運動を実施したきっかけ(障害種別)[複数回答]〈スポーツ・運動実施者〉

(単位:%)

	家族に奨められた	同僚に奨められた (障害のある友人・知人・)	同僚に奨められた (障害のない友人・知人・)	医師に奨められた	看護師に奨められた	作業療法士(OT)に奨められた	理学療法士(PT)に奨められた	言語聴覚士(ST)に奨められた	視能訓練士(CO)に奨められた	義肢装具士に奨められた	介護福祉士に奨められた	社会福祉士(ソーシャルワーカー)に奨められた	スポーツ指導者に奨められた	パラスポーツ指導員に奨められた	学校の先生に奨められた
視覚障害(n=166)	36.7	8.4	7.8	21.1	5.4	10.8	4.2	3.0	1.2	1.2	1.2	1.8	0.6	1.8	3.0
聴覚・平衡機能障害(n=204)	32.4	6.4	9.8	24.5	5.4	6.4	3.9	3.9	2.5	1.0	1.0	1.0	2.5	0.5	3.9
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	31.2	6.5	5.2	24.7	9.1	13.0	15.6	6.5	2.6	3.9	5.2	2.6	3.9	0.0	2.6
肢体不自由(n=551)	26.3	6.7	5.8	30.7	10.2	8.2	15.2	2.7	2.0	1.3	5.4	4.4	1.1	1.6	2.2
内部障害(n=429)	27.0	3.3	6.1	30.3	4.2	1.6	4.7	0.7	0.5	0.0	1.9	1.4	0.5	0.0	0.0
知的障害(n=387)	31.5	6.7	3.4	11.9	3.4	5.2	4.4	1.0	0.0	0.3	1.6	2.3	1.0	1.3	8.8
精神障害(n=535)	19.6	2.8	4.5	24.1	3.2	2.1	2.4	0.9	0.4	0.4	0.4	1.9	0.2	0.4	1.3
その他(n=41)	34.1	14.6	7.3	34.1	9.8	7.3	7.3	0.0	0.0	2.4	7.3	4.9	4.9	0.0	4.9

	自主的に授業等で興味を持ち、学校の授業等	所属する団体(会社等)に奨められた	障害のある有名選手・パラアスリートの影響	障害のない有名選手・アスリートの影響	テレビや新聞の影響	インターネットや動画配信を見て	SNSの影響	漫画、ドラマ、映画等の影響	現地やテレビ等でそのスポーツを観た	誘われた	スポーツ団体等の関係者から	スポーツイベントや体験会等で興味を持った	スポーツ以外をテーマとするイベントに興味を持った	福祉施設で実施している運動プログラムに参加して	行政の広報誌	その他	特になく
視覚障害(n=166)	1.2	0.0	0.0	1.2	4.2	3.6	1.8	0.6	1.8	0.0	0.6	0.6	0.0	0.6	1.2	3.6	21.1
聴覚・平衡機能障害(n=204)	5.4	0.5	1.0	1.0	4.4	4.4	2.5	2.5	2.9	1.0	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5	2.5	24.0
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	2.6	2.6	1.3	2.6	1.3	1.3	1.3	1.3	0.0	7.8	16.9
肢体不自由(n=551)	1.1	1.1	1.6	1.3	3.6	2.9	1.1	0.7	0.9	0.7	0.7	0.2	1.3	0.9	0.9	5.8	25.6
内部障害(n=429)	0.5	0.0	0.2	0.0	3.7	2.6	1.9	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	1.2	0.2	0.2	5.6	36.4
知的障害(n=387)	7.8	2.1	0.5	0.8	1.8	3.6	2.3	1.3	1.0	1.6	2.6	0.8	5.2	0.8	0.8	3.6	31.8
精神障害(n=535)	3.0	0.7	0.6	0.4	2.8	6.5	3.9	0.9	0.9	0.0	0.4	0.0	1.3	0.7	0.7	3.7	38.9
その他(n=41)	2.4	2.4	4.9	0.0	9.8	12.2	2.4	4.9	2.4	0.0	4.9	0.0	2.4	4.9	9.8	19.5	

障害の程度別にみると、いずれも「特にきっかけはない・なんとなく」、「家族に奨められた」、「医師に奨められた」が上位となった。【図表 101】

【図表 101】 スポーツ・運動を実施したきっかけ(障害の程度別)[複数回答]<スポーツ・運動実施者>

(単位:%)

	家族に奨められた	同僚に奨められた (障害のある)友人・知人・	同僚に奨められた (障害のない)友人・知人・	医師に奨められた	看護師に奨められた	作業療法士(OT)に奨めら	理学療法士(PT)に奨めら	言語聴覚士(ST)に奨めら	視能訓練士(CO)に奨めら	義肢装具士に奨められた	介護福祉士に奨められた	社会福祉士(ソーシャルワ	スポーツ指導者に奨められた	パラスポーツ指導員に奨めら	学校の先生に奨められた
重度(n=499)	25.5	5.2	4.6	22.2	5.6	8.0	9.4	3.0	1.8	1.2	3.2	2.2	1.0	1.8	3.8
軽度(n=858)	22.5	6.1	6.2	24.1	6.1	4.4	5.8	1.7	0.9	0.8	1.6	2.6	1.2	0.9	2.8
障害者手帳は持っていない(n=734)	32.8	3.1	5.9	24.8	4.6	3.0	4.2	1.2	0.5	0.3	1.8	2.2	0.7	0.3	1.9

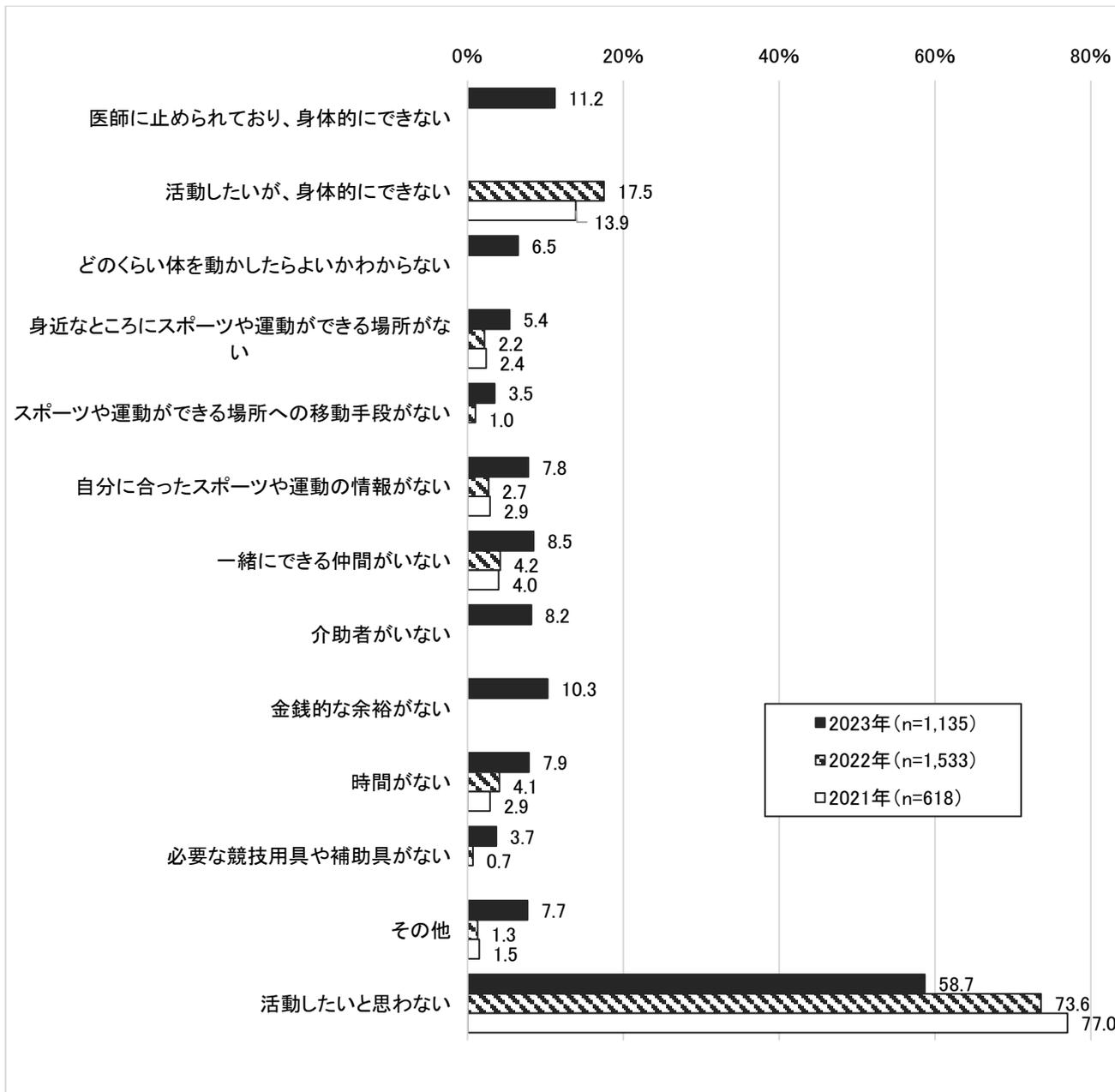
	学校の授業等で興味を持ち、自主的に始めた	所属する団体(会社等)に奨められた	障害のある有名選手・パラアスリートの影響	障害のない有名選手・アスリートの影響	テレビや新聞の影響	インターネットや動画配信を見て	SNSの影響	漫画、ドラマ、映画等の影響	現地やテレビ等でそのスポーツを観た	誘われた	スポーツ団体等の関係者から興味を持った	スポーツ以外をテーマとするイベントに興味を持った	福祉施設で実施している運動プログラムに参加して	行政の広報誌	その他	特になく
重度(n=499)	2.4	1.4	0.8	0.6	2.8	0.8	0.8	0.8	0.6	0.4	0.8	0.6	3.6	0.4	5.2	32.5
軽度(n=858)	3.6	0.7	1.0	0.8	3.1	4.8	2.3	0.8	0.8	0.5	0.9	0.1	1.4	0.8	4.7	32.6
障害者手帳は持っていない(n=734)	2.9	0.5	0.1	0.4	3.4	4.9	2.2	1.2	1.6	0.7	0.8	0.3	0.8	0.8	3.1	31.9

(8) スポーツ・運動を実施しない理由（スポーツ非実施者対象）

スポーツや運動を実施しない理由は、「活動したいと思わない」が 58.7%と最も高く、次いで「医師に止められており、身体的にできない」（11.2%）、「金銭的な余裕がない」（10.3%）の順であった。

【図表 102】

【図表 102】 スポーツ・運動を実施しない理由[複数回答]（スポーツ・運動非実施者）



注1：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。2023年分の18歳以上の数値は次ページを参照

注2：「スポーツや運動ができる場所への移動手段がない」及び「必要な競技用具や補助具がない」は2022年度調査から選択肢に追加

注3：「金銭的な余裕がない」「介助者がいない」は2023年度調査から追加

注4：「活動したいが、身体的にできない」としていた選択肢は今回調査から削除し、「医師に止められており、身体的にできない」「どのくらい体を動かしたらよいかわからない」を追加

年齢別にみると、「医師に止められており、身体的にできない」は年齢とともに増加する傾向にあり、「70歳以上」（18.4%）で最も高い割合であった。「50歳代」では「金銭的な余裕がない」（18.1%）が他の区分と比べて高かった。【図表 103】

【図表 103】 スポーツ・運動を実施しない理由(年齢別) [複数回答] <スポーツ・運動非実施者>

	医師に止められており、身体的にできない	よいかわからない体を動かしたら	運動ができる場所にスポーツや	身近なところにある場所がない	スポーツや運動ができる場所	自分に合ったスポーツや運動の情報がない	一緒にできる仲間がない	介助者がいない	金銭的な余裕がない	時間がない	必要な競技用具や補助具がない	その他	活動したいと思わない
7～17歳(n=128)	3.9	4.7	9.4	1.6	10.9	18.0	12.5	9.4	9.4	3.1	0.8	57.0	
18～19歳(n=9)	0.0	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	0.0	11.1	44.4	
20歳代(n=84)	7.1	7.1	3.6	2.4	6.0	10.7	8.3	7.1	13.1	1.2	7.1	61.9	
30歳代(n=98)	6.1	3.1	7.1	1.0	9.2	10.2	4.1	11.2	8.2	2.0	4.1	61.2	
40歳代(n=102)	3.9	8.8	5.9	2.9	7.8	6.9	4.9	9.8	3.9	2.0	6.9	64.7	
50歳代(n=216)	10.6	5.6	6.9	2.8	7.9	6.5	3.7	18.1	12.0	3.7	5.6	56.9	
60歳代(n=167)	13.2	6.6	5.4	6.6	7.2	7.2	8.4	9.0	13.2	3.0	10.8	57.5	
70歳代以上(n=331)	18.4	7.6	2.1	3.9	6.9	6.0	11.8	6.9	1.5	6.0	11.5	58.0	
18歳以上(n=1,007)	12.1	6.8	4.9	3.8	7.4	7.2	7.6	10.4	7.7	3.8	8.5	58.9	

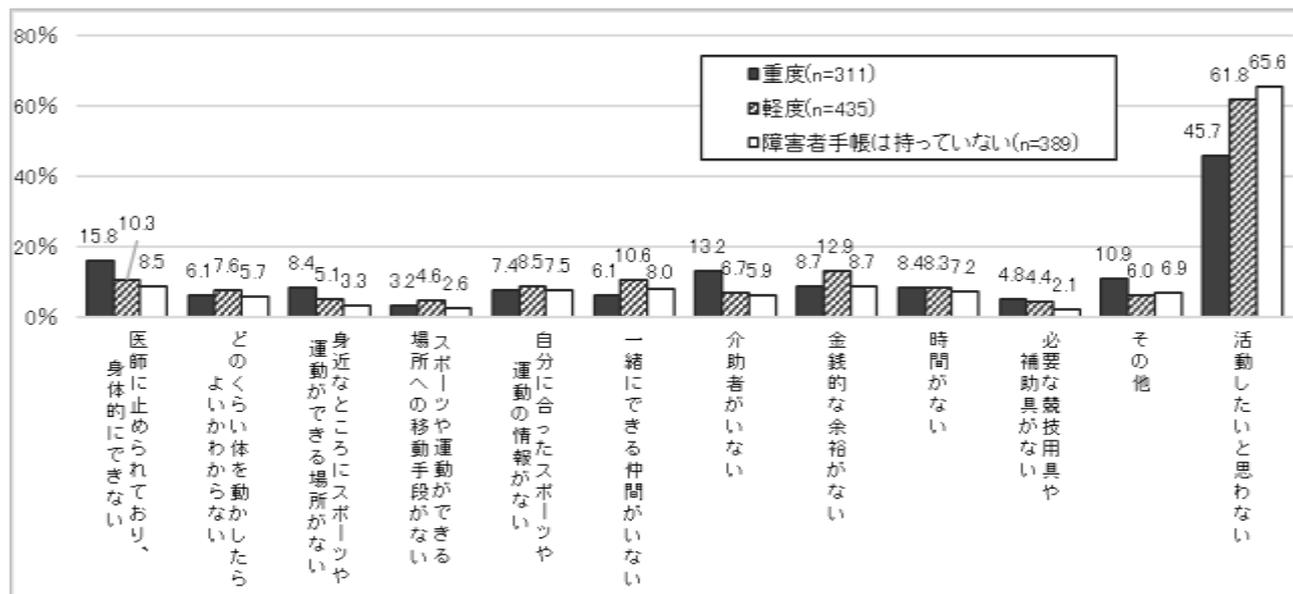
障害種別にみると、他の障害に比べて「内部障害」では「医師に止められており、身体的にできない」（21.1%）の割合が高かった一方で、「活動したいと思わない」（52.6%）は半数を超えた。【図表 104】

【図表 104】 スポーツ・運動を実施しない理由(障害種別) [複数回答] <スポーツ・運動非実施者>

	医師に止められており、身体的にできない	よいかわからない体を動かしたら	運動ができる場所にスポーツや	身近なところにある場所がない	スポーツや運動ができる場所	自分に合ったスポーツや運動の情報がない	一緒にできる仲間がない	介助者がいない	金銭的な余裕がない	時間がない	必要な競技用具や補助具がない	その他	活動したいと思わない
視覚障害(n=81)	8.6	1.2	1.2	1.2	1.2	6.2	7.4	6.2	3.7	1.2	9.9	67.9	
聴覚・平衡機能障害(n=96)	13.5	5.2	4.2	3.1	6.3	8.3	12.5	13.5	12.5	5.2	12.5	55.2	
音声・言語・そしゃく機能障害(n=58)	15.5	3.4	8.6	6.9	6.9	5.2	13.8	10.3	6.9	5.2	17.2	50.0	
肢体不自由(n=482)	15.6	7.3	6.2	5.6	9.5	6.4	12.0	8.9	5.6	6.8	11.2	51.0	
内部障害(n=190)	21.1	9.5	3.7	2.1	5.3	5.8	4.2	10.5	10.0	1.1	6.3	52.6	
知的障害(n=165)	7.3	6.1	8.5	3.6	11.5	12.1	13.9	10.3	8.5	4.8	6.1	53.9	
精神障害(n=289)	5.2	5.9	4.5	3.1	6.2	10.7	4.2	14.5	9.0	2.4	4.5	69.9	
その他(n=27)	14.8	11.1	7.4	7.4	11.1	22.2	18.5	18.5	11.1	7.4	11.1	44.4	

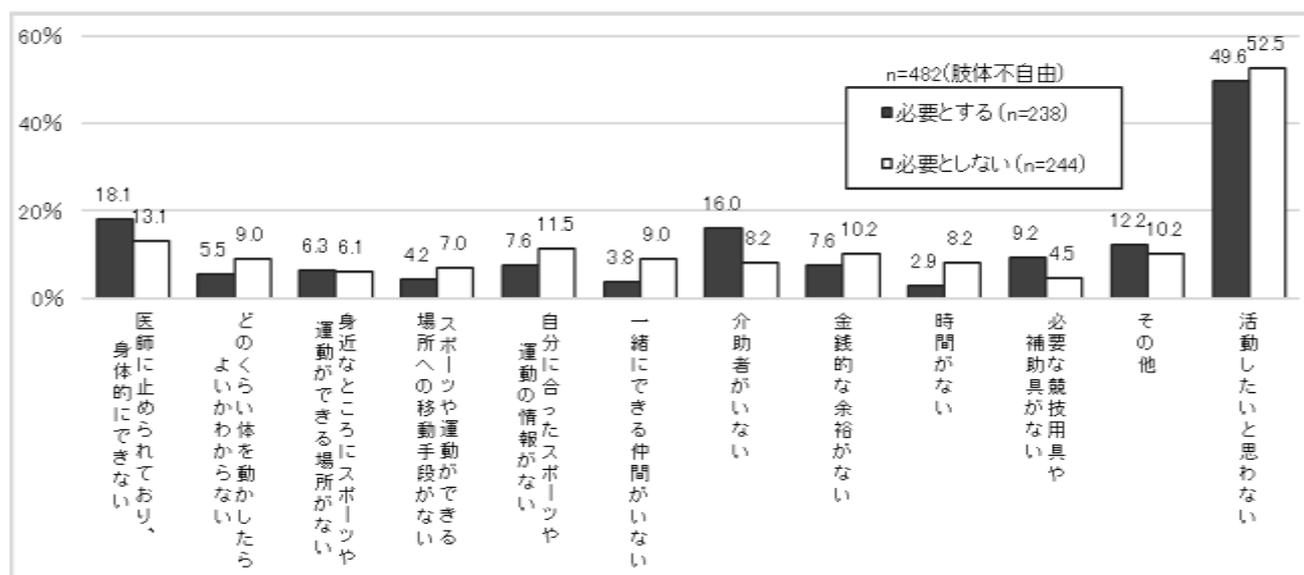
障害の程度別にみると、「重度」では「介助者がいない」が13.2%と他と比べ高い割合であったが、いずれの区分でも「活動したいと思わない」の割合が最も高かった。【図表105】

【図表105】スポーツ・運動を実施しない理由(障害の程度別)[複数回答]〈スポーツ・運動非実施者〉



日常生活で車いす必要/不要別にみると、いずれも「活動したいと思わない」が最も高かったが、「必要とする」では「介助者がいない」が16.0%であり、「必要としない」の8.2%を大きく上回った。【図表106】

【図表106】スポーツ・運動を実施しない理由(日常生活で車いす必要/不要別)[複数回答]〈スポーツ・運動非実施者〉



スポーツ・運動の現在の取組について満足や関心別にみると、「スポーツや運動に関心はない」では「活動したいと思わない」（73.5%）の割合が最も高く、「スポーツや運動を行いたいと思うができない」では「活動したいと思わない」（27.4%）と割合に大きな違いが出た。【図表 107】

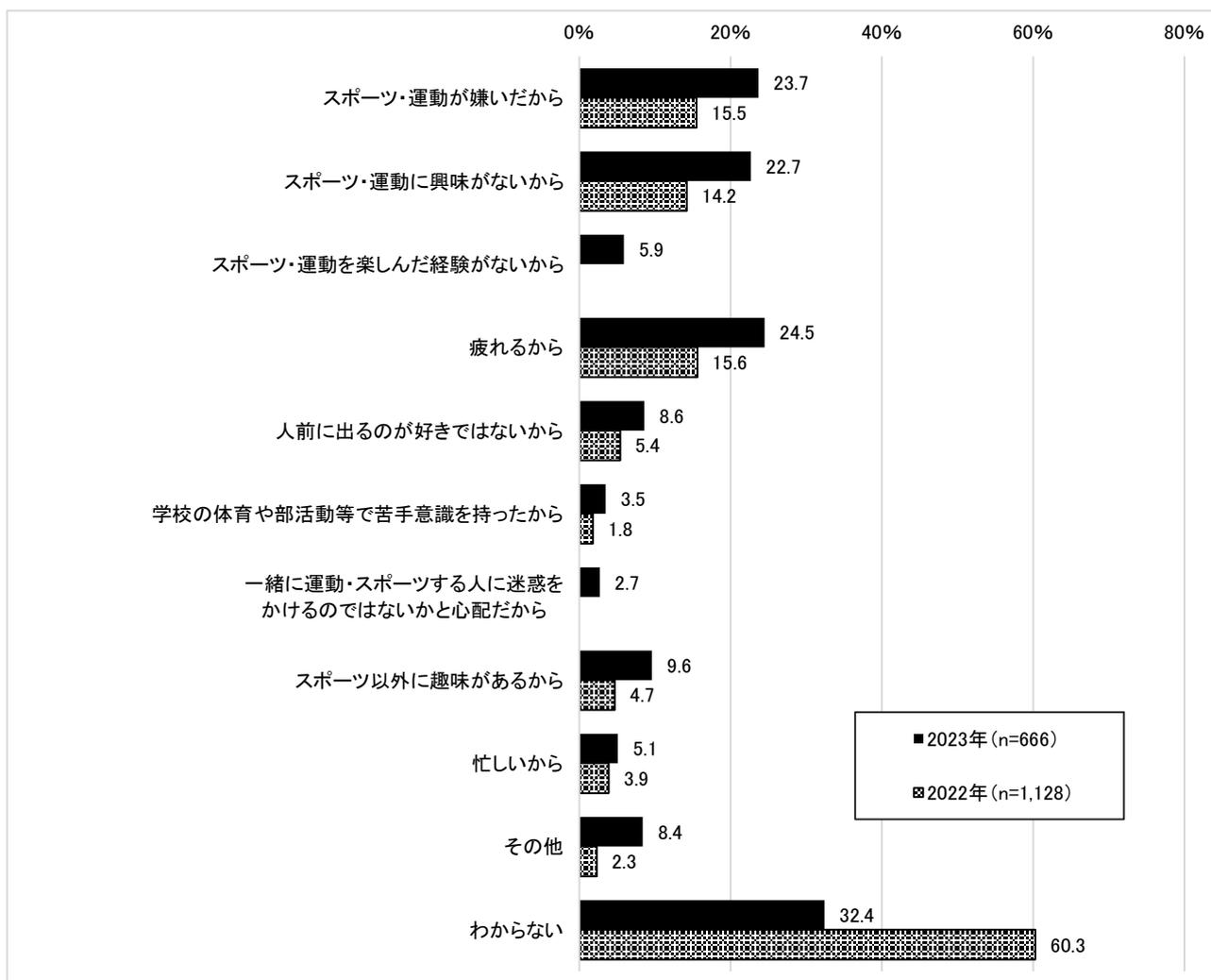
【図表 107】 スポーツ・運動を実施しない理由(スポーツ・運動の取組別)[複数回答]<スポーツ・運動非実施者>

	(単位:%)														
	身体的に止められない、医師に止められており、	わかからない	どのくらい体を動かしたらよいか	できる場所がない	身近なところにスポーツや運動ができる場所がない	移動手段がない	スポーツや運動ができる場所への	情報が合ったスポーツや運動の情報がない	一緒にできる仲間がない	介助者がいない	金銭的な余裕がない	時間がない	必要な競技用具や補助具がない	その他	活動したいと思わない
スポーツや運動を行っており、満足している(n=15)	6.7	13.3	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	26.7	0.0	0.0	33.3	
スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい(n=22)	4.5	13.6	9.1	4.5	13.6	27.3	9.1	13.6	4.5	4.5	0.0	40.9			
スポーツや運動を行いたいと思うができない(n=336)	15.2	8.3	12.2	7.4	14.9	12.5	15.5	17.6	15.2	7.7	13.4	27.4			
スポーツや運動に関心はない(n=762)	9.7	5.4	2.4	1.7	4.7	6.2	5.0	7.1	4.5	2.0	5.5	73.5			

### (9) 活動したいと思わない理由

スポーツ・運動を実施しない人のうち、「活動したいと思わない」と回答した理由については、「わからない」(32.4%)が最も多かった。次いで「疲れるから」(24.5%)、「スポーツ・運動が嫌いだから」(23.7%)、「スポーツ・運動に興味がないから」(22.7%)、「スポーツ・運動に興味が無いから」(22.7%)の順であった。これら上位項目の順は昨年度と同様であった。【図表 108】

【図表 108】 活動したいと思わない理由[複数回答]〈スポーツ・運動非実施者〉



注：「一緒に運動・スポーツする人に迷惑をかけるのではないかと心配だから」、「スポーツ・運動を楽しんだ経験がないから」は2023年度調査から選択肢に追加

年齢別にみると、「疲れるから」が「60歳代」と「70歳代以上」で2割を超え、他の区分に比べて高かった。【図表 109】

【図表 109】 活動したいと思わない理由(年齢別)[複数回答]<スポーツ・運動非実施者>

(単位: %)

	からスポーツ・運動が嫌い	ないからスポーツ・運動に興味がない	だ経験がないからスポーツ・運動を楽しんでいない	疲れるから	ないから人前が出るのが好きではない	苦手の学校の体育や部活動等	はる人に迷惑をかけるから	一緒に運動・スポーツをするから	忙しいから	その他	わからない
7～17歳(n=73)	17.8	28.8	2.7	17.8	9.6	6.8	2.7	12.3	1.4	1.4	46.6
18～19歳(n=4)	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
20歳代(n=52)	30.8	25.0	11.5	15.4	13.5	11.5	9.6	15.4	7.7	5.8	36.5
30歳代(n=60)	30.0	21.7	5.0	30.0	6.7	6.7	3.3	13.3	10.0	5.0	36.7
40歳代(n=66)	42.4	25.8	4.5	28.8	9.1	3.0	3.0	13.6	4.5	6.1	22.7
50歳代(n=123)	27.6	26.0	6.5	26.8	9.8	4.1	1.6	6.5	7.3	6.5	28.5
60歳代(n=96)	18.8	20.8	7.3	27.1	9.4	0.0	3.1	13.5	6.3	6.3	26.0
70歳代以上(n=192)	15.6	17.2	5.2	23.4	6.3	0.5	1.0	4.2	2.6	16.1	33.9
18歳以上(n=593)	24.5	21.9	6.2	25.3	8.4	3.0	2.7	9.3	5.6	9.3	30.7

障害種別にみると、「精神障害」では「スポーツ・運動が嫌いだから」(36.1%)の割合が高く、「内部障害」では「疲れるから」(32.0%)の割合が高かった。【図表 110】

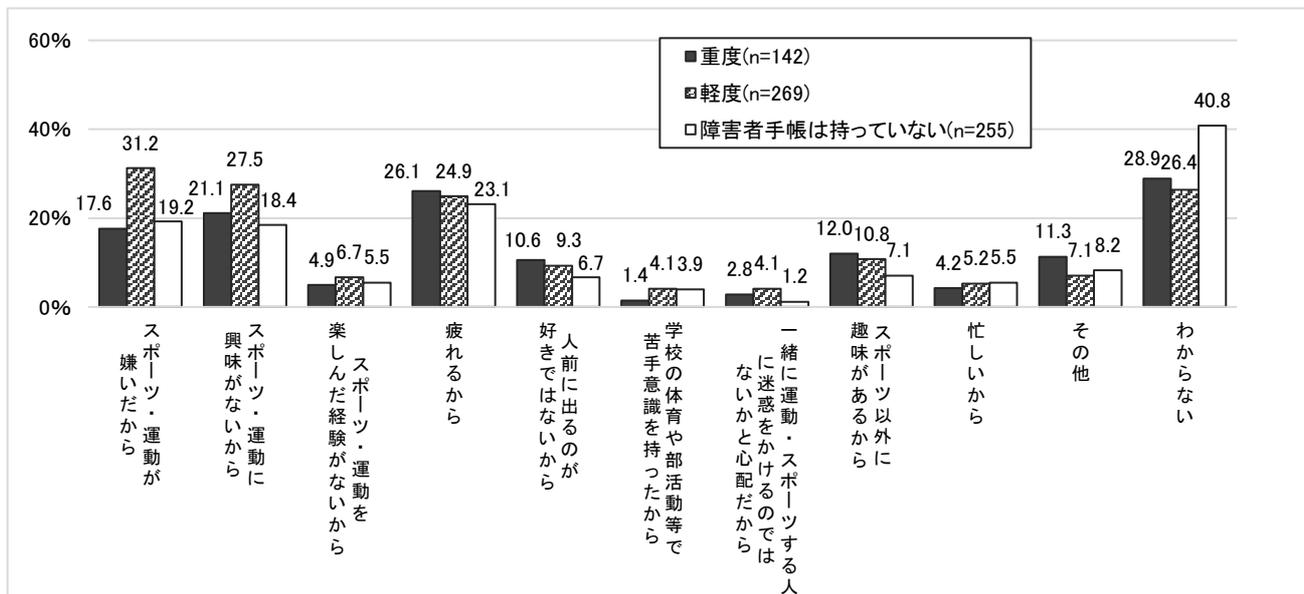
【図表 110】 活動したいと思わない理由(障害種別)[複数回答]<スポーツ・運動非実施者>

(単位: %)

	からスポーツ・運動が嫌い	ないからスポーツ・運動に興味がない	だ経験がないからスポーツ・運動を楽しんでいない	疲れるから	ないから人前が出るのが好きではない	苦手の学校の体育や部活動等	はる人に迷惑をかけるから	一緒に運動・スポーツをするから	忙しいから	その他	わからない
視覚障害(n=55)	18.2	12.7	5.5	18.2	5.5	1.8	0.0	0.0	3.6	5.5	58.2
聴覚・平衡機能障害(n=53)	17.0	9.4	5.7	18.9	3.8	0.0	1.9	3.8	7.5	5.7	45.3
音声・言語・そしゃく機能障害(n=29)	10.3	20.7	6.9	13.8	10.3	0.0	3.4	6.9	3.4	20.7	34.5
肢体不自由(n=246)	15.0	22.0	5.3	23.2	8.9	1.2	2.4	9.3	5.7	14.2	29.3
内部障害(n=100)	21.0	20.0	4.0	32.0	7.0	4.0	3.0	11.0	7.0	9.0	24.0
知的障害(n=89)	25.8	29.2	9.0	19.1	6.7	4.5	6.7	7.9	3.4	5.6	40.4
精神障害(n=202)	36.1	28.2	7.9	28.7	11.9	6.4	3.5	10.9	5.9	6.4	26.2
その他(n=12)	16.7	8.3	8.3	33.3	16.7	8.3	8.3	0.0	8.3	16.7	33.3

障害の程度別にみると、「重度」と「障害者手帳は持っていない」では「わからない」の割合が最も高く、「軽度」では「スポーツ・運動が嫌いだから」（31.2%）の割合が最も高かった。【図表 111】

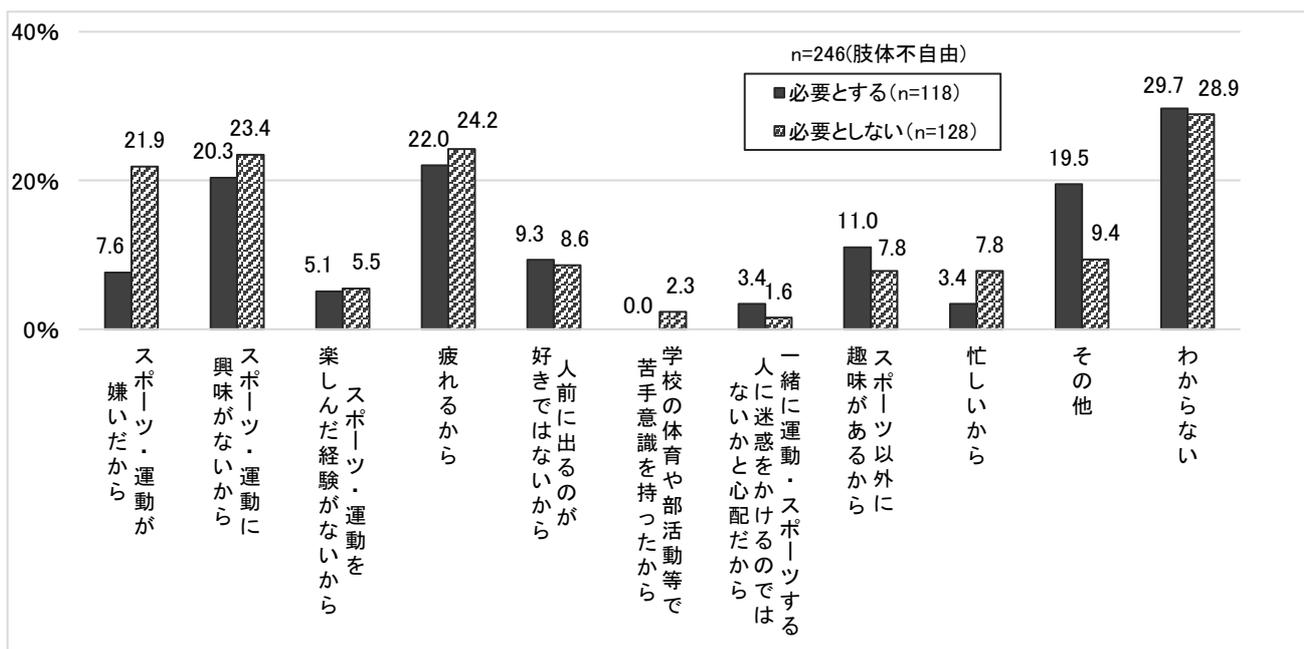
【図表 111】活動したいと思わない理由(障害の程度別)[複数回答]〈スポーツ・運動非実施者〉



日常生活で車いす必要/不要にみると、「わからない」を除き、いずれも「疲れるから」が最も高かった。【図表 112】

【図表 112】活動したいと思わない理由(日常生活で車いす必要/不要別)[複数回答]

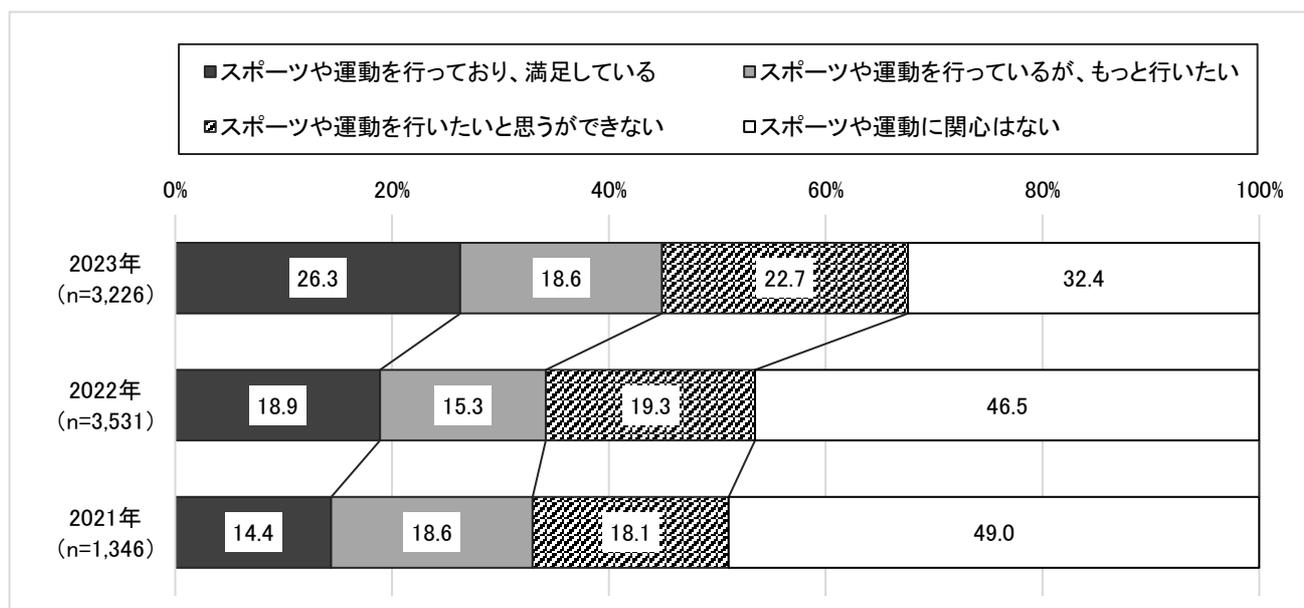
〈スポーツ・運動非実施者〉



## (10) 現在のスポーツ・運動への取組

現在のスポーツや運動への取組については、「スポーツや運動に関心はない」(32.4%)が最も高かった。次いで「スポーツや運動を行っており、満足している」(26.3%)、「スポーツや運動を行いたいと思うができない」(22.7%)、「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」(18.6%)の順であった。【図表 113】

【図表 113】 現在のスポーツ・運動への取組

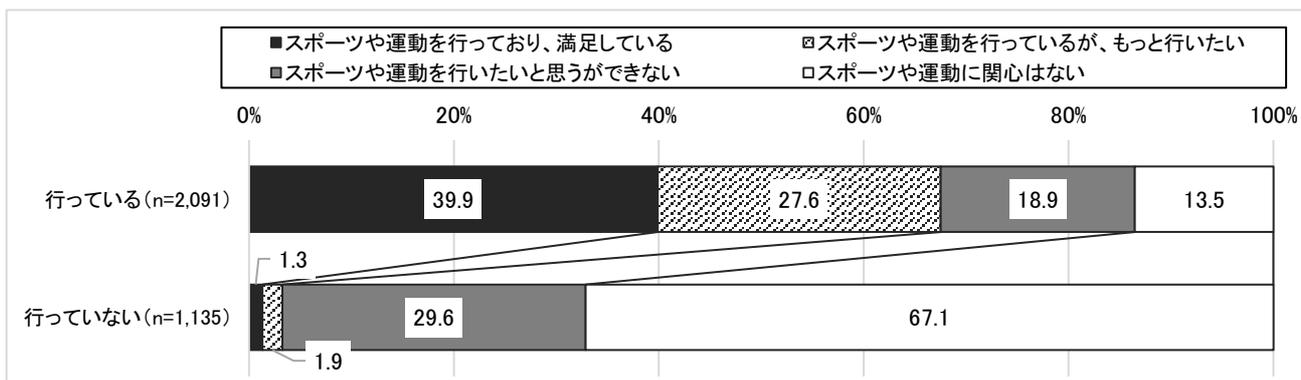


注：2021年までは18歳以上、2022年からは7歳以上を調査対象としている。

なお、「スポーツや運動に関心はない」の理由として、「観戦するのは好きだが、やるのは好きではない」「スポーツや運動が苦手」「時間がない(忙しい)」「疲れる」「身体的・体力的に辛い」等が挙げられた。

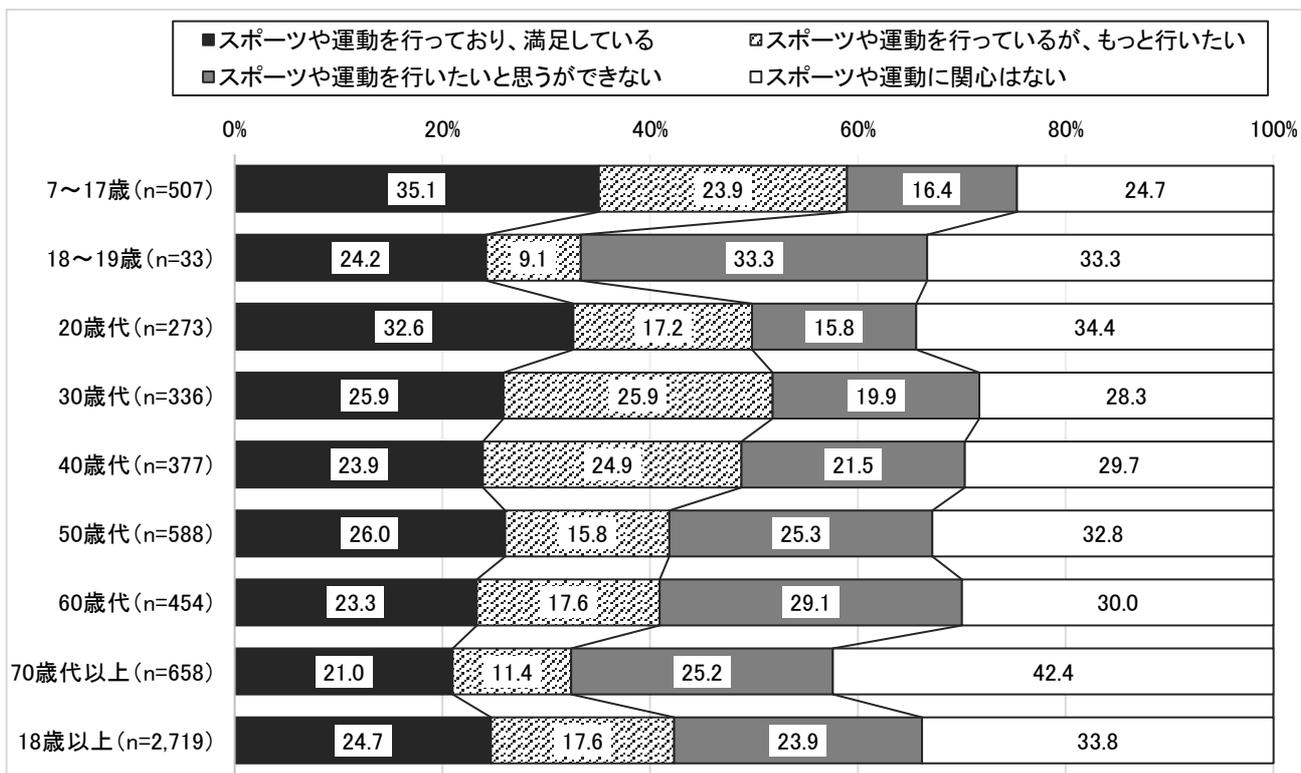
過去1年間のスポーツ・運動の実施有無別にみると、実施者では「スポーツや運動を実施しており、満足している」(39.9%)が3割いる一方で、「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」(27.6%)と回答した人も一定程度いた。非実施者では、「スポーツや運動に関心はない」(67.1%)が6割を占め、「スポーツや運動を行いたいと思うができない」は29.6%であった。【図表 114】

【図表 114】現在のスポーツ・運動への取組(スポーツ・運動の実施の有無別)



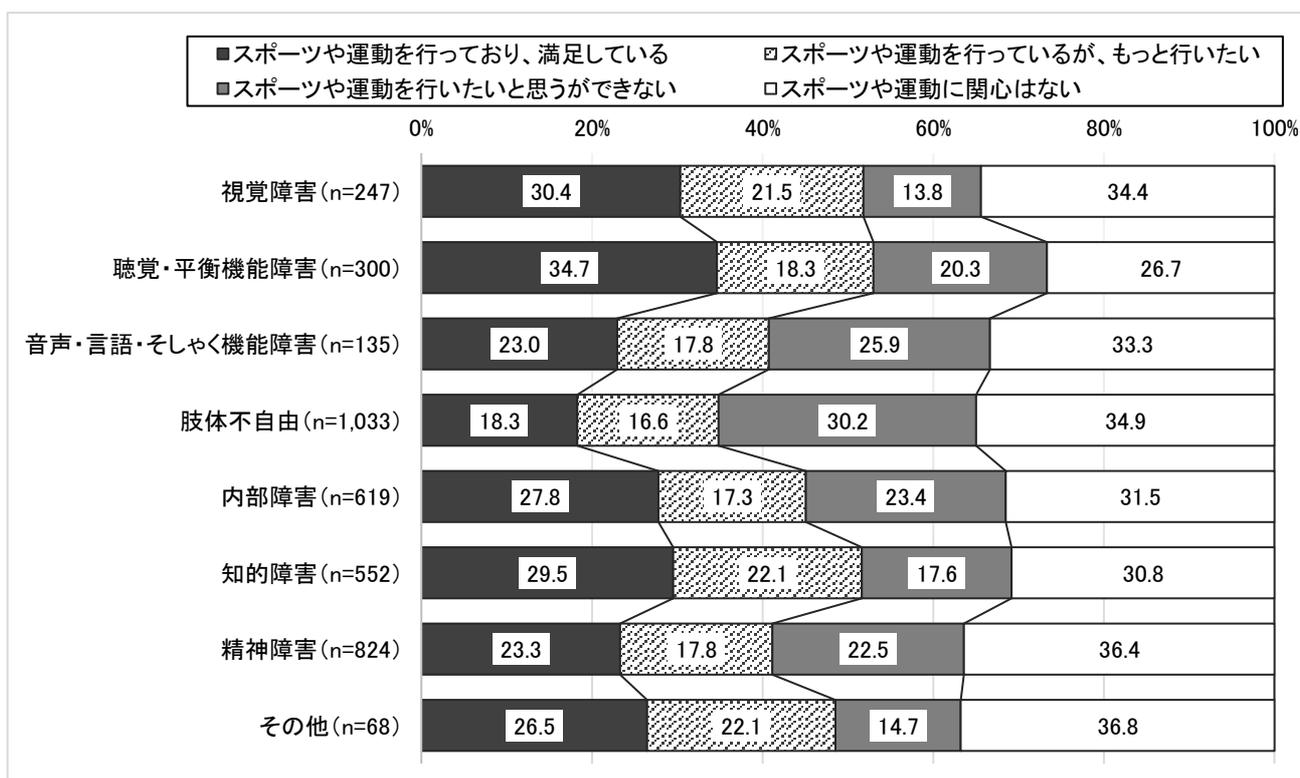
年齢別にみると、「7～17歳」では「スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい」が35.1%と他の区分と比較して最も高く、「スポーツや運動に関心はない」が24.7%で最も低かった。一方、「70歳代以上」では「スポーツや運動に関心はない」が42.4%と半数近い数字となった。【図表 115】

【図表 115】現在のスポーツ・運動への取組(年齢別)



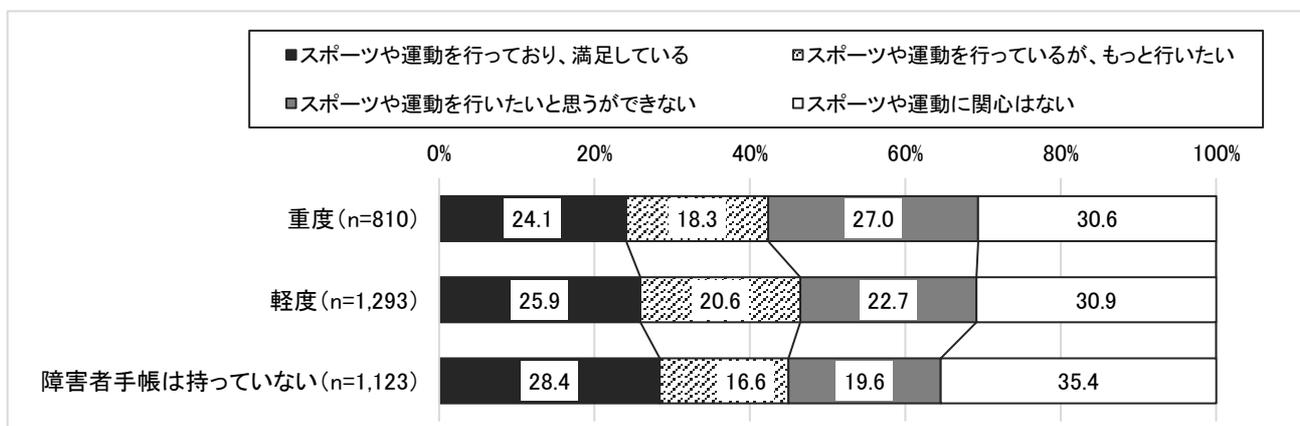
障害種別にみると、「スポーツや運動を行いたいと思うができない」は「肢体不自由」(30.2%)、「音声・言語・そしゃく機能障害」(25.9%)、「内部障害」(23.4%)、「精神障害」(22.5%)の順に多かった。「視覚障害」と「聴覚・平衡機能障害」では「スポーツや運動を行っており、満足している」が3割を超えた。【図表 116】

【図表 116】現在のスポーツ・運動への取組(障害種別)



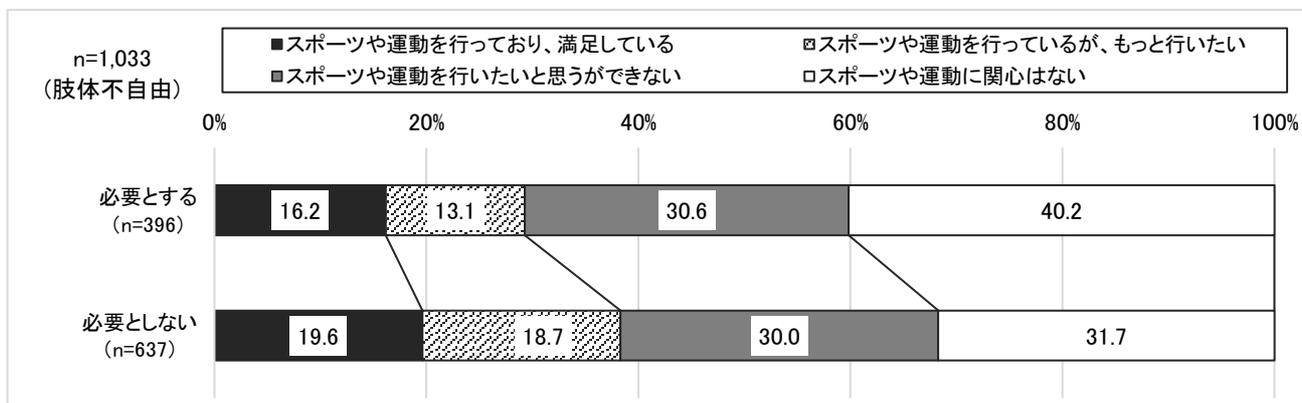
障害の程度別にみると、「障害者手帳は持っていない」で「スポーツや運動に関心はない」が35.4%となり、「重度」と「軽度」を上回った。【図表 117】

【図表 117】現在のスポーツ・運動への取組(障害の程度別)



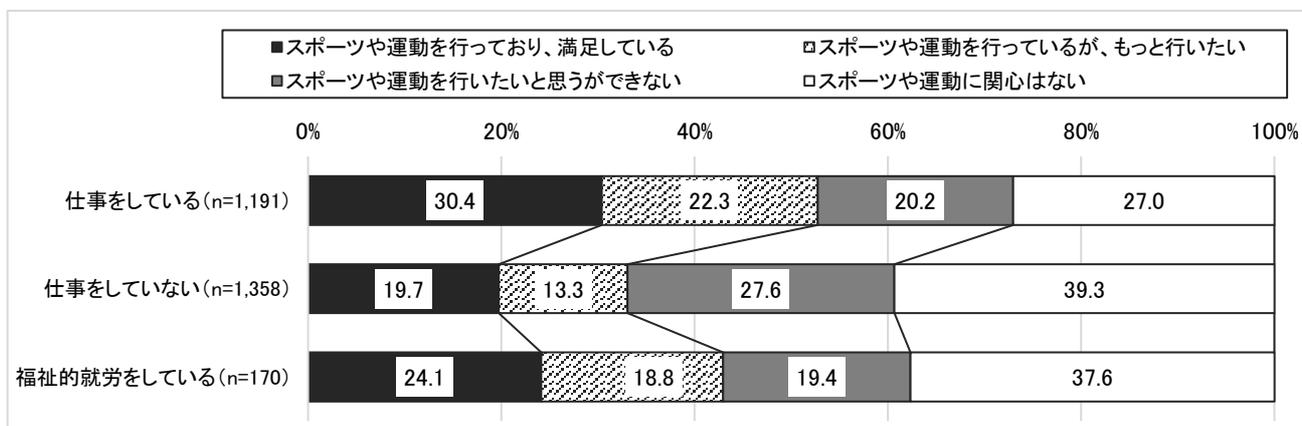
日常生活で車いす必要／不要別では、「必要とする」で「スポーツや運動を行いたいと思うができない」が30.6%と「必要としない」よりも僅かに高く、「スポーツや運動に関心はない」についても40.2%と「必要としない」よりも高かった。【図表 118】

【図表 118】現在のスポーツ・運動への取組(日常生活で車いす必要／不要別)



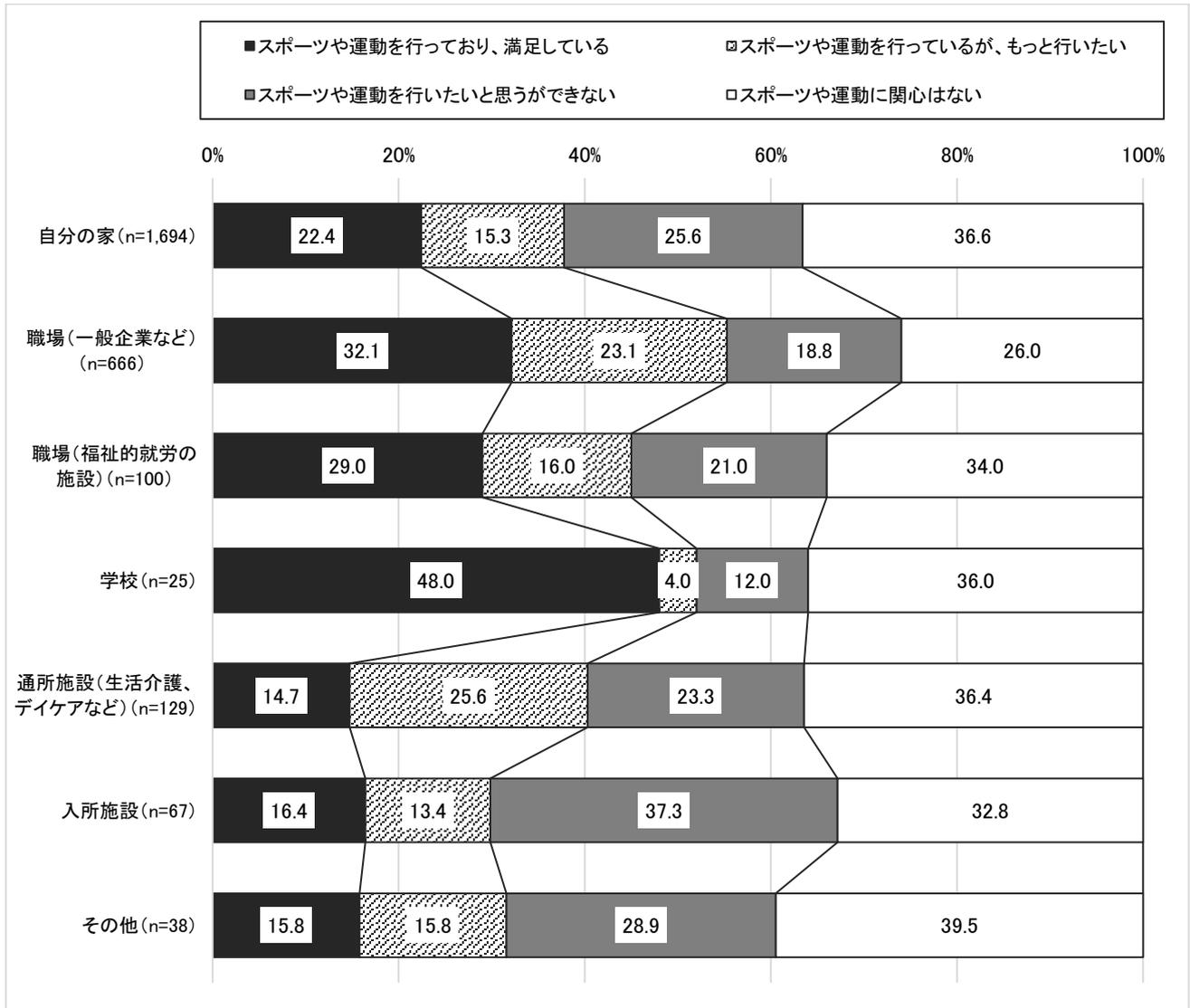
就業状況別にみると、「仕事をしている」は「スポーツや運動を行っており、満足している」(30.4%)の割合が他の区分と比べて高かった。「仕事をしていない」と「福祉的就労をしている」では「スポーツや運動に関心はない」が3割を超えた。【図表 119】

【図表 119】現在のスポーツ・運動への取組(就業状況別)(18歳以上)



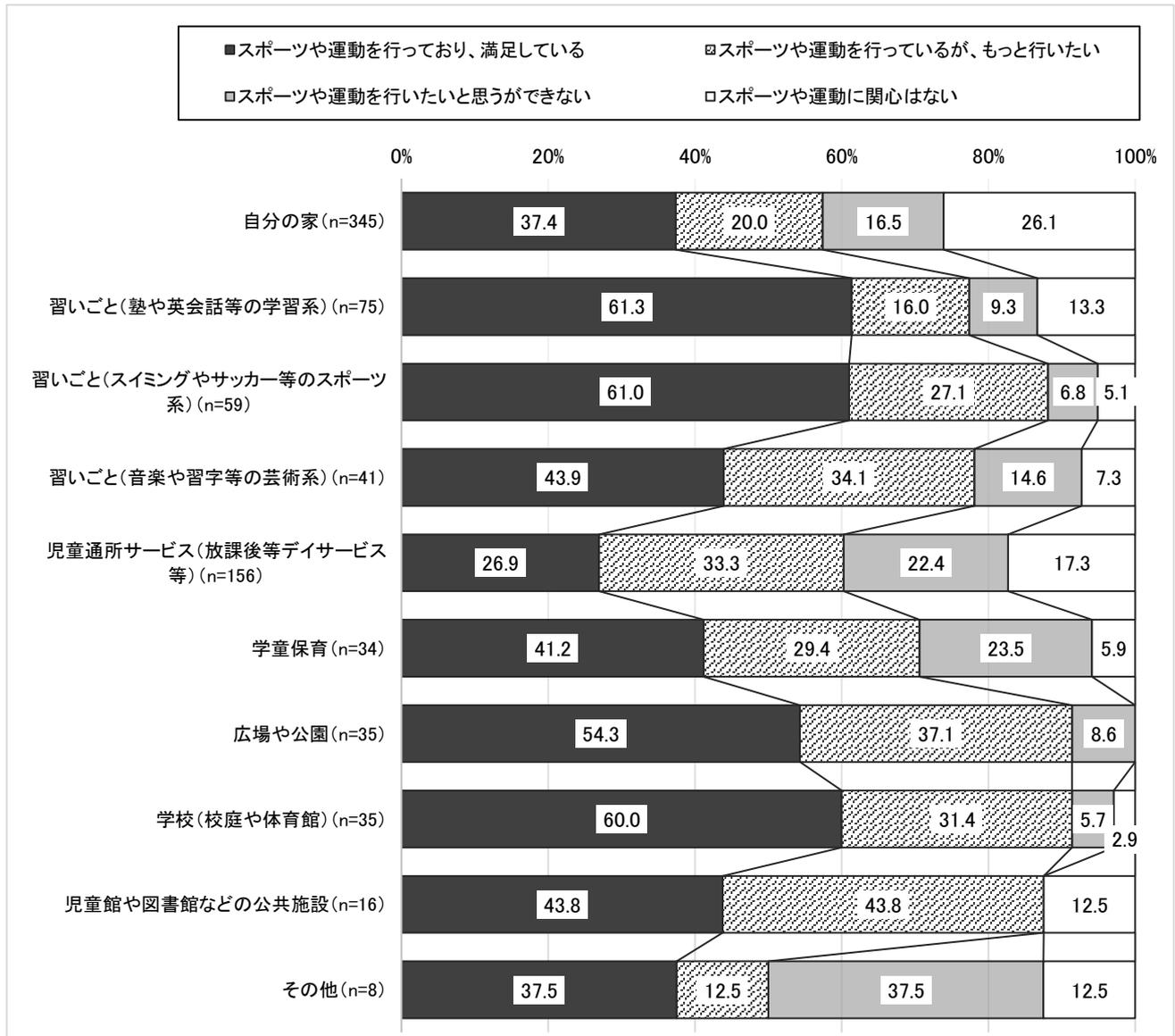
平日・日中の居場所別にみると、「入所施設」では「スポーツや運動を行いたいと思うができない」(37.3%)が3割を超えて最も高くなった。【図表 120】

【図表 120】現在のスポーツ・運動への取組(平日・日中の居場所別)(18歳以上)



放課後の居場所別でみると、「習いごと（塾や英会話等の学習系）」「習いごと（スイミングやサッカー等のスポーツ系）」、「学校（校庭や体育館）」において「スポーツや運動を行っており、満足している」が6割以上となった。また、「自分の家」で過ごす人においては「スポーツや運動に関心はない」が26.1%と2割を超え、他の区分と比較して高かった。【図表 121】

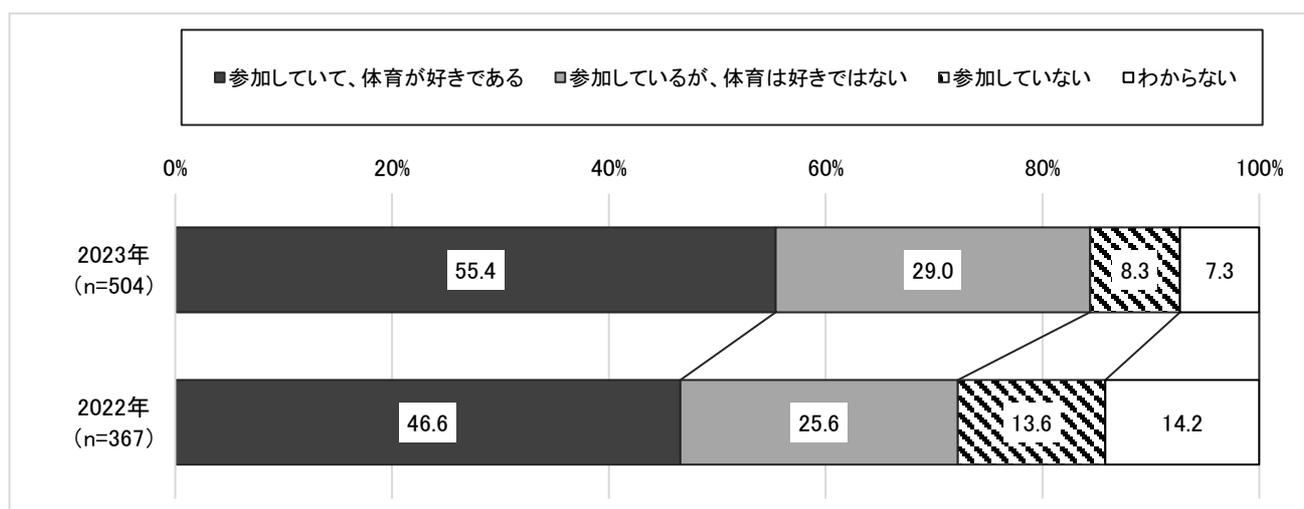
【図表 121】現在のスポーツ・運動への取組(放課後の居場所別)(7～17歳)



(11) 学校体育の参加状況（在学中、高校生まで）

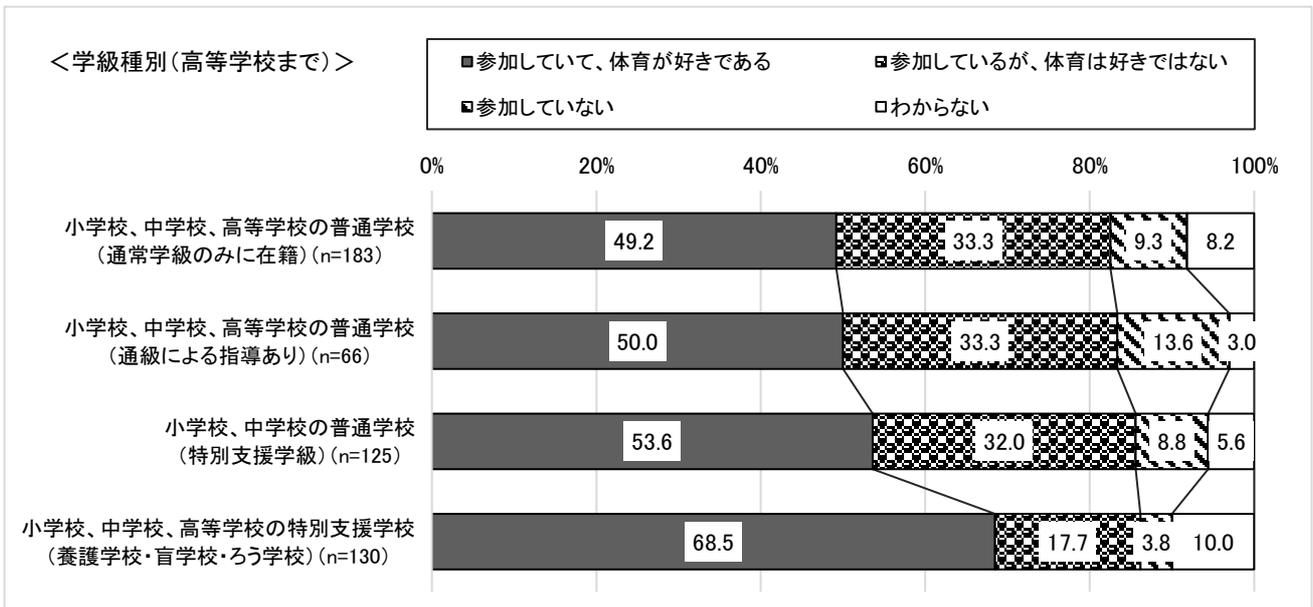
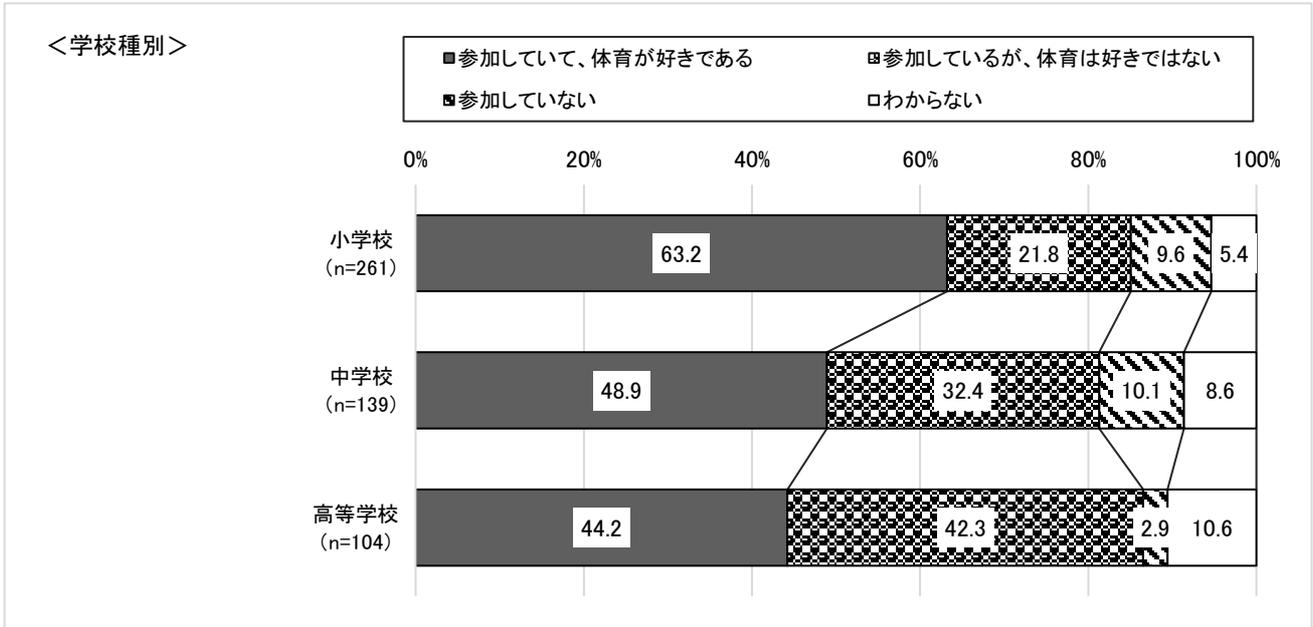
学校体育の参加状況を見ると、「参加していて、体育が好きである」が 55.4%と 5 割を超えた。一方で、「参加しているが、体育は好きではない」（29.0%）や「参加していない」（8.3%）層が一定数存在している。【図表 122】

【図表 122】 学校体育の参加状況



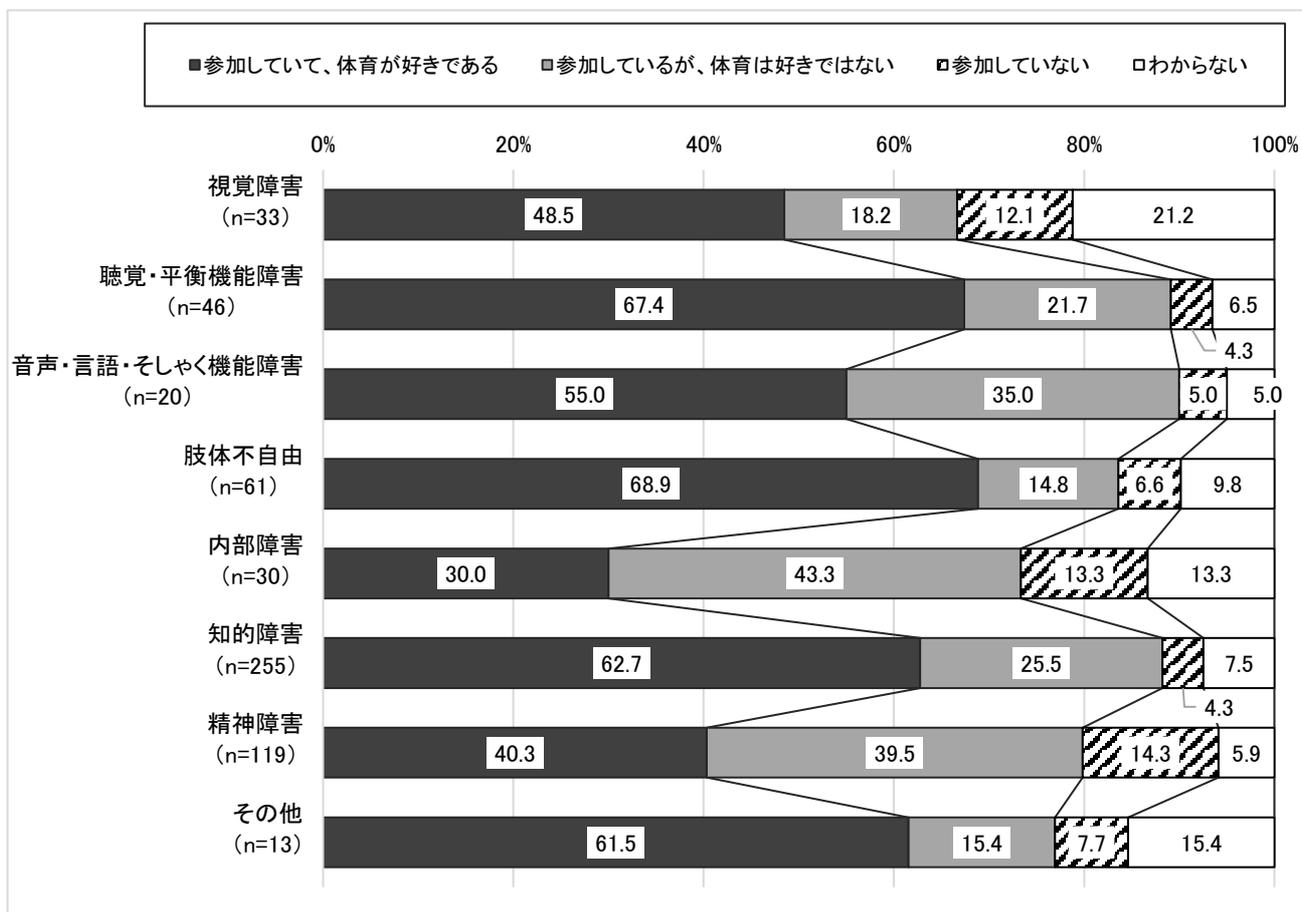
学校種別にみると、「参加していて、体育が好きである」はいずれの区分でも4割を超えた。学級種別では「参加していて、体育が好きである」は特別支援学校（68.5%）で最も高かった。【図表 123】

【図表 123】 学校体育の参加状況(学校種別)



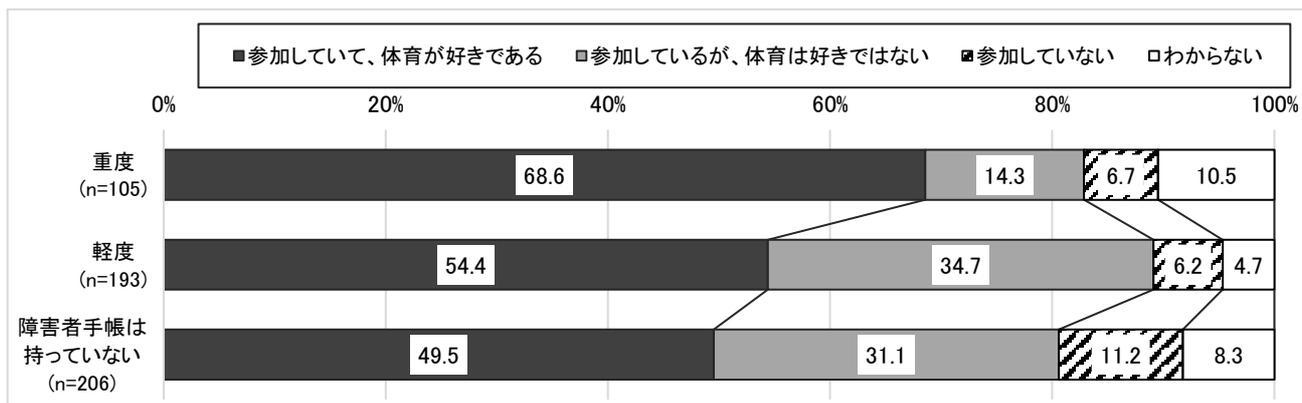
障害種別にみると、「視覚障害」（48.5%）と「精神障害」（40.3%）と「内部障害」（30.0%）を除いたすべての区分において「参加していて、体育が好きである」が5割を超えた。【図表 124】

【図表 124】 学校体育の参加状況(障害種別)



障害の程度別にみると、「重度」で「参加していて、体育が好きである」（68.6%）の割合が最も高かった。【図表 125】

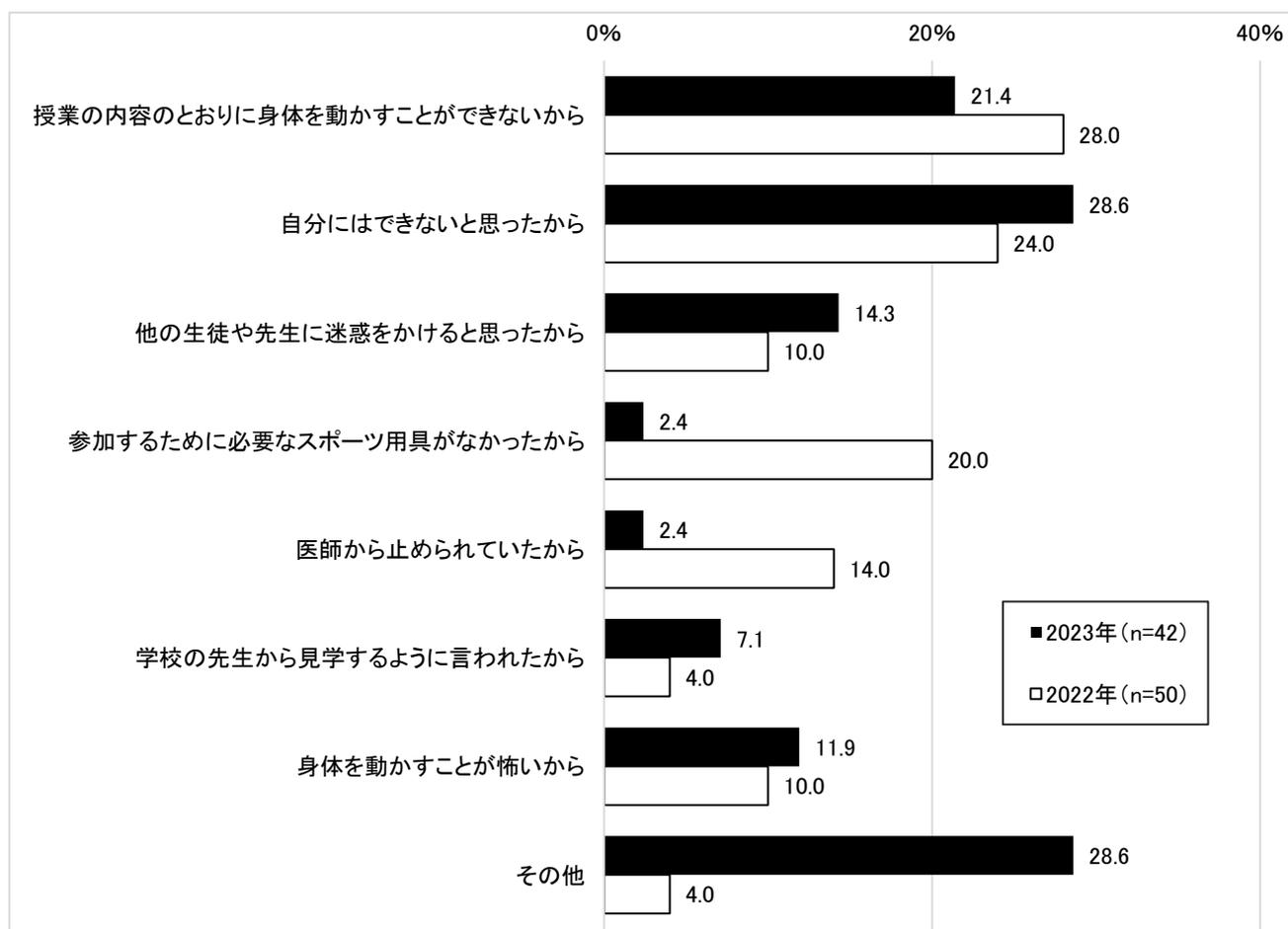
【図表 125】 学校体育の参加状況(障害の程度別)



(12) 学校体育に参加しない理由（在学中、高校生まで）

学校体育に参加していない理由については、「自分にはできないと思ったから」（28.6%）と「その他」（28.6%）が最も高く、次いで「授業の内容のとおり身体を動かすことができないから」（21.4%）、「他の生徒や先生に迷惑をかけると思ったから」（14.3%）の順であった。【図表 126】

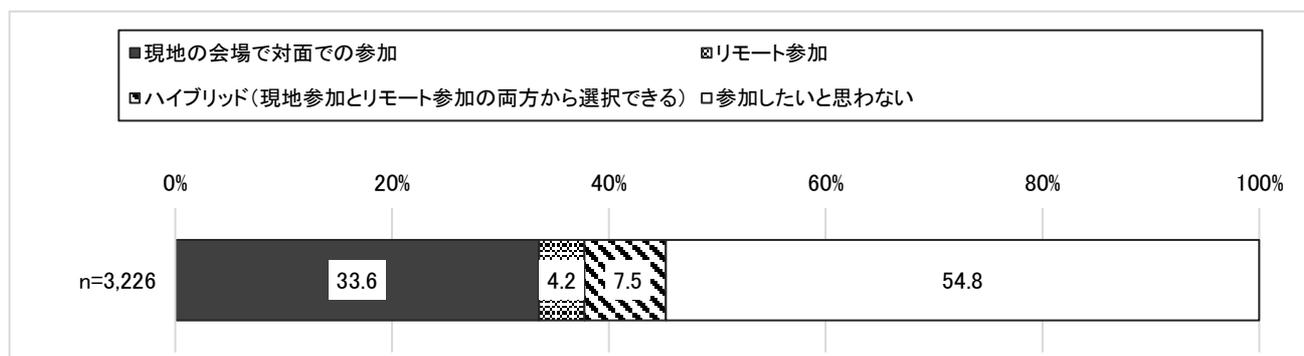
【図表 126】 学校体育に参加しない理由[複数回答]



### (13) スポーツ・運動の参加方法

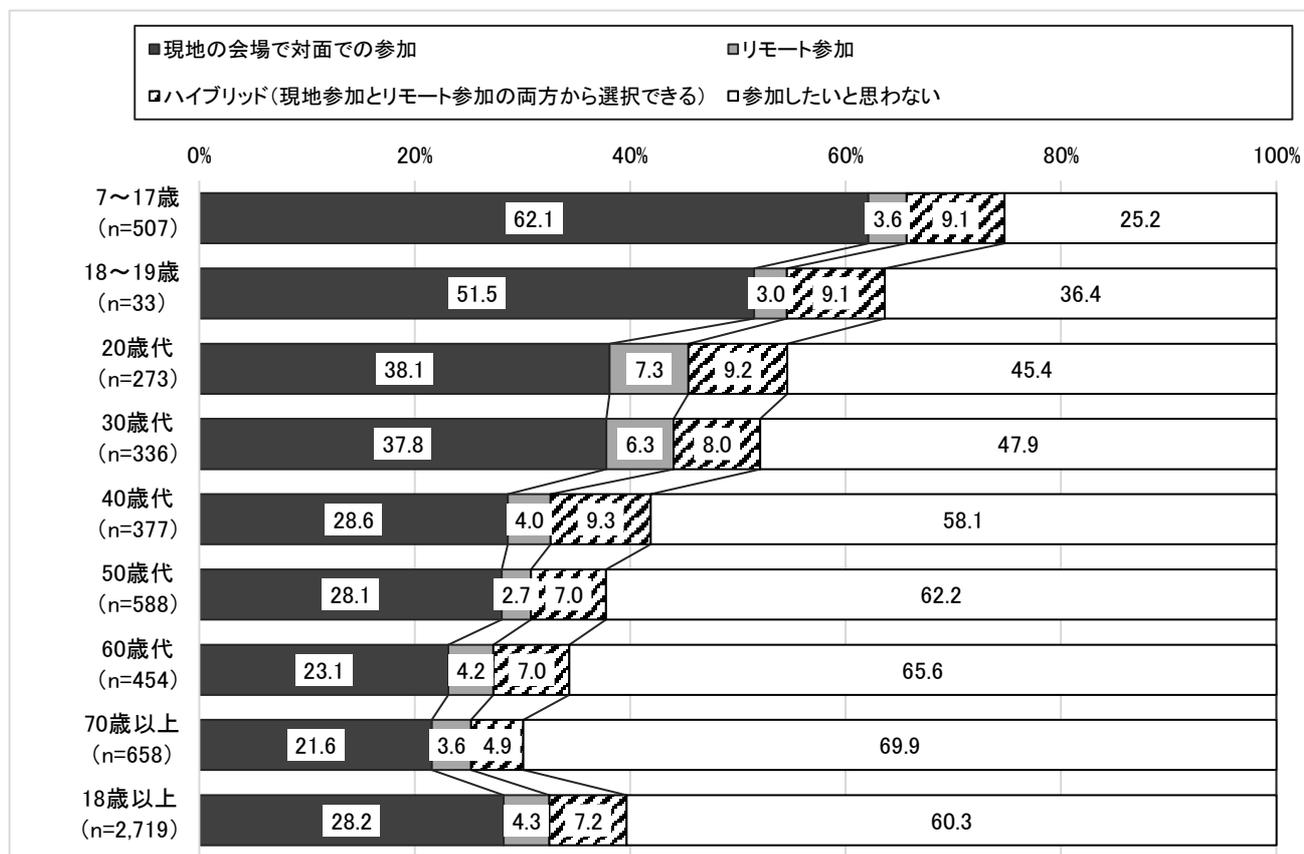
スポーツ・運動の参加方法について、「参加したいと思わない」(54.8%)の割合が最も高く、次いで、「現地の会場で対面での参加」(33.6%)、「ハイブリッド」(7.5%)、「リモート参加」(4.2%)の順であった。【図表 127】

【図表 127】 スポーツ・運動の参加方法



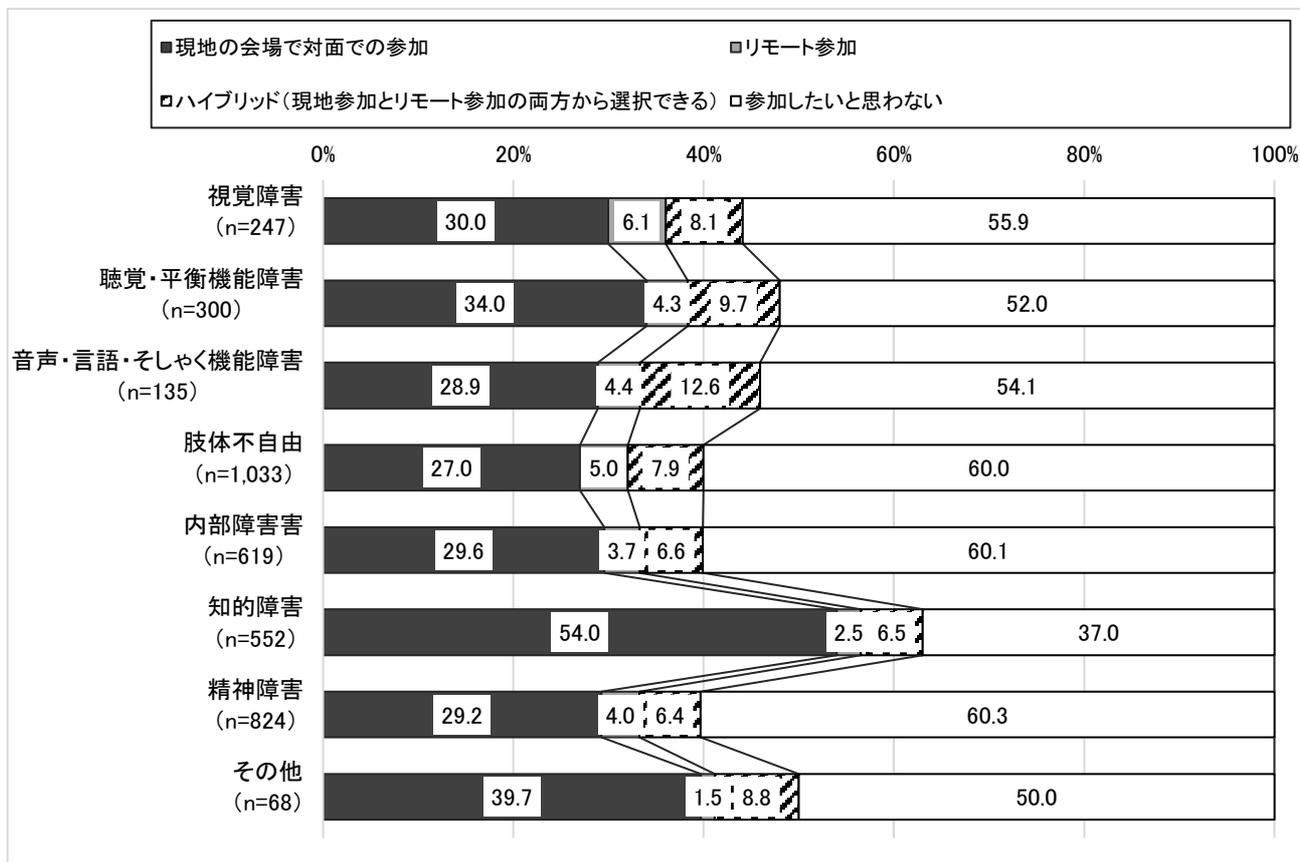
年齢別で見ると、「現地の会場で対面での参加」は「7～17歳」で62.1%と割合が最も高く、年代が高くなるにつれて減少する傾向にあった。【図表 128】

【図表 128】 スポーツ・運動の参加方法(年齢別)



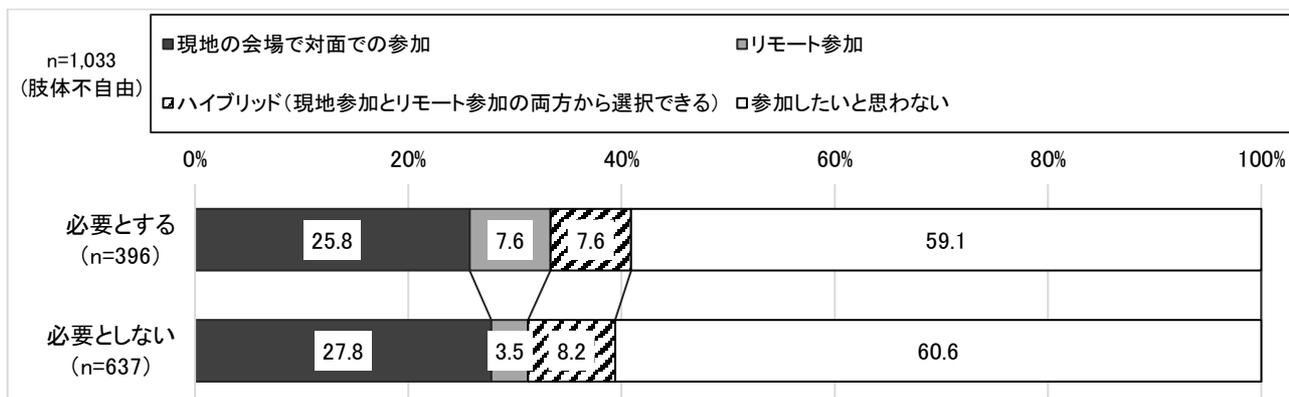
障害種別では、「知的障害」を除いていずれの種別でも「参加したいと思わない」の割合が5割以上で最も高い割合となった。一方で「知的障害」では「現地の会場で対面での参加」(54.0%)が最も高い割合となった。【図表 129】

【図表 129】 スポーツ・運動の参加方法(障害種別)



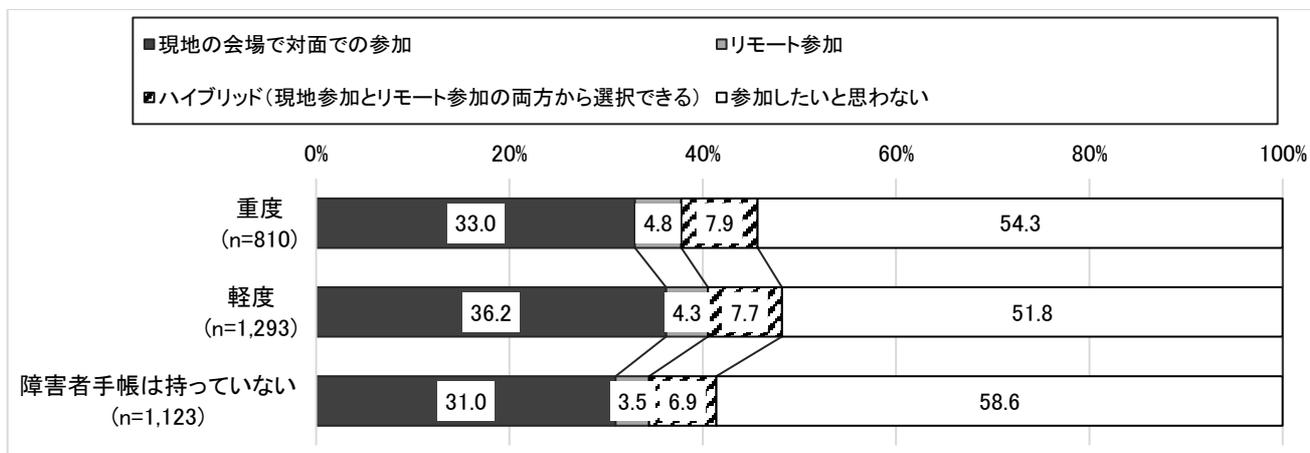
日常生活で車いす必要/不要別でみると、「リモート参加」の割合が「必要とする」で7.6%となり、「必要としない」の3.5%を上回った。【図表 130】

【図表 130】 スポーツ・運動の参加方法(日常生活で車いす必要/不要別)



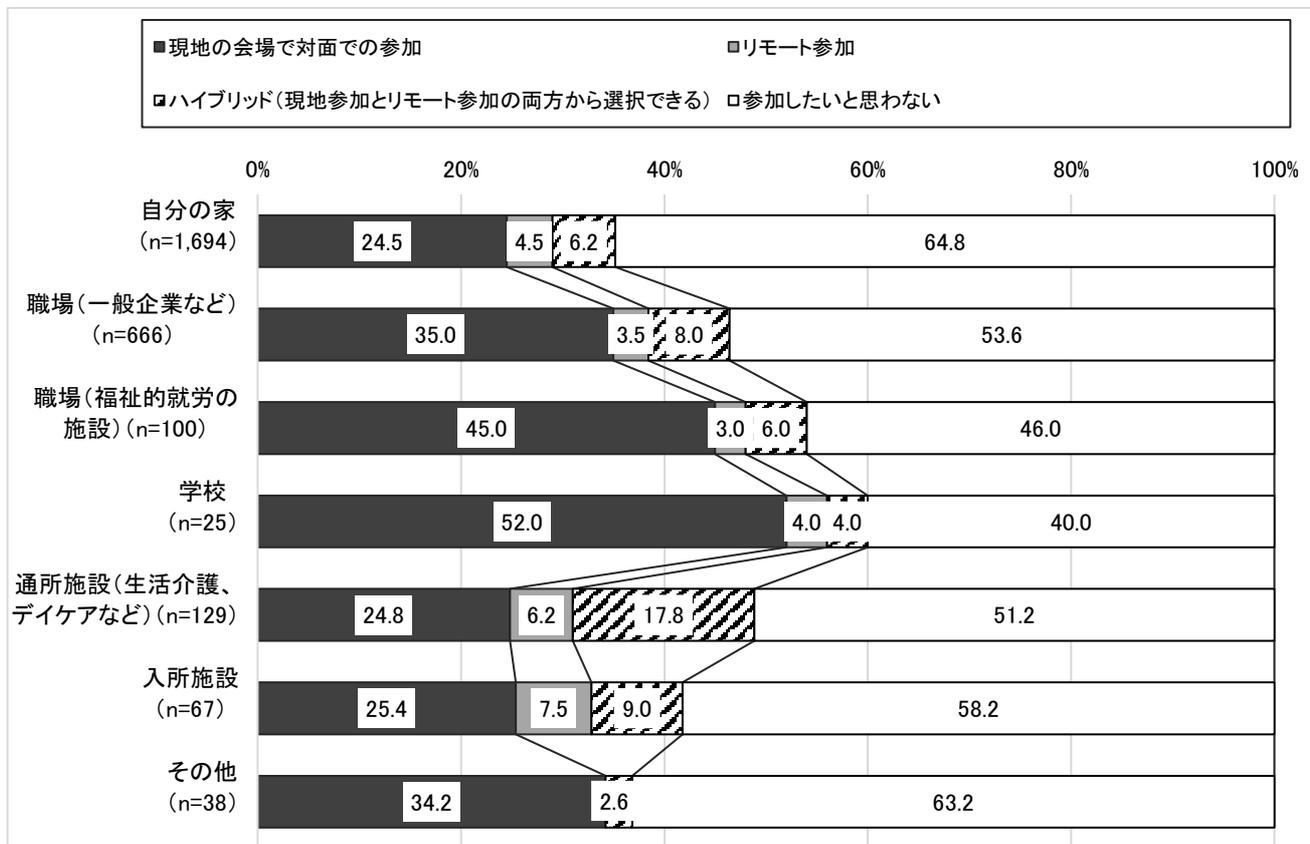
障害の程度別では、傾向に大きな違いは見られなかった。【図表 131】

【図表 131】 スポーツ・運動の参加方法(障害の程度別)



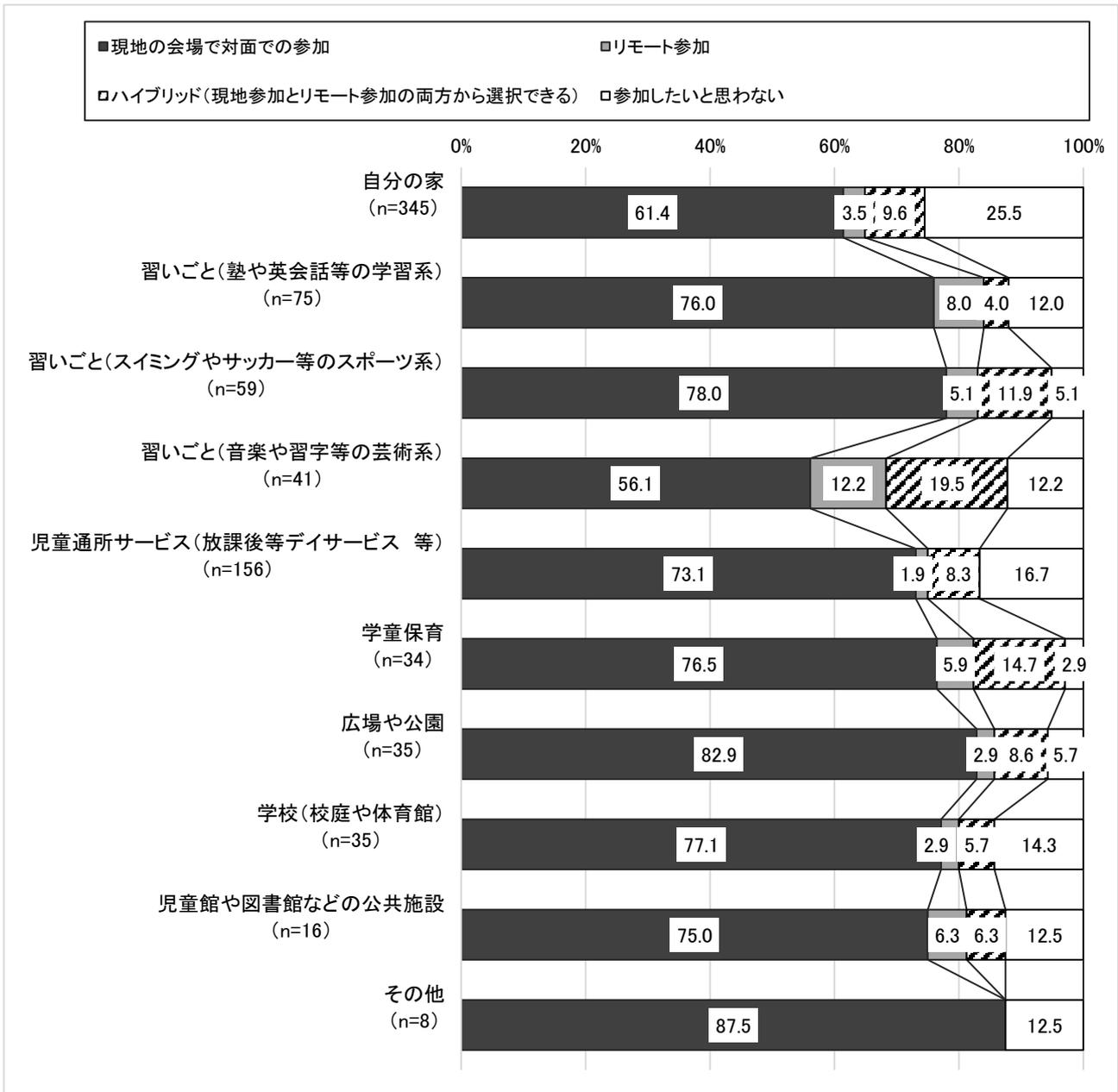
平日・日中の居場所別にみると、「学校」を除いて、いずれの区分でも「参加したいと思わない」の割合が最も高かった。一方で、「学校」では「現地の会場で対面での参加」が52.0%と他の区分と比較して高かった。【図表 132】

【図表 132】 スポーツ・運動の参加方法(平日・日中の居場所別)(18歳以上)



放課後の居場所別でみると、いずれの区分でも「現地の会場で対面での参加」の割合が最も高く半数を超えた。「自分の家」では「参加したいと思わない」(25.5%)が他の区分と比較して高い傾向にあった。【図表 133】

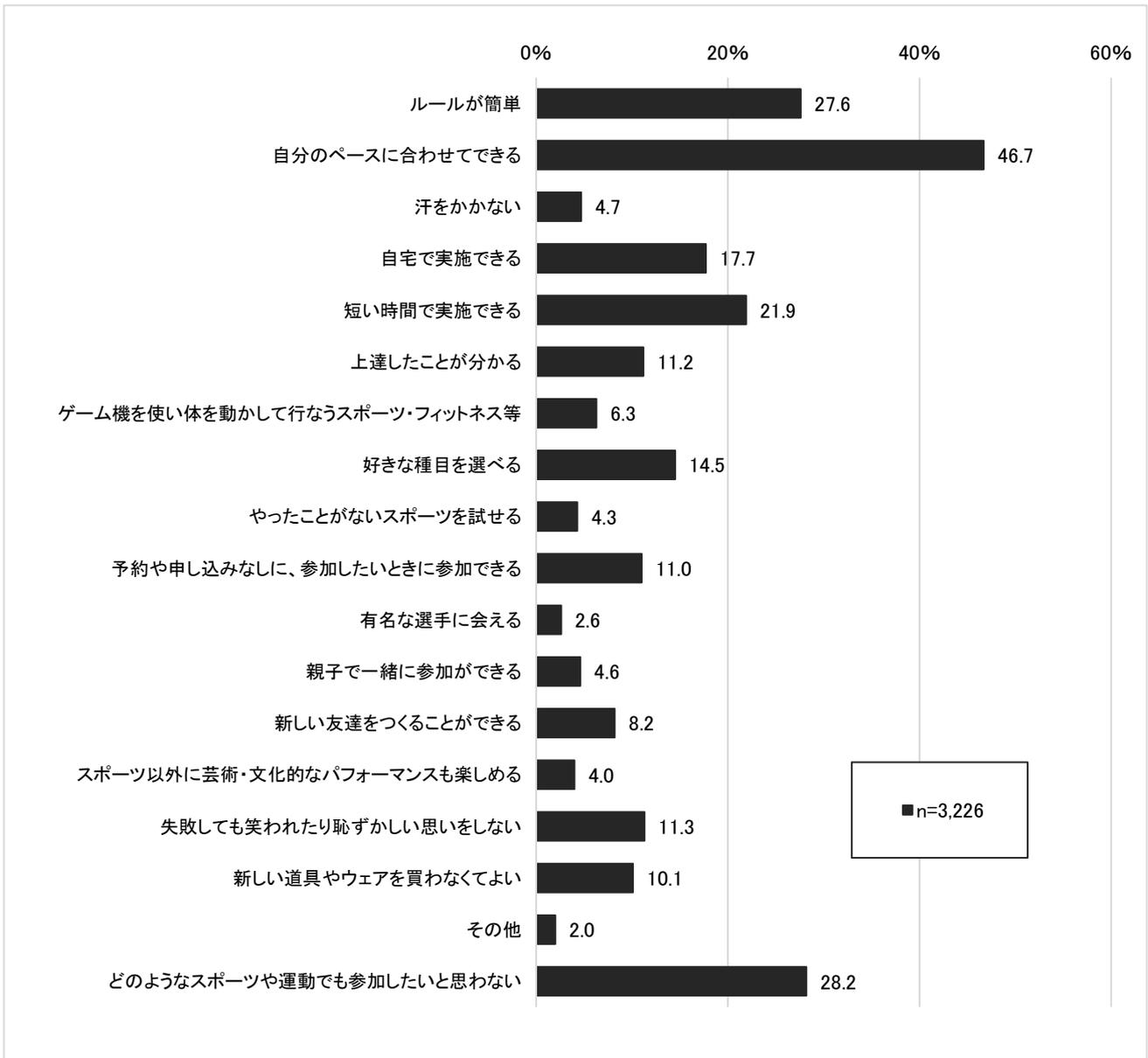
【図表 133】 スポーツ・運動の参加方法(放課後の居場所別)(7~17歳)



#### (14) 参加したいスポーツ活動

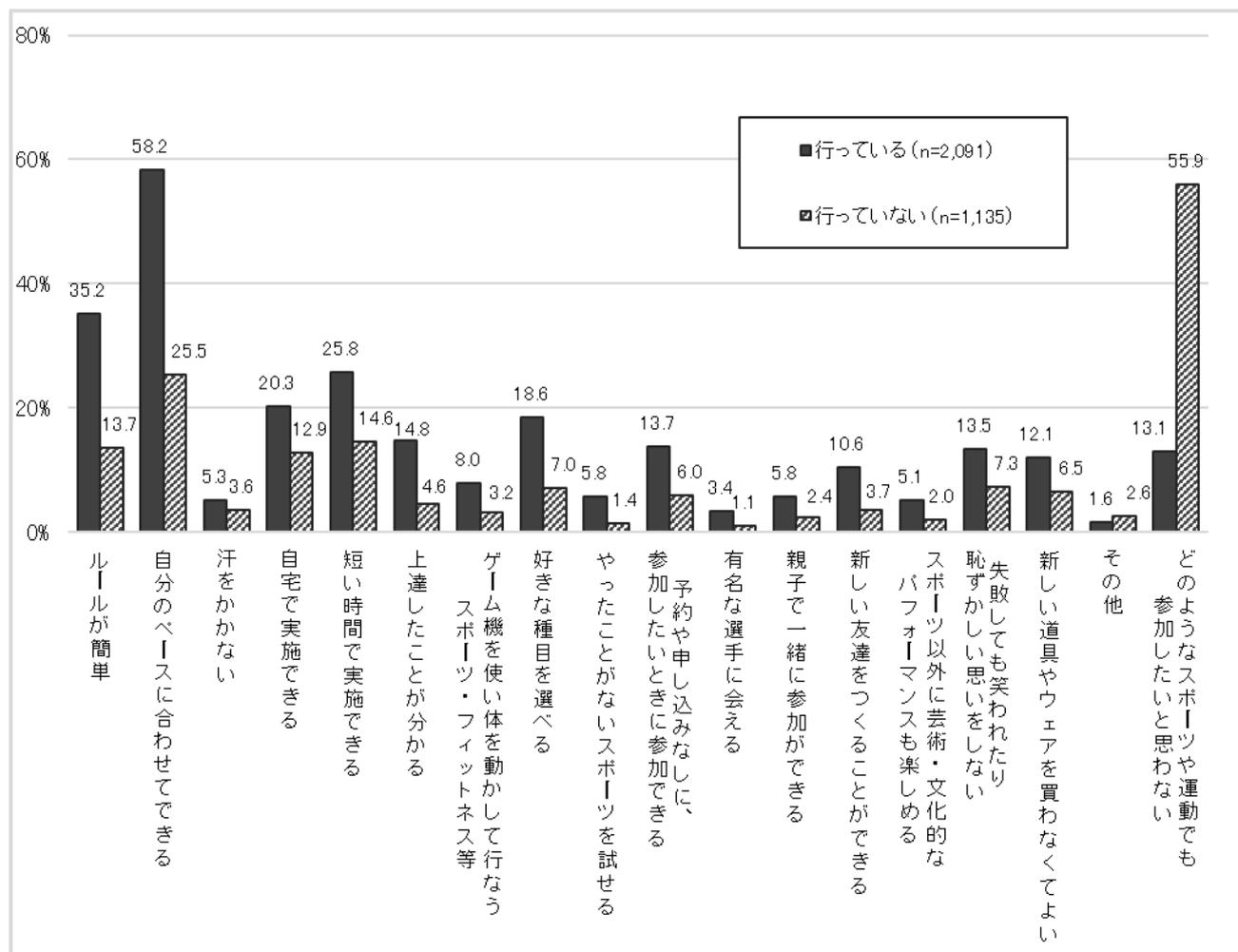
参加したいスポーツ活動では「自分のペースに合わせてできる」(46.7%)が最も高く、次いで「どのようなスポーツや運動でも参加したいと思わない」(28.2%)、「ルールが簡単」(27.6%)、「短い時間で実施できる」(21.9%)、「自宅で実施できる」(17.7%)の順であった。【図表 134】

【図表 134】 参加したいスポーツ活動[複数回答]



スポーツ・運動の実施の有無別でみると、「実施者」では、「自分のペースに合わせてできる」(58.2%)の割合が最も高かったが、「非実施者」では「どのようなスポーツや運動でも参加したいと思わない」(55.9%)の割合が最も高かった。【図表 135】

【図表 135】 参加したいスポーツ活動(運動の実施の有無別)[複数回答]



年齢別でみると、すべての年代において「自分のペースに合わせてできる」の割合が最も高かった。「7～17歳」「18～19歳」では「ルールが簡単」が約4割と高く、「上達したことがわかる」「新しい友達をつくることできる」も他の年齢層と比較して高かった。【図表 136】

【図表 136】 参加したいスポーツ活動(年齢別)[複数回答]

	ルールが簡単	自分のペースに合わせてできる	汗をかかない	自宅で実施できる	短い時間で実施できる	上達したことがわかる	ゲーム機を使い体を動かして行うスポーツ・フィットネス等	好きな種目を選べる	やったことがないスポーツを試せる	予約や申し込みなしに、参加したいときに参加できる	有名な選手に会える	親子で一緒に参加ができる	新しい友達をつくることできる	スポーツ以外に芸術・文化的な楽しみもある	失敗しても笑われたり恥ずかしくない	新しい道具やウェアを買わなくてよい	その他	参加したいと思わないようなスポーツや運動でも
7～17歳(n=507)	47.1	56.2	3.4	11.0	18.7	21.9	10.3	25.0	10.7	14.2	6.3	15.8	17.6	5.9	21.7	10.3	1.4	12.0
18～19歳(n=33)	54.5	60.6	6.1	9.1	21.2	18.2	12.1	30.3	0.0	18.2	3.0	12.1	18.2	3.0	18.2	21.2	0.0	6.1
20歳代(n=273)	36.3	45.8	6.2	17.6	22.0	13.2	13.6	15.8	3.7	12.5	2.9	6.6	9.5	4.4	15.0	8.1	2.6	17.9
30歳代(n=336)	31.8	42.9	5.4	18.5	22.6	13.1	9.8	18.8	7.4	14.6	3.9	3.9	9.8	6.0	13.7	10.4	1.2	22.3
40歳代(n=377)	27.9	47.5	4.5	16.7	21.5	10.6	9.0	11.9	3.2	12.2	2.4	4.0	7.2	4.5	9.5	10.9	2.4	26.8
50歳代(n=588)	22.4	45.6	4.4	16.2	20.1	8.5	3.1	12.4	3.1	8.8	1.7	0.9	5.8	3.2	8.7	11.4	2.6	34.0
60歳代(n=454)	16.5	46.5	5.5	20.3	24.7	7.5	2.0	12.8	2.4	11.7	1.3	1.5	4.8	3.3	7.7	11.2	2.2	35.5
70歳代以上(n=658)	17.6	41.8	4.4	22.9	23.7	6.2	2.4	7.4	1.2	6.5	0.9	1.1	4.0	2.4	6.1	7.8	1.7	39.5
18歳以上(n=2,719)	24.0	44.9	4.9	18.9	22.4	9.2	5.6	12.5	3.1	10.4	1.9	2.5	6.4	3.7	9.4	10.1	2.1	31.2

障害種別では、「自分のペースに合わせてできる」がすべての区分で最も多く、「知的障害」(55.6%)、「内部障害」(52.0%)で5割を超えた。「知的障害」では「ルールが簡単」(48.0%)が他の障害と比較して高い割合であった。【図表 137】

【図表 137】 参加したいスポーツ活動(障害種別)[複数回答]

	ルールが簡単	自分のペースに合わせてできる	汗をかかない	自宅で実施できる	短い時間で実施できる	上達したことがわかる	ゲーム機を使い体を動かして行うスポーツ・フィットネス等	好きな種目を選べる	やったことがないスポーツを試せる	予約や申し込みなしに、参加したいときに参加できる	有名な選手に会える	親子で一緒に参加ができる	新しい友達をつくることできる	スポーツ以外に芸術・文化的な楽しみもある	失敗しても笑われたり恥ずかしくない	新しい道具やウェアを買わなくてよい	その他	参加したいと思わないようなスポーツや運動でも
視覚障害(n=247)	25.5	33.2	5.3	14.6	21.9	8.5	5.7	8.5	3.6	4.5	0.8	3.2	6.5	3.6	7.3	6.5	2.0	33.6
聴覚・平衡機能障害(n=300)	27.7	47.0	5.3	16.3	20.3	13.3	6.7	16.7	6.3	10.3	4.7	4.7	7.7	2.3	10.7	7.7	1.3	27.7
音声・言語・そしゃく機能障害(n=135)	23.7	40.7	1.5	15.6	23.0	14.1	6.7	11.1	5.9	6.7	3.7	5.9	6.7	4.4	14.1	14.1	3.7	29.6
肢体不自由(n=1,033)	19.5	41.6	5.1	20.2	22.0	9.5	4.3	11.6	3.4	9.3	1.8	2.8	6.4	4.3	8.1	9.5	2.5	34.1
内部障害(n=619)	21.2	52.0	5.0	22.0	25.0	7.8	4.0	14.4	3.1	10.3	1.9	2.1	6.3	3.6	8.6	10.5	2.1	28.1
知的障害(n=552)	48.0	55.6	2.4	11.8	19.2	16.1	9.4	18.7	6.3	14.5	4.5	14.1	13.9	4.7	19.2	12.0	2.5	18.8
精神障害(n=824)	30.0	47.2	5.6	17.7	22.1	13.0	7.4	15.2	5.3	13.0	2.4	3.6	9.8	4.4	15.3	12.6	1.3	29.2
その他(n=68)	42.6	54.4	7.4	14.7	26.5	17.6	8.8	27.9	10.3	20.6	2.9	8.8	10.3	8.8	26.5	23.5	2.9	20.6

障害発生時の年齢別では、「自分のペースに合わせてできる」がすべての区分で最も多く、「出生時」と「10歳未満」で「ルールが簡単」の割合が比較的高く3割を超えた。【図表 138】

【図表 138】 参加したいスポーツ活動(障害発生時の年齢別)[複数回答]

	ルールが簡単	自分のペースに合わせてできる	汗をかかない	自宅で実施できる	短い時間で実施できる	上達したことが分かる	ゲーム機を使い体を動かして行なうスポーツ・フィットネス等	好きな種目を選べる	やったことがないスポーツを試せる	予約や申し込みなしに、参加したいときに参加できる	有名な選手に会える	親子で一緒に参加ができる	新しい友達をつくることができる	スポーツ以外に芸術・文化的なパフォーマンスも楽しめる	失敗しても笑われたり恥ずかしい思いをしな	新しい道具やウェアを買わなくてよい	その他	どのようなスポーツや運動でも参加したいと思わない
出生時(n=852)	35.2	42.8	4.7	12.3	15.6	13.1	8.8	15.3	5.0	9.7	2.9	8.0	9.3	3.8	12.2	7.4	1.4	21.9
10歳未満(n=340)	41.2	57.1	3.5	15.0	22.1	21.8	12.9	24.4	10.0	15.0	5.3	12.9	13.5	6.2	21.8	10.0	3.2	13.5
10歳～19歳(n=226)	27.0	44.7	6.2	19.9	24.3	13.3	6.6	22.1	5.3	13.3	6.2	5.3	13.3	5.8	15.5	14.6	0.9	29.2
20歳以上(n=1,808)	21.6	46.8	4.7	20.4	24.4	8.1	3.8	11.3	2.7	10.6	1.5	1.4	6.0	3.5	8.4	10.8	2.1	33.7
中途障害(n=2,374)	24.9	48.1	4.7	19.6	24.1	10.5	5.4	14.2	4.0	11.5	2.5	3.4	7.8	4.1	11.0	11.1	2.1	30.4

注：「中途障害」は「10歳未満」、「10歳～19歳」、「20歳以上」の総和を示す。

スポーツ・運動への取組別にみると、「スポーツや運動に関心はない」を除いて、いずれの区分も「自分のペースに合わせてできる」の割合が5割を超えた。一方で、「スポーツや運動に関心はない」では「どのようなスポーツや運動でも参加したいと思わない」(61.3%)が他と比較して高かった。【図表 139】

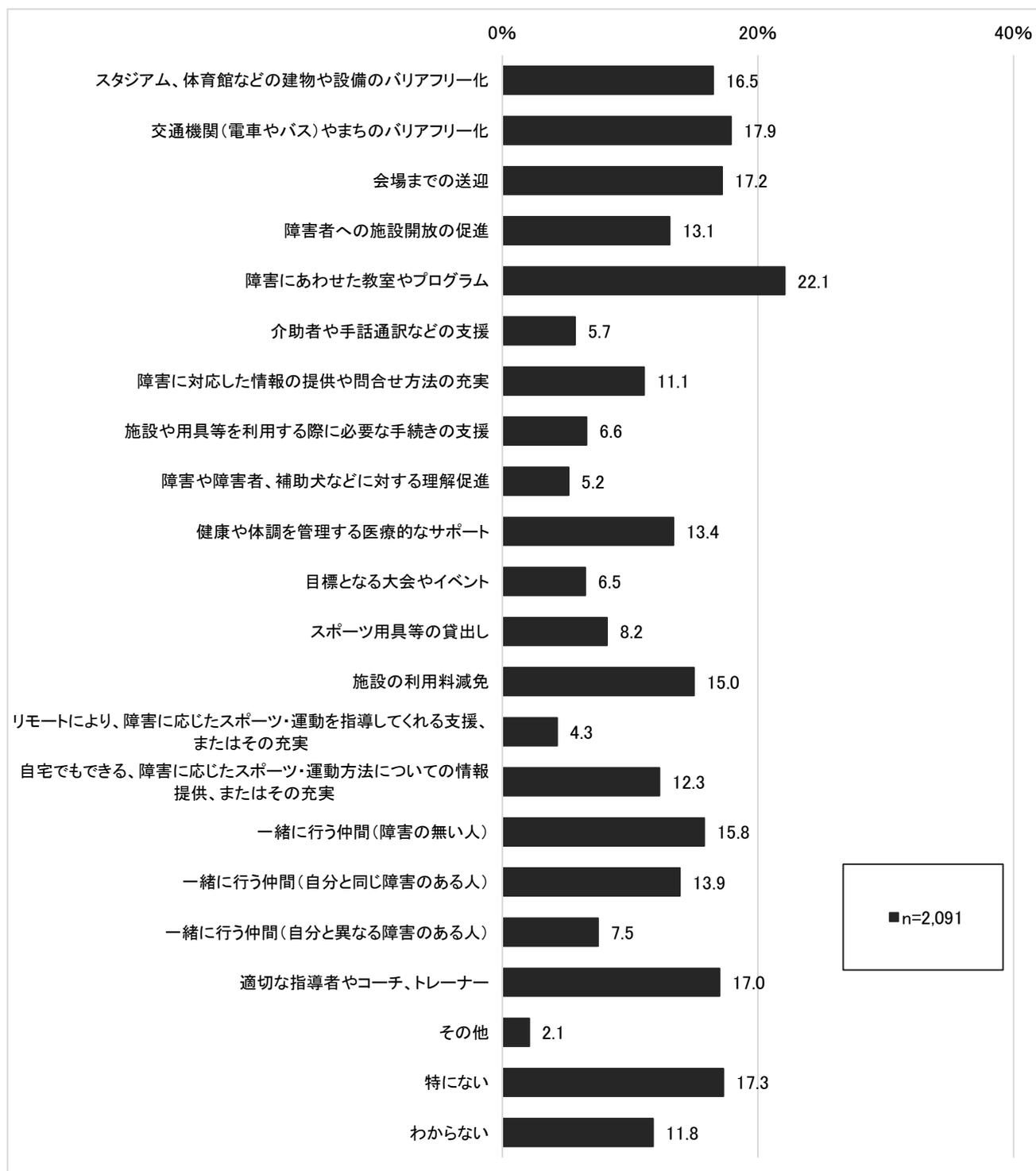
【図表 139】 参加したいスポーツ活動(スポーツ・運動への取組別)[複数回答]

	ルールが簡単	自分のペースに合わせてできる	汗をかかない	自宅で実施できる	短い時間で実施できる	上達したことが分かる	ゲーム機を使い体を動かして行なうスポーツ・フィットネス等	好きな種目を選べる	やったことがないスポーツを試せる	予約や申し込みなしに、参加したいときに参加できる	有名な選手に会える	親子で一緒に参加ができる	新しい友達をつくることができる	スポーツ以外に芸術・文化的なパフォーマンスも楽しめる	失敗しても笑われたり恥ずかしい思いをしな	新しい道具やウェアを買わなくてよい	その他	どのようなスポーツや運動でも参加したいと思わない
スポーツや運動を行っており、満足している(n=849)	40.4	59.2	4.2	15.5	22.0	14.6	5.7	18.4	5.4	9.7	3.8	5.3	11.0	4.7	12.4	8.0	0.8	11.1
スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい(n=600)	35.5	63.0	4.7	23.7	27.0	19.3	12.2	22.5	8.3	18.8	3.7	7.3	12.3	6.0	16.8	15.3	2.7	5.3
スポーツや運動を行いたいと思うができない(n=732)	28.8	55.9	6.0	25.3	32.7	11.7	5.2	18.4	4.4	16.8	2.6	5.6	9.6	5.1	14.8	17.1	3.0	19.4
スポーツや運動に関心はない(n=1,045)	11.9	20.8	4.1	10.6	11.2	3.4	4.2	4.0	1.0	3.5	1.1	1.8	2.5	1.6	4.9	3.9	1.7	61.3

(15) スポーツ・運動の継続実施に必要と考える支援（スポーツ実施者対象）

スポーツや運動の継続実施に必要な支援について、必要な支援があると回答した中では、「障害にあわせた教室やプログラム」（22.1%）が最も高く、次いで「交通機関（電車やバス）やまちのバリアフリー化」（17.9%）、「適切な指導者やコーチ、トレーナー」（17.0%）の順であった。【図表 140】

【図表 140】 スポーツ・運動の継続実施に必要と考える支援[複数回答(3つまで)]<スポーツ・運動実施者>



年齢別でみると、「7～17歳」では「障害にあわせたプログラムの充実」、「適切な指導者やコーチ、トレーナー」が比較的高かった。また、「60歳代」「70歳代以上」では「交通機関やまちのバリアフリー化」「会場までの送迎」がいずれも上位となった。【図表 141】

【図表 141】スポーツ・運動の継続実施に必要と考える支援(年齢別)[複数回答(3つまで)]

〈スポーツ・運動実施者〉

(単位:%)

	設備のバリアフリー化、体育館などの建物や	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせた教室やプログラム	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬などに対する理解促進	健康や体調を管理する医療的なサポート	目標となる大会やイベント
7～17歳(n=379)	16.6	14.0	23.2	19.5	36.1	10.6	13.7	9.5	6.1	8.4	12.9
18～19歳(n=24)	29.2	12.5	12.5	4.2	25.0	0.0	16.7	12.5	8.3	25.0	8.3
20歳代(n=189)	19.0	15.9	12.2	16.4	22.8	6.9	10.6	7.4	9.5	11.1	6.9
30歳代(n=238)	16.8	16.8	13.0	13.9	18.1	4.6	10.9	5.0	7.6	16.8	7.6
40歳代(n=275)	15.6	18.9	14.9	12.7	17.1	3.3	10.2	6.9	4.7	11.3	6.9
50歳代(n=372)	17.5	18.0	11.8	10.2	19.1	4.0	9.7	5.4	4.8	12.4	5.1
60歳代(n=287)	15.0	21.3	19.5	12.5	16.7	3.1	11.5	5.9	3.8	12.5	3.1
70歳代以上(n=327)	14.4	21.1	22.6	8.0	20.8	7.0	10.1	5.2	1.8	20.8	2.1
18歳以上(n=1,712)	16.4	18.8	15.9	11.7	19.0	4.7	10.5	6.0	5.0	14.5	5.1

	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用率減免	サポートにより、障害に合わせた支援、またはその充実	自宅でもできる、障害に合わせた情報提供、またはその充実	一緒に行く仲間(障害の無い人)	一緒に行く仲間(自分と同じ障害のある人)	一緒に行く仲間(自分と異なる障害のある人)	適切な指導者やコーチ、トレーナー	その他	特になし	わからない
7～17歳(n=379)	11.6	18.2	3.4	9.8	26.6	24.3	15.3	29.0	1.8	7.9	7.1
18～19歳(n=24)	16.7	16.7	8.3	20.8	25.0	29.2	12.5	20.8	0.0	4.2	4.2
20歳代(n=189)	10.1	15.3	1.6	7.9	18.0	15.3	8.5	13.8	0.5	10.6	15.9
30歳代(n=238)	11.3	14.7	6.7	9.7	17.2	13.0	5.9	14.7	1.3	14.7	11.3
40歳代(n=275)	7.3	13.1	5.8	13.5	15.6	15.3	6.2	11.6	1.8	17.8	15.6
50歳代(n=372)	8.9	14.5	4.6	11.3	11.3	10.5	5.6	12.6	3.5	22.8	14.5
60歳代(n=287)	4.5	14.6	3.5	15.0	9.4	7.0	4.2	13.2	3.8	25.1	12.2
70歳代以上(n=327)	3.7	13.8	3.7	17.1	11.3	9.5	4.9	19.3	1.2	21.4	9.2
18歳以上(n=1,712)	7.5	14.3	4.4	12.9	13.4	11.6	5.8	14.4	2.2	19.4	12.9

障害種別でみると、「視覚障害」と「肢体不自由」で最も高い回答は「交通機関やまちのバリアフリー化」となった。「知的障害」での最も高い回答は「障害にあわせた教室やプログラム」(35.9%)となった。【図表 142】

【図表 142】スポーツ・運動の継続実施に必要と考える支援(障害種別)[複数回答(3つまで)]

〈スポーツ・運動実施者〉

	物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせた教室やプログラム	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	必要な手続きの支援	施設や用具等を利用する際に	障害や障害者、補助犬などに	健康や体調を管理する医療的なサポート	目標となる大会やイベント
視覚障害(n=166)	25.3	30.7	16.9	15.7	18.1	9.0	10.2	4.8	12.0	9.6	7.8	
聴覚・平衡機能障害(n=204)	24.0	22.1	16.7	12.3	18.6	12.3	9.8	6.4	6.4	13.7	8.8	
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	19.5	26.0	26.0	27.3	31.2	9.1	20.8	9.1	15.6	18.2	10.4	
肢体不自由(n=551)	21.1	26.5	24.5	17.4	26.0	8.2	14.3	8.7	6.9	17.1	5.4	
内部障害(n=429)	13.3	18.9	13.1	7.9	17.7	3.3	7.9	4.9	3.3	17.5	4.7	
知的障害(n=387)	16.5	14.0	22.2	18.3	35.9	7.2	15.2	10.6	5.7	9.0	10.1	
精神障害(n=535)	10.7	11.6	13.6	11.0	17.6	2.4	9.9	5.8	4.7	12.7	6.0	
その他(n=41)	22.0	36.6	43.9	24.4	43.9	14.6	22.0	17.1	22.0	14.6	12.2	

	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用料減免	くたスモールのサポートにより、運動を指導に充て	実たた自宅でもできる、障害に	人)一緒にいる仲間(障害の無い	障一一緒にいる仲間(自分と同じ	る一一緒にいる仲間(自分と異なる	レ適切な指導者やコーチ、ト	その他	特にな	わから
視覚障害(n=166)	9.0	13.3	4.8	12.7	15.1	9.0	5.4	8.4	1.8	12.0	10.2
聴覚・平衡機能障害(n=204)	9.8	11.8	5.9	11.8	13.2	10.8	6.4	12.3	2.9	17.6	5.9
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	10.4	16.9	10.4	26.0	18.2	14.3	14.3	27.3	2.6	7.8	3.9
肢体不自由(n=551)	8.3	17.2	5.1	15.8	12.7	14.2	7.8	17.8	2.4	14.5	8.9
内部障害(n=429)	5.8	12.4	3.0	11.4	11.7	9.1	5.1	13.3	2.1	24.0	13.1
知的障害(n=387)	10.9	18.9	3.1	10.3	23.0	23.0	13.2	28.2	1.6	8.8	11.6
精神障害(n=535)	8.4	15.7	4.9	11.8	19.3	15.0	7.5	17.8	2.4	19.3	17.2
その他(n=41)	24.4	36.6	9.8	17.1	19.5	29.3	24.4	31.7	0.0	12.2	7.3

日常生活で車いす必要／不要別でみると、「必要とする」では「交通機関やまちのバリアフリー化」(39.2%)や「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」(32.9%)、「会場までの送迎」(34.2%)といったバリアフリー整備や送迎のほか、「障害にあわせたプログラムの充実」(32.3%)も高かった。「必要としない」では「交通機関やまちのバリアフリー化」(21.4%)が最も高く、次いで「会場までの送迎」(20.6%)の順であった。【図表 143】

【図表 143】 スポーツ・運動の継続実施に必要と考える支援(日常生活で車いす必要／不要)  
[複数回答(3つまで)]<スポーツ・運動実施者>

(単位:%)

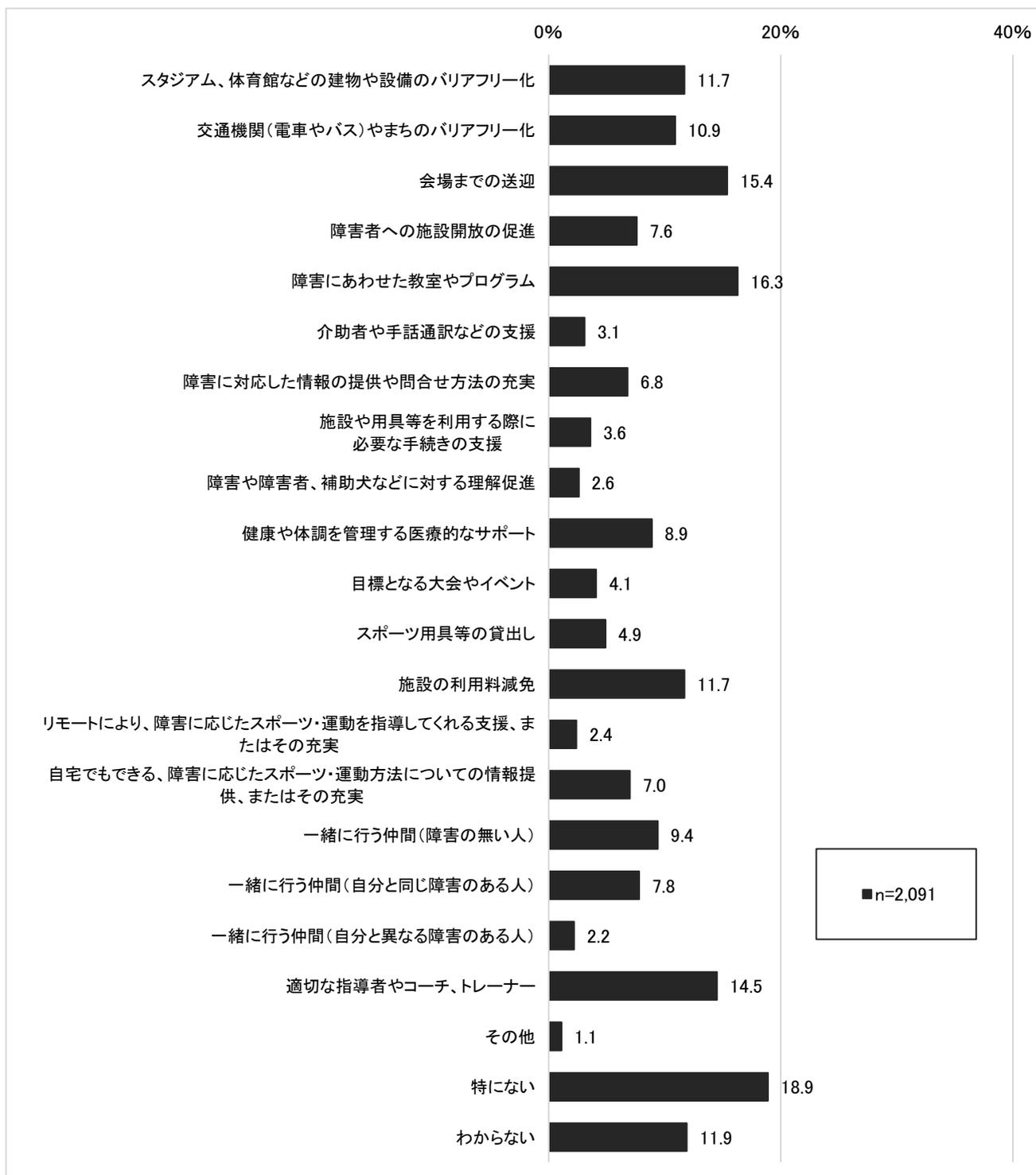
n=551(肢体不自由)	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせた教室やプログラム	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬などに対する理解促進	健康や体調を管理する医療的なサポート	目標となる大会やイベント
必要とする(n=158)	32.9	39.2	34.2	30.4	32.3	16.5	19.6	12.7	13.3	16.5	7.6
必要としない(n=393)	16.3	21.4	20.6	12.2	23.4	4.8	12.2	7.1	4.3	17.3	4.6

n=551(肢体不自由)	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用料減免	リポートにより、障害に合わせた支援、またはその充実	自宅でもできる、障害に合ったスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実	一緒に行う仲間(障害の無い人)	一緒に行う仲間(自分と同じ障害のある人)	一緒に行う仲間(自分と異なる障害のある人)	適切な指導者やコーチ、トレーナー	その他	特になし	わからない
必要とする(n=158)	10.1	18.4	7.6	20.3	12.7	15.8	10.1	15.2	1.9	3.8	5.1
必要としない(n=393)	7.6	16.8	4.1	14.0	12.7	13.5	6.9	18.8	2.5	18.8	10.4

(16) 新たに別のスポーツ・運動を始めるために必要な支援（スポーツ実施者対象）

新たに別のスポーツ・運動を始めるために必要な支援について、必要な支援があると回答した中では、「障害にあわせた教室やプログラム」（16.3%）が最も高く、次いで「会場までの送迎」（15.4%）、「適切な指導者やコーチ、トレーナー」（14.5%）の順であった。【図表 144】

【図表 144】 新たに別のスポーツ・運動を始めるために必要な支援[複数回答(3つまで)]  
 〈スポーツ・運動実施者〉



年齢別でみると、「7～17歳」及び「18～19歳」で「障害にあわせたプログラムの充実」が比較的高く、「7～17歳」では「適切な指導者やコーチ、トレーナー」（25.1%）が他の年代と比べて比較的高かった。【図表 145】

【図表 145】新たに別のスポーツ・運動を始めるために必要な支援(年齢別)[複数回答(3つまで)]

〈スポーツ・運動実施者〉

(単位:%)

	や スタ ジ ア ム 、 体 育 館 な ど の 建 物 の バ リ ア フ リ ー 化	交 通 機 関 や ま ち の バ リ ア フ リ ー	会 場 ま で の 送 迎	障 害 者 へ の 施 設 開 放 の 促 進	障 害 に あ わ せ た 教 室 や プ ロ グ ラ ム	介 助 者 や 手 話 通 訳 な ど の 支 援	障 害 に 対 応 し た 情 報 の 提 供 や 問 合 せ 方 法 の 充 実	施 設 や 用 具 等 を 利 用 す る 際 に 必 要 な 手 続 き の 支 援	障 害 や 障 害 者 、 補 助 犬 な ど に 対 する 理 解 促 進	健 康 や 体 調 を 管 理 す る 医 療 的 な サ ポ ー ト	目 標 と な る 大 会 や イ ベ ン ト
7～17歳(n=379)	9.5	8.4	19.0	11.3	30.1	5.5	7.1	4.7	4.5	4.7	5.8
18～19歳(n=24)	25.0	4.2	16.7	0.0	25.0	4.2	12.5	0.0	4.2	20.8	8.3
20歳代(n=189)	13.2	9.0	9.5	9.5	16.4	2.6	9.0	3.7	3.2	7.4	6.3
30歳代(n=238)	10.5	11.8	14.7	8.8	10.5	4.2	5.9	2.9	5.0	11.3	5.0
40歳代(n=275)	12.4	9.5	10.5	7.6	13.1	1.8	6.5	5.5	2.9	9.1	5.5
50歳代(n=372)	13.7	12.4	12.4	4.8	10.5	1.6	4.0	3.5	1.3	8.6	3.5
60歳代(n=287)	11.8	12.5	16.0	8.0	12.9	1.7	6.6	3.5	1.0	9.1	1.4
70歳代以上(n=327)	10.4	12.8	21.7	4.6	15.9	3.7	8.9	1.5	0.6	11.9	1.5
18歳以上(n=1,712)	12.2	11.4	14.5	6.8	13.2	2.6	6.7	3.3	2.2	9.8	3.7

(単位:%)

	ス ポ ー ツ 用 具 等 の 貸 出 し	施 設 の 利 用 料 減 免	ス ポ ー ツ に よ り 、 障 害 に 応 じ た 支 援 、 ま た は そ の 充 実	自 宅 で も で き る 、 障 害 に 応 じ た 情 報 提 供 、 ま た は そ の 充 実	一 緒 に 行 う 仲 間 (障 害 の 無 い 人)	一 緒 に 行 う 仲 間 (自 分 と 同 じ 障 害 の あ る 人)	一 緒 に 行 う 仲 間 (自 分 と 異 な る 障 害 の あ る 人)	適 切 な 指 導 者 や コ ー チ 、 ト レ ー ナ ー	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
7～17歳(n=379)	5.0	10.6	2.6	3.2	12.1	14.0	4.2	25.1	1.3	9.0	8.4
18～19歳(n=24)	12.5	12.5	4.2	8.3	16.7	12.5	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2
20歳代(n=189)	2.6	13.2	2.1	4.8	12.7	10.6	2.6	12.2	1.1	13.8	12.7
30歳代(n=238)	9.7	14.3	2.1	5.5	10.9	8.8	2.9	10.5	1.3	16.4	12.2
40歳代(n=275)	4.7	13.1	2.9	5.5	8.7	6.2	1.1	12.4	1.1	20.7	15.3
50歳代(n=372)	7.3	13.7	1.6	5.6	7.3	4.8	1.9	10.5	2.2	25.3	13.2
60歳代(n=287)	2.4	10.8	2.8	9.8	8.4	3.8	0.7	10.8	0.3	25.4	12.9
70歳代以上(n=327)	1.5	7.6	2.4	14.1	6.7	6.4	1.8	16.8	0.3	22.3	10.7
18歳以上(n=1,712)	4.8	12.0	2.3	7.8	8.8	6.5	1.8	12.1	1.1	21.1	12.7

障害種別でみると、「知的障害」において「障害にあわせたプログラムの充実」（28.2%）や「適切な指導者やトレーナー」（22.0%）が他の区分と比較して高かった。【図表 146】

【図表 146】新たに別のスポーツ・運動を始めるために必要な支援(障害種別)[複数回答(3つまで)]

〈スポーツ・運動実施者〉

	やスタジアム、体育館などの建物	交通機関やまちのバリアフリー	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせた教室やプログラム	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬などに対する理解促進	健康や体調を管理する医療的なサポート	目標となる大会やイベント
視覚障害(n=166)	21.7	19.9	16.9	10.2	14.5	4.2	8.4	4.2	5.4	4.8	3.6
聴覚・平衡機能障害(n=204)	16.2	12.7	9.8	10.3	14.7	8.3	5.9	3.9	2.9	7.8	2.9
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	15.6	9.1	26.0	14.3	18.2	0.0	6.5	9.1	3.9	9.1	2.6
肢体不自由(n=551)	13.8	15.6	22.3	8.9	15.4	3.4	7.3	3.1	2.4	10.7	3.4
内部障害(n=429)	12.1	11.7	12.4	4.7	14.5	0.9	5.6	4.2	2.3	12.6	4.0
知的障害(n=387)	10.3	8.0	21.2	10.3	28.2	4.4	9.6	3.6	3.4	5.7	5.4
精神障害(n=535)	6.9	7.3	11.0	4.3	12.5	1.7	6.2	3.4	2.2	7.9	3.7
その他(n=41)	9.8	17.1	26.8	17.1	19.5	2.4	12.2	7.3	12.2	14.6	0.0

	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用料減免	リモートにより、障害に合わせたサポート・運動を指導してくれる支援、またはその充実	自宅でもできる、障害に合わせたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実	一緒にいる仲間（障害の無い人）	一緒にいる仲間（自分と同じ障害のある人）	一緒にいる仲間（自分と異なる障害のある人）	適切な指導者やコーチ、トレーナー	その他	特にな	わからない
視覚障害(n=166)	5.4	6.6	1.2	4.8	7.8	5.4	1.8	4.2	0.0	16.9	11.4
聴覚・平衡機能障害(n=204)	5.9	10.3	2.5	8.8	7.4	6.9	2.5	12.3	1.0	19.1	7.8
音声・言語・そしゃく機能障害(n=77)	1.3	13.0	3.9	13.0	6.5	6.5	2.6	16.9	0.0	13.0	5.2
肢体不自由(n=551)	4.4	12.7	3.3	11.1	5.3	6.0	2.2	14.2	1.3	16.0	9.1
内部障害(n=429)	3.3	11.4	2.6	7.7	8.6	4.9	2.3	14.2	0.5	25.4	12.8
知的障害(n=387)	4.9	13.4	1.8	2.6	12.9	13.2	3.4	22.0	1.6	9.3	12.1
精神障害(n=535)	6.2	12.3	3.0	7.1	11.8	9.3	2.2	14.8	1.3	23.0	15.7
その他(n=41)	4.9	17.1	0.0	7.3	2.4	4.9	7.3	29.3	2.4	12.2	2.4

日常生活で車いす必要／不要別でみると、「必要とする」では「会場までの送迎」（29.1%）、「交通機関やまちのバリアフリー化」（27.8%）や「スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化」（25.3%）といったバリアフリー整備や送迎が高かった。「必要としない」では「特にない」（20.9%）が最も高く、次いで「適切な指導者やコーチ、トレーナー」（15.3%）、「障害にあわせた教室やプログラム」（15.0%）の順であった。【図表 147】

【図表 147】新たに別のスポーツ・運動を始めるために必要な支援(日常生活で車いす必要／不要)  
[複数回答(3つまで)]<スポーツ・運動実施者>

(単位:%)											
n=551(肢体不自由)	スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせた教室やプログラム	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬などに対する理解促進	健康や体調を管理する医療的なサポート	目標となる大会やイベント
必要とする(n=158)	25.3	27.8	29.1	17.7	16.5	5.7	10.1	3.8	3.8	10.8	5.1
必要としない(n=393)	9.2	10.7	19.6	5.3	15.0	2.5	6.1	2.8	1.8	10.7	2.8

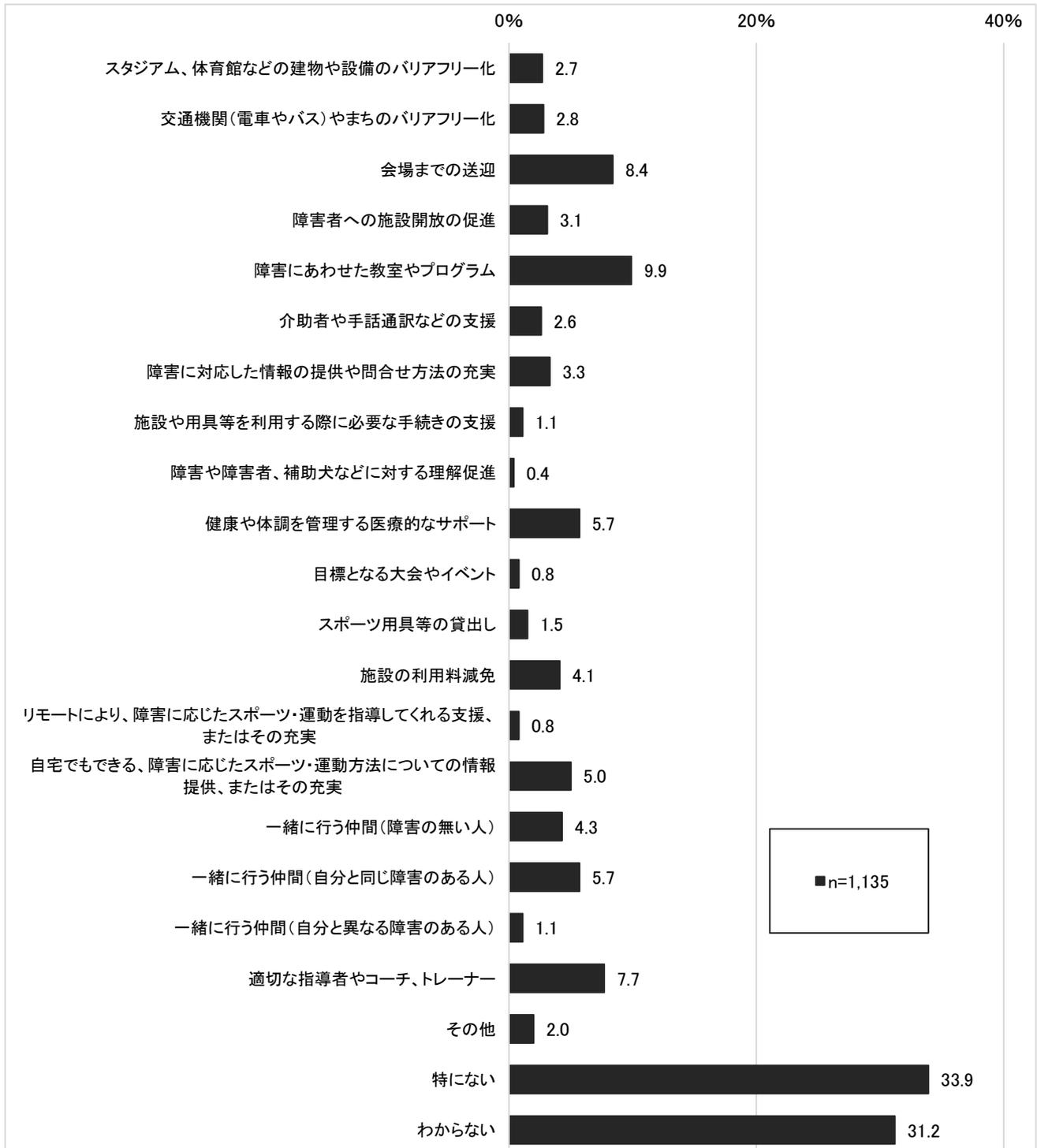
  

n=551(肢体不自由)	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用料減免	リモートによるサポート、またはその充実	情報提供、またはその充実	自宅でもできる、障害に合わせた方法についての情報提供	一緒にいる仲間（障害の無い人）	一緒にいる仲間（自分と同じ障害のある人）	一緒にいる仲間（自分と異なる障害のある人）	適切な指導者やコーチ、トレーナー	その他	特にない	わからない
必要とする(n=158)	4.4	9.5	5.7	12.7	2.5	5.1	1.3	11.4	0.0	3.8	5.1	
必要としない(n=393)	4.3	14.0	2.3	10.4	6.4	6.4	2.5	15.3	1.8	20.9	10.7	

(17) スポーツ・運動を始めるきっかけとして必要な支援（スポーツ非実施者対象）

スポーツ・運動を始めるきっかけとして必要な支援について、必要な支援があると回答した中では、「障害にあわせたプログラムの充実」（9.9%）が最も高く、次いで「会場までの送迎」（8.4%）、「適切な指導者やコーチ、トレーナー」（7.7%）の順であった。【図表 148】

【図表 148】 スポーツ・運動を始めるきっかけとして必要な支援[複数回答(3つまで)]  
 〈スポーツ・運動非実施者〉



年齢別でみると、「7～17歳」では「障害にあわせたプログラム」（19.5%）の割合が最も高く、他の区分と比較しても高い傾向にあった。【図表 149】

【図表 149】スポーツ・運動を始めるきっかけとして必要な支援(年齢別)[複数回答(3つまで)]

〈スポーツ・運動非実施者〉

	やスタ 設備の バリア フリー 化	交通 機関や まちの バリア フリー 化	会場 までの 送迎	障害 者への 施設 開放の 促進	障害 にあわ せた教 室やプ ログラ ム	介助 者や手 話通訳 などの 支援	障害 に对应 した情 報の提 供や問 合せ方 法の充 実	施設 や用具 等を利用 する際 に必要 な手続 きの支 援	障害 や障害 者、補 助犬に 対する 理解促 進	健康 や体調 を管理 する医 療的な サポー ト	目標 となる 大会や イベン ト
7～17歳(n=128)	7.0	3.9	12.5	7.0	19.5	3.9	6.3	4.7	1.6	3.1	3.1
18～19歳(n=9)	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代(n=84)	2.4	1.2	9.5	1.2	11.9	3.6	4.8	1.2	0.0	3.6	1.2
30歳代(n=98)	5.1	3.1	9.2	1.0	8.2	1.0	3.1	1.0	1.0	6.1	1.0
40歳代(n=102)	3.9	2.9	4.9	2.9	5.9	2.0	2.9	0.0	1.0	3.9	0.0
50歳代(n=216)	1.9	2.8	4.2	3.2	7.9	0.9	2.8	0.5	0.0	3.7	0.5
60歳代(n=167)	1.2	3.0	11.4	4.8	7.2	2.4	2.4	1.2	0.0	8.4	1.2
70歳代以上(n=331)	1.5	2.7	8.5	1.8	10.0	3.6	2.7	0.6	0.3	7.9	0.0
18歳以上(n=1,007)	2.2	2.7	7.8	2.6	8.6	2.4	3.0	0.7	0.3	6.1	0.5

	スポ ーツ用 具等の 貸出し	施設 の利用 料減免	リモ ットに よる支 援、ま たはそ の指導 してく れた	自宅 でもで きる、 障害に 応じた 情報提 供、ま たはそ の充実	一緒 に行う 仲間（ 障害の 無い人 ）	一緒 に行う 仲間（ 自分と 同じ障 害のある 人）	一緒 に行う 仲間（ 自分と 異なる 障害のある 人）	適切 な指導 者やコ ーチ、 トレー ナー	その他	特に ない	わか らない
7～17歳(n=128)	0.8	3.1	1.6	2.3	10.2	11.7	2.3	12.5	0.0	18.8	31.3
18～19歳(n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	55.6
20歳代(n=84)	2.4	2.4	1.2	6.0	8.3	8.3	1.2	15.5	3.6	29.8	27.4
30歳代(n=98)	1.0	6.1	0.0	3.1	6.1	4.1	2.0	3.1	0.0	29.6	39.8
40歳代(n=102)	1.0	5.9	0.0	2.9	5.9	6.9	2.0	4.9	2.9	32.4	35.3
50歳代(n=216)	2.3	6.0	0.5	3.7	2.3	3.7	0.9	5.1	1.9	40.3	34.7
60歳代(n=167)	2.4	4.2	1.8	8.4	2.4	6.0	0.6	7.2	2.4	38.3	24.6
70歳代以上(n=331)	0.9	2.4	0.6	6.3	2.1	3.9	0.3	7.9	2.7	36.9	28.7
18歳以上(n=1,007)	1.6	4.2	0.7	5.4	3.6	5.0	1.0	7.1	2.3	35.8	31.2

障害種別でみると、「知的障害」において「障害にあわせたプログラム」（19.4%）、「会場までの送迎」（13.9%）、「適切な指導者」（13.3%）が他の区分と比較して高かった。【図表 150】

【図表 150】スポーツ・運動を始めるきっかけとして必要な支援(障害種別)[複数回答(3つまで)]

〈スポーツ・運動非実施者〉

(単位: %)

	や設備のバリアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせた教室やプログラム	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援	障害や障害者、補助犬などに対する理解促進	健康や体調を管理する医療的なサポート	目標となる大会やイベント
視覚障害(n=81)	1.2	2.5	8.6	2.5	8.6	1.2	4.9	0.0	1.2	2.5	0.0
聴覚・平衡機能障害(n=94)	2.1	1.1	6.4	3.2	5.3	2.1	3.2	0.0	2.1	8.5	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害(n=58)	0.0	0.0	3.4	1.7	5.2	1.7	6.9	0.0	0.0	6.9	1.7
肢体不自由(n=482)	3.7	3.9	11.0	3.7	11.6	3.9	4.1	1.2	0.4	6.6	0.6
内部障害(n=190)	1.1	2.1	5.8	1.6	7.4	0.5	2.1	0.5	0.0	9.5	1.1
知的障害(n=165)	3.6	1.8	13.9	7.3	19.4	3.0	5.5	3.0	0.0	4.8	1.8
精神障害(n=289)	2.1	2.1	3.5	4.2	6.2	1.7	3.5	1.4	0.3	4.2	0.3
その他(n=27)	3.7	7.4	18.5	0.0	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	11.1	3.7

	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用率減免	リモートにより、障害に合わせたサポート、またはその充実	自宅でもできる、障害に合わせた情報提供、またはその充実	一緒にいる仲間（障害の無い人）	一緒にいる仲間（自分と同じ障害のある人）	一緒にいる仲間（自分と異なる障害のある人）	適切な指導者やコーチ、トレーナー	その他	特にな	わからない
視覚障害(n=81)	0.0	3.7	0.0	1.2	0.0	2.5	0.0	8.6	3.7	33.3	38.3
聴覚・平衡機能障害(n=94)	1.1	5.3	0.0	3.2	4.3	3.2	0.0	10.6	2.1	35.1	39.4
音声・言語・そしゃく機能障害(n=58)	1.7	3.4	0.0	5.2	3.4	5.2	0.0	10.3	5.2	29.3	43.1
肢体不自由(n=482)	1.7	4.4	1.0	6.6	3.5	5.6	1.0	7.5	1.9	34.6	27.0
内部障害(n=190)	2.6	3.2	0.5	2.1	3.7	2.6	0.5	7.4	2.6	41.6	28.9
知的障害(n=165)	0.6	3.0	0.0	3.0	7.3	10.3	3.0	13.3	1.8	20.6	33.3
精神障害(n=289)	1.4	5.2	1.0	4.8	5.2	7.6	2.4	5.9	1.7	33.6	35.3
その他(n=27)	0.0	7.4	0.0	3.7	7.4	7.4	3.7	11.1	3.7	33.3	18.5

日常生活で車いす必要／不要別でみると、「必要とする」、「必要としない」いずれも「障害にあわせた教室やプログラム」の割合が最も高く1割を超えた。【図表 151】

【図表 151】スポーツ・運動を始めるきっかけとして必要な支援(日常生活で車いす必要／不要)

[複数回答(3つまで)]<スポーツ・運動非実施者>

(単位:%)											
n=482(肢体不自由)	スタジアム、 リアフリー化、 体育館などの建物や設備のバ リアフリー化	交通機関やまちのバリアフリー化	会場までの送迎	障害者への施設開放の促進	障害にあわせた教室やプログラム	介助者や手話通訳などの支援	障害に対応した情報の提供や問合せ方法の 充実	施設や用具等を利用する際に必要な手続き の支援	障害や障害者、補助犬などに対する理解促 進	健康や体調を管理する医療的なサポート	目標となる大会やイベント
必要とする(n=238)	5.0	5.0	12.2	6.7	13.0	6.7	6.3	2.5	0.8	9.2	0.4
必要としない(n=244)	2.5	2.9	9.8	0.8	10.2	1.2	2.0	0.0	0.0	4.1	0.8

n=482(肢体不自由)	スポーツ用具等の貸出し	施設の利用料減免	実運動を指導してくれる支援、またはその充 実	リモートにより、障害に応じたスポーツ・ 充運動方法についての情報提供、またはその 充実	自宅でもできる、障害に応じたスポーツの 充運動方法についての情報提供、またはその 充実	一緒にいる仲間(障害の無い人)	一緒にいる仲間(自分と同じ障害のある 人)	一緒にいる仲間(自分と異なる障害のある 人)	適切な指導者やコーチ、トレーナー	その他	特にな い	わから ない
必要とする(n=238)	1.3	2.9	0.8	4.2	3.4	7.6	1.3	8.0	1.7	30.7	26.5	
必要としない(n=244)	2.0	5.7	1.2	9.0	3.7	3.7	0.8	7.0	2.0	38.5	27.5	

(18) 家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の経験及び興味関心

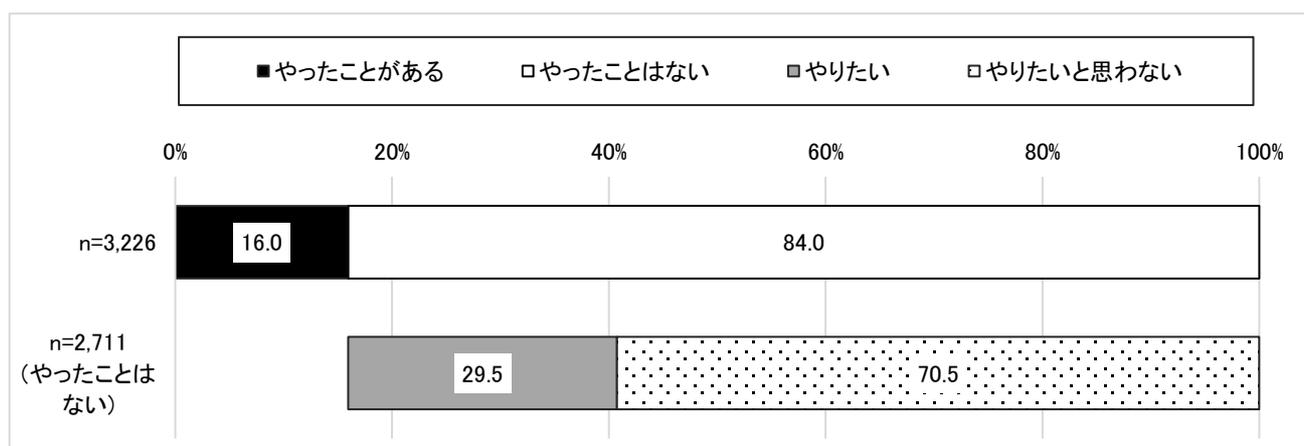
家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の経験について、「やったことがある」の割合は、「指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム」(23.5%)、「実際に体を動かして行う、スポーツやフィットネスのゲーム」(16.0%)、「指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム」(12.1%)、「指先など体の一部を動かして障害の状態に応じた入力装置」(8.0%)の順となった。なお、すべての項目において「やったことはない」と回答した割合は62.1%であった。

また、それぞれの項目で「やったことはない」を選んだ方に家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の興味関心を聞いたところ、すべての項目で「やりたい」が2～3割程度となった。

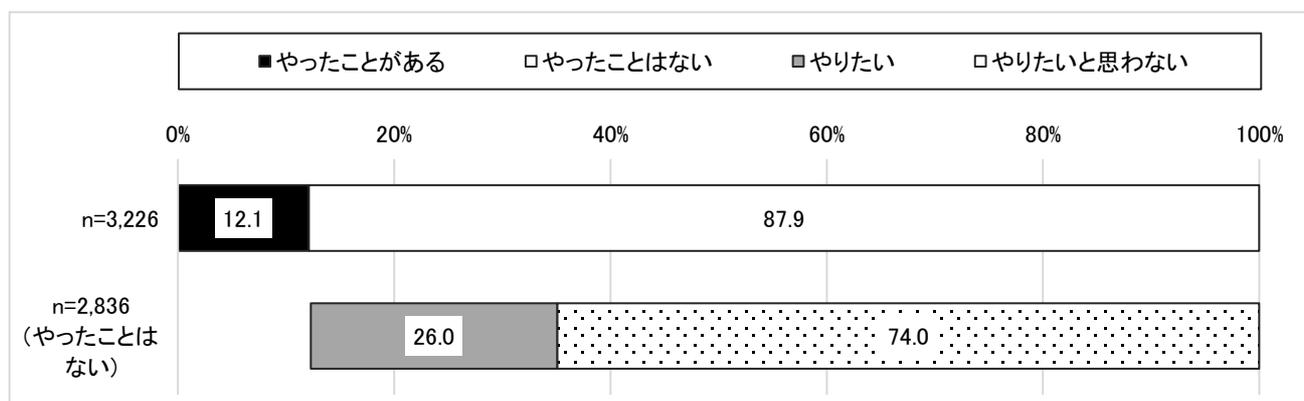
【図表 152】

【図表 152】 家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の経験[複数回答]、家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の興味関心<ゲーム未経験者>

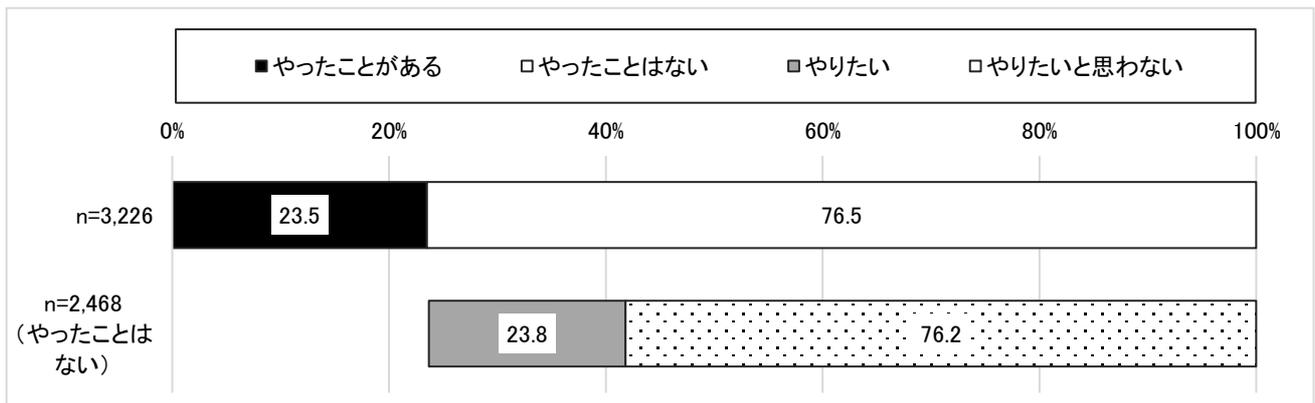
実際に体を動かして行う、スポーツやフィットネスのゲーム



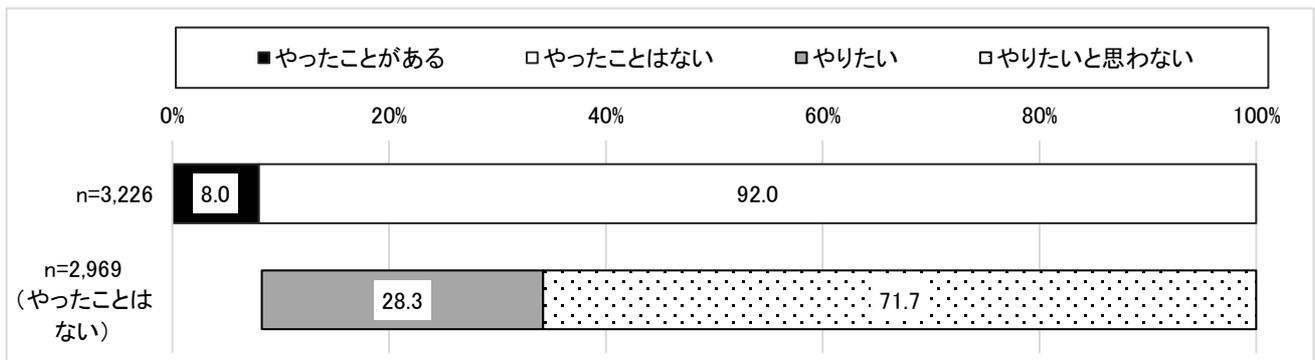
実際に体を動かして行う、スポーツ以外のゲーム



指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム



指先など体の一部を動かして障害の状態に応じた入力装置を操作して行うゲーム



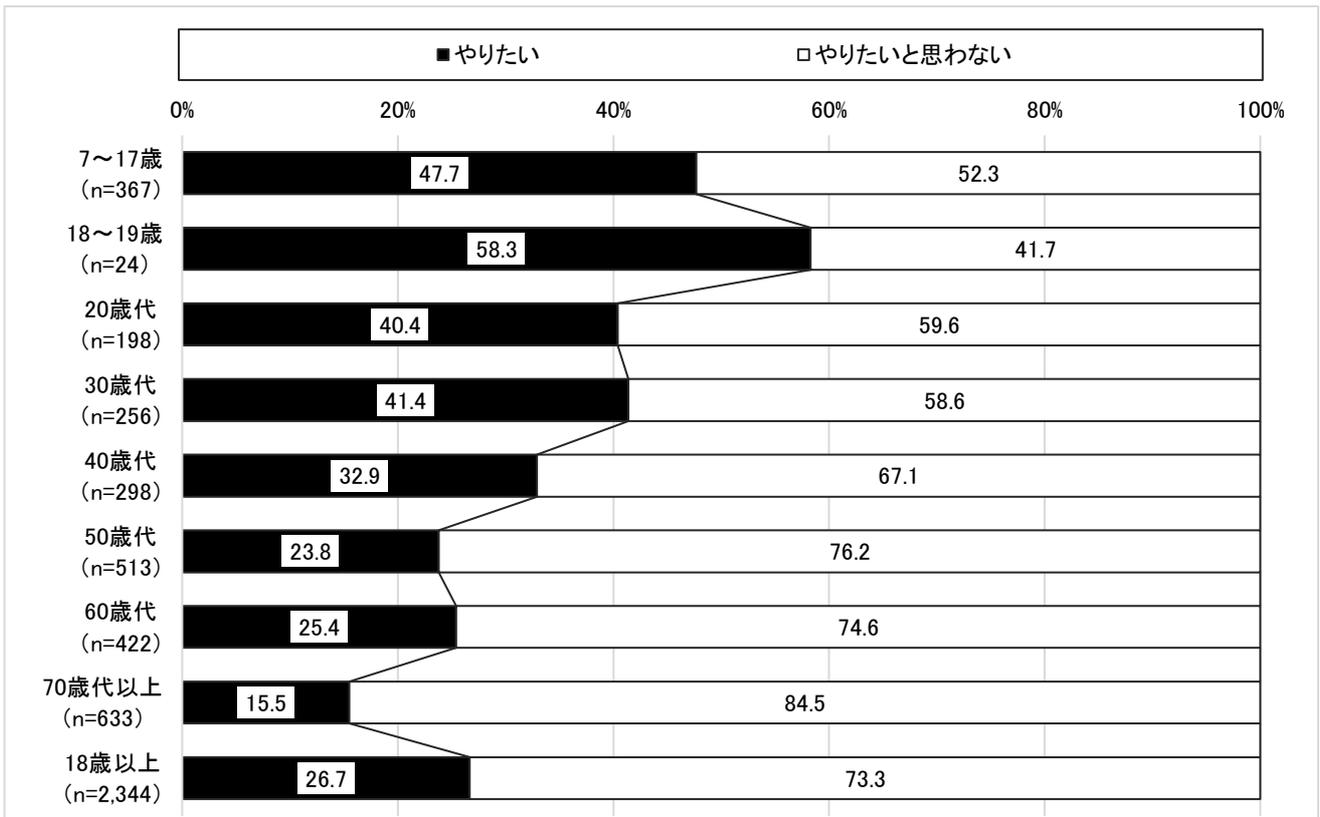
年齢別でみると、「7～17歳」では「指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム」（41.6%）の割合が最も高かった。一方で、年代が高くなるにつれて、「やったことはない」の割合は高くなる傾向にあり、「70歳代以上」では「やったことはない」（89.5%）と8割を超えた。【図表 153】

【図表 153】 家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の経験(年齢別) [複数回答]、  
家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の興味関心(年齢別) <ゲーム未経験者>

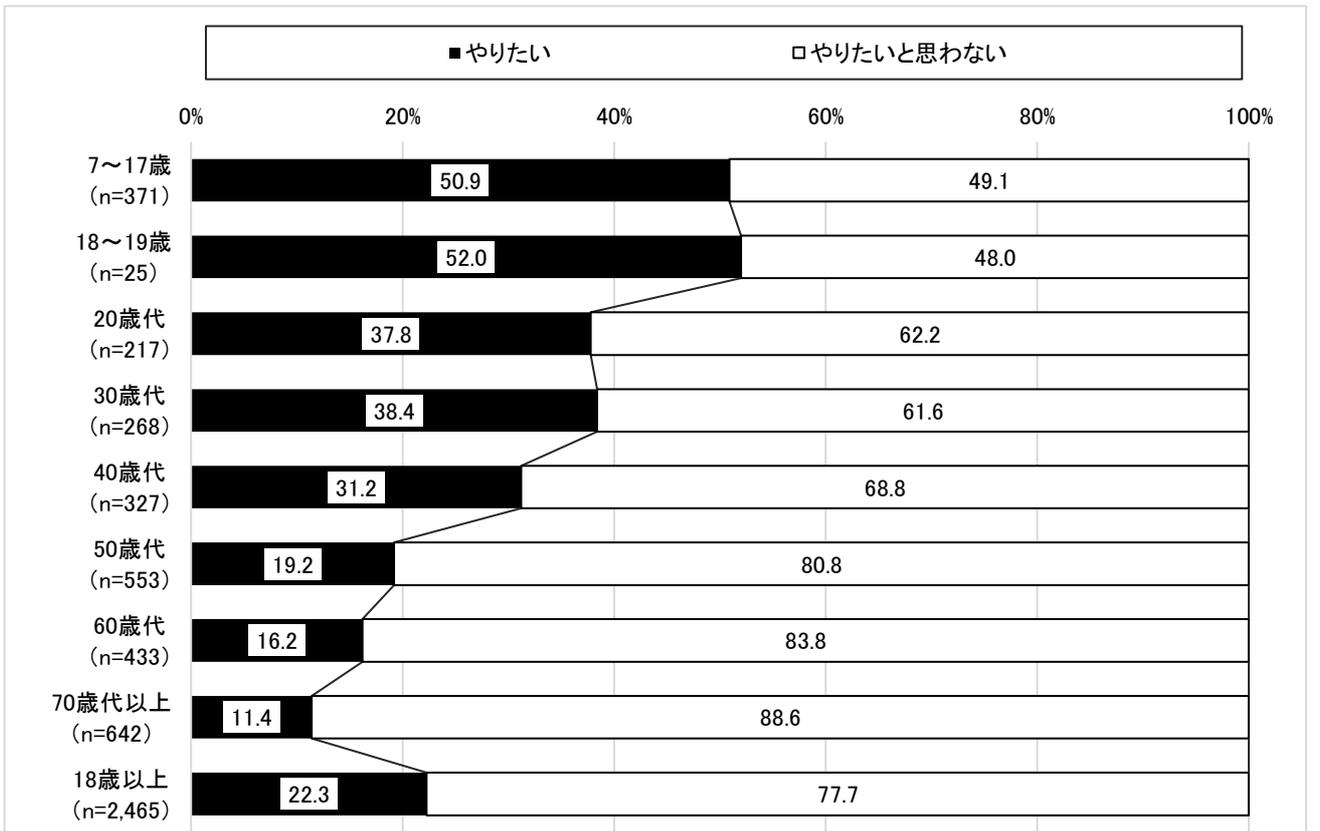
(単位: %)

	ポ ー ッ に や フ ィ ッ ト ネ ス の ゲ ー ム	ポ ー ッ に 以 外 の 動 カ シ テ 行 ウ 、 ス	て 般 指 行 ウ な ゲ ー ム コ ン ト ー ラ ー を 動 カ シ テ し	作 害 し て 行 ウ に ゲ ー ム 入 力 装 置 を 操	指 先 な ど 体 の 一 部 を 動 カ シ テ 障	や っ た こ と は な い
7～17歳(n=507)	27.6	26.8	41.6	14.2	37.7	
18～19歳(n=33)	27.3	24.2	54.5	18.2	30.3	
20歳代(n=273)	27.5	20.5	37.7	16.8	40.3	
30歳代(n=336)	23.8	20.2	37.2	11.0	44.3	
40歳代(n=377)	21.0	13.3	25.5	9.8	53.8	
50歳代(n=588)	12.8	6.0	17.0	5.6	69.0	
60歳代(n=454)	7.0	4.6	15.4	4.0	76.2	
70歳代以上(n=658)	3.8	2.4	5.3	1.2	89.5	
18歳以上(n=2,719)	13.8	9.3	20.1	6.8	66.7	

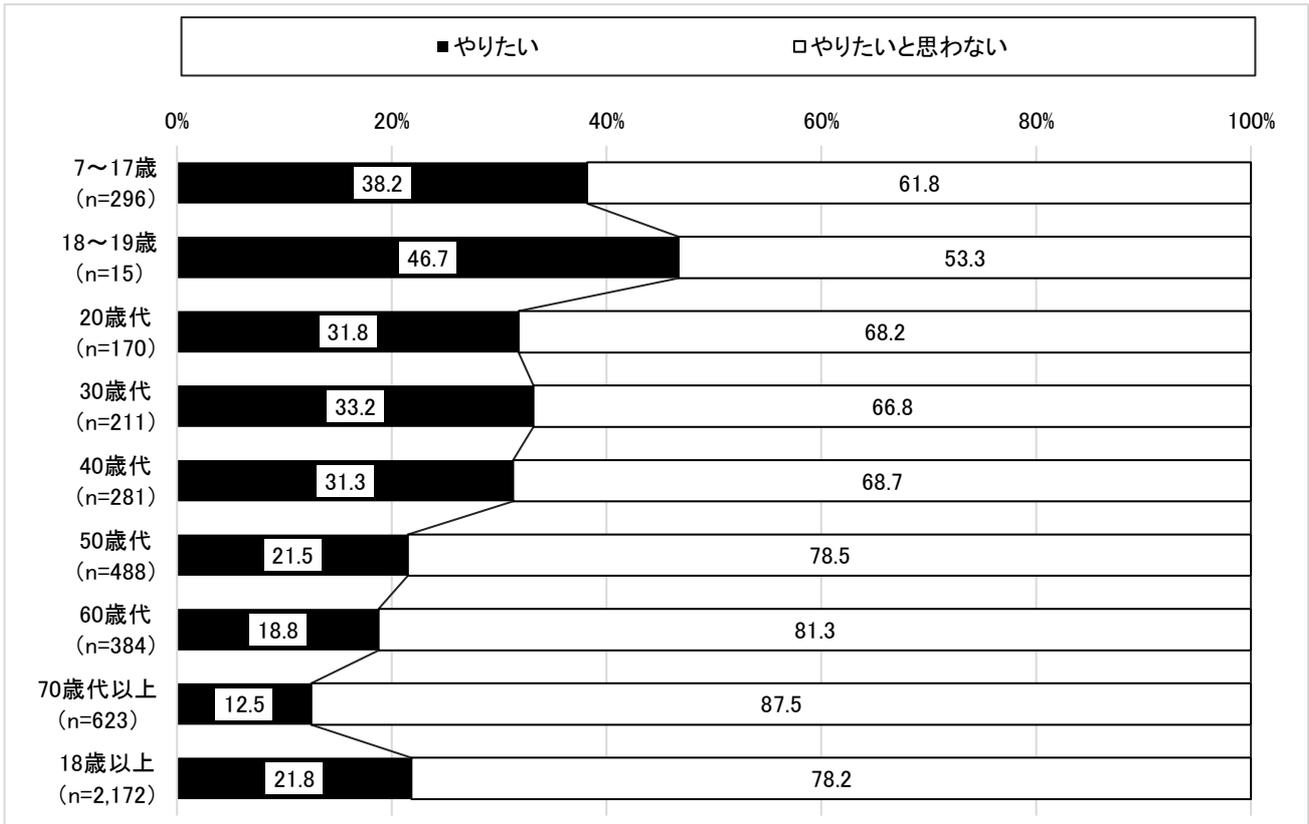
実際に体を動かして行う、スポーツやフィットネスのゲーム



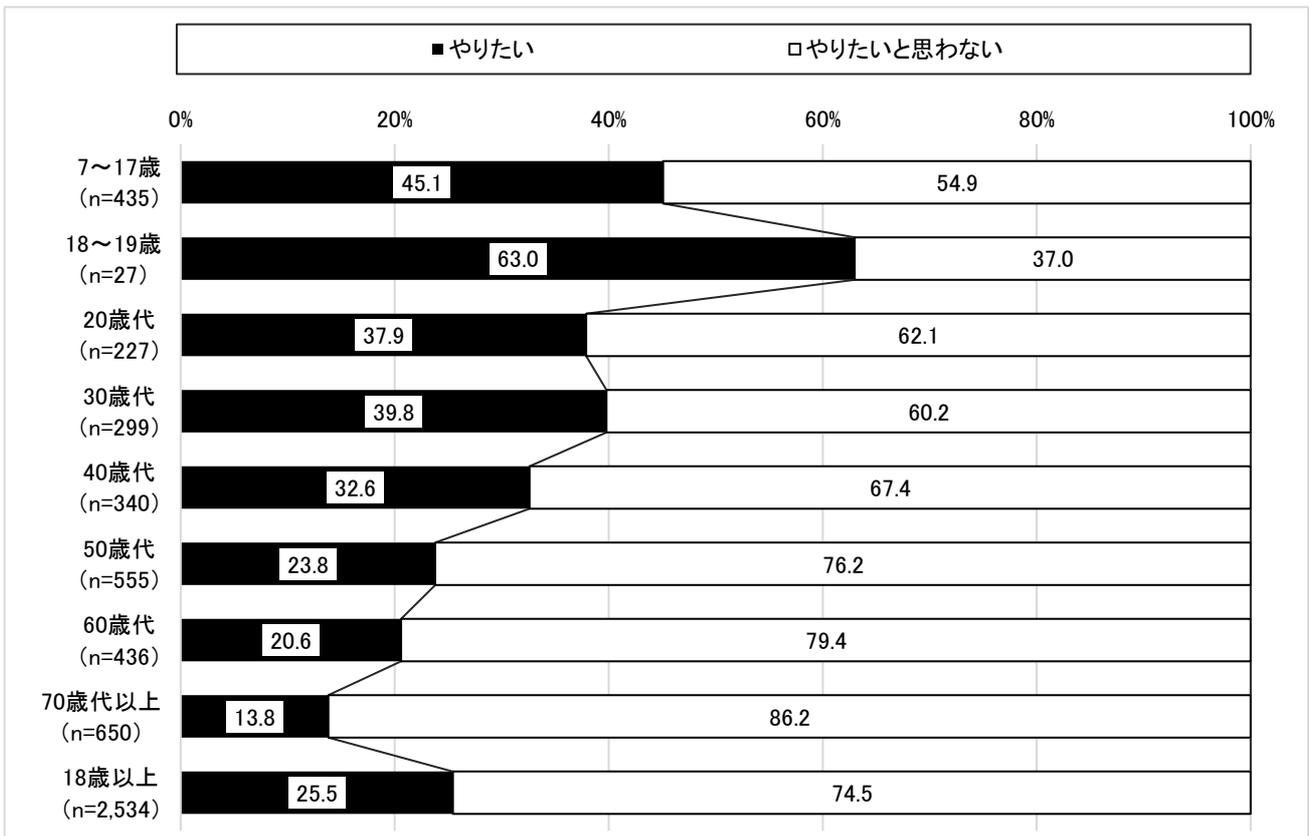
実際に体を動かして行う、スポーツ以外のゲーム



指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム



指先など体の一部を動かして障害の状態に応じた入力装置を操作して行うゲーム



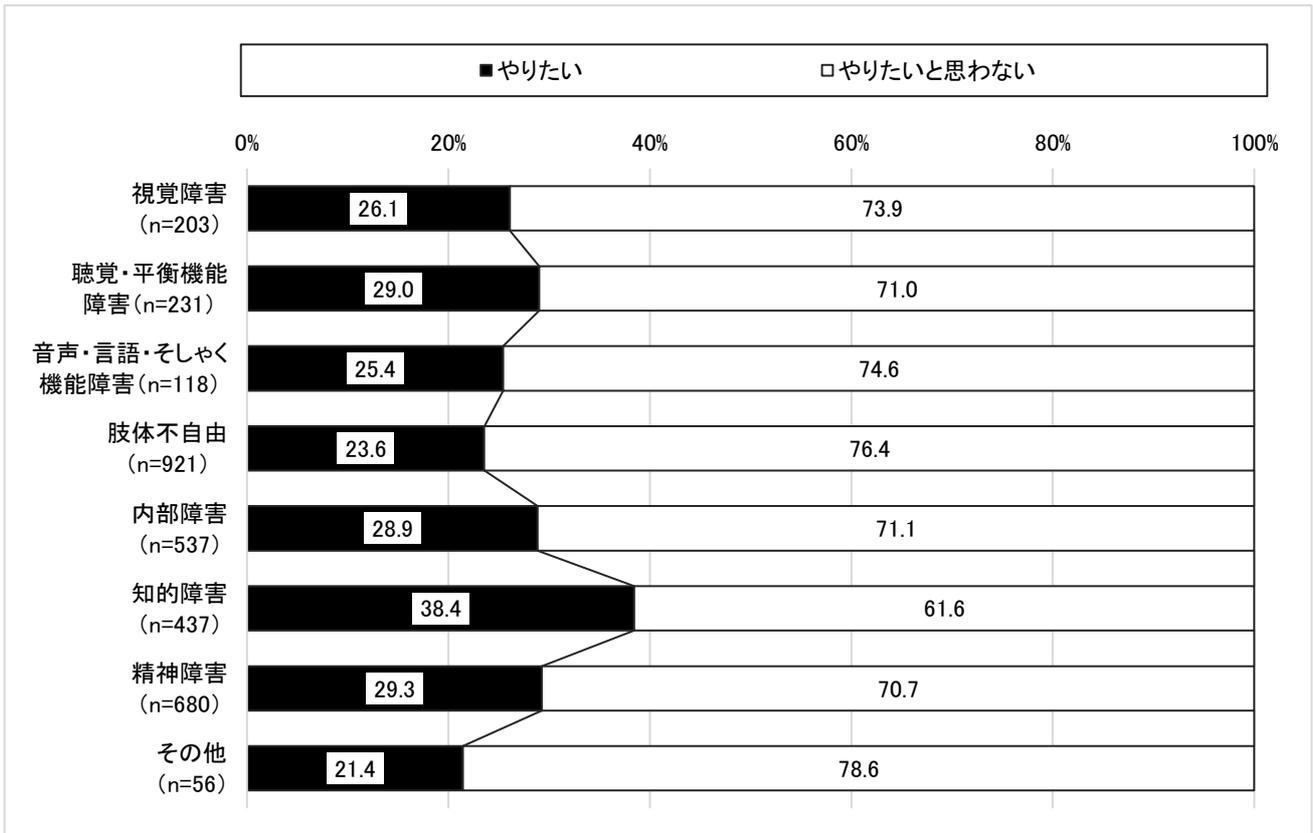
障害の程度別にみると、「肢体不自由」では「やったことない」（70.0%）の割合が7割となり最も高かった。一方で、「知的障害」では「指先など体の一部を動かして障害の状態に応じた入力装置を操作して行うゲーム」（32.6%）が3割を超えて、他の区分と比較して高い傾向にあった。【図表 154】

【図表 154】 家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の経験(障害種別) [複数回答]、  
家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の興味関心(障害種別)〈ゲーム未経験者〉

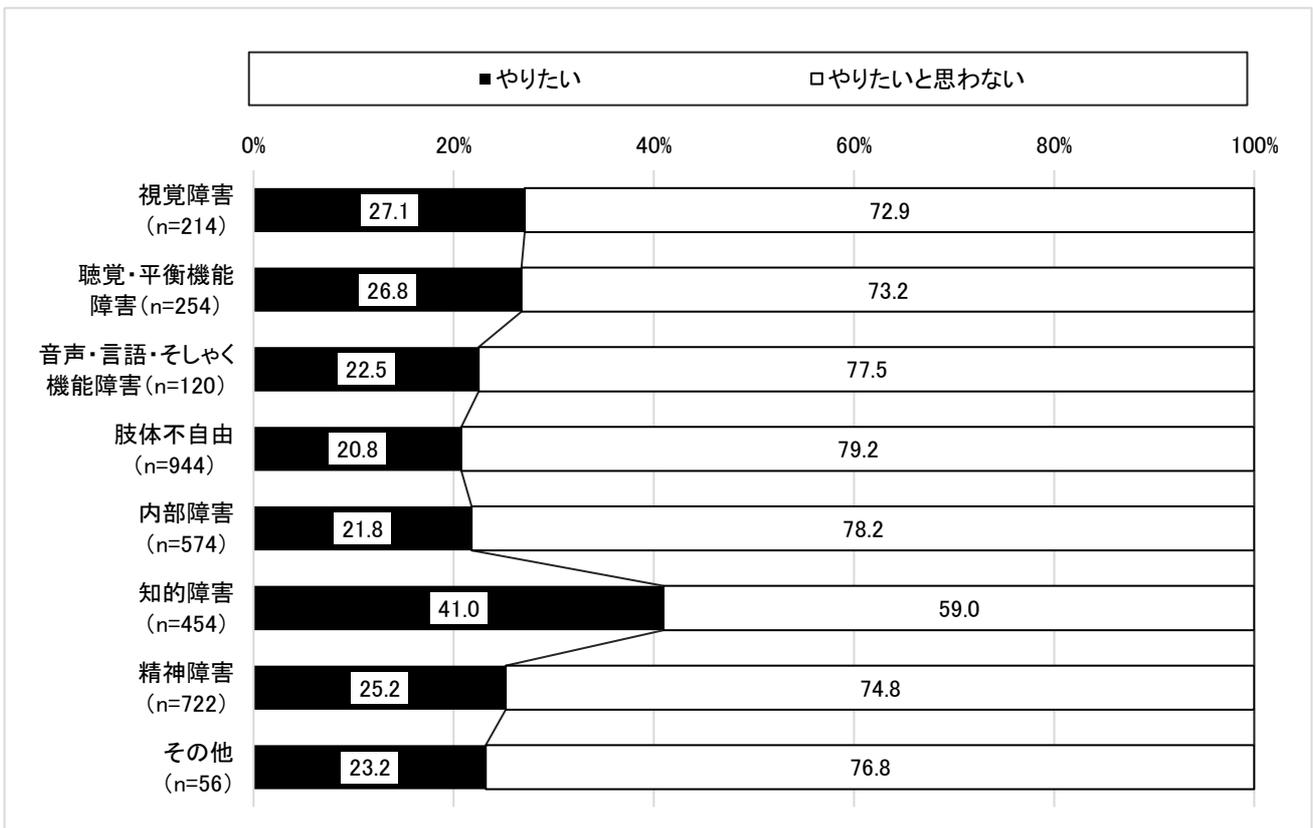
(単位:%)

	ゲームに 実際に 体を 動か して 行う の	ゲームに 実際に 体を 動か して 行う の	ゲームに 実際に 体を 動か して 行う の	ゲームに 実際に 体を 動か して 行う の	ゲームに 実際に 体を 動か して 行う の
視覚障害(n=247)	17.8	13.4	15.4	10.5	59.1
聴覚・平衡機能障害(n=300)	23.0	15.3	20.0	9.7	61.3
音声・言語・そしやく機能障害 (n=135)	12.6	11.1	17.0	6.7	67.4
肢体不自由(n=1,033)	10.8	8.6	18.1	6.3	70.0
内部障害(n=619)	13.2	7.3	20.7	6.3	68.2
知的障害(n=552)	20.8	17.8	32.6	10.5	51.1
精神障害(n=824)	17.5	12.4	28.9	9.1	59.0
その他(n=68)	17.6	17.6	32.4	14.7	52.9

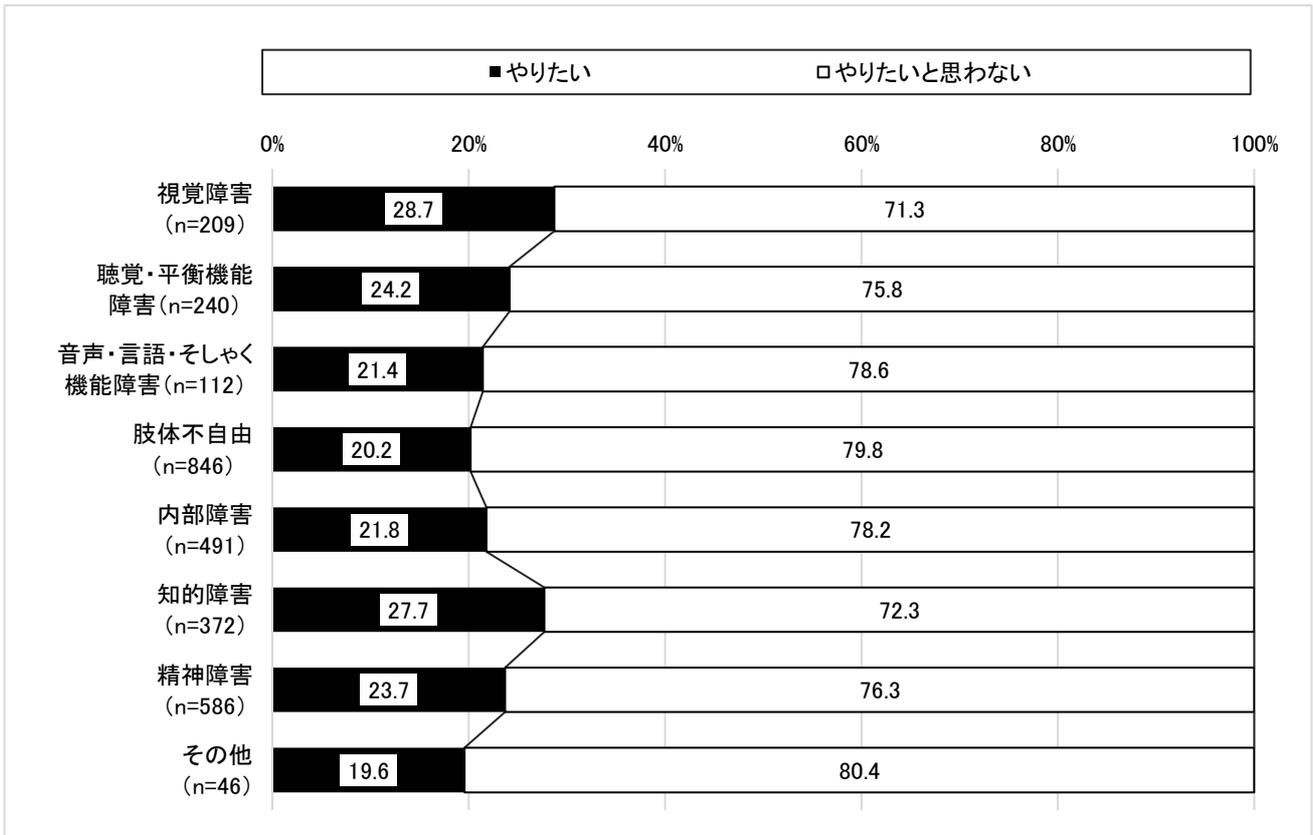
実際に体を動かして行う、スポーツやフィットネスのゲーム



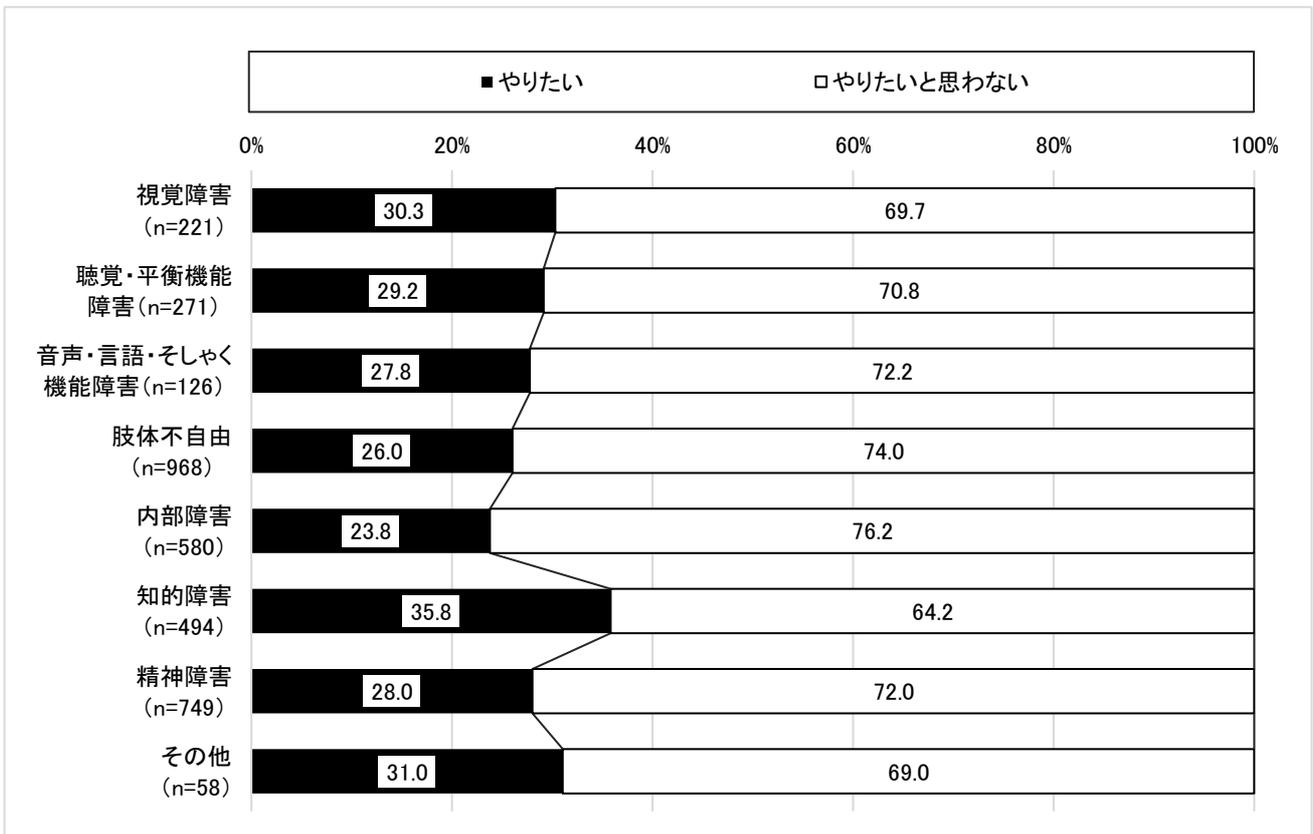
実際に体を動かして行う、スポーツ以外のゲーム



指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム



指先など体の一部を動かして障害の状態に応じた入力装置を操作して行うゲーム



平日・日中の居場所別にみると、「入所施設」で過ごす人では「やったことない」(80.6%)と8割を超えて、最も高かった。また、「職場(一般企業など)」で過ごす人では「実際に体を動かして行う、スポーツやフィットネスのゲーム」が20.7%となり、他の場所で過ごす人よりも比較的高い傾向にあった。

【図表 155】

【図表 155】家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の経験(平日・日中の居場所別)

(18歳以上) [複数回答]、

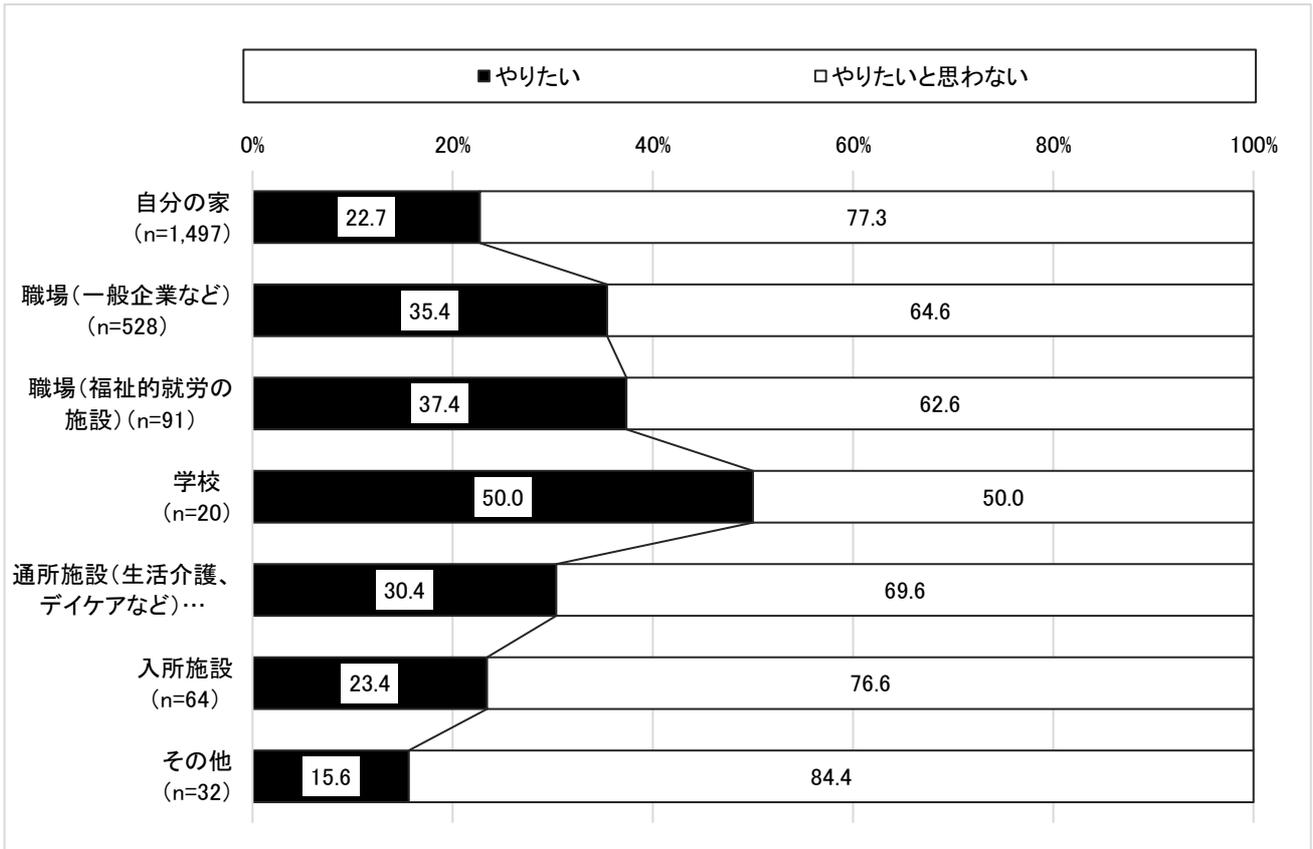
家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の興味関心(平日・日中の居場所別) (18歳以上)

〈ゲーム未経験者〉

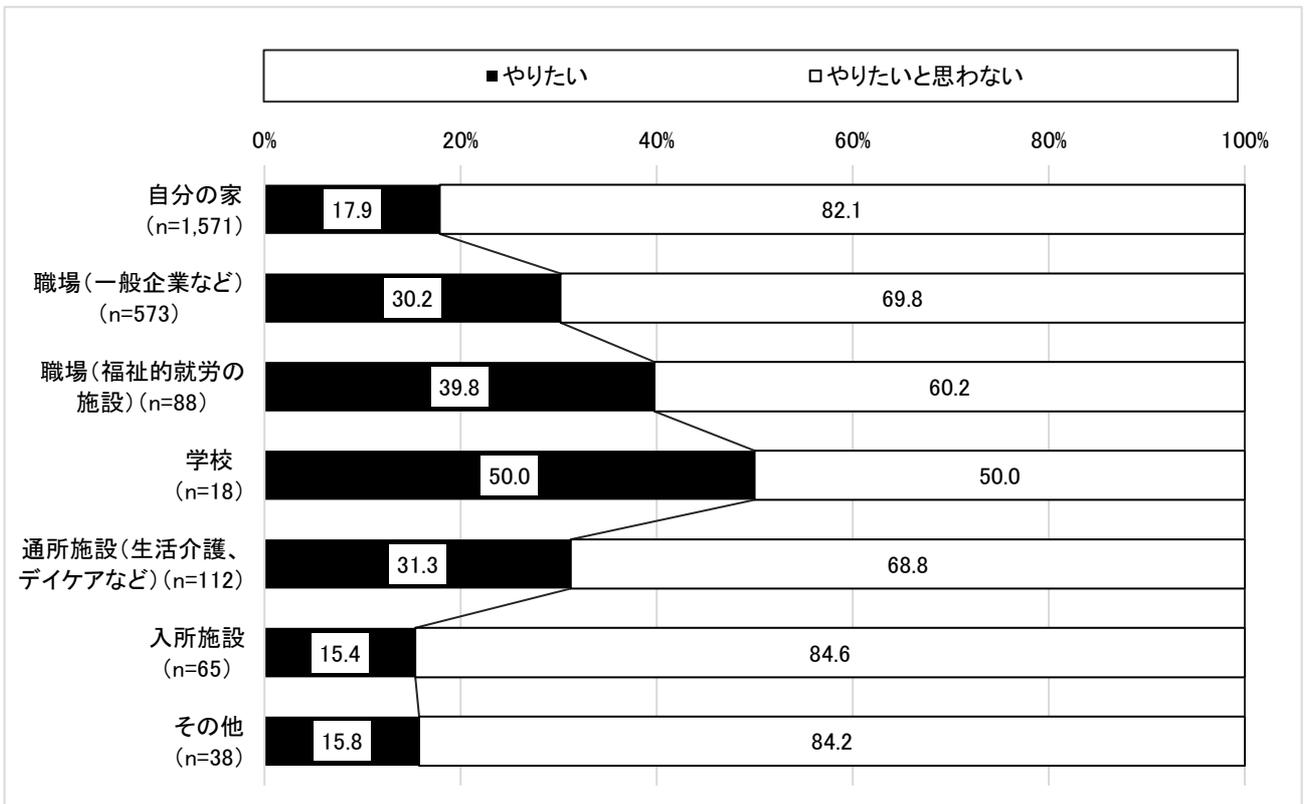
(単位:%)

	ポ ー ッ に 体 を 動 か し て 行 う の ゲ ー ム	ポ ー ッ に 以 外 の ゲ ー ム	て 行 う な ゲ ー ム	指 先 な な ど の 一 部 を 動 か し て 一	作 害 し て 行 う ゲ ー ム	指 先 な な ど の 一 部 を 動 か し て 障	や っ た こ と は な い
自分の家(n=1,694)	11.6	7.3	16.7	5.3	71.7		
職場(一般企業など)(n=666)	20.7	14.0	27.6	9.5	55.6		
職場(福祉的就労の施設)(n=100)	9.0	12.0	28.0	10.0	58.0		
学校(n=25)	20.0	28.0	48.0	24.0	40.0		
通所施設(生活介護、デイケアなど)(n=129)	13.2	13.2	18.6	7.8	62.0		
入所施設(n=67)	4.5	3.0	9.0	6.0	80.6		
その他(n=38)	15.8	0.0	26.3	5.3	68.4		

実際に体を動かして行う、スポーツやフィットネスのゲーム

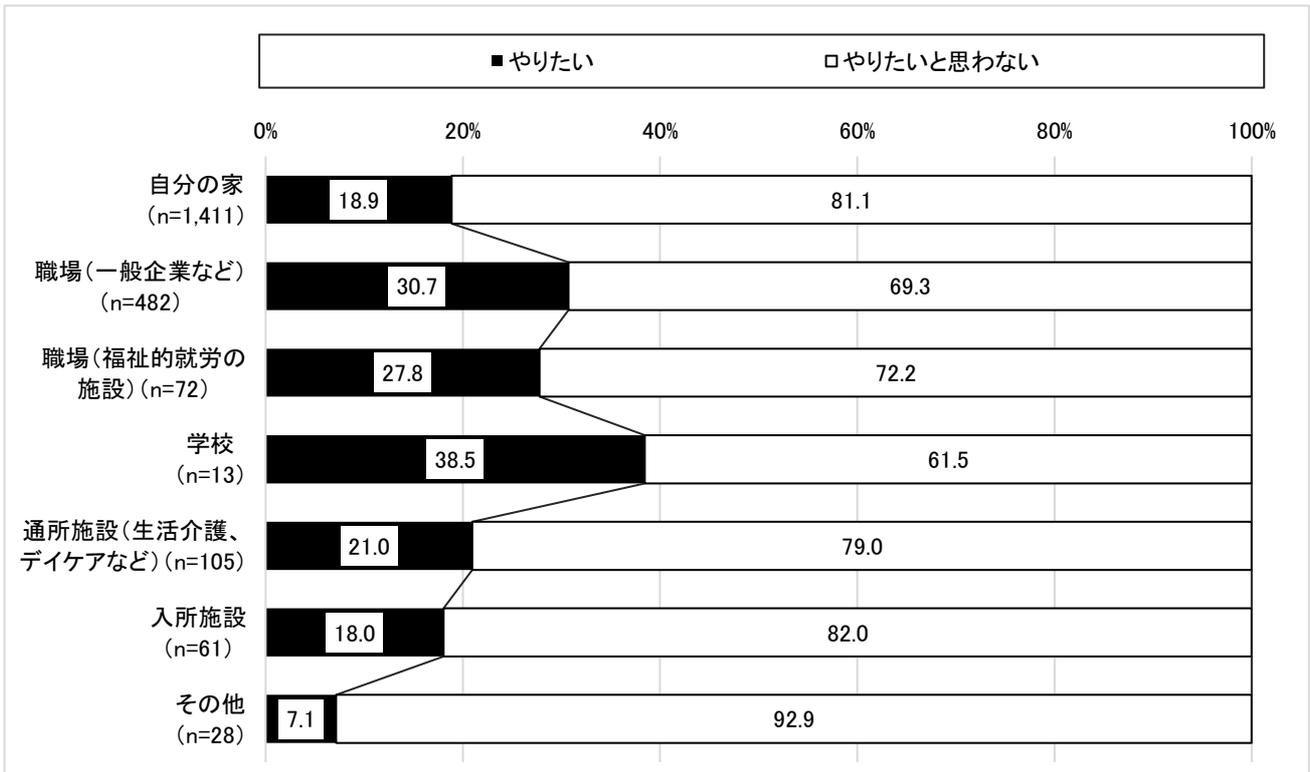


実際に体を動かして行う、スポーツ以外のゲーム

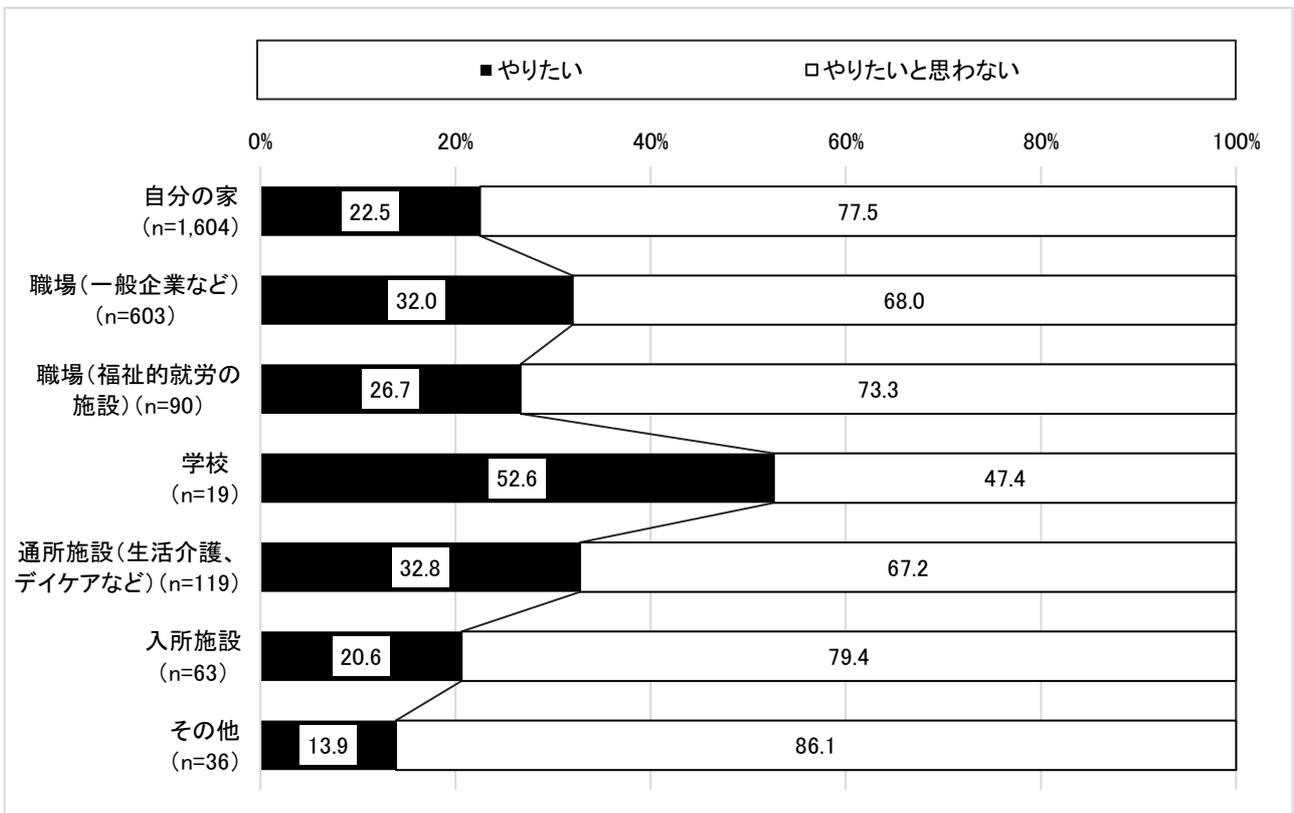




指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム



指先など体の一部を動かして障害の状態に応じた入力装置を操作して行うゲーム

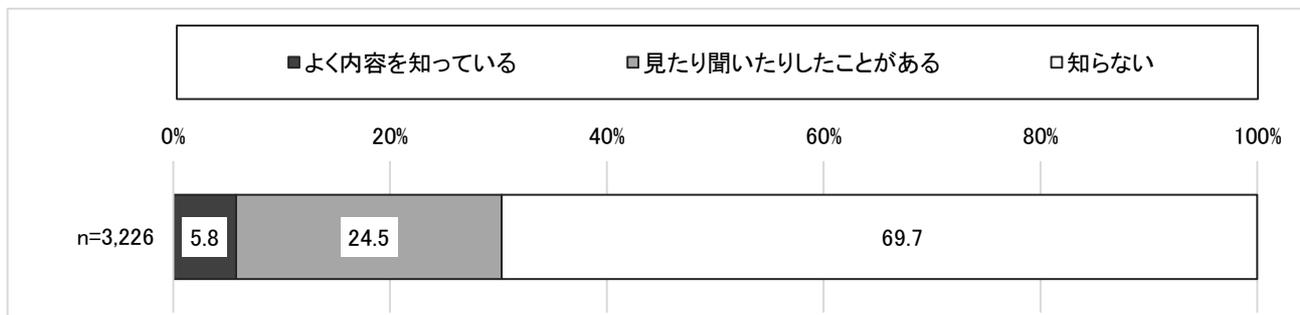


### (19) 東京 2025 デフリンピックの認知度

東京 2025 デフリンピックの認知度について、「知らない」(69.7%)の割合が最も高かった。次いで、「見たり聞いたりしたことがある」(24.5%)、「よく内容を知っている」(5.8%)の順となった。

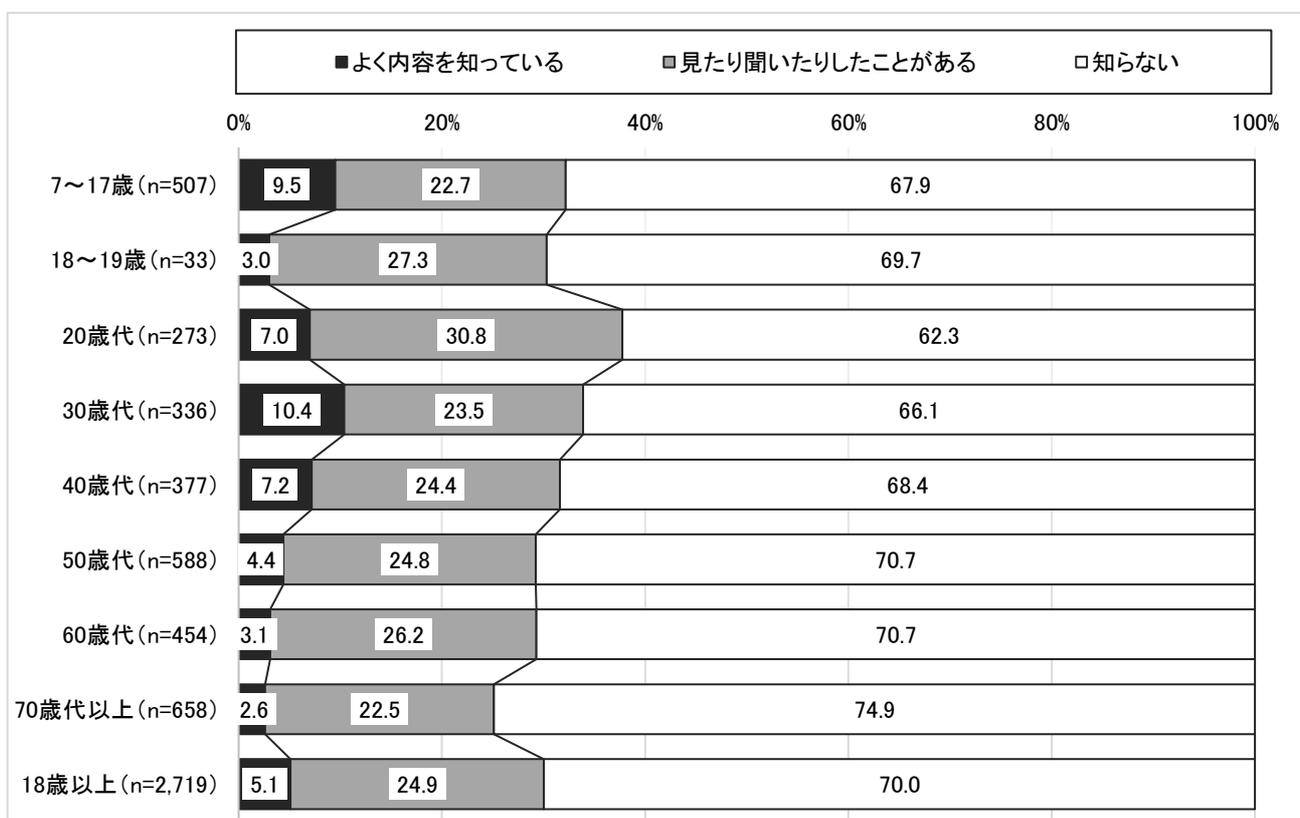
【図表 156】

【図表 156】 東京 2025 デフリンピックの認知度



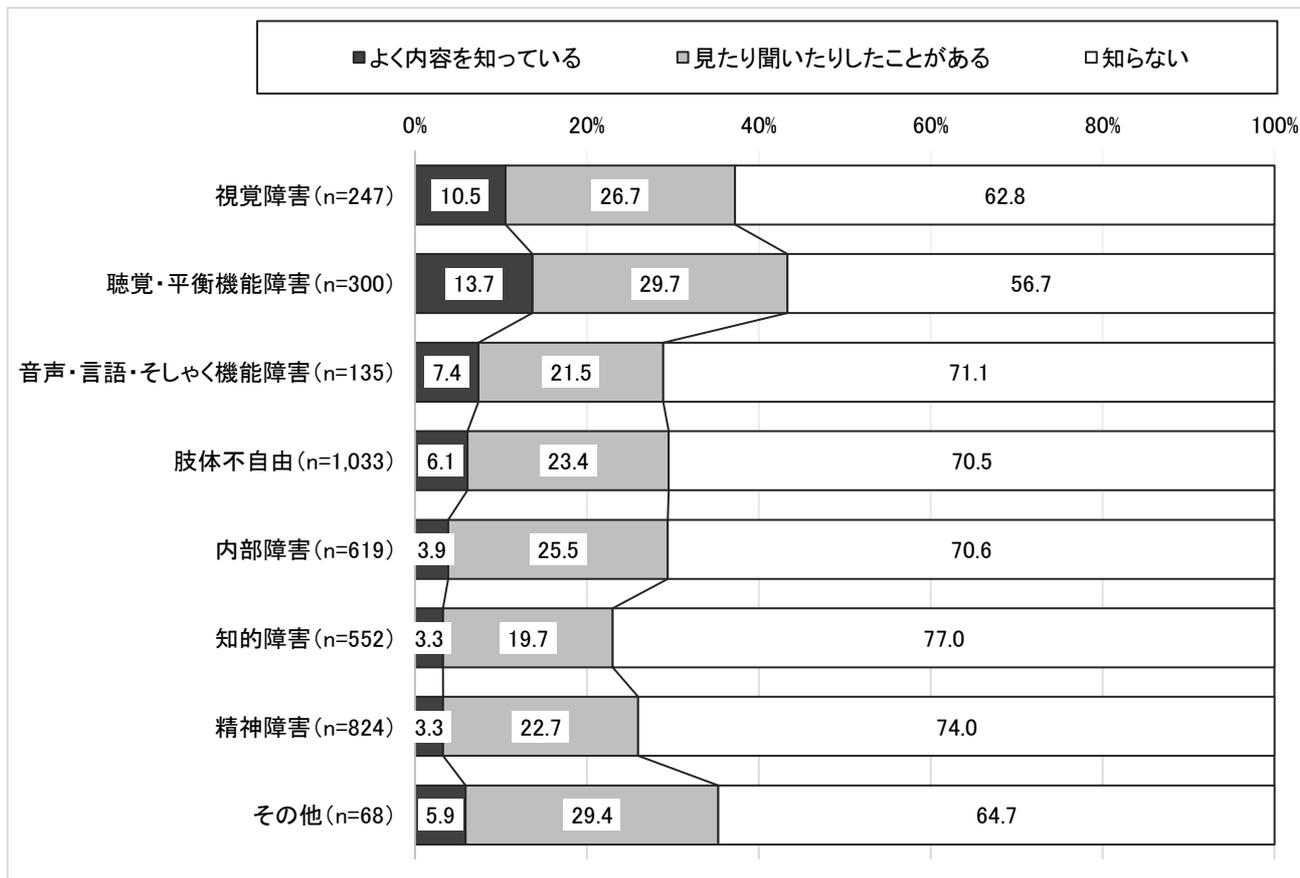
年齢別にみると、「50 歳代」以上では「知らない」の割合が7割を超えた。一方で、「よく内容を知っている」は「30 歳代」が 10.4%、「見たり聞いたりしたことがある」は「20 歳代」が 30.8%となった。【図表 157】

【図表 157】 東京 2025 デフリンピックの認知度(年齢別)



障害種別では、「聴覚・平衡機能障害」で「よく知っている」が13.7%、「見たり聞いたりしたことがある」が29.7%と他の障害と比較して高い傾向にあった。一方で、「知的障害」では「知らない」(77.0%)の割合が7割を超えて最も高かった。【図表 158】

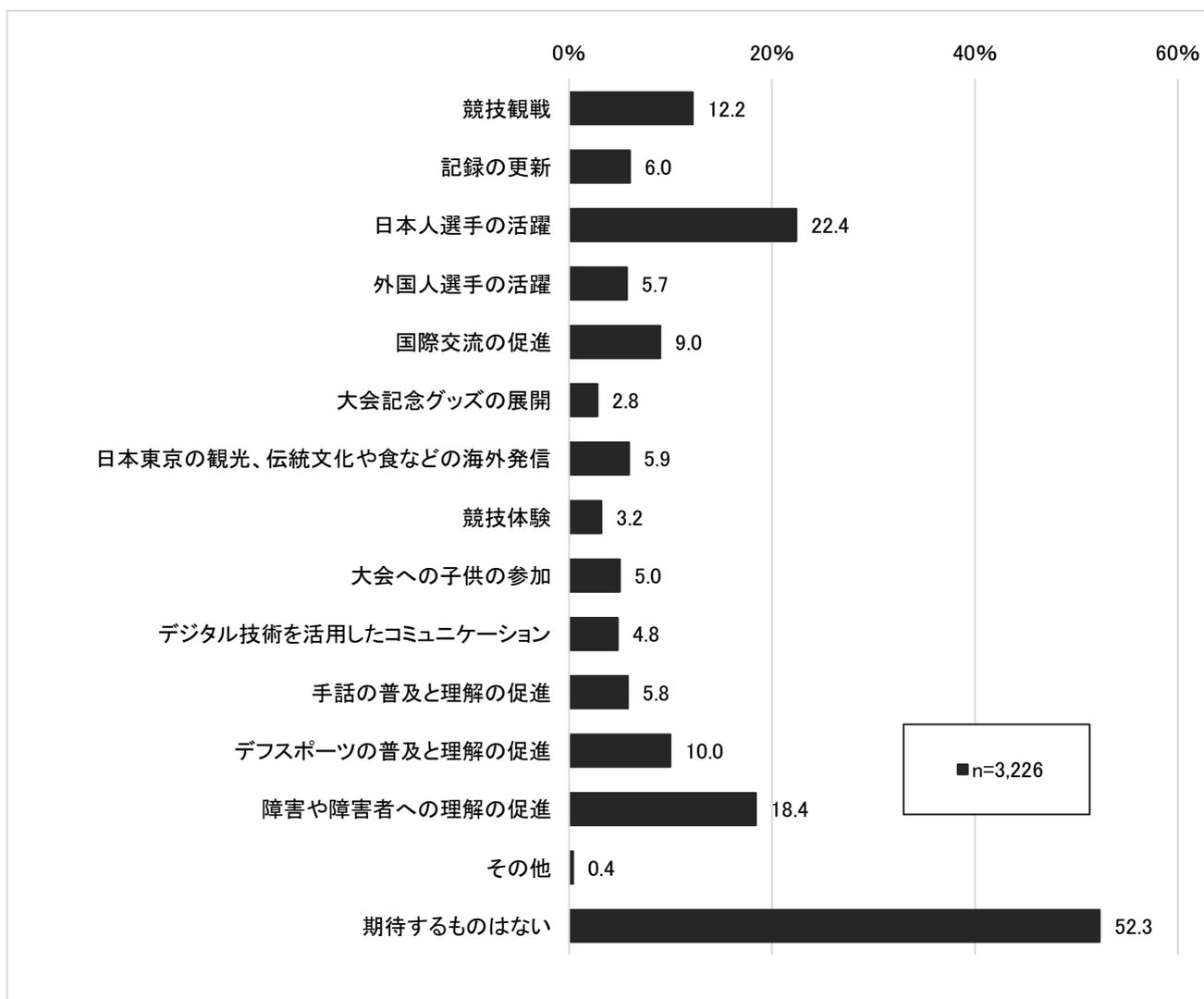
【図表 158】東京 2025 デフリンピックの認知度(障害種別)



## (20) 東京 2025 デフリンピックに期待すること

東京 2025 デフリンピックに期待することについて、「期待するものはない」(52.3%)を除くと、「日本人選手の活躍」(22.4%)の割合が最も高かった。次いで、「障害や障害者への理解の促進」(18.4%)、「競技観戦」(12.2%)、「デフスポーツの普及と理解の促進」(10.0%)となった。【図表 159】

【図表 159】 東京 2025 デフリンピックに期待すること[複数回答]



年齢別にみると、いずれの年代でも「期待するものはない」、「日本人選手の活躍」、「障害や障害者への理解の促進」の割合が比較的高い傾向にあり、年代による大きな差はみられなかった。【図表 160】

【図表 160】東京 2025 デフリンピックに期待すること(年齢別)[複数回答]

	競技観戦	記録の更新	日本人選手の活躍	外国人選手の活躍	国際交流の促進	大会記念グッズの展開	化や食などの観光、発信	日本東京の観光、伝統文	競技体験	大会への子供の参加	デジタル技術を活用した	手話の普及と理解の促進	解の促進	デフスポーツの普及と理	障害や障害者への理解の促進	その他	期待するものはない
7～17歳(n=507)	17.9	7.5	24.7	6.1	10.5	4.3	7.7	6.5	11.4	6.5	5.9	11.8	20.1	0.4	37.7		
18～19歳(n=33)	12.1	0.0	18.2	9.1	9.1	0.0	6.1	0.0	3.0	3.0	6.1	12.1	30.3	0.0	33.3		
20歳代(n=273)	15.0	5.1	23.8	4.4	9.2	3.7	7.0	3.3	5.1	3.7	7.0	9.5	19.4	0.0	45.8		
30歳代(n=336)	15.2	7.7	20.8	6.8	9.2	5.1	7.1	5.1	7.1	8.0	6.5	11.0	18.5	0.0	51.8		
40歳代(n=377)	11.7	7.4	22.5	6.6	8.8	2.1	7.4	4.2	4.2	5.0	7.2	10.1	20.4	0.3	50.7		
50歳代(n=588)	9.2	5.8	20.7	6.0	8.8	3.1	4.9	1.9	2.9	4.3	6.3	10.9	19.0	0.7	56.8		
60歳代(n=454)	10.8	5.3	25.1	5.7	11.7	1.8	7.0	2.2	2.4	5.1	6.8	11.2	20.7	0.2	54.2		
70歳代以上(n=658)	9.0	4.7	20.8	4.3	6.2	1.2	2.6	1.2	2.9	2.6	2.9	6.5	12.6	0.8	62.9		
18歳以上(n=2,719)	11.1	5.8	22.0	5.6	8.8	2.5	5.6	2.6	3.8	4.5	5.8	9.7	18.1	0.4	55.0		

障害種別では、いずれの障害でも「日本人選手の活躍」の割合が2割となり比較的高い傾向にあったが、「聴覚・平衡機能障害」では「競技観戦」(21.0%)や「障害や障害者への理解の促進」(16.3%)や「国際交流の促進」(16.0%)も高かった。【図表 161】

【図表 161】東京 2025 デフリンピックに期待すること(障害種別)[複数回答]

	競技観戦	記録の更新	日本人選手の活躍	外国人選手の活躍	国際交流の促進	大会記念グッズの展開	化や食などの観光、発信	日本東京の観光、伝統文	競技体験	大会への子供の参加	デジタル技術を活用した	手話の普及と理解の促進	解の促進	デフスポーツの普及と理	障害や障害者への理解の促進	その他	期待するものはない
視覚障害(n=247)	13.8	8.9	20.2	5.3	12.1	4.5	5.3	2.4	5.3	4.5	3.6	8.9	11.3	0.4	51.4		
聴覚・平衡機能障害(n=300)	21.0	7.3	25.7	6.7	16.0	4.7	7.3	4.3	7.7	10.0	12.0	15.3	16.3	0.7	44.0		
音声・言語・そしゃく機能障害(n=135)	11.9	4.4	22.2	3.7	10.4	4.4	4.4	3.0	3.7	1.5	4.4	6.7	16.3	0.7	54.1		
肢体不自由(n=1,033)	11.4	5.8	22.2	5.0	8.3	2.9	6.2	2.5	4.0	5.4	5.1	9.7	18.6	0.9	53.8		
内部障害(n=619)	9.4	5.7	23.9	6.8	10.0	1.6	5.8	3.6	5.3	4.4	5.3	8.6	18.1	0.2	54.8		
知的障害(n=552)	14.7	4.2	20.8	4.5	7.6	1.8	4.7	4.9	6.2	2.4	3.8	10.1	25.0	0.4	46.2		
精神障害(n=824)	8.6	5.8	20.0	6.2	7.5	2.8	6.6	3.4	4.6	4.9	6.6	9.7	18.2	0.0	58.4		
その他(n=68)	17.6	7.4	23.5	5.9	17.6	2.9	10.3	5.9	5.9	11.8	14.7	14.7	29.4	1.5	42.6		

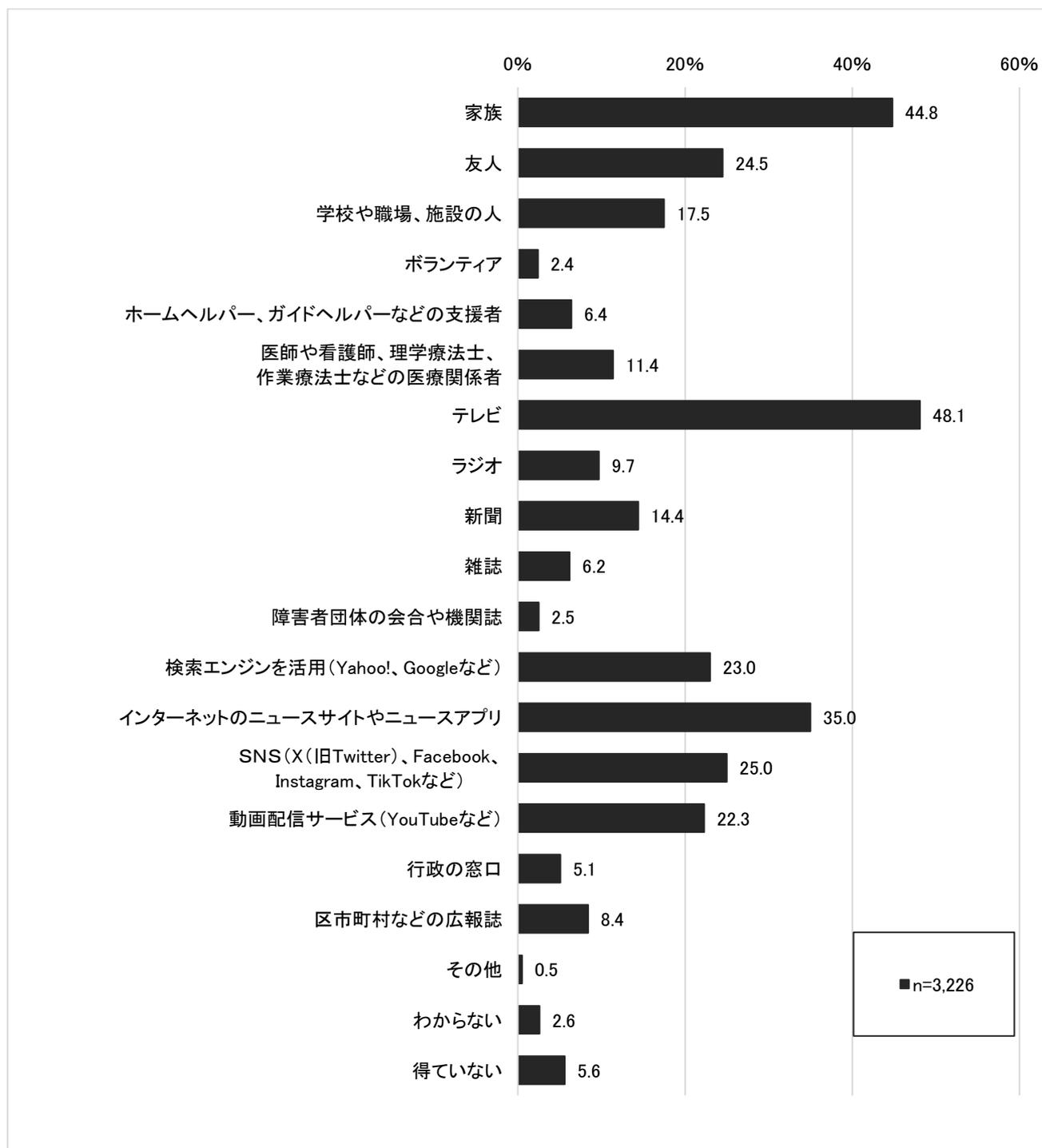
## 2.3 情報の入手先等

### (1) 日常的な情報の入手先

日常的な情報の入手先は、回答者全体に対する割合では「テレビ」が48.1%と最も高く、次いで「家族」(44.8%)、「インターネットのニュースサイトやニュースアプリ」(35.0%)の順であった。

【図表 162】

【図表 162】 日常的な情報の入手先[複数回答]



年齢別では、年齢層が高くなるほど「テレビ」の割合が高くなる傾向があった。一方、「7～17歳」では「家族」が65.1%と最も高く、「18～19歳」では「SNS（X（旧Twitter）、Facebook、Instagram、TikTokなど）」が57.6%と最も高かった。【図表163】

【図表163】 日常的な情報の入手先(年齢別)[複数回答]

(単位:%)

	家族	友人	学校や職場、施設の人	ボランティア	ホームヘルパーなどの支援者	医師や看護師、理学療法士、作業療法士などの医療関係者	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌
7～17歳(n=507)	65.1	38.7	45.0	4.5	5.5	7.3	34.3	3.4	3.4	3.4
18～19歳(n=33)	45.5	30.3	27.3	3.0	6.1	6.1	42.4	3.0	6.1	3.0
20歳代(n=273)	45.1	24.2	18.3	1.8	5.1	8.1	33.3	5.9	5.5	4.4
30歳代(n=336)	42.6	26.2	20.8	5.4	6.8	11.3	34.5	8.9	6.5	6.0
40歳代(n=377)	37.9	23.9	17.2	2.9	5.0	9.5	40.1	11.9	7.4	8.5
50歳代(n=588)	32.3	19.7	10.7	1.5	3.4	10.0	47.3	11.1	10.9	6.8
60歳代(n=454)	39.0	20.9	10.6	0.4	4.6	15.0	60.6	10.8	19.4	7.3
70歳代以上(n=658)	49.4	19.8	4.7	1.1	12.0	16.0	68.7	13.8	35.0	6.7
18歳以上(n=2,719)	41.0	21.9	12.4	1.9	6.5	12.1	50.6	10.9	16.5	6.7

	障害者団体の会合や機関誌	検索エンジン(Yahoo!、Googleなど)	インターネットのニュースサイト	TikTok、Instagram、Facebook、Twitter、YouTubeなど	SNS(X(旧Twitter)、LINE、Instagram、Facebook、Twitter、YouTubeなど)	動画配信サービス(YouTubeなど)	行政の窓口	区市町村などの広報誌	その他	わからない	得ていない
7～17歳(n=507)	2.6	15.6	21.7	20.1	34.3	2.8	2.2	0.2	2.6	4.9	
18～19歳(n=33)	0.0	24.2	24.2	57.6	36.4	3.0	3.0	0.0	3.0	0.0	
20歳代(n=273)	2.9	22.7	36.6	36.6	25.6	2.9	2.6	0.0	3.3	8.4	
30歳代(n=336)	5.4	31.0	34.2	41.4	25.9	4.5	4.8	0.6	3.9	6.3	
40歳代(n=377)	3.2	32.6	41.6	39.8	26.0	7.7	10.9	0.8	3.2	5.0	
50歳代(n=588)	1.4	30.8	49.0	29.8	23.3	6.5	10.0	0.3	2.6	5.8	
60歳代(n=454)	2.2	28.6	49.6	20.3	22.9	7.0	15.2	0.4	1.8	4.6	
70歳代以上(n=658)	1.7	8.5	19.1	4.7	5.5	4.1	10.3	0.9	2.0	5.8	
18歳以上(n=2,719)	2.5	24.4	37.5	26.0	20.0	5.5	9.6	0.6	2.6	5.7	

障害種別では、いずれの障害でも「家族」と「テレビ」が3割を超えた。【図表 164】

【図表 164】 日常的な情報の入手先(障害種別)[複数回答]

(単位:%)

	家族	友人	学校や職場、施設の人	ボランティア	ホームヘルパー、ガイドヘルパーなどの支援者	医師や看護師、理学療法士、作業療法士などの医療関係者	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌
視覚障害(n=247)	38.5	23.1	13.0	2.8	8.5	10.1	38.9	10.5	11.7	5.3
聴覚・平衡機能障害(n=300)	49.3	29.0	18.7	2.3	5.3	10.3	45.3	7.7	19.7	9.0
音声・言語・そしゃく機能障害(n=135)	49.6	18.5	18.5	2.2	14.8	19.3	42.2	12.6	14.1	3.7
肢体不自由(n=1,033)	42.4	20.2	11.4	2.0	11.9	16.2	54.0	12.5	18.7	5.4
内部障害(n=619)	45.2	25.0	11.3	1.6	3.1	12.6	58.0	11.1	20.8	9.2
知的障害(n=552)	58.2	23.9	38.9	3.6	6.7	6.7	36.6	4.5	4.0	2.7
精神障害(n=824)	39.4	23.9	15.9	1.9	3.5	9.8	40.2	8.0	7.5	5.6
その他(n=68)	44.1	30.9	23.5	4.4	14.7	17.6	48.5	11.8	14.7	4.4

	障害者団体の会合や機関誌	検索エンジンを活用(Googleなど)	インターネットのニュースサイトやニュースアプリ	SNS(X(旧Twitter)、Facebook、Instagram、TikTokなど)	動画配信サービス(YouTubeなど)	行政の窓口	区市町村などの広報誌	その他	わからない	得ていない
視覚障害(n=247)	2.4	15.0	21.9	17.4	13.4	3.6	4.9	0.0	4.5	11.3
聴覚・平衡機能障害(n=300)	1.7	15.3	28.7	18.7	14.0	3.3	5.7	0.3	3.0	5.0
音声・言語・そしゃく機能障害(n=135)	0.7	14.1	19.3	13.3	10.4	5.2	5.2	0.0	2.2	9.6
肢体不自由(n=1,033)	2.2	21.5	34.7	18.6	15.9	5.2	8.8	0.9	2.1	5.7
内部障害(n=619)	2.3	23.9	43.3	24.9	20.7	6.3	13.6	0.0	2.4	4.4
知的障害(n=552)	3.4	16.1	21.2	17.8	27.0	4.0	2.9	0.5	3.3	7.2
精神障害(n=824)	2.3	31.2	41.9	39.9	32.4	6.6	9.3	0.6	1.9	6.1
その他(n=68)	1.5	23.5	35.3	14.7	25.0	8.8	10.3	0.0	0.0	7.4

スポーツ・運動への取組別にみると、「スポーツや運動に関心はない」と回答した方では「友人」(13.7%)、「学校や職場、施設の人」(10.9%)は割合が低くなったが、「スポーツや運動を行っており、満足している」と回答した方では「友人」(34.9%)や「学校や職場、施設の人」(23.6%)と割合が高かった。

【図表 165】

【図表 165】 日常的な情報の入手先(スポーツ・運動への取組別)[複数回答]

(単位:%)

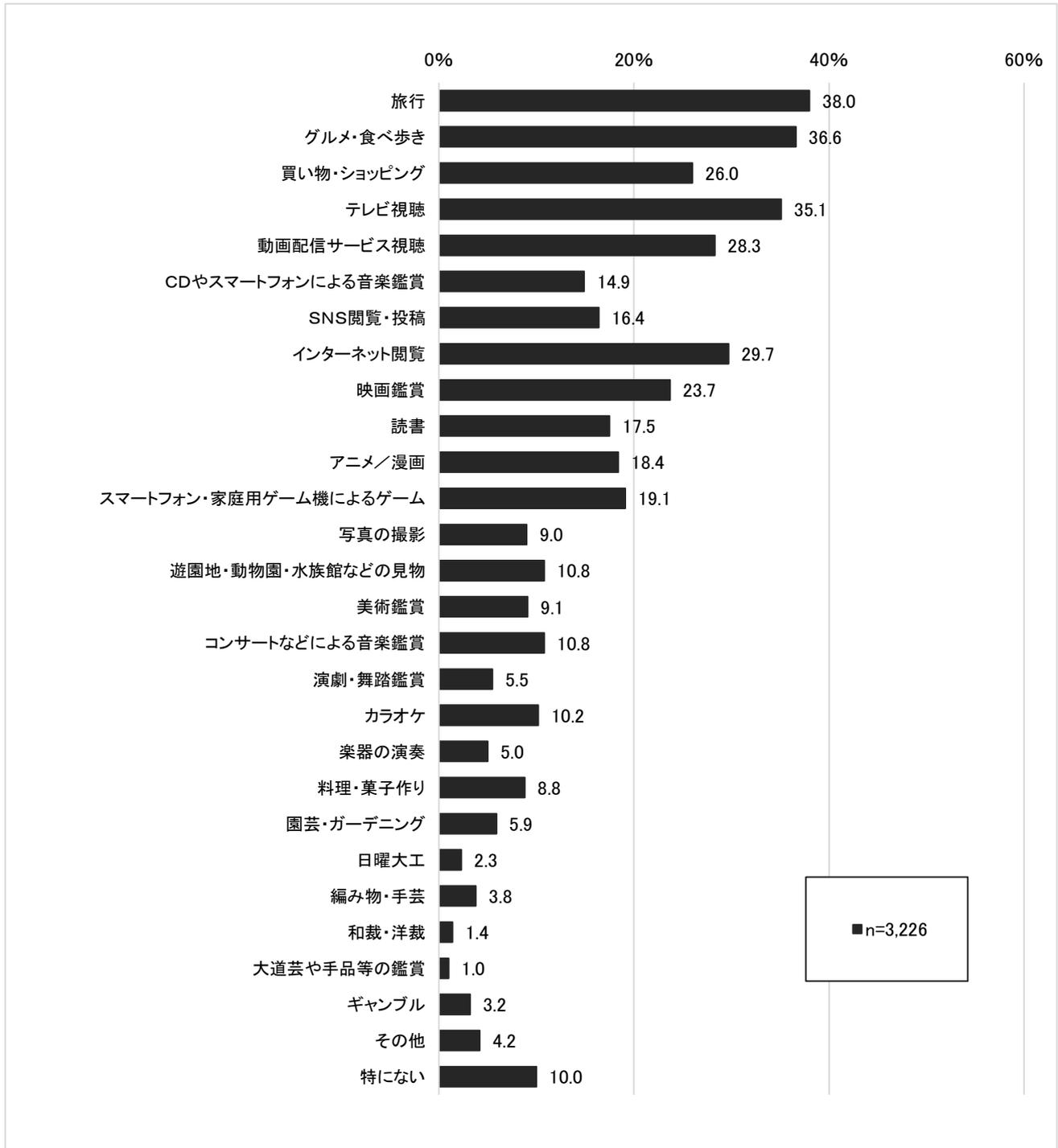
	家族	友人	学校や職場、施設の人	ボランティア	ホームヘルパー、ガイドヘルパーなどの支援者	医師や看護師、療法士などの医療関係者	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌
スポーツや運動を行っており、満足している(n=849)	55.9	34.9	23.6	3.8	6.1	10.6	47.1	10.7	16.0	7.8
スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい(n=600)	46.7	30.2	23.2	4.7	8.5	15.2	47.2	12.0	15.2	8.8
スポーツや運動を行いたいと思うができない(n=732)	43.7	23.4	15.2	1.6	8.3	14.5	52.5	8.9	15.7	6.0
スポーツや運動に関心はない(n=1,045)	35.5	13.7	10.9	0.4	4.0	7.7	46.3	8.2	11.9	3.4

	障害者団体の会合や機関誌	検索エンジン(Yahoo!、Googleなど)	インターネットのニュースサイト	TINSA (旧Tinktoakなど)	FTS (旧Tscit)	SNS (X、Twitter、Facebook、YouTubeなど)	動画配信サービス(YouTubeなど)	行政の窓口	区市町村などの広報誌	その他	わからない	得ていない
スポーツや運動を行っており、満足している(n=849)	3.2	24.9	35.0	27.7	24.9	4.7	7.5	0.2	1.2	2.0		
スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい(n=600)	4.0	25.0	39.0	31.8	26.2	6.3	12.2	0.3	1.3	2.2		
スポーツや運動を行いたいと思うができない(n=732)	2.2	27.7	39.3	26.0	24.2	6.7	10.1	0.7	2.5	3.4		
スポーツや運動に関心はない(n=1,045)	1.2	17.1	29.7	18.4	16.6	3.5	5.8	0.7	4.6	12.1		

## (2) スポーツ・運動以外の関心

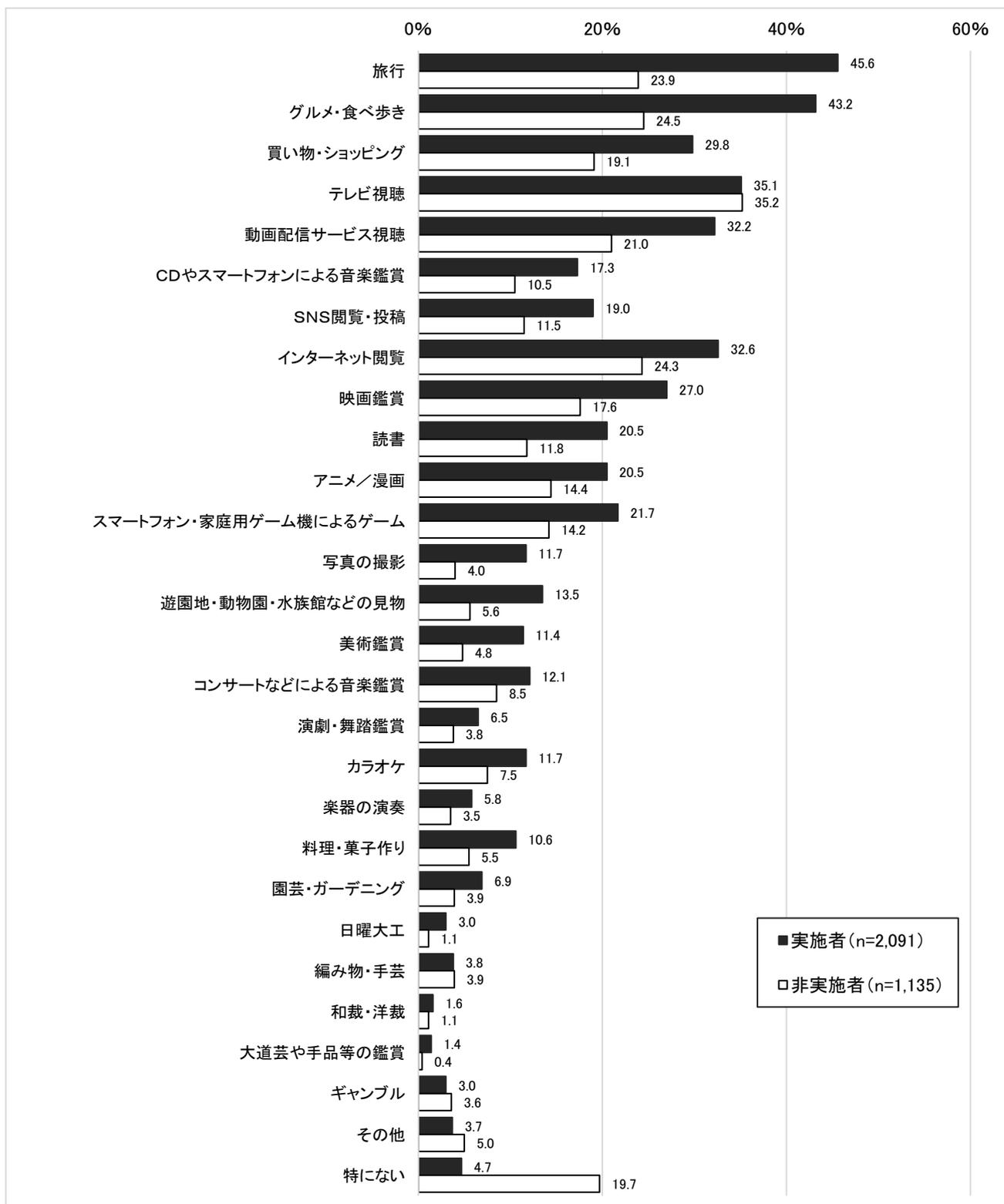
スポーツ・運動以外に好きなことや関心のあることでは、「旅行」(38.0%)の割合が最も高く、次いで「グルメ・食べ歩き」(36.6%)、「テレビ視聴」(35.1%)、「インターネット閲覧」(29.7%)の順であった。【図表 166】

【図表 166】 スポーツ・運動以外の関心[複数回答]



スポーツ・運動の実施の有無別でみると、実施者では「旅行」(45.6%)や「グルメ・食べ歩き」(43.2%)が4割を超え、割合が高かった。非実施者では「テレビ視聴」(35.2%)が最も多く、実施者(35.1%)とほぼ同じ割合となった。【図表 167】

【図表 167】 スポーツ・運動以外の関心(スポーツ・運動の実施の有無別)[複数回答]



年齢別でみると、「7～17歳」と「18～19歳」では「動画配信サービス視聴」と「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」の割合が高かったが、同項目は年齢が上がるにつれて割合が下がった。また、「読書」や「旅行」は年齢とともに割合が高くなる傾向にあった。【図表 168】

【図表 168】スポーツ・運動以外の関心(年齢別)[複数回答]

	旅行	グルメ・食べ歩き	買い物・ショッピング	テレビ視聴	動画配信サービス視聴	CDやスマートフォンによる音楽鑑賞	SNS閲覧・投稿	インターネット閲覧	映画鑑賞	読書	アニメ／漫画	スマートフォンによるゲーム・家庭用ゲーム機	写真の撮影	遊園地・動物園・水族館などの見物
7～17歳(n=507)	31.6	32.7	17.6	32.3	46.5	17.2	13.8	27.2	18.5	9.7	31.0	37.5	12.6	21.9
18～19歳(n=33)	36.4	51.5	30.3	27.3	39.4	33.3	45.5	30.3	18.2	9.1	39.4	42.4	12.1	18.2
20歳代(n=273)	34.8	36.3	31.9	24.9	38.1	18.3	26.0	32.6	19.0	8.8	26.7	29.7	11.0	12.5
30歳代(n=336)	38.7	42.9	33.0	27.4	33.3	19.9	27.4	34.2	27.1	16.1	31.0	26.8	11.6	15.2
40歳代(n=377)	41.1	43.8	34.2	28.1	34.0	20.4	24.4	40.1	27.3	23.1	26.5	23.1	10.3	11.9
50歳代(n=588)	43.0	41.2	29.4	31.5	25.5	15.3	18.4	35.9	29.4	19.7	17.0	13.6	8.5	8.3
60歳代(n=454)	46.5	36.8	26.2	42.5	27.8	15.0	14.8	32.2	30.2	25.6	8.8	10.8	7.7	7.5
70歳代以上(n=658)	31.8	27.7	18.5	48.0	6.5	4.7	2.0	14.7	16.6	17.3	0.8	3.6	4.3	2.6
18歳以上(n=2,719)	39.2	37.4	27.6	35.6	24.9	14.5	16.8	30.1	24.7	18.9	16.0	15.6	8.3	8.7

	美術鑑賞	音楽鑑賞 コンサートなどによる音	演劇・舞踏鑑賞	カラオケ	楽器の演奏	料理・菓子作り	園芸・ガーデニング	日曜大工	編み物・手芸	和裁・洋裁	大道芸や手品等の鑑賞	ギャンブル	その他	特にな
7～17歳(n=507)	3.9	5.7	3.2	11.6	6.5	10.3	2.2	1.6	1.8	0.6	2.2	0.0	2.4	8.9
18～19歳(n=33)	3.0	9.1	6.1	24.2	9.1	9.1	6.1	3.0	3.0	3.0	3.0	6.1	3.0	3.0
20歳代(n=273)	8.8	15.0	4.8	14.3	3.3	7.7	2.2	0.4	5.9	1.5	0.7	2.6	4.0	10.6
30歳代(n=336)	8.6	13.7	5.1	18.5	6.0	10.4	4.2	2.1	9.5	1.2	2.4	3.0	3.3	6.5
40歳代(n=377)	11.9	13.8	6.9	11.4	6.1	12.7	5.6	2.9	3.4	1.3	1.1	5.8	4.0	8.8
50歳代(n=588)	10.0	13.6	8.0	9.5	5.6	9.0	4.9	2.6	2.2	1.2	0.3	5.4	4.3	10.2
60歳代(n=454)	11.7	10.6	5.7	7.0	5.5	8.4	7.7	4.0	3.1	2.2	0.2	2.6	5.7	7.9
70歳代以上(n=658)	9.4	7.8	4.7	4.7	2.3	5.2	10.8	2.1	3.8	1.8	0.6	2.7	5.0	14.6
18歳以上(n=2,719)	10.0	11.8	6.0	10.0	4.7	8.5	6.5	2.5	4.2	1.6	0.8	3.8	4.5	10.2

障害種別では、「グルメ・食べ歩き」の割合がいずれの障害でも3割を超えて、比較的高かった。「内部障害」では「旅行」(50.1%)が半数を超えて、他の区分と比較しても高い傾向にあった。【図表169】

【図表169】スポーツ・運動以外の関心(障害種別)[複数回答]

	旅行	グルメ・食べ歩き	買い物・ショッピング	テレビ視聴	動画配信サービス視聴	CDやスマートフォンによる音楽鑑賞	SNS閲覧・投稿	インターネット閲覧	映画鑑賞	読書	アニメ/漫画	スマートフォンによるゲーム・家庭用ゲーム機によるゲーム	写真の撮影	遊園地・動物園・水族館などの見物
視覚障害(n=247)	31.6	31.2	19.0	26.7	21.5	13.4	13.0	22.3	12.6	11.7	11.7	14.2	5.7	5.7
聴覚・平衡機能障害(n=300)	44.7	39.3	26.7	37.0	20.0	10.0	13.3	21.3	23.0	17.7	13.7	14.0	8.3	10.0
音声・言語・そしゃく機能障害(n=135)	31.1	30.4	20.7	28.9	18.5	10.4	12.6	17.8	15.6	9.6	10.4	11.9	3.7	5.9
肢体不自由(n=1,033)	35.5	34.8	23.4	39.0	20.4	13.1	12.3	26.3	22.7	18.8	11.6	13.2	6.9	7.0
内部障害(n=619)	50.1	41.8	30.5	38.0	26.0	14.9	14.5	29.6	32.3	23.9	13.1	15.0	10.0	9.9
知的障害(n=552)	27.2	32.2	17.2	33.5	38.8	15.4	11.4	26.4	15.4	6.2	25.4	29.2	10.0	16.7
精神障害(n=824)	33.4	35.4	30.0	30.2	36.7	19.9	27.1	38.8	24.3	18.6	29.9	24.0	10.8	13.3
その他(n=68)	44.1	41.2	29.4	48.5	33.8	26.5	11.8	29.4	30.9	23.5	23.5	25.0	16.2	13.2

	美術鑑賞	鑑賞コンサートなどによる音楽	演劇・舞踏鑑賞	カラオケ	楽器の演奏	料理・菓子作り	園芸・ガーデニング	日曜大工	編み物・手芸	和裁・洋裁	大道芸や手品等の鑑賞	ギャンブル	その他	特にな
視覚障害(n=247)	3.6	6.1	2.8	8.1	3.2	7.3	7.3	3.2	3.2	1.6	1.2	2.0	2.8	17.0
聴覚・平衡機能障害(n=300)	8.7	8.3	6.3	5.0	2.7	10.0	10.3	3.3	6.3	1.7	1.3	3.0	3.7	11.3
音声・言語・そしゃく機能障害(n=135)	6.7	13.3	5.9	5.2	4.4	11.1	8.1	2.2	4.4	1.5	0.0	5.2	4.4	14.8
肢体不自由(n=1,033)	9.5	9.9	5.8	8.4	3.8	6.9	6.6	2.8	3.5	1.2	0.6	3.7	4.4	11.0
内部障害(n=619)	13.2	15.0	7.4	9.0	5.5	10.8	9.5	3.1	3.6	1.8	0.3	3.2	4.5	9.0
知的障害(n=552)	3.1	6.0	2.2	13.8	3.8	7.2	2.2	0.9	2.5	0.5	1.8	0.9	3.4	11.4
精神障害(n=824)	10.4	13.6	5.7	14.6	7.2	9.6	4.6	1.8	5.9	1.8	1.5	4.2	4.5	9.6
その他(n=68)	11.8	13.2	2.9	14.7	4.4	10.3	14.7	5.9	11.8	5.9	4.4	1.5	4.4	7.4

### 3 まとめ（調査結果の概要）

- **週1日以上スポーツ・運動を実施した人は46.3%、スポーツ・運動を実施していない人は37.0%**  
18歳以上で週に1日以上、何らかのスポーツ・運動を実施した人は46.3%で、昨年度の35.2%から11.1ポイント上昇した。一方、スポーツ・運動を実施していない人は37.0%で、昨年度より7.4ポイント減少した。  
7～17歳では、週に1日以上スポーツ・運動をした人は55.4%であった。【図表57】（P38参照）
- **過去1年間に実施したスポーツ・運動の上位種目は、「ウォーキング、散歩」、「体操」、「水泳・遊泳」**  
過去1年間にスポーツ・運動を実施した人が行った種目は、昨年度と同様、「ウォーキング、散歩」が76.3%で最も高かった。次いで「体操」（25.4%）、「水泳・遊泳」（14.0%）であった。【図表67】（P45参照）
- **スポーツ・運動を実施する場所は、「道路や遊歩道」、「自宅」、「広場や公園」**  
スポーツ・運動を実施する場所は、昨年度と同様、「道路や遊歩道」が51.8%と最も高く、次いで「自宅」（39.6%）、「広場や公園」（30.3%）であった。【図表75】（P53参照）
- **スポーツ・運動を一緒に実施する人は、「一人」、「家族」、「福祉施設の職員・仲間」**  
スポーツ・運動を一緒に実施する人は、昨年度と同様、「一人」が54.2%と最も高く、次いで「家族」（36.4%）、「福祉施設の職員・仲間」（8.3%）であった。【図表84】（P58参照）
- **スポーツ・運動を実施する理由は、「健康・体力づくりのため」、「運動不足解消のため」、「楽しみや気晴らしのため」**  
スポーツ・運動を実施する理由は、「健康・体力づくりのため」が71.9%と最も高く、次いで「運動不足解消のため」（53.0%）、「楽しみや気晴らしのため」（42.6%）であった。【図表91】（P62参照）
- **東京2025デフリンピックに期待することに関して約2割が「日本人選手の活躍」に期待（新規設問）**  
東京2025デフリンピックに期待することについて、「期待するものはない」（52.3%）を除くと、「日本人選手の活躍」（22.4%）の割合が最も高かった。次いで、「障害や障害者への理解の促進」（18.4%）、「競技観戦」（12.2%）、「デフスポーツの普及と理解の促進」（10.0%）となった。【図表159】（P120参照）

## 参考文献・付録

## 参考文献

東京都生活文化スポーツ局, 『都民のスポーツ活動に関する実態調査』, 令和6年3月  
スポーツ庁, 『障害者スポーツ推進プロジェクト(障害児・者のスポーツライフに関する調査研究)』, 令和5年3月

資料・調査設問

〈予備調査〉

分野		設問番号	設問
属性	回答者性別	SC1	あなたの性別をお答えください。(当てはまるもの1つ) 1 <input type="checkbox"/> 男性 2 <input type="checkbox"/> 女性 3 <input type="checkbox"/> 無回答・その他
属性	回答者年齢	SC2	あなたの年齢をお答えください。 [ ] 歳
属性	回答者居住地域	SC3	あなたが住んでいる区市町村をお答えください。(ブルダウ) 区市町村 [ ]
属性	障害の有無	SC4	あなた、あるいはあなたが <b>同居する</b> ご家族で障害のある方はいますか。(当てはまるものすべて) ※障害者手帳の有無は問いません 1 <input type="checkbox"/> あなたご自身 2 <input type="checkbox"/> 配偶者(夫や妻など) 3 <input type="checkbox"/> 父親 4 <input type="checkbox"/> 母親 5 <input type="checkbox"/> 兄弟 6 <input type="checkbox"/> 姉妹 7 <input type="checkbox"/> 子ども 8 <input type="checkbox"/> 上記の中で障害のある方はいない
※以下の項目は、障害のある方それぞれについて、お答えください。			
属性	障害者の年齢	SC5	SC4で同居するご家族に障害のある方がいると回答した方にお聞きます。障害のある方の年齢をお答えください。 (それぞれ数値をご記入ください。)障害のある兄弟、姉妹、お子様が複数いる場合は、それぞれ <b>年齢が一番下の方</b> についてのみお答えください。 1 配偶者(夫や妻など) [ ] 歳 2 父親 [ ] 歳 3 母親 [ ] 歳 4 兄弟 [ ] 歳 5 姉妹 [ ] 歳 6 子ども [ ] 歳
属性	障害者の性別	SC6	SC4で同居するご家族に障害のある方がいると回答した方にお聞きます。障害のある方の性別をお答えください。(それぞれ当てはまるもの1つ) 障害のある兄弟、姉妹、お子様が複数いる場合は、それぞれ <b>年齢が一番下の方</b> についてのみお答えください。 <表例> 1 配偶者(夫や妻など) 2 父親 3 母親 4 兄弟 5 姉妹 6 子ども <表頭> 1 男性 2 女性 3 無回答・その他
属性	障害種別	SC7	あなた、あるいはご家族で障害のある方の障害の種類をお答えください。(それぞれ当てはまるものすべて) <表頭> 1 視覚障害 2 聴覚・平衡機能障害 3 音声・言語・そしゃく機能障害 4 肢体不自由(上肢) 5 肢体不自由(下肢) 6 肢体不自由(体幹) 7 肢体不自由(脳原性運動機能障害※) 8 内部障害 9 知的障害 10 精神障害 11 その他 ※脳性まひによる脳病変上肢機能障害、脳病変移動機能障害など <表例> 1 あなたご自身 2 配偶者(夫や妻など) 3 父親 4 母親 5 兄弟 6 姉妹 7 子ども
属性	障害種別	SC8	SC7で肢体不自由と回答した方にお聞きます あてはまる方は日常生活で車いすを必要としていますか。(それぞれ当てはまるものを1つ) <表頭> 1 必要とする 2 必要としない <表例> 1 あなたご自身 2 配偶者(夫や妻など) 3 父親 4 母親 5 兄弟 6 姉妹 7 子ども
属性	障害者手帳有無	SC9	障害のある( )は障害者手帳を持っていますか。(当てはまるものすべて) ※障害者手帳とは、「身体障害者手帳、療育手帳(愛の手帳)、精神障害者保健福祉手帳」のことを指します。 <表頭> 1 持っている 2 持っていない <表例> 1 あなたご自身 2 配偶者(夫や妻など) 3 父親 4 母親 5 兄弟 6 姉妹 7 子ども

《本調査》

分野	設問番号	設問
		障害のある( )についてお伺いします。
(属性)	障害者手帳の有無	<p>障害のある( )が持っている障害者手帳をお答えください。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 1級</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 2級</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 3級</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 4級</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 5級</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳 6級</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)1度(最重度)</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)2度(重度)</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)3度(中度)</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 療育手帳(愛の手帳)4度(軽度)</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 1級</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 2級</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 精神障害者保健福祉手帳 3級</p>
(属性)	受傷の時期	<p>障害のある( )は何歳から障害がありますか。 複数の障害がある方は、最初に障害が発生した年齢をお答えください。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 生まれたとき</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 生まれた後 <input type="text"/> 歳の時</p>
アンケート	学校の種別	<p>障害のある( )が現在通っている学校の種別はどれですか。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 小学校の普通学校(通常学級のみ)に在籍</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 小学校の普通学校(通級による指導あり)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 小学校の普通学校(特別支援学級)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 小学校の特別支援学校(養護学校・盲学校・ろう学校)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 中学校の普通学校(通常学級のみ)に在籍</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 中学校の普通学校(通級による指導あり)</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 中学校の普通学校(特別支援学級)</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 中学校の特別支援学校(養護学校・盲学校・ろう学校)</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 高等学校の普通学校(通常学級のみ)に在籍</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 高等学校の普通学校(通級による指導あり)</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 高等学校の特別支援学校(養護学校・盲学校・ろう学校)</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 大学・短期大学</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 特別支援学校高等部専攻科、高等学校専攻科</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 職業能力開発校、障害者職業能力開発校等</p> <p>15 <input type="checkbox"/> なし</p>
アンケート	仕事の有無	<p>障害のある( )は、この1年間に収入を伴う仕事をしていたか。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 仕事をしている</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 仕事をしていない</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 福祉的就労をしている (就労移行支援、就労継続支援A型・B型、就労定着支援)</p>
アンケート	平日・日中の居場所	<p>障害のある( )は、この1年間に平日の日中、主にどこで過ごしていましたか。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 自分の家</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 職場(一般企業など)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 職場(福祉的就労(就労移行支援、就労継続支援A型・B型、就労定着支援)の施設)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 学校</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 通所施設(生活介護、デイケアなど)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 入所施設</p> <p>7 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p>
アンケート	放課後の居場所	<p>障害のある( )は、放課後は主にどこで過ごしていますか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 自分の家</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 習いごと(塾や英会話等の学習系)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 習いごと(スイミングやサッカー等のスポーツ系)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 習いごと(音楽や習字等の芸術系)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 児童通所サービス(放課後等デイサービス等)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 学童保育</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 広場や公園</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 学校(校庭や体育館)</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 児童館や図書館などの公共施設</p> <p>10 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p>
アンケート	障害福祉サービスの利用状況	<p>障害のある( )は、どのような障害福祉サービス等(公的支援)を利用していますか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 利用していない</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 居宅介護(ホームヘルプ)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 重度訪問介護</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 同行援護</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 行動援護</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 重度障害者等包括支援</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 短期入所(ショートステイ)</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 療養介護</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 生活介護</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 施設入所支援</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 自立訓練</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 就労移行支援</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 就労継続支援(A型)</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 就労継続支援(B型)</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 就労定着支援</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 自立生活援助</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 共同生活援助(グループホーム)</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 計画相談支援</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 地域相談支援</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 移動支援</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 地域活動支援センター</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 福祉ホーム</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 児童発達支援</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 医療型児童発達支援</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 放課後等デイサービス</p> <p>26 <input type="checkbox"/> 居宅訪問型児童発達支援</p> <p>27 <input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援</p> <p>28 <input type="checkbox"/> 訪問看護</p> <p>29 <input type="checkbox"/> 訪問リハビリテーション</p>

アンケート	過去1年間の実施種目	<p>障害のある( )は、この1年間にスポーツや運動を行いましたか。(当てはまるもの1つ)</p> <p>※ なお、ここでいう「スポーツ」や「運動」には、ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツや運動だけでなく、散歩、体操をはじめ、健康づくりのために、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> ウォーキング、散歩(散歩、ペットの散歩など)</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 体操(ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びなど)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 室内運動器具(ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど)を用いる運動</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 陸上競技(ランニング、ジョギングなどの軽い運動も含めます)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 水泳・遊泳(水中歩行・水中運動)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> ブラインドサッカー</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 車いすテニス</p> <p>8 <input type="checkbox"/> サウンドテーブルテニス</p> <p>9 <input type="checkbox"/> パラバレーボール</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 車いすバスケットボール</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 車いすラグビー</p> <p>12 <input type="checkbox"/> ボッチャ</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 球技(キャッチボールなどのボールを使った軽い運動も含めます)</p> <p>14 <input type="checkbox"/> ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、民謡踊りなど)</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 格闘技(ボクシング、レスリング、相撲(すもう)など)</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 武道(柔道、剣道、空手、合気道など)</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 射的(弓道、アーチェリー、ダーツ、スポーツ吹矢など)</p> <p>18 <input type="checkbox"/> ウィンタースポーツ(スキー、スノーボード、スケートなど)</p> <p>19 <input type="checkbox"/> ウォータースポーツ(ボート、ヨット、スキューバダイビング、スクーバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、ウィンドサーフィン、ボディボード、ボードセーリングなど)</p> <p>20 <input type="checkbox"/> スカイスポーツ(ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビングなど)</p> <p>21 <input type="checkbox"/> アウトドアスポーツ(ハイキング、ワンダーフォーゲル、釣り、登山、キャンプなど)</p> <p>22 <input type="checkbox"/> サイクリング、モーター(サイクル)スポーツ</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 運動あそび(鬼ごっこ、かくれんぼ、鉄棒、ぶらんこなど)</p> <p>24 <input type="checkbox"/> ゲーム機を使い体を動かして行うスポーツ・フィットネス等</p> <p>25 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>26 <input type="checkbox"/> この1年間に運動・スポーツは行わなかった</p>
アンケート	実施頻度(1年間)	<p>Q8でこの1年間に運動・スポーツを行ったと回答した方にお聞きします。障害のある( )のスポーツや運動を実施した日数を全部足し合わせると、この1年間に何回くらい行っていますか。(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 週3日以上(年151日以上)</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 週2日程度(年101日～150日)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 週1日程度(年51日～100日)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 月に1～3日程度(年12日～50日)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 3か月に1～2日程度(年4日～11日)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 年に1～3日程度</p> <p>7 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	実施した場所	<p>Q8でこの1年間に運動・スポーツを行ったと回答した方にお聞きします。障害のある( )がスポーツや運動を行った場所はどこですか。(当てはまるものすべて)※障害のある( )が学校に通っている場合、学校体育や行事以外を回答してください。</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 自宅</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 道路や遊歩道</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 広場や公園</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 民間のスポーツ施設</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 公共のスポーツ施設(障害者専用施設)</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 公共のスポーツ施設(障害者専用施設以外)</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 小中高校の体育施設</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 特別支援学校の体育施設</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 職場のスポーツ施設</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 福祉施設</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 児童通所サービス(放課後等デイサービス等)</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 医療機関(病院やリハビリ施設)</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 山・川・海・空</p> <p>14 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>15 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	一緒に実施する人	<p>Q8でこの1年間に運動・スポーツを行ったと回答した方にお聞きします。障害のある( )がスポーツや運動を一緒にするのは誰ですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 一人</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 家族</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 福祉施設の職員・仲間</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 障害がある人のサークル・障害者スポーツサークル等の仲間</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 障害がある人やない人など様々な人がいるサークルの仲間</p> <p>6 <input type="checkbox"/> スポーツ教室の指導者・仲間</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 障害者専用スポーツ施設の職員・仲間</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 地域の公共スポーツ施設の職員・仲間</p> <p>9 <input type="checkbox"/> ボランティアの人たち</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 学校の先生や学校の友達</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 児童通所サービス(放課後等デイサービス等)の職員・仲間</p> <p>12 <input type="checkbox"/> その他の友人・知人</p> <p>13 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>14 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	実施した理由	<p>Q8でこの1年間に運動・スポーツを行ったと回答した方にお聞きします。障害のある( )が、スポーツや運動をするのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 健康・体力づくりのため</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 楽しみや気晴らしのため</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 運動不足解消のため</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 精神の修養や訓練のため(心をきたえるため)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 自己の記録や能力を向上させるため</p> <p>6 <input type="checkbox"/> リハビリテーションや医療・治療のため</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 家族のふれあいのため</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 友人・仲間との交流のため</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 美容や肥満解消(ダイエット)のため</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 障害者スポーツ大会に参加するため</p> <p>11 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>12 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	実施したきっかけ	<p>Q8でこの1年間に運動・スポーツを行ったと回答した方にお聞きします。障害のある( )がスポーツや運動を始めたきっかけはどのようなものですか?(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 家族に奨められた</p> <p>2 <input type="checkbox"/> (障害のある)友人・知人・同僚に奨められた</p> <p>3 <input type="checkbox"/> (障害のない)友人・知人・同僚に奨められた</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 医師に奨められた</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 看護師に奨められた</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 作業療法士(OT)に奨められた</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 理学療法士(PT)に奨められた</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 言語聴覚士(ST)に奨められた</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 視能訓練士(CO)に奨められた</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 義肢装具士に奨められた</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 介護福祉士に奨められた</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 社会福祉士(ソーシャルワーカー)に奨められた</p> <p>13 <input type="checkbox"/> スポーツ指導者に奨められた</p> <p>14 <input type="checkbox"/> パラスポーツ指導員(旧障害者スポーツ指導員)に奨められた</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 学校の先生に奨められた</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 学校の授業等で興味を持ち、自主的に始めた</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 所属する団体(会社等)に奨められた</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 障害のある有名選手・パラアスリートの影響</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 障害のない有名選手・アスリートの影響</p> <p>20 <input type="checkbox"/> テレビや新聞の影響</p> <p>21 <input type="checkbox"/> インターネットや動画配信を見て</p> <p>22 <input type="checkbox"/> SNSの影響</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 漫画、ドラマ、映画等の影響</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 現地やテレビ等でそのスポーツを観た</p> <p>25 <input type="checkbox"/> スポーツ団体等の関係者から誘われた</p> <p>26 <input type="checkbox"/> スポーツイベントや体験会等で興味を持った</p> <p>27 <input type="checkbox"/> スポーツ以外をテーマとするイベント(福祉祭り等の)中の講演や体験会等で興味を持った</p> <p>28 <input type="checkbox"/> 福祉施設で実施している運動プログラムに参加して</p> <p>29 <input type="checkbox"/> 行政の広報誌</p> <p>30 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>31 <input type="checkbox"/> 特にきっかけはない・なんとなく</p>

アンケート	スポーツ・運動への取組意向	Q14	障害のある( )の現在のスポーツや運動への取組みについて、最も近いものを選んでください。(当てはまるもの1つ) 1 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を行っており、満足している 2 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を行っているが、もっと行いたい 3 <input type="checkbox"/> スポーツや運動を行いたいと思うができない 4 <input type="checkbox"/> スポーツや運動に関心はない
アンケート	スポーツ・運動への取組意向(自由記述)	Q15	Q14の回答理由を具体的に教えてください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
アンケート	実施していない理由	Q16	Q8でこの1年間に運動・スポーツは行わなかったと回答した方にお聞きします。障害のある( )が、スポーツや運動を行っていないのはどのような理由からですか。(当てはまるものすべて) 1 <input type="checkbox"/> 医師に止められており、身体的にできない 2 <input type="checkbox"/> どのくらい体を動かしたらよいかわからない 3 <input type="checkbox"/> 身近なところにスポーツや運動ができる場所がない 4 <input type="checkbox"/> スポーツや運動ができる場所への移動手段がない 5 <input type="checkbox"/> 自分に合ったスポーツや運動の情報がない 6 <input type="checkbox"/> 一緒にできる仲間がない 7 <input type="checkbox"/> 介助者がいない 8 <input type="checkbox"/> 金銭的な余裕がない 9 <input type="checkbox"/> 時間がない 10 <input type="checkbox"/> 必要な競技用具や補助具がない 11 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> 12 <input type="checkbox"/> 活動したいと思わない
アンケート	活動したいと思わない理由	Q17	Q16で、「活動したいと思わない」と回答したのどのような理由からですか。(当てはまるものすべて) 1 <input type="checkbox"/> スポーツ・運動が嫌いだから 2 <input type="checkbox"/> スポーツ・運動に興味が無いから 3 <input type="checkbox"/> スポーツ・運動を楽しんだ経験がないから 4 <input type="checkbox"/> 疲れるから 5 <input type="checkbox"/> 人前に出るのが好きではないから 6 <input type="checkbox"/> 学校の体育や部活動等で苦手意識を持ったから 7 <input type="checkbox"/> 一緒に運動・スポーツする人に迷惑をかけるのではないかと心配だから 8 <input type="checkbox"/> スポーツ以外に興味があるから 9 <input type="checkbox"/> 忙しいから 10 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> 11 <input type="checkbox"/> わからない
アンケート	学校体育の参加状況	Q18	Q3で学校に通っているとお聞きします。障害のある( )の、学校体育への参加状況を教えてください。(当てはまるもの1つ) 1 <input type="checkbox"/> 参加していて、体育が好きである 2 <input type="checkbox"/> 参加しているが、体育は好きではない 3 <input type="checkbox"/> 参加していない 4 <input type="checkbox"/> わからない
アンケート	学校体育に参加しない理由	Q19	Q18で学校体育に「参加していない」と回答した方にお聞きします。障害のある( )が、学校体育の授業に参加しない理由は何ですか。(当てはまるものすべて) 1 <input type="checkbox"/> 授業の内容のとおり身体を動かすことができないから 2 <input type="checkbox"/> 自分にはできないと思ったから 3 <input type="checkbox"/> 他の生徒や先生に迷惑をかけたと思ったから 4 <input type="checkbox"/> 参加するために必要なスポーツ用具がなかったから 5 <input type="checkbox"/> 医師から止められていたから 6 <input type="checkbox"/> 学校の先生から見学するように言われたから 7 <input type="checkbox"/> 身体を動かすことが怖いから 8 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/>
アンケート	スポーツ・運動の参加方法	Q20	障害のある( )は、スポーツ実施や運動にどのような方法で参加したいと思いますか。(当てはまるもの1つ) 1 <input type="checkbox"/> 現地の会場で対面での参加 2 <input type="checkbox"/> リモート参加 3 <input type="checkbox"/> ハイブリッド(現地参加とリモート参加の両方から選択できる) 4 <input type="checkbox"/> 参加したいと思わない
アンケート	参加したいスポーツ活動	Q21	障害のある( )は、どのようなスポーツや運動であれば参加したいと思いますか。(当てはまるものすべて) 1 <input type="checkbox"/> ルールが簡単 2 <input type="checkbox"/> 自分のペースに合わせてできる 3 <input type="checkbox"/> 汗をかかない 4 <input type="checkbox"/> 自宅で実施できる 5 <input type="checkbox"/> 短い時間で実施できる 6 <input type="checkbox"/> 上達したことが分かる 7 <input type="checkbox"/> ゲーム機を使い体を動かして行なうスポーツ・フィットネス等 8 <input type="checkbox"/> 好きな種目を選べる 9 <input type="checkbox"/> やったことがないスポーツを試せる 10 <input type="checkbox"/> 予約や申し込みなしに、参加したいときに参加できる 11 <input type="checkbox"/> 有名な選手に会える 12 <input type="checkbox"/> 親子で一緒に参加ができる 13 <input type="checkbox"/> 新しい友達をつくることができる 14 <input type="checkbox"/> スポーツ以外に芸術・文化的なパフォーマンスも楽しめる 15 <input type="checkbox"/> 失敗しても笑われたり恥ずかしい思いをしない 16 <input type="checkbox"/> 新しい道具やウェアを買わなくてよい 17 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> 18 <input type="checkbox"/> どのようなスポーツや運動でも参加したいと思わない
アンケート	スポーツ・運動の継続実施に必要なもの	Q22	Q8でこの1年間に運動・スポーツを行ったと回答した方にお聞きします。障害のある( )が、スポーツを継続的に実施するために必要だと思うものは何ですか。(当てはまるものすべて) 1 <input type="checkbox"/> スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化 2 <input type="checkbox"/> 交通機関(電車やバス)やまちのバリアフリー化 3 <input type="checkbox"/> 会場までの送迎 4 <input type="checkbox"/> 障害者への施設開放の促進(障害者が優先的に使える施設が増える) 5 <input type="checkbox"/> 障害にあわせた教室やプログラム 6 <input type="checkbox"/> 介助者や手話通訳などの支援 7 <input type="checkbox"/> 障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実 8 <input type="checkbox"/> 施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援 9 <input type="checkbox"/> 障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進 10 <input type="checkbox"/> 健康や体調を管理する医療的なサポート 11 <input type="checkbox"/> 目標となる大会やイベント 12 <input type="checkbox"/> スポーツ用具等の貸出し 13 <input type="checkbox"/> 施設の利用料減免(利用料が安くなったり、無料になったりする) 14 <input type="checkbox"/> リモートにより、障害に応じたスポーツ・運動を指導してくれる支援、またはその充実 15 <input type="checkbox"/> 自宅でもできる、障害に応じたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実 16 <input type="checkbox"/> 一緒に行う仲間(障害の無い人) 17 <input type="checkbox"/> 一緒に行う仲間(自分と同じ障害のある人) 18 <input type="checkbox"/> 一緒に行う仲間(自分と異なる障害のある人) 19 <input type="checkbox"/> 適切な指導者やコーチ、トレーナー 20 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/> 21 <input type="checkbox"/> 特にない 22 <input type="checkbox"/> わからない

アンケート	新しいスポーツを始めるために必要な支援	Q23	<p>Q8でこの1年間に運動・スポーツを行ったと回答した方にお聞きます。障害のある( )が、新たに別のスポーツや運動をはじめするために必要な支援は何ですか。(当てはまるもの3つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 交通機関(電車やバス)やまちのバリアフリー化</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 会場までの送迎</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 障害者への施設開放の促進(障害者が優先的に使える施設が増える)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 障害にあわせた教室やプログラム</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 介助者や手話通訳などの支援</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 健康や体調を管理する医療的なサポート</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 目標となる大会やイベント</p>	<p>12 <input type="checkbox"/> スポーツ用具等の貸出し</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 施設の利用料減免(利用料が安くなったり、無料になったりする)</p> <p>14 <input type="checkbox"/> リモートにより、障害に応じたスポーツ・運動を指導してくれる支援、またはその充実</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 自宅でもできる、障害に応じたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 一緒に行う仲間(障害の無い人)</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 一緒に行う仲間(自分と同じ障害のある人)</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 一緒に行う仲間(自分と異なる障害のある人)</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 適切な指導者やコーチ、トレーナー</p> <p>20 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>21 <input type="checkbox"/> 特いない</p> <p>22 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	スポーツを始めるきっかけとして必要な支援	Q24	<p>Q8でこの1年間に運動・スポーツは行わなかったと回答した方にお聞きます。障害のある( )が、スポーツや運動をはじめきっかけとして必要な支援は何ですか。(当てはまるもの3つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> スタジアム、体育館などの建物や設備のバリアフリー化</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 交通機関(電車やバス)やまちのバリアフリー化</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 会場までの送迎</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 障害者への施設開放の促進(障害者が優先的に使える施設が増える)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 障害にあわせた教室やプログラム</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 介助者や手話通訳などの支援</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 障害に対応した情報の提供や問合せ方法の充実</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 施設や用具等を利用する際に必要な手続きの支援</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 障害や障害者、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)などに対する理解促進</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 健康や体調を管理する医療的なサポート</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 目標となる大会やイベント</p>	<p>12 <input type="checkbox"/> スポーツ用具等の貸出し</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 施設の利用料減免(利用料が安くなったり、無料になったりする)</p> <p>14 <input type="checkbox"/> リモートにより、障害に応じたスポーツ・運動を指導してくれる支援、またはその充実</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 自宅でもできる、障害に応じたスポーツ・運動方法についての情報提供、またはその充実</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 一緒に行う仲間(障害の無い人)</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 一緒に行う仲間(自分と同じ障害のある人)</p> <p>18 <input type="checkbox"/> 一緒に行う仲間(自分と異なる障害のある人)</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 適切な指導者やコーチ、トレーナー</p> <p>20 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>21 <input type="checkbox"/> 特いない</p> <p>22 <input type="checkbox"/> わからない</p>
アンケート	スポーツ以外に関心のある事	Q25	<p>障害のある( )が、スポーツ以外に好きなことや関心のあることは何ですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 旅行</p> <p>2 <input type="checkbox"/> グルメ・食歩き</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 買い物・ショッピング</p> <p>4 <input type="checkbox"/> テレビ視聴</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 動画配信サービス視聴</p> <p>6 <input type="checkbox"/> CDやスマートフォンによる音楽鑑賞</p> <p>7 <input type="checkbox"/> SNS閲覧・投稿</p> <p>8 <input type="checkbox"/> インターネット閲覧</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 映画鑑賞</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 読書</p> <p>11 <input type="checkbox"/> アニメ/漫画</p> <p>12 <input type="checkbox"/> スマートフォン・家庭用ゲーム機によるゲーム</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 写真の撮影</p> <p>14 <input type="checkbox"/> 遊園地・動物園・水族館などの見物</p>	<p>15 <input type="checkbox"/> 美術鑑賞</p> <p>16 <input type="checkbox"/> コンサートなどによる音楽鑑賞</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 演劇・舞踏鑑賞</p> <p>18 <input type="checkbox"/> カラオケ</p> <p>19 <input type="checkbox"/> 楽器の演奏</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 料理・菓子作り</p> <p>21 <input type="checkbox"/> 園芸・ガーデニング</p> <p>22 <input type="checkbox"/> 日曜大工</p> <p>23 <input type="checkbox"/> 織み物・手芸</p> <p>24 <input type="checkbox"/> 和裁・洋裁</p> <p>25 <input type="checkbox"/> 大道芸や手品等の鑑賞</p> <p>26 <input type="checkbox"/> ギャンブル</p> <p>27 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>28 <input type="checkbox"/> 特いない</p>
アンケート	情報入手先	Q26	<p>障害のある( )が、日常的に情報を得る手段は何ですか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 家族</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 友人</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 学校や職場、施設の人</p> <p>4 <input type="checkbox"/> ボランティア</p> <p>5 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー、ガイドヘルパーなどの支援者</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 医師や看護師、理学療法士、作業療法士などの医療関係者</p> <p>7 <input type="checkbox"/> テレビ</p> <p>8 <input type="checkbox"/> ラジオ</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 新聞</p> <p>10 <input type="checkbox"/> 雑誌</p>	<p>11 <input type="checkbox"/> 障害者団体の会合や機関誌</p> <p>12 <input type="checkbox"/> 検索エンジンを活用(Yahoo!, Googleなど)</p> <p>13 <input type="checkbox"/> インターネットのニュースサイトやニュースアプリ</p> <p>14 <input type="checkbox"/> SNS(X(旧Twitter)、Facebook、Instagram、TikTokなど)</p> <p>15 <input type="checkbox"/> 動画配信サービス(YouTubeなど)</p> <p>16 <input type="checkbox"/> 行政の窓口</p> <p>17 <input type="checkbox"/> 区市町村などの広報誌</p> <p>18 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>19 <input type="checkbox"/> わからない</p> <p>20 <input type="checkbox"/> 得ていない</p>
アンケート	家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の経験	Q27	<p>障害のある( )は、家庭用ゲーム機やパソコンを使って次のようなゲームをやったことがありますか。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 実際に体を動かして行う、スポーツやフィットネスのゲーム(「ニンテンドースイッチスポーツ」や「リングフィットアドベンチャー」、「ウィーフィット」など)</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 実際に体を動かして行う、スポーツ以外のゲーム(「太鼓の達人」、「ドラゴンクエストソード」など)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム(ポケットモンスター、スプラトゥーン、マイクラフト、ぷよぷよなど)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 指先など体の一部を動かして障害の状態に応じた入力装置(フレックスコントローラーや視線入力装置、個人用にカスタムされたスイッチ等)を操作して行うゲーム(ポケットモンスター、スプラトゥーン、マイクラフト、ぷよぷよなど)</p> <p>5 <input type="checkbox"/> やったことはない</p>	

アンケート	家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の理由・感想	<p>Q27で家庭用ゲーム機やパソコンを使ってゲームをやったことがあると回答した方にお聞きします。そのゲームをやった理由・感想を教えてください(自由記述・任意)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 実際に体を動かして行う、スポーツやフィットネスのゲーム (「ニンテンドースイッチスポーツ」や「リングフィットアドベンチャー」、「ウィーフィット」など)</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 実際に体を動かして行う、スポーツ以外のゲーム (「太鼓の達人」、「ドラゴンクエストソード」など)</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム (ポケットモンスター、スプラトゥーン、マイクラフト、ぶよぶよなど)</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 指先など体の一部を動かして障害の状態に応じた入力装置(フレックスコントローラーや視線入力装置、個人用にカスタムされたスイッチ等)を操作して行うゲーム (ポケットモンスター、スプラトゥーン、マイクラフト、ぶよぶよなど)</p>
アンケート	家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の興味関心	<p>次のゲームについてやりたいか、やりたいと思わないかの意向を教えてください。(それぞれ当てはまるもの1つだけ)</p> <p>&lt;表頭&gt;</p> <p>1 やりたい</p> <p>2 やりたいと思わない</p> <p>&lt;表側&gt;</p> <p>1 実際に体を動かして行う、スポーツやフィットネスのゲーム(「ニンテンドースイッチスポーツ」や「リングフィットアドベンチャー」、「ウィーフィット」など)</p> <p>2 実際に体を動かして行う、スポーツ以外のゲーム(「太鼓の達人」、「ドラゴンクエストソード」など)</p> <p>3 指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム(ポケットモンスター、スプラトゥーン、マイクラフト、ぶよぶよなど)</p> <p>4 指先など体の一部を動かして障害の状態に応じた入力装置(フレックスコントローラーや視線入力装置、個人用にカスタムされたスイッチ等)を操作して行うゲーム(ポケットモンスター、スプラトゥーン、マイクラフト、ぶよぶよなど)</p>
アンケート	家庭用ゲーム機を使って行うスポーツ・フィットネス等の興味関心	<p>次のゲームについてそれぞれ以下のようにお答えになった理由を教えてください。(自由記述)</p> <p>1 実際に体を動かして行う、スポーツやフィットネスのゲーム (「ニンテンドースイッチスポーツ」や「リングフィットアドベンチャー」、「ウィーフィット」など)を &lt;Q29[1]回答引用&gt;とお答えになった理由</p> <p>2 実際に体を動かして行う、スポーツ以外のゲーム (「太鼓の達人」、「ドラゴンクエストソード」など)を &lt;Q29[2]回答引用&gt;とお答えになった理由</p> <p>3 指先など体の一部を動かして一般的なコントローラーを操作して行うゲーム (ポケットモンスター、スプラトゥーン、マイクラフト、ぶよぶよなど)を &lt;Q29[3]回答引用&gt;とお答えになった理由</p> <p>4 指先など体の一部を動かして障害の状態に応じた入力装置(フレックスコントローラーや視線入力装置、個人用にカスタムされたスイッチ等)を操作して行うゲーム (ポケットモンスター、スプラトゥーン、マイクラフト、ぶよぶよなど)を &lt;Q29[4]回答引用&gt;とお答えになった理由</p>
アンケート	デフリンピックへの興味関心	<p>障害のある( )は、2025年東京で開催されるデフリンピックについてどの程度ご存知ですか？(当てはまるもの1つ)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> よく内容を知っている</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 見たり聞いたりしたことがある</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 知らない</p>
アンケート	デフリンピックに期待すること	<p>デフリンピックは、4年ごとに開催される聴覚障がい者を対象とした国際総合スポーツ大会です。第1回大会は1924年にパリで開催されるなど歴史が古く、2025年11月に東京で開催されることと決定しています。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。競技ルールはオリンピックと同じですが、手話のほか、スタートランプや旗など視覚的な情報保障のある競技環境が特徴です。</p> <p>障害のある( )は、2025年に東京で開催されるデフリンピックについて期待することを教えてください。(当てはまるものすべて)</p> <p>1 <input type="checkbox"/> 競技観戦</p> <p>2 <input type="checkbox"/> 記録の更新</p> <p>3 <input type="checkbox"/> 日本人選手の活躍</p> <p>4 <input type="checkbox"/> 外国人選手の活躍</p> <p>5 <input type="checkbox"/> 国際交流の促進</p> <p>6 <input type="checkbox"/> 大会記念グッズの展開</p> <p>7 <input type="checkbox"/> 日本東京の観光、伝統文化や食などの海外発信</p> <p>8 <input type="checkbox"/> 競技体験</p> <p>9 <input type="checkbox"/> 大会への子供の参加</p> <p>10 <input type="checkbox"/> デジタル技術を活用したコミュニケーション</p> <p>11 <input type="checkbox"/> 手話の普及と理解の促進</p> <p>12 <input type="checkbox"/> デフスポーツの普及と理解の促進</p> <p>13 <input type="checkbox"/> 障害や障害者への理解の促進</p> <p>14 <input type="checkbox"/> その他 <input type="text"/></p> <p>15 <input type="checkbox"/> 期待するものはない</p>



障害者のスポーツに関する意識調査報告書

令和6年3月発行

印刷物規格表 第2類

印刷番号 (5) 96

発行／東京都生活文化スポーツ局

スポーツ総合推進部パラスポーツ課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-6286(直通)

FAX 03-5388-1229

調査委託／東京都ビジネスサービス株式会社